

可児市
市民アンケート調査
【調査結果報告書】

令和 8 年 9 月
可児市

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法.....	1
II 調査結果	2
1 全年代	2
(1)回答者属性	2
(2)可児市での居住について	11
(3)余暇の過ごし方について	31
(4)子育て環境について.....	34
(5)可児市への愛着について	38
(6)施策の重要度と満足度について.....	42
(7)市の情報について.....	91
(8)公園について	101
(9)健康管理・運動の推進について	111
(10)公共交通について.....	117
(11)文化創造センター アーラについて.....	118
(12)K マネーについて.....	122
2 若年層	125
(1)回答者属性	125
(2)可児市での居住について	134
(3)余暇の過ごし方について	153
(4)子育て環境について.....	156
(5)可児市への愛着について	160
(6)施策の重要度と満足度について.....	164
(7)市の情報について.....	194
(8)公園について	202
(9)健康管理・運動の推進について	212
(10)公共交通について.....	217
(11)文化創造センター アーラについて.....	218
(12)K マネーについて.....	222
III 調査票	225

I 調査の概要

1 調査の目的

令和6年3月に策定した「可児市市政経営計画」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和8年4月27日～令和8年5月13日

4 調査方法

- ・郵送による配布
- ・郵送及びWEBによる回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
①16歳以上の市民	3,000通	1,267通	42.2%
②①以外の16～39歳までの市民	2,000通	533通	26.7%

※本文中の若年層は、①のうちの16歳～39歳(172通)と②を合算して分析しています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・各設問に対する説明文の中で、アンケート項目を端的に表している場合は「」を使用し、複数の項目をまとめて表す場合は“ ”を使用しています。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。(無回答を除く)

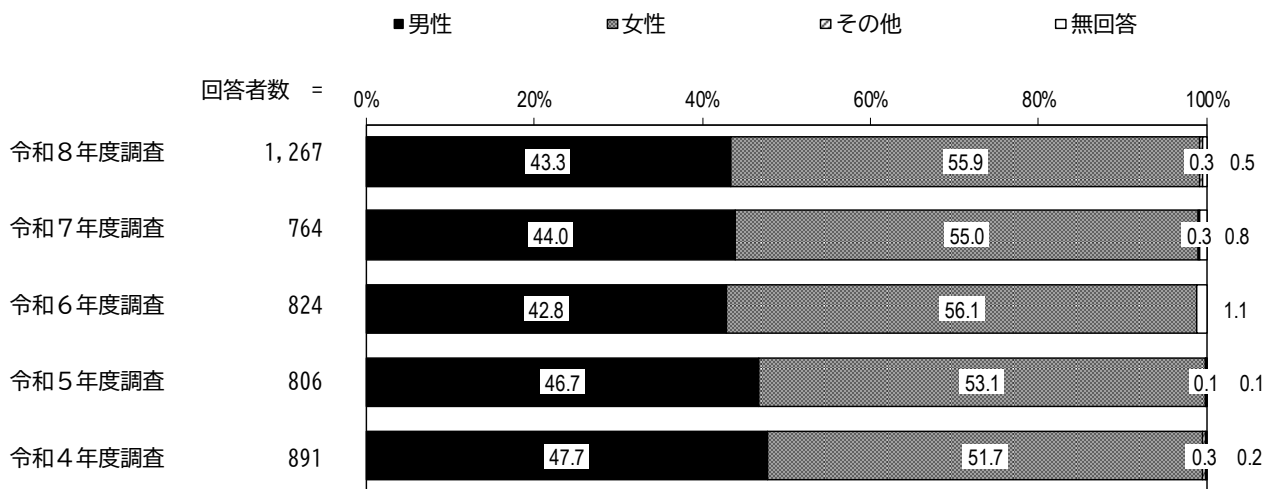
Ⅱ 調査結果

1 全年代

(1)回答者属性

問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

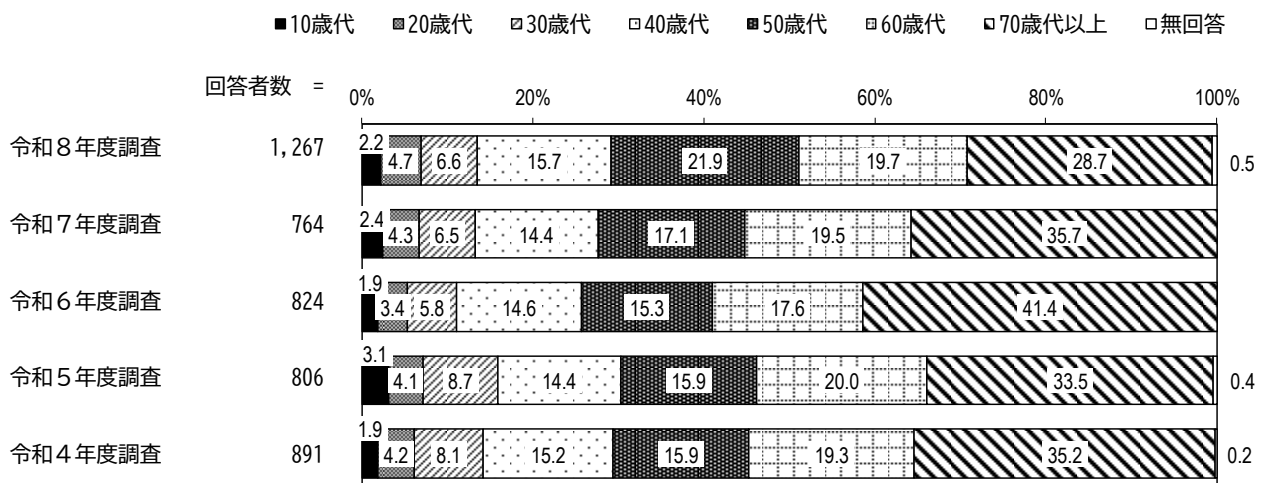
「男性」の割合が43.3%、「女性」の割合が55.9%となっています。
令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

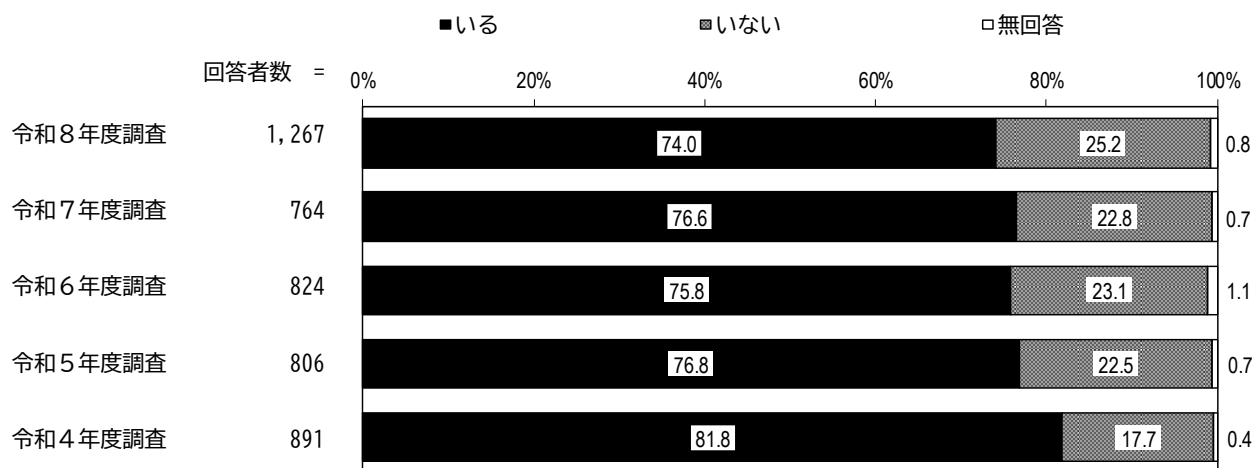
「70歳代以上」の割合が28.7%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が21.9%、「60歳代」の割合が19.7%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「70歳代以上」の割合が減少しています。



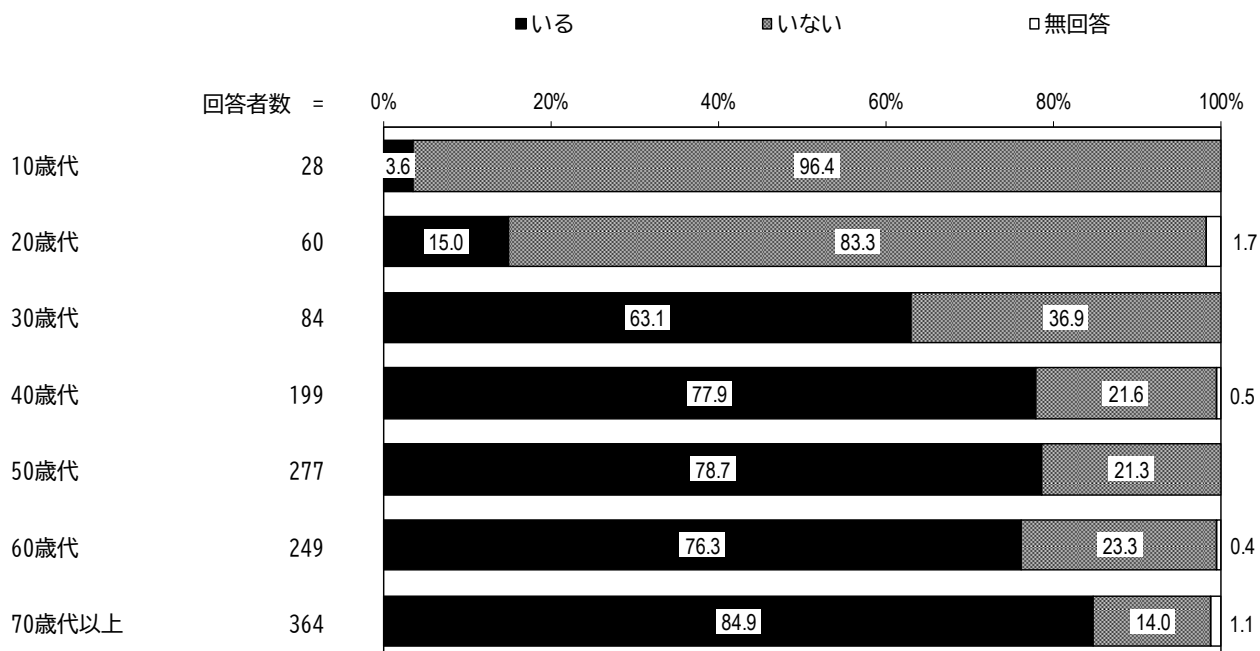
問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が74.0%、「いない」の割合が25.2%となっています。
令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



【年代別】

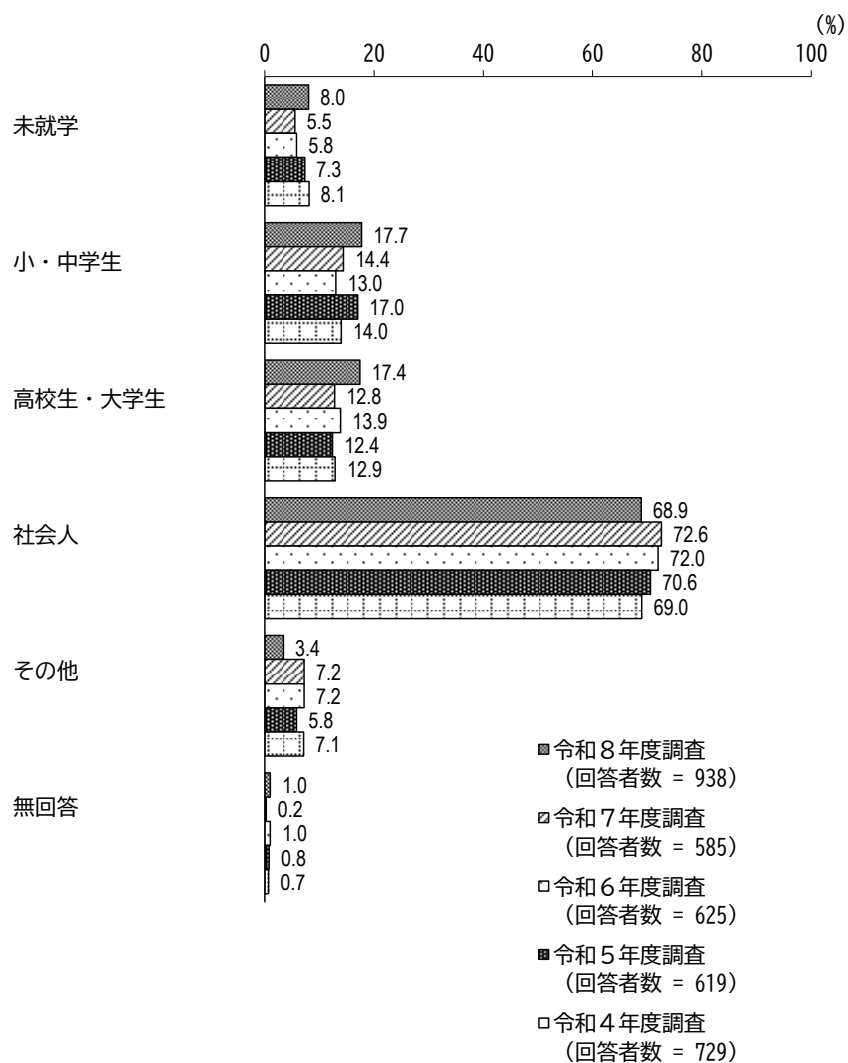
年代別にみると、「いる」の割合は、年代が高くなるにつれて高くなる傾向にあります。



子どもの世代

「社会人」の割合が68.9%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が17.7%、「高校生・大学生」の割合が17.4%となっています。

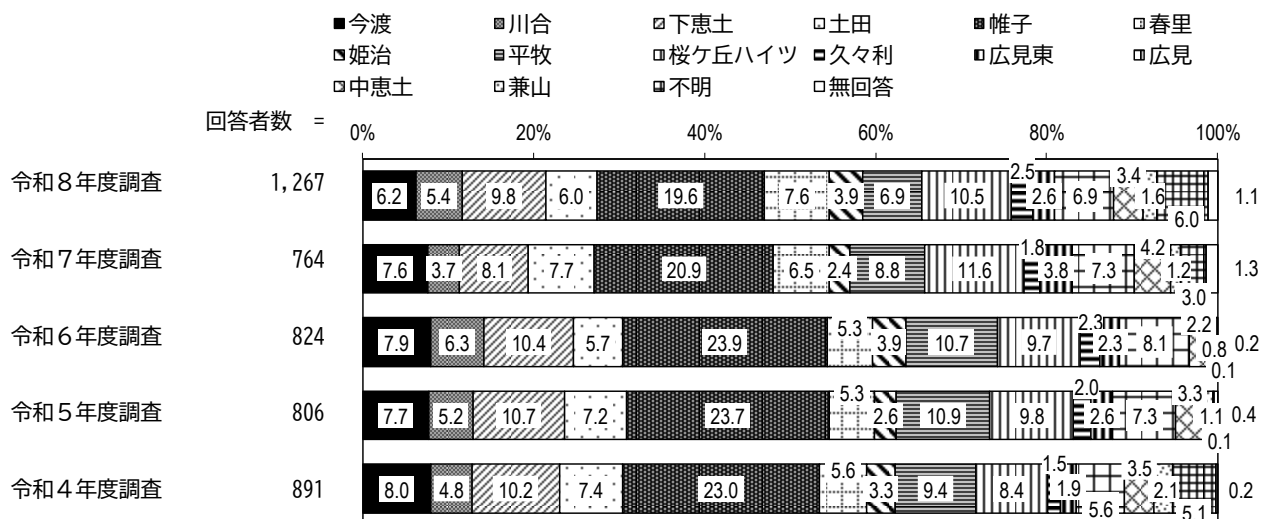
令和7年度調査と比較すると、「小・中学生」、「高校生・大学生」の割合が増加し、「社会人」の割合が減少しています。



問4 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

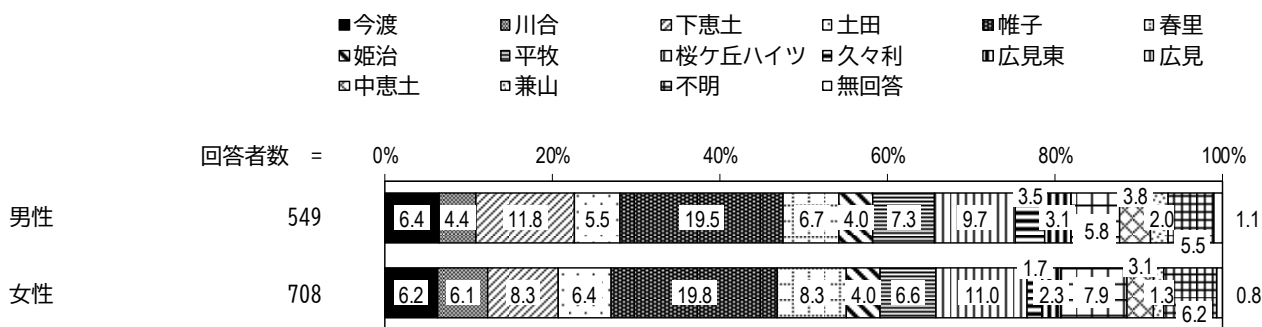
「帷子」の割合が19.6%と最も高く、次いで「桜ヶ丘ハイツ」の割合が10.5%、「下恵土」の割合が9.8%となっています。

令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



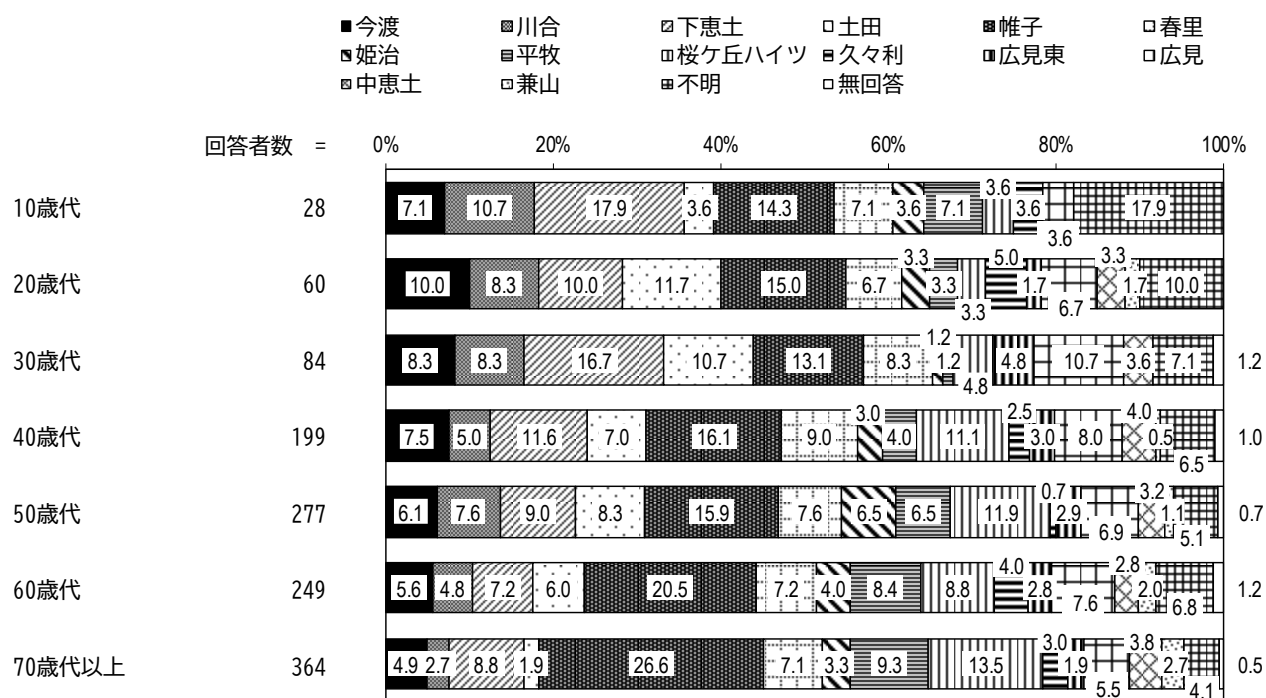
【性別】

性別による大きな差はみられません。



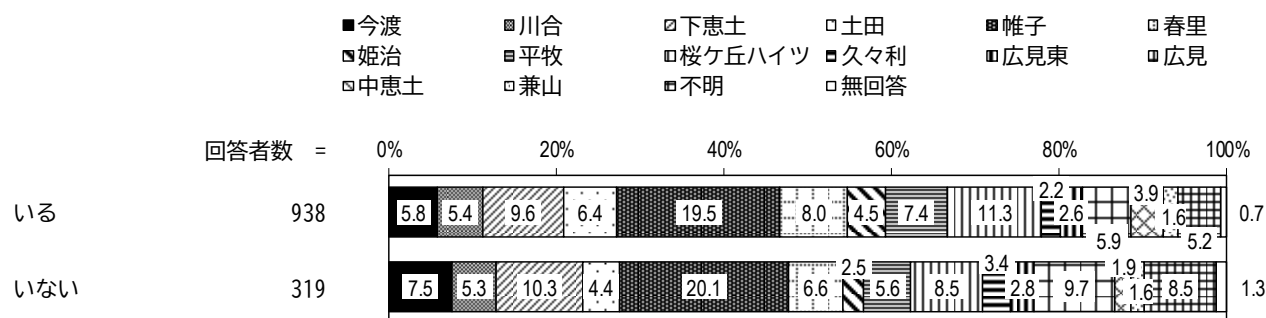
【年代別】

年代別にみると、「帷子」の割合が70歳代以上で高く、「下恵土」の割合が若い年代で高くなっています。



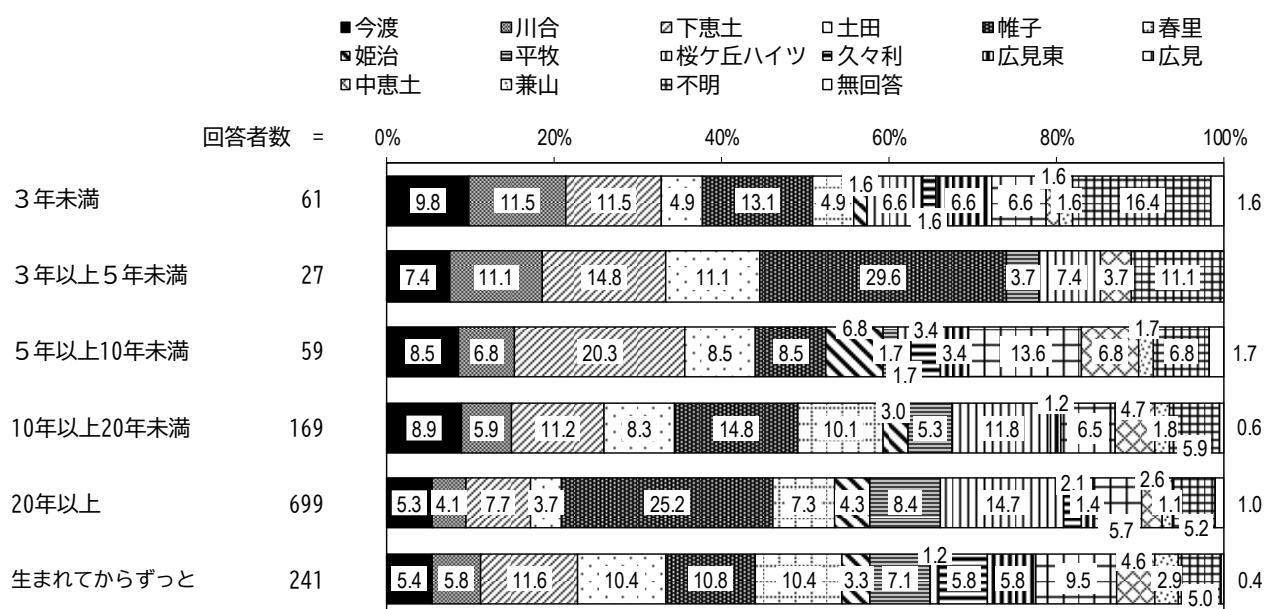
【子どもの有無別】

子どもの有無による大きな差はみられません。



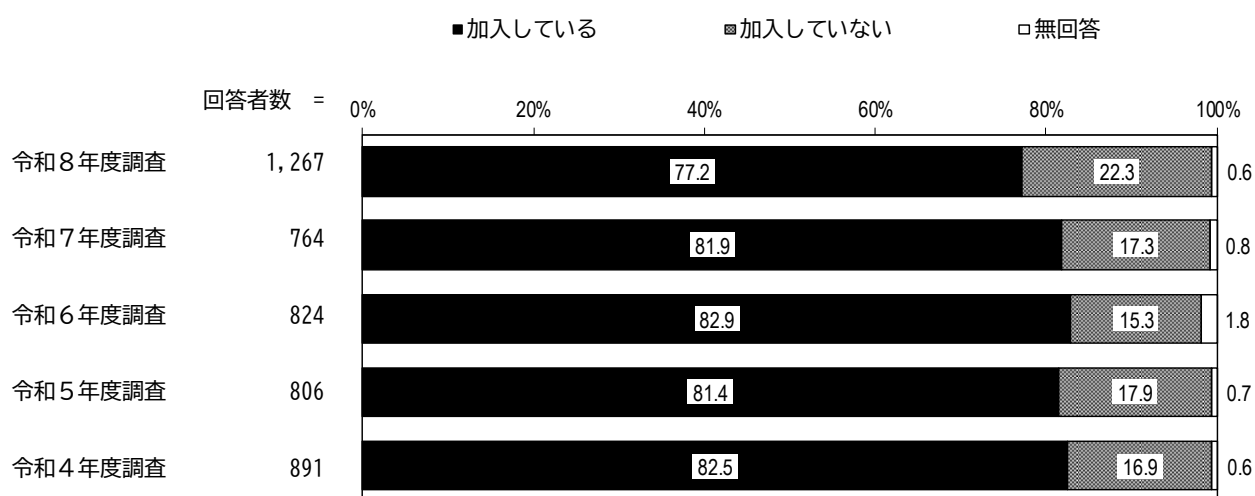
【居住年数別】

居住年数別にみると、「帷子」の割合が「20年以上」で高く、「生まれてからずっと」では低くなっています。また、「桜ヶ丘ハイツ」の割合が「20年以上」で高く、「生まれてからずっと」、「5年以上10年未満」では低くなっています。



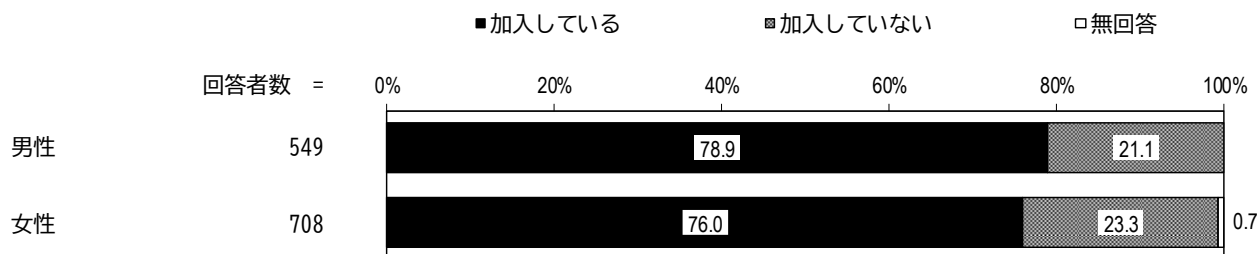
問5 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

「加入している」の割合が77.2%、「加入していない」の割合が22.3%となっています。令和7年度調査と比較すると、「加入している」の割合が減少しています。



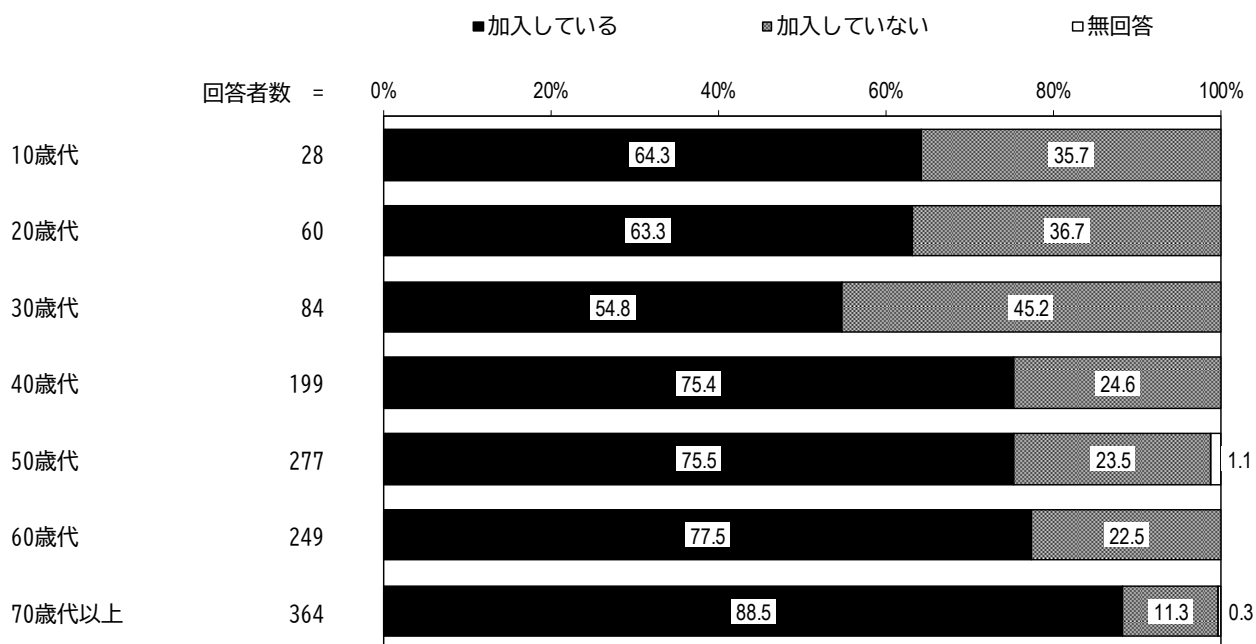
【性別】

性別による大きな差はみられません。



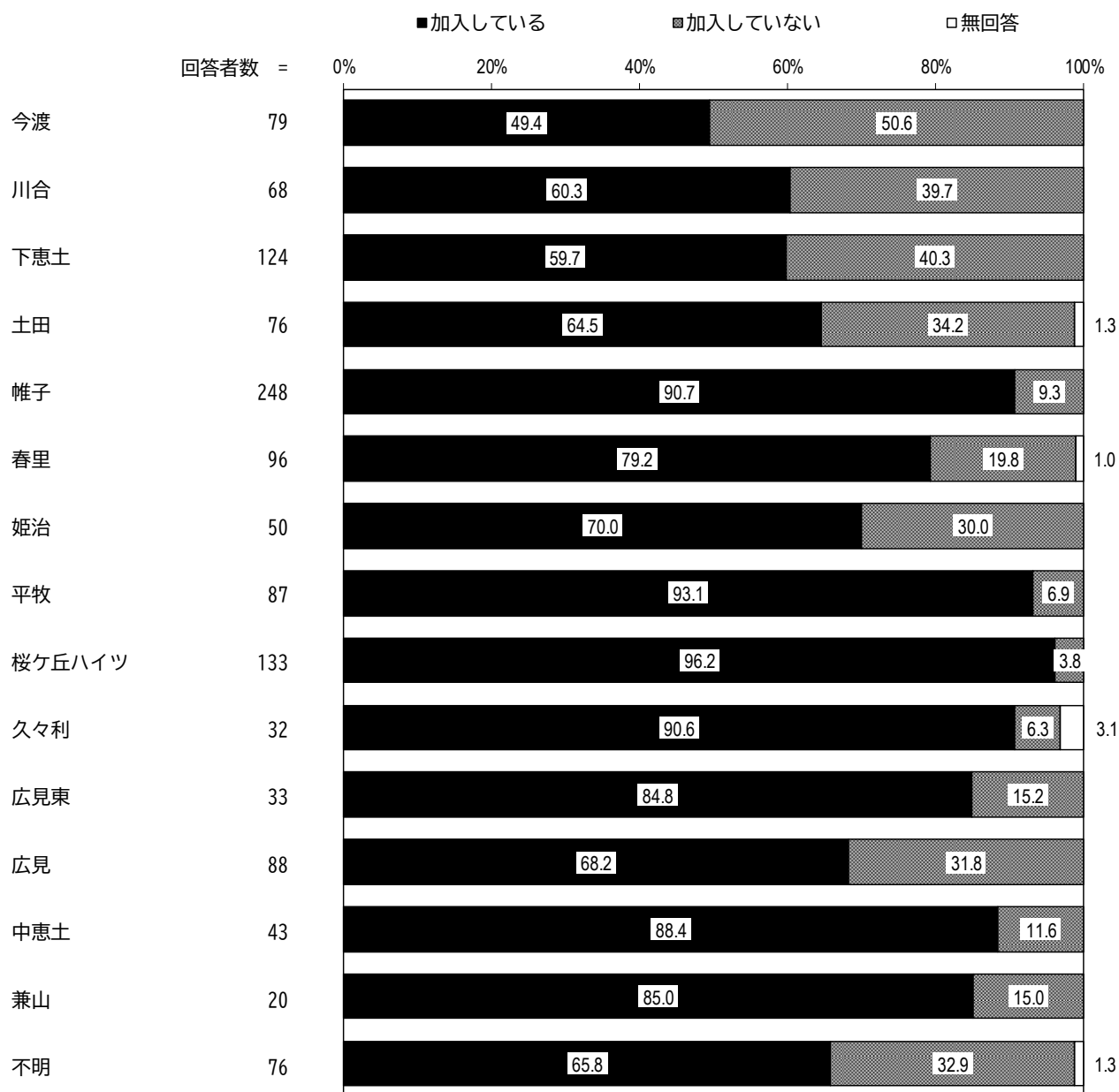
【年代別】

年代別にみると、「加入している」の割合は年代が高くなるほど高くなる傾向にあります。



【居住地区別】

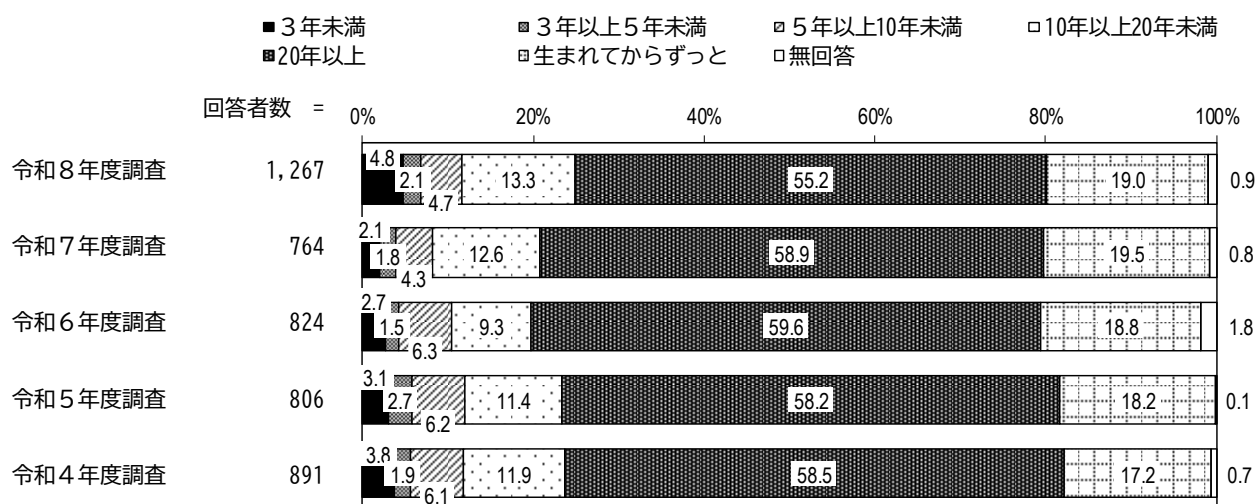
居住地区別にみると、「加入している」の割合は「桜ヶ丘ハイツ」、「平牧」、「帷子」などで高く、「今渡」、「下恵土」、「川合」などで低くなっています。



問6 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

「20年以上」の割合が55.2%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が19.0%、「10年以上20年未満」の割合が13.3%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「3年未満」の割合が増加し、「20年以上」の割合が減少しています。



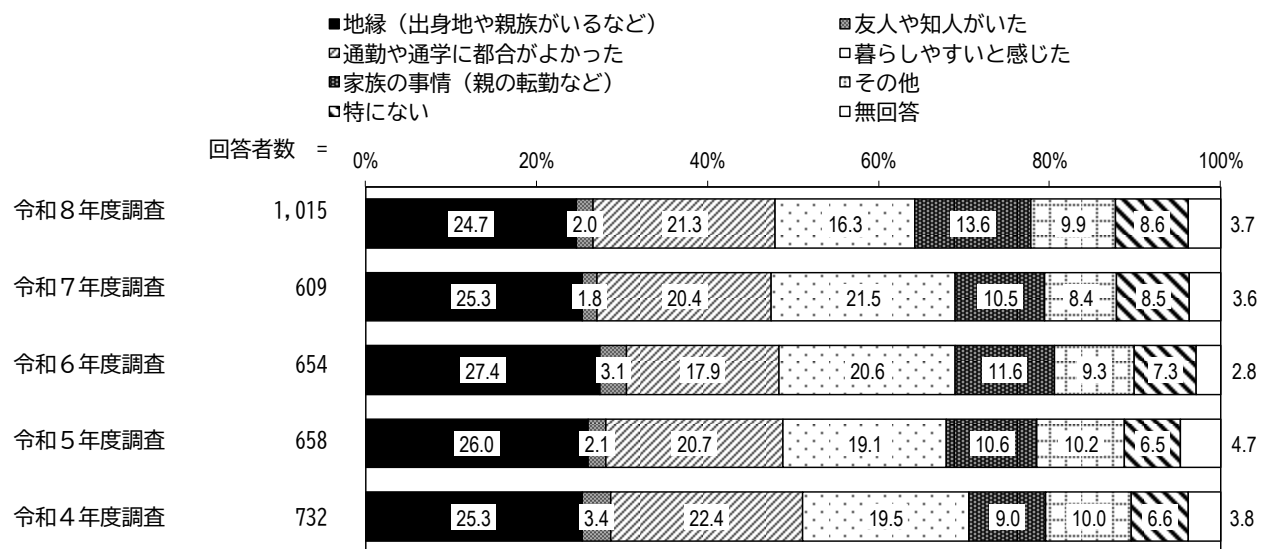
(2)可児市での居住について

【問6で1（3年未満）、2（3年以上5年未満）、3（5年以上10年未満）、4（10年以上20年未満）、5（20年以上）を選択された方に伺います】

問7 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。（○は1つだけ）

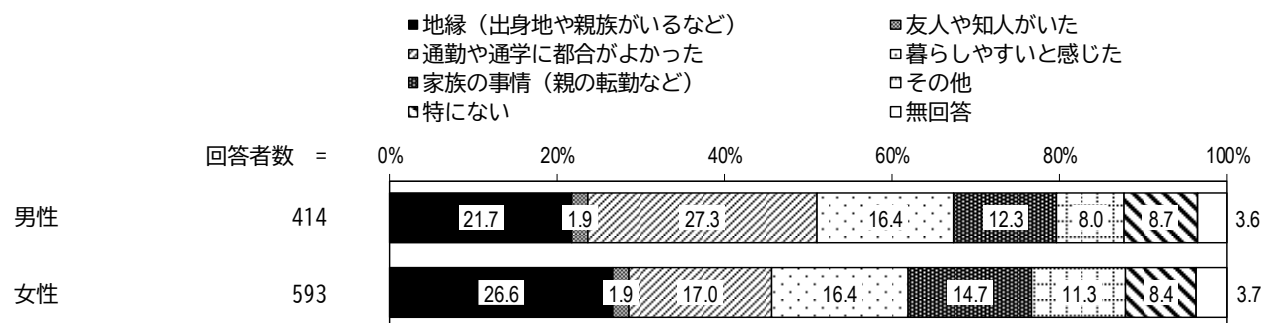
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が24.7%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が21.3%、「暮らしやすいと感じた」の割合が16.3%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が増加し、「暮らしやすいと感じた」の割合が減少しています。



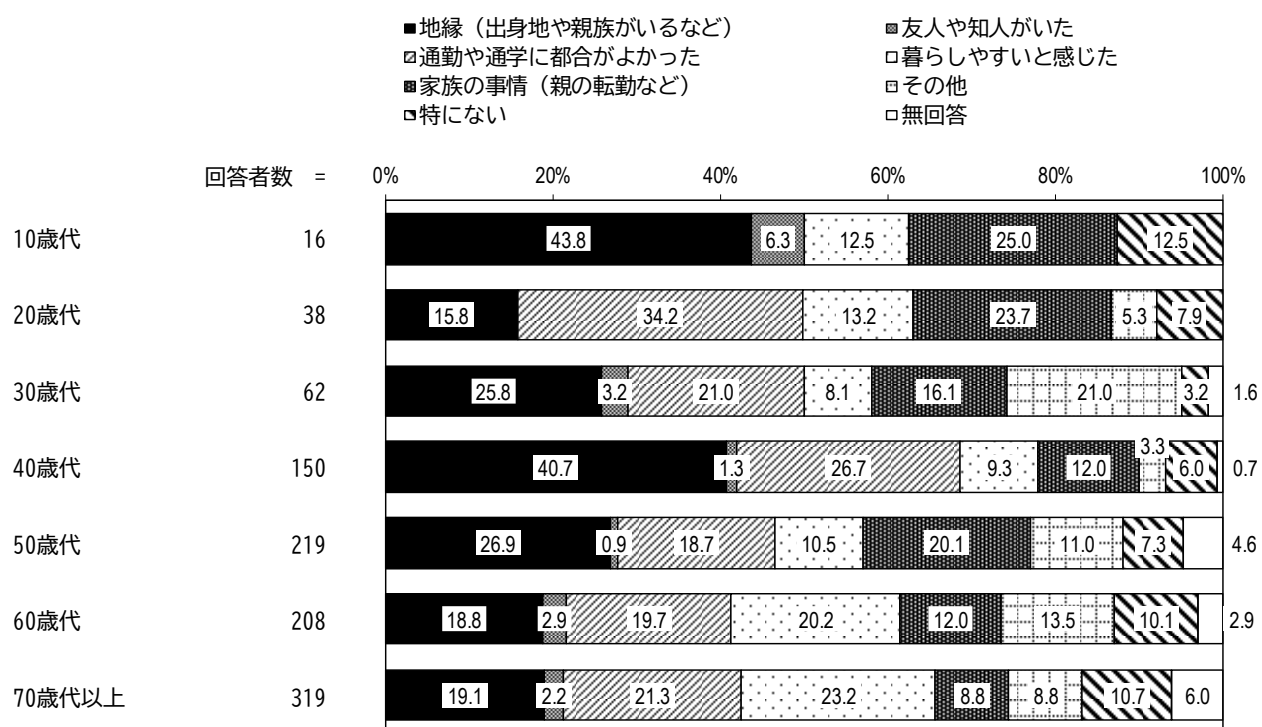
【性別】

性別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が男性で高く、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が女性で高くなっています。



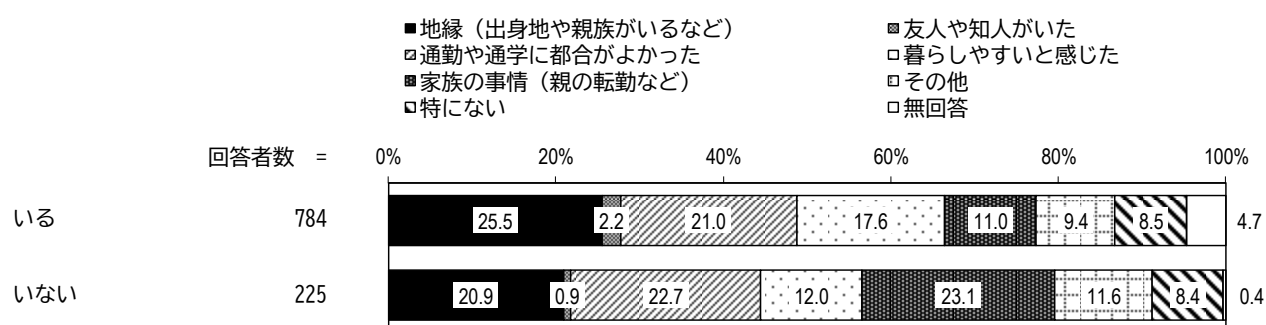
【年代別】

年代別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が10歳代、40歳代で高く、「暮らしやすいと感じた」の割合が60歳代以上で高くなっています。



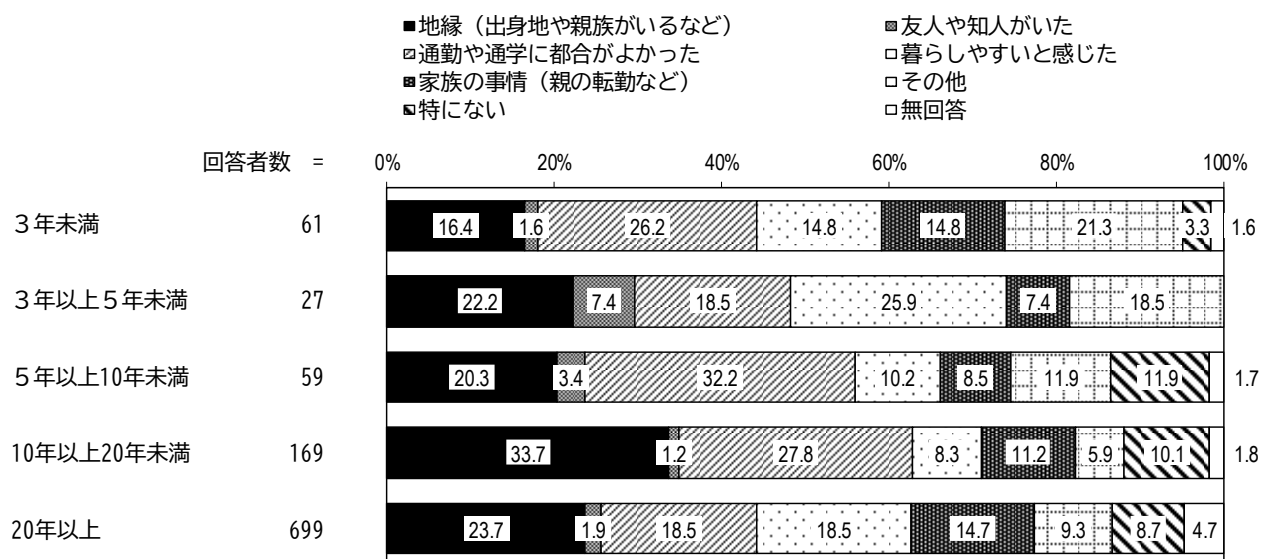
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」、「暮らしやすいと感じた」の割合が子どもが「いる」で高く、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が子どもが「いない」で高くなっています。



【居住年数別】

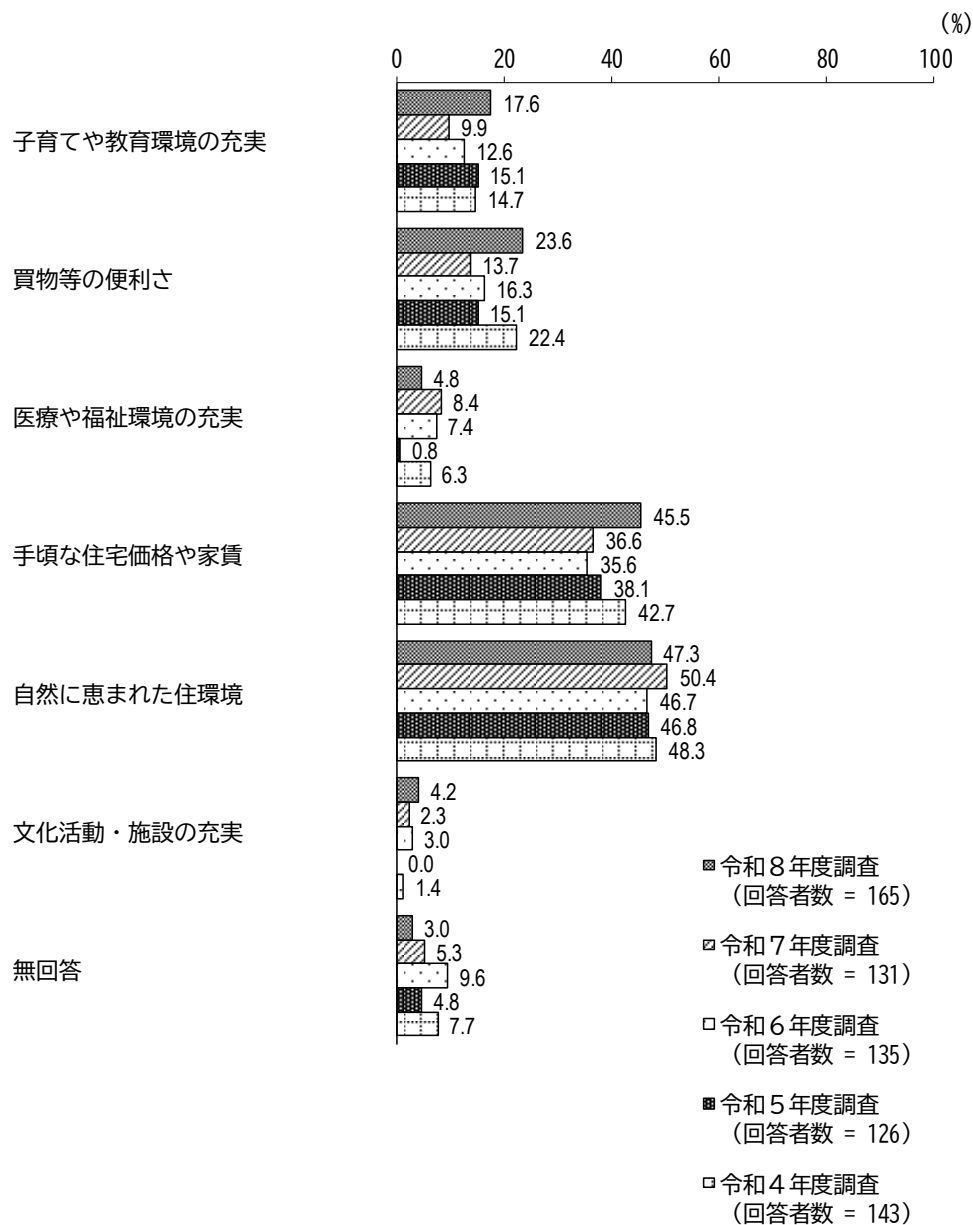
居住年数別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が「5年以上10年未満」で高く、「10年以上20年未満」では「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



暮らしやすいと感じた理由

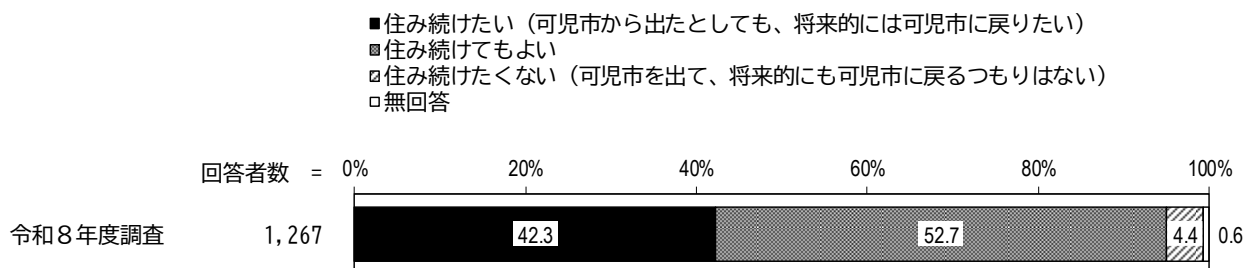
「自然に恵まれた住環境」の割合が47.3%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が45.5%、「買物等の便利さ」の割合が23.6%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「手ごろな住宅価格や家賃」、「子育てや教育環境の充実」、「買物等の便利さ」の割合が増加しています。

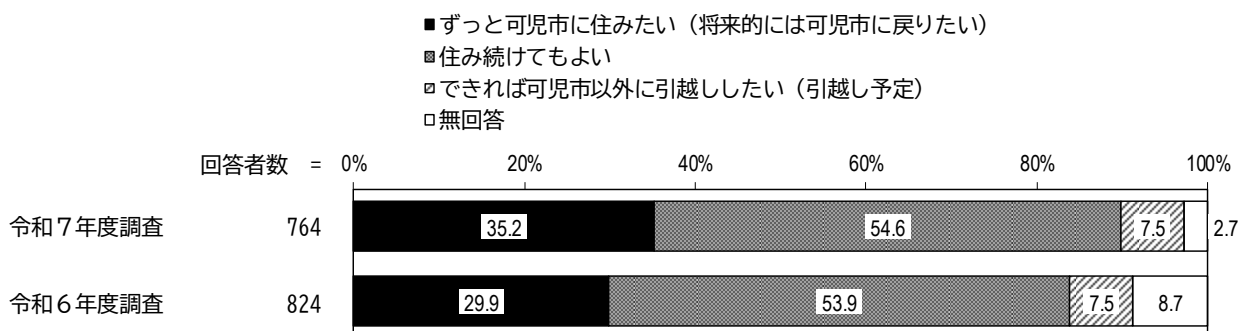


問8 可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「住み続けてもよい」の割合が52.7%と最も高く、次いで「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が42.3%となっています。

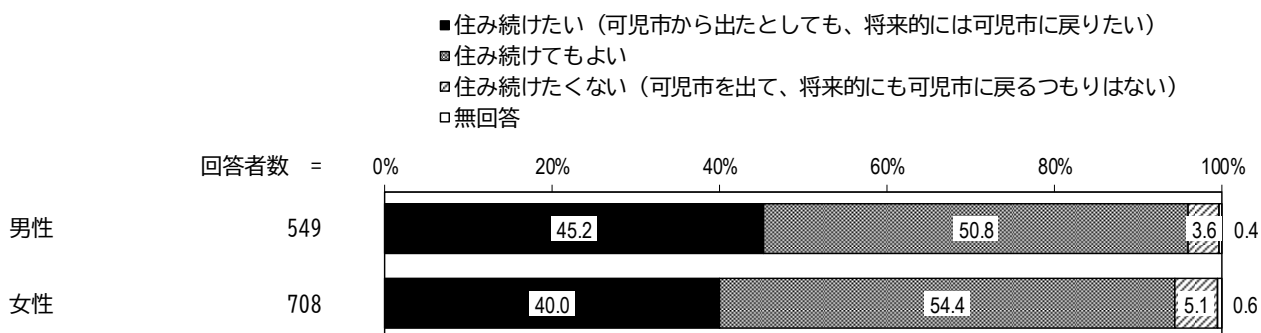


【経年比較 参考】



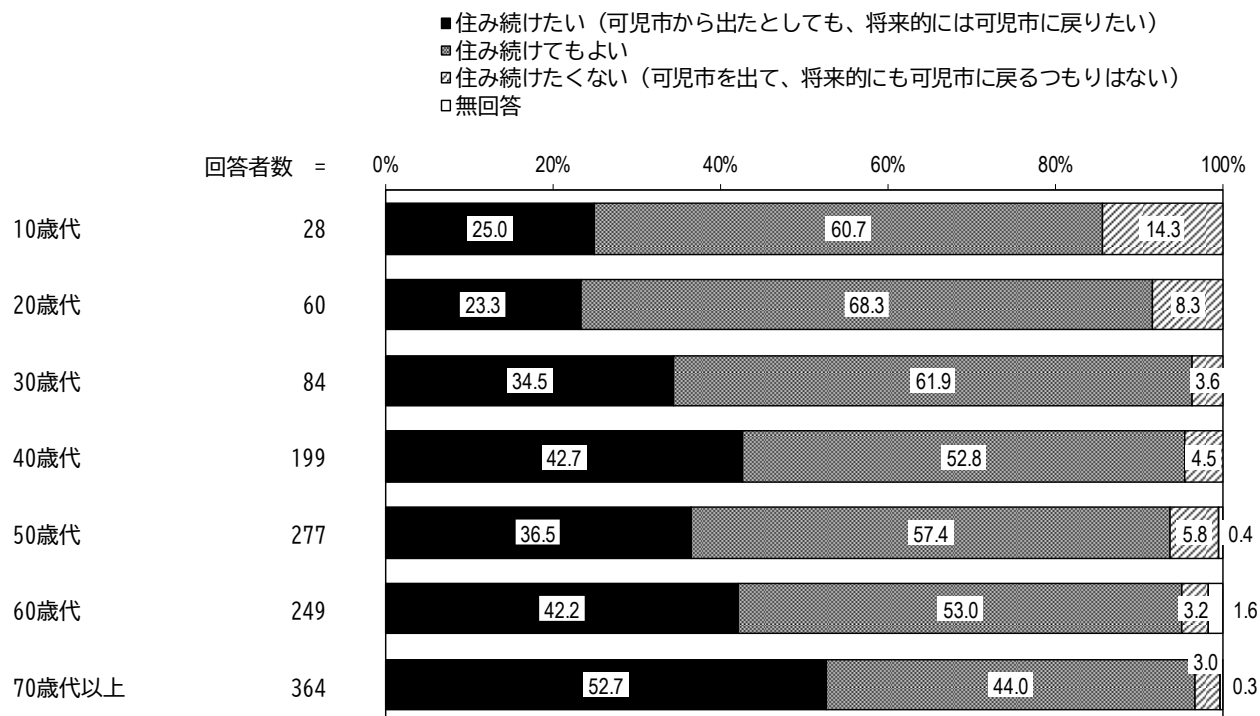
【性別】

性別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合は男性で高く、「住み続けてもよい」の割合は女性で高くなっています。



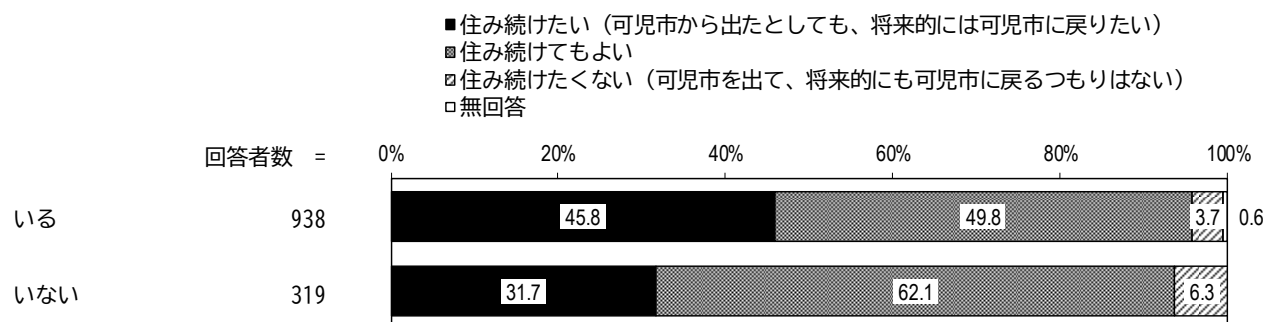
【年代別】

年代別にみると、「住みたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合は年代が高くなるほど高くなる傾向にあります。



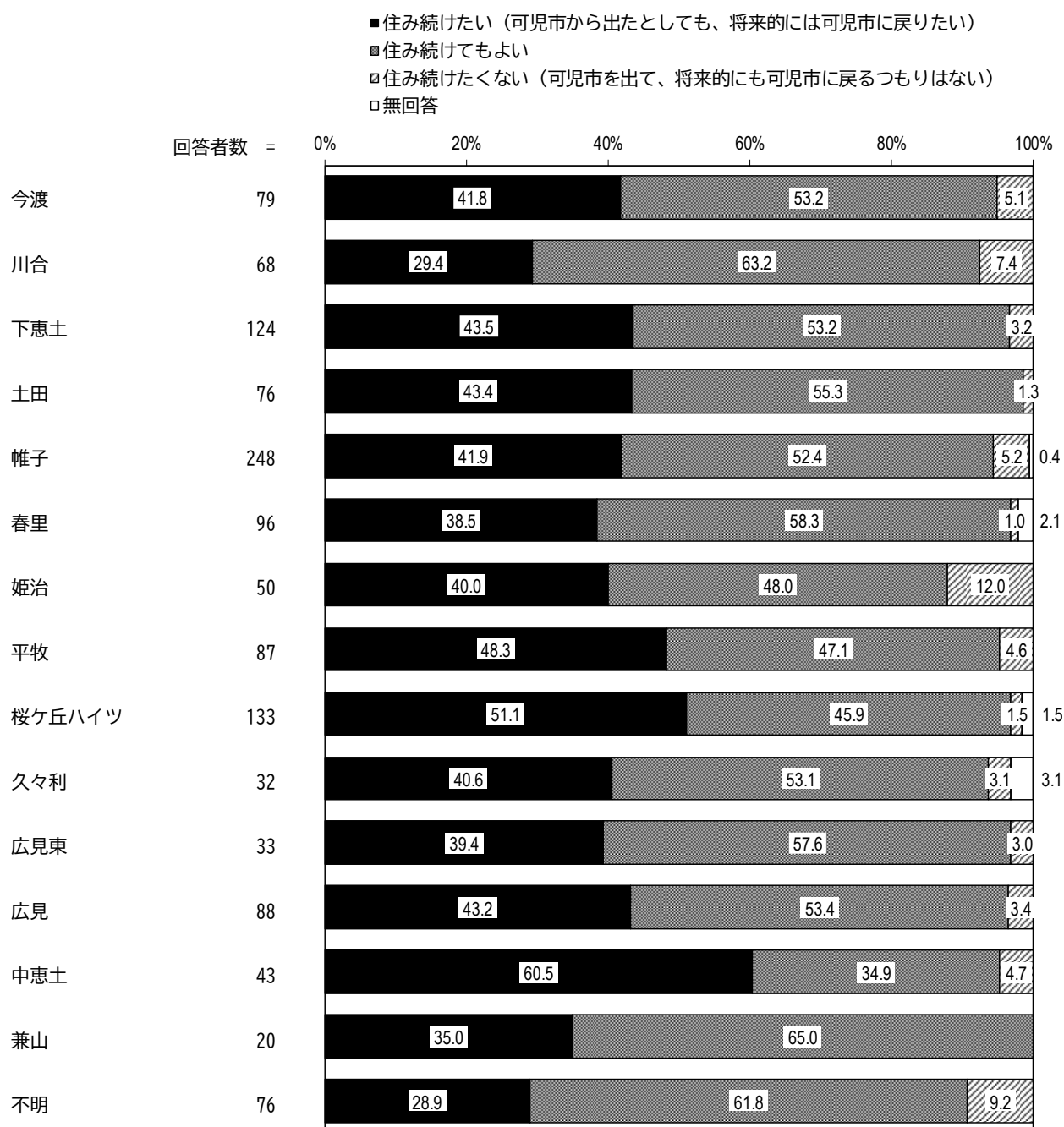
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「住みたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が子どもが「いる」で高く、「住み続けてもよい」の割合が子どもが「いない」で高くなっています。



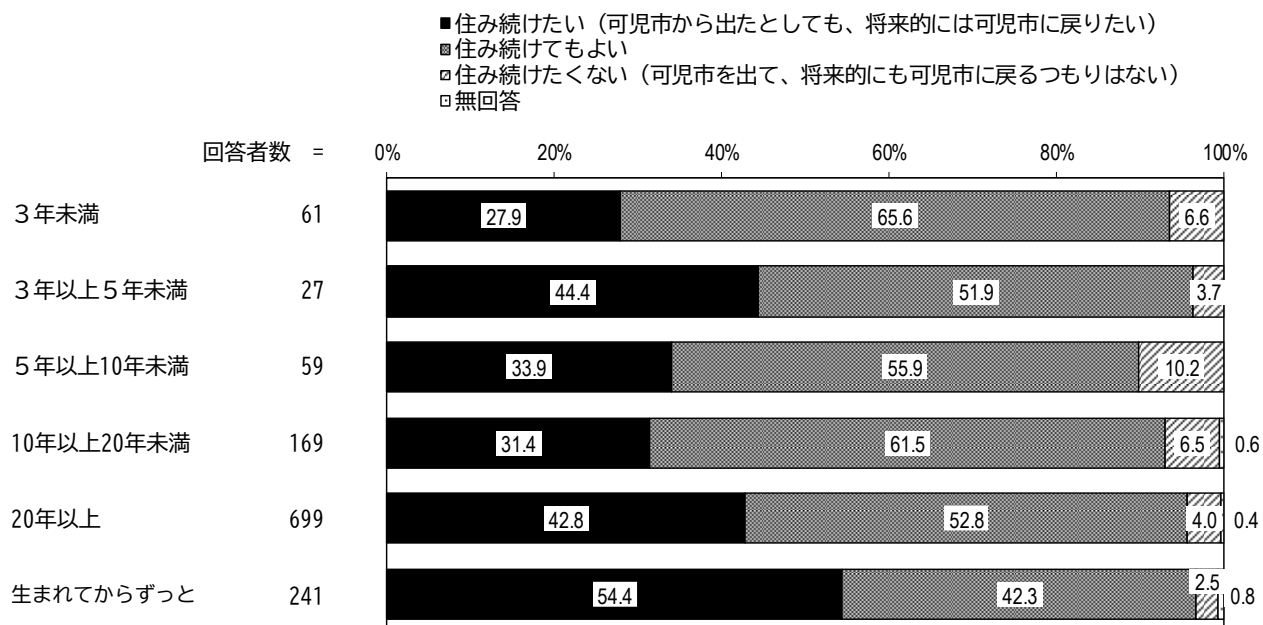
【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合は「中恵土」で最も高く、次いで「桜ヶ丘ハイツ」で高くなっています。



【居住年数別】

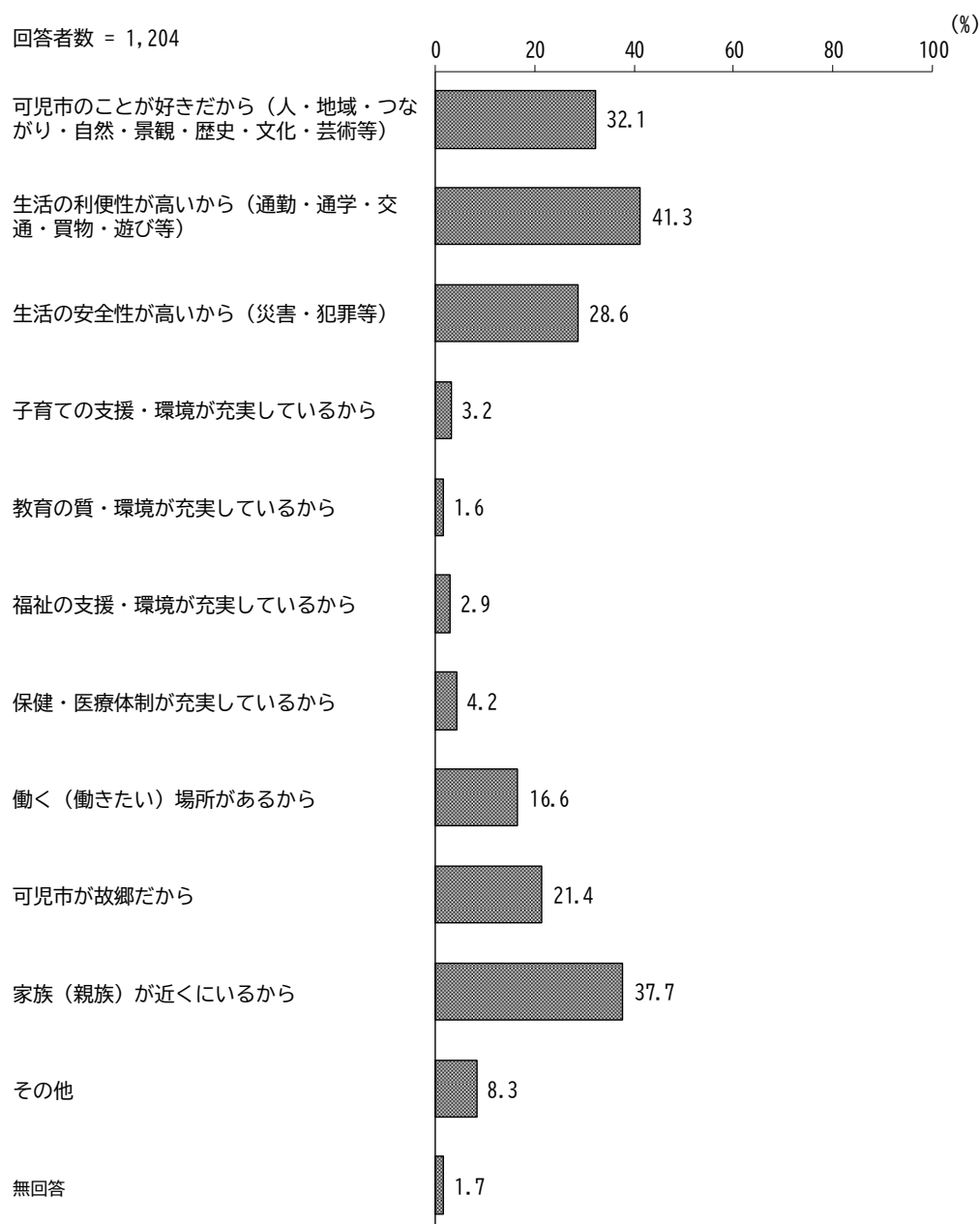
居住年数別にみると、「住みたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が「生まれてからずっと」で高く、「住み続けてもいい」の割合が「3年未満」、「10年以上20年未満」で高くなっています。



問8で1(住み続けたい)または2(住み続けてもよい)を選択された方に伺います】

問9 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「生活の利便性が高いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)」の割合が41.3%と最も高く、次いで「家族(親族)が近くにいるから」の割合が37.7%、「可児市のことが好きだから(人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等)」の割合が32.1%となっています。



【性別】

性別にみると、「可児市が故郷だから」の割合が男性で高く、「家族（親族）が近くにいるから」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	1,204	32.1	41.3	28.6	3.2	1.6	2.9	4.2	16.6	21.4	37.7	8.3	1.7
男性	527	32.1	42.5	29.8	2.3	1.7	2.5	4.2	15.6	25.6	31.3	9.7	1.1
女性	668	32.0	40.3	27.7	3.9	1.5	3.3	4.3	17.5	18.3	42.8	7.3	2.2

【年代別】

年代別にみると、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が20～60歳代で高く、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」、「可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」の割合が70歳代以上で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	1,204	32.1	41.3	28.6	3.2	1.6	2.9	4.2	16.6	21.4	37.7	8.3	1.7
10歳代	24	33.3	25.0	16.7	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	54.2	45.8	4.2	0.0
20歳代	55	23.6	52.7	10.9	1.8	0.0	1.8	1.8	23.6	30.9	49.1	5.5	1.8
30歳代	81	18.5	44.4	23.5	4.9	0.0	0.0	0.0	28.4	25.9	45.7	9.9	1.2
40歳代	190	27.4	44.2	26.3	12.1	3.7	0.5	2.6	21.1	28.9	50.5	6.3	1.1
50歳代	260	29.2	41.9	19.6	1.9	1.2	1.5	1.5	21.9	21.2	37.3	10.8	0.4
60歳代	237	35.0	44.3	31.2	1.3	0.0	4.2	2.1	14.3	18.6	36.7	8.4	2.1
70歳代以上	352	39.2	36.1	39.5	0.6	2.3	5.4	9.9	8.8	15.1	27.8	8.0	2.6

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が子どもが「いる」で高く、「可児市が故郷だから」の割合が子どもが「いない」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	1,204	32.1	41.3	28.6	3.2	1.6	2.9	4.2	16.6	21.4	37.7	8.3	1.7
いる	897	33.3	40.8	30.5	4.0	2.0	2.9	4.0	16.4	19.6	38.5	8.1	1.6
いない	299	27.8	42.8	22.7	1.0	0.3	3.0	5.0	17.7	26.4	36.1	9.0	1.7

【居住地区別】

居住地区別にみると、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が「下恵土」や「今渡」で高く、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が「桜ヶ丘ハイツ」で高くなっています。

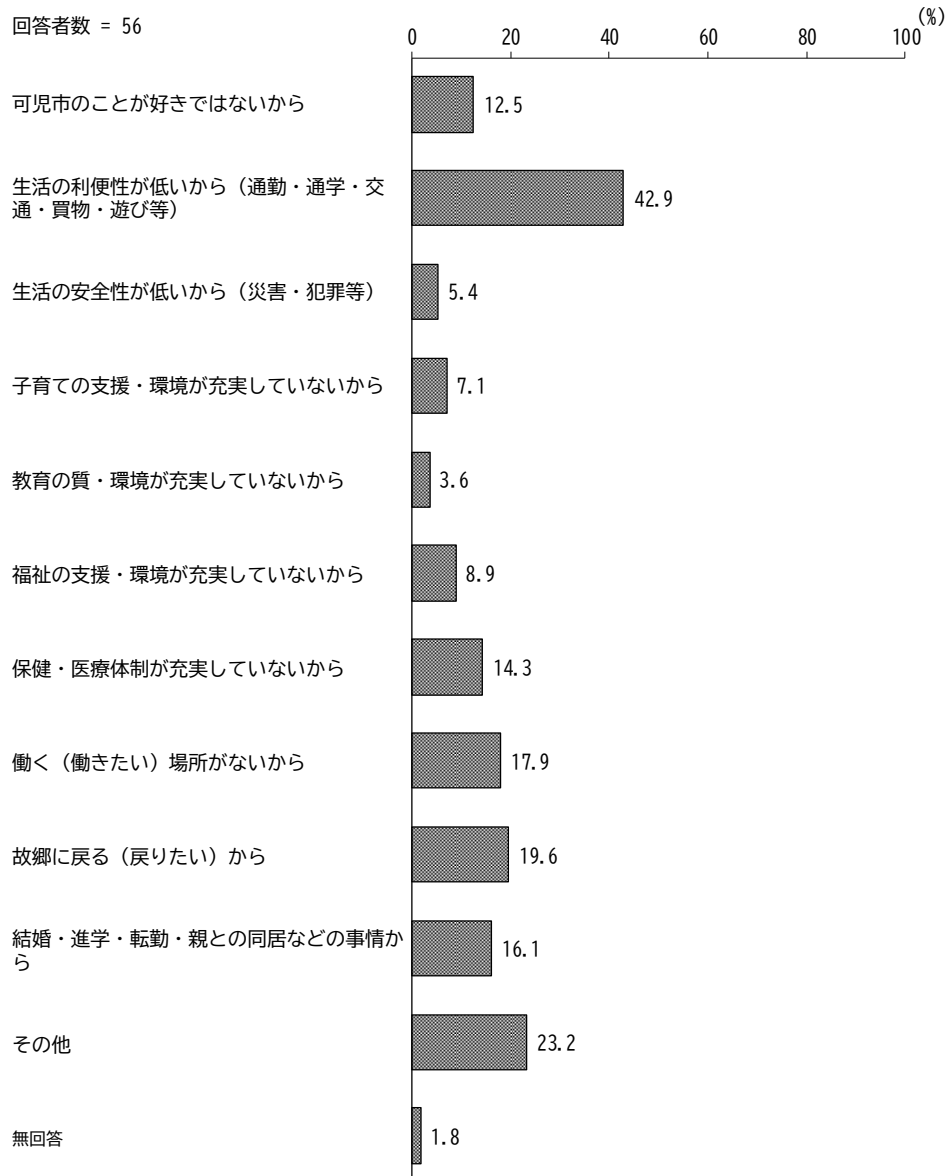
単位：％

区分	回答者数（件）	が可児市のことが好きだから（人・地域・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	1,204	32.1	41.3	28.6	3.2	1.6	2.9	4.2	16.6	21.4	37.7	8.3	1.7
今渡	75	20.0	62.7	32.0	2.7	1.3	2.7	4.0	17.3	17.3	40.0	6.7	2.7
川合	63	14.3	42.9	7.9	6.3	0.0	1.6	6.3	23.8	23.8	34.9	9.5	4.8
下恵土	120	30.8	65.0	26.7	2.5	0.8	1.7	3.3	13.3	20.8	46.7	10.8	0.0
土田	75	34.7	42.7	16.0	4.0	1.3	0.0	1.3	20.0	38.7	42.7	6.7	1.3
帷子	234	39.7	38.0	33.3	0.9	1.7	5.1	7.7	12.8	15.0	30.8	8.5	1.7
春里	93	32.3	33.3	31.2	5.4	3.2	2.2	3.2	19.4	28.0	40.9	8.6	0.0
姫治	44	29.5	31.8	15.9	0.0	2.3	0.0	4.5	22.7	22.7	40.9	13.6	2.3
平牧	83	36.1	25.3	25.3	1.2	0.0	3.6	6.0	10.8	25.3	43.4	8.4	0.0
桜ヶ丘ハイツ	129	36.4	31.8	55.0	5.4	5.4	4.7	3.1	9.3	7.0	33.3	9.3	1.6
久々利	30	26.7	13.3	26.7	0.0	0.0	3.3	0.0	16.7	36.7	26.7	10.0	6.7
広見東	32	37.5	46.9	15.6	0.0	0.0	3.1	6.3	21.9	37.5	50.0	6.3	0.0
広見	85	32.9	54.1	21.2	4.7	0.0	0.0	1.2	23.5	24.7	32.9	5.9	1.2
中恵土	41	29.3	53.7	22.0	4.9	0.0	2.4	4.9	19.5	24.4	48.8	4.9	2.4
兼山	20	25.0	15.0	30.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0
不明	69	27.5	33.3	24.6	8.7	1.4	2.9	1.4	27.5	17.4	33.3	4.3	1.4

【問8で3(住み続けたくない)を選択された方に伺います】

問10 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「生活の利便性が低いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)」の割合が42.9%と最も高く、次いで「故郷に戻る(戻りたい)から」の割合が19.6%、「働く(働きたい)場所がないから」の割合が17.9%となっています。



【性別】

性別にみると、男性では「保健・医療体制が充実していないから」の割合が高く、女性では「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可見市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	12.5	42.9	5.4	7.1	3.6	8.9	14.3	17.9	19.6	16.1	23.2	1.8
男性	20	15.0	25.0	5.0	10.0	5.0	5.0	25.0	10.0	20.0	20.0	30.0	5.0
女性	36	11.1	52.8	5.6	5.6	2.8	11.1	8.3	22.2	19.4	13.9	19.4	0.0

【年代別】

年代別にみると、「生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が50歳代以上で高く、「故郷に戻る（戻りたい）から」の割合が60歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可見市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	12.5	42.9	5.4	7.1	3.6	8.9	14.3	17.9	19.6	16.1	23.2	1.8
10歳代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
20歳代	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0
30歳代	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
40歳代	9	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0
50歳代	16	6.3	56.3	12.5	12.5	6.3	0.0	12.5	25.0	25.0	18.8	25.0	0.0
60歳代	8	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	62.5	0.0	25.0	0.0
70歳代以上	11	18.2	45.5	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	54.5	9.1

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「働く（働きたい）場所がないから」の割合が子どもが「いない」で高く、「保健・医療体制が充実していないから」の割合が子どもが「いる」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	12.5	42.9	5.4	7.1	3.6	8.9	14.3	17.9	19.6	16.1	23.2	1.8
いる	35	14.3	42.9	8.6	11.4	5.7	8.6	17.1	8.6	17.1	17.1	28.6	0.0
いない	20	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	35.0	25.0	15.0	15.0	5.0

【居住地区別】

地区別では有効回答者数が少ないため、コメントは差し控えます。

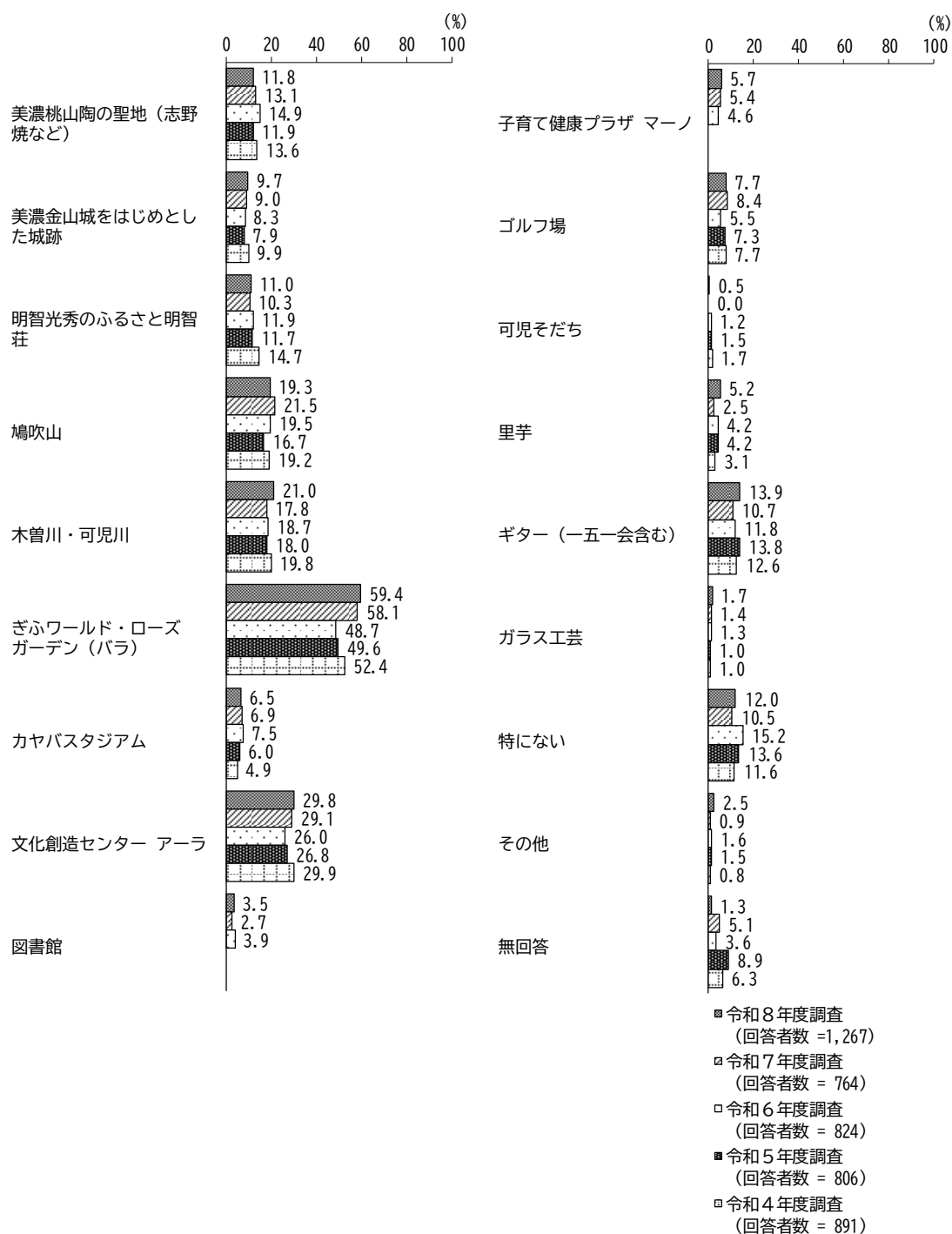
単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	12.5	42.9	5.4	7.1	3.6	8.9	14.3	17.9	19.6	16.1	23.2	1.8
今渡	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
川合	5	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
下恵土	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
土田	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
帷子	13	7.7	53.8	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	38.5	0.0
春里	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
姫治	6	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0
平牧	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
桜ヶ丘ハイツ	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
久々利	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
広見東	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
中恵土	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
兼山	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	7	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	28.6	14.3	0.0	42.9	14.3

問 11 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。(〇は3つまで)

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「文化創造センター アーラ」の割合が 29.8%、「木曽川・可児川」の割合が 21.0%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「木曽川・可児川」、「ギター（一五一会含む）」の割合が増加しています。



※令和5年度調査以前では、「図書館」、「子育て健康プラザ マーノ」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「ゴルフ場」の割合は男性で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「文化創造センター アーラ」、「子育て健康プラザ マーノ」の割合は女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアーラ	図書館	子育て健康プラザマーノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	1,267	11.8	9.7	11.0	19.3	21.0	59.4	6.5	29.8	3.5	5.7	7.7	0.5
男性	549	11.7	10.0	12.2	18.4	23.5	51.2	6.0	26.0	3.5	2.7	11.8	0.7
女性	708	12.0	9.5	10.2	19.9	18.9	65.8	6.9	32.8	3.5	8.1	4.5	0.3
区分	里芋	むぎ（ギター）（一五一会含む）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答							
全体	5.2	13.9	1.7	12.0	2.5	1.3							
男性	4.6	13.1	0.9	14.0	2.6	1.6							
女性	5.8	14.5	2.3	10.3	2.4	1.1							

【年代別】

年代別にみると、「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合は70歳代以上で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合は10歳代で、「ギター（一五一会含む）」の割合は10歳代、40歳代、50歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアイラ	図書館	子育て健康プラザマノノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	1,267	11.8	9.7	11.0	19.3	21.0	59.4	6.5	29.8	3.5	5.7	7.7	0.5
10歳代	28	10.7	10.7	7.1	3.6	10.7	78.6	25.0	32.1	3.6	14.3	0.0	0.0
20歳代	60	3.3	3.3	6.7	20.0	18.3	58.3	8.3	20.0	5.0	6.7	5.0	0.0
30歳代	84	3.6	7.1	15.5	8.3	13.1	72.6	10.7	23.8	4.8	20.2	8.3	0.0
40歳代	199	7.0	5.5	12.6	16.1	19.6	58.8	8.0	33.7	5.0	12.1	7.5	1.0
50歳代	277	8.7	9.4	13.4	22.0	19.5	58.5	6.5	31.4	1.4	2.5	6.1	0.4
60歳代	249	12.9	11.6	9.2	19.7	20.9	62.7	5.6	28.1	4.4	3.6	8.8	0.8
70歳代以上	364	19.5	12.4	9.6	22.5	26.1	54.1	3.6	30.8	2.7	1.9	9.1	0.3

区分	里芋	む（ギター（一五一会含む）	ガラス工芸	特にな	その他	無回答
全体	5.2	13.9	1.7	12.0	2.5	1.3
10歳代	17.9	25.0	3.6	3.6	7.1	0.0
20歳代	5.0	13.3	3.3	11.7	3.3	0.0
30歳代	2.4	14.3	0.0	14.3	3.6	0.0
40歳代	5.0	20.1	1.0	13.6	1.5	0.5
50歳代	5.4	18.4	2.9	15.9	2.5	0.4
60歳代	4.0	11.2	2.0	10.4	3.2	0.4
70歳代以上	5.8	8.2	0.8	9.6	1.6	3.3

【居住地区別】

居住地区別にみると、「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」、「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合は「久々利」や「兼山」で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合は「姫治」、「広見東」、「広見」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアラ	図書館	子育て健康プラザ	ゴルフ場	可児そだち
全体	1,267	11.8	9.7	11.0	19.3	21.0	59.4	6.5	29.8	3.5	5.7	7.7	0.5
今渡	79	7.6	8.9	10.1	20.3	27.8	51.9	3.8	30.4	1.3	2.5	10.1	1.3
川合	68	8.8	8.8	10.3	10.3	25.0	57.4	5.9	23.5	2.9	7.4	4.4	0.0
下恵土	124	10.5	7.3	10.5	17.7	16.1	57.3	8.1	35.5	3.2	7.3	12.9	0.8
土田	76	6.6	5.3	6.6	39.5	36.8	48.7	5.3	27.6	0.0	6.6	5.3	0.0
帷子	248	10.9	9.7	8.9	32.3	27.0	51.6	6.0	33.1	5.2	3.6	4.8	0.8
春里	96	9.4	5.2	10.4	24.0	20.8	58.3	20.8	25.0	4.2	7.3	5.2	1.0
姫治	50	10.0	14.0	8.0	18.0	12.0	74.0	6.0	26.0	4.0	4.0	6.0	0.0
平牧	87	17.2	6.9	13.8	10.3	13.8	66.7	3.4	20.7	3.4	5.7	6.9	0.0
桜ヶ丘ハイツ	133	15.8	9.8	9.0	9.0	12.8	68.4	2.3	39.8	5.3	6.8	11.3	0.0
久々利	32	43.8	18.8	9.4	12.5	21.9	62.5	9.4	6.3	0.0	0.0	9.4	0.0
広見東	33	12.1	18.2	27.3	15.2	21.2	69.7	6.1	12.1	0.0	3.0	12.1	0.0
広見	88	11.4	11.4	21.6	11.4	12.5	69.3	5.7	38.6	4.5	10.2	5.7	1.1
中恵土	43	11.6	2.3	9.3	7.0	14.0	62.8	11.6	30.2	4.7	11.6	9.3	0.0
兼山	20	10.0	75.0	5.0	5.0	20.0	40.0	5.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0
不明	76	5.3	2.6	9.2	14.5	27.6	63.2	1.3	26.3	1.3	5.3	11.8	0.0

区分	里芋	むギター（一五一会含）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全体	5.2	13.9	1.7	12.0	2.5	1.3
今渡	5.1	12.7	1.3	12.7	2.5	2.5
川合	7.4	8.8	0.0	16.2	1.5	1.5
下恵土	3.2	14.5	0.0	12.9	1.6	0.8
土田	5.3	14.5	2.6	11.8	3.9	1.3
帷子	7.3	12.9	2.8	10.9	2.0	0.8
春里	3.1	11.5	6.3	14.6	2.1	2.1
姫治	8.0	20.0	2.0	10.0	0.0	2.0
平牧	4.6	10.3	0.0	13.8	5.7	1.1
桜ヶ丘ハイツ	6.0	19.5	0.8	10.5	0.8	0.8
久々利	0.0	15.6	3.1	9.4	0.0	3.1
広見東	3.0	27.3	3.0	15.2	3.0	0.0
広見	3.4	17.0	0.0	8.0	3.4	1.1
中恵土	2.3	11.6	0.0	14.0	7.0	2.3
兼山	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0	0.0
不明	7.9	9.2	0.0	11.8	2.6	0.0

【居住年数別】

居住年数別にみると、「文化創造センター アーラ」の割合が「10 年以上 20 年未満」で高く、「木曽川・可児川」の割合が「3 年未満」、「20 年以上」で高くなっています。

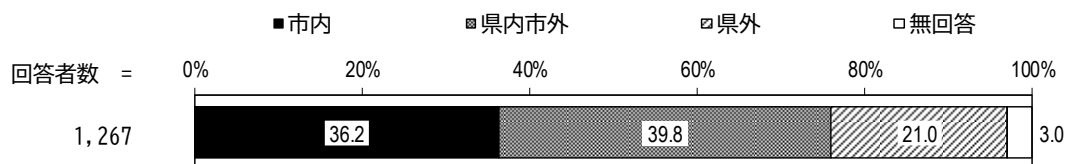
単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センター アーラ	図書館	子育て健康プラザ マノノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	1,267	11.8	9.7	11.0	19.3	21.0	59.4	6.5	29.8	3.5	5.7	7.7	0.5
3年未満	61	3.3	6.6	9.8	11.5	26.2	57.4	4.9	16.4	6.6	9.8	9.8	0.0
3年以上5年未満	27	11.1	7.4	11.1	18.5	7.4	55.6	0.0	18.5	7.4	18.5	3.7	0.0
5年以上10年未満	59	5.1	3.4	15.3	11.9	6.8	50.8	5.1	23.7	0.0	13.6	8.5	0.0
10年以上20年未満	169	7.1	7.7	13.0	16.0	17.2	66.3	14.2	41.4	4.7	10.7	5.3	0.0
20年以上	699	14.3	11.6	9.4	21.5	24.0	59.8	5.4	31.3	3.3	3.9	8.3	0.1
生まれてからずっと	241	12.0	7.9	13.3	19.9	19.5	56.8	5.8	24.1	2.5	3.3	7.5	2.1
区分	里芋	むぎ （ギター ー） （一五一 会含	ガラ ス工 芸	特 に な い	そ の 他	無 回 答							
全体	5.2	13.9	1.7	12.0	2.5	1.3							
3年未満	1.6	18.0	0.0	11.5	8.2	0.0							
3年以上5年未満	0.0	14.8	3.7	18.5	3.7	0.0							
5年以上10年未満	5.1	15.3	5.1	23.7	0.0	3.4							
10年以上20年未満	4.7	22.5	1.8	5.9	3.0	0.6							
20年以上	5.4	10.9	1.4	10.7	2.6	1.4							
生まれてからずっと	6.6	15.4	1.7	16.6	0.8	0.8							

(3)余暇の過ごし方について

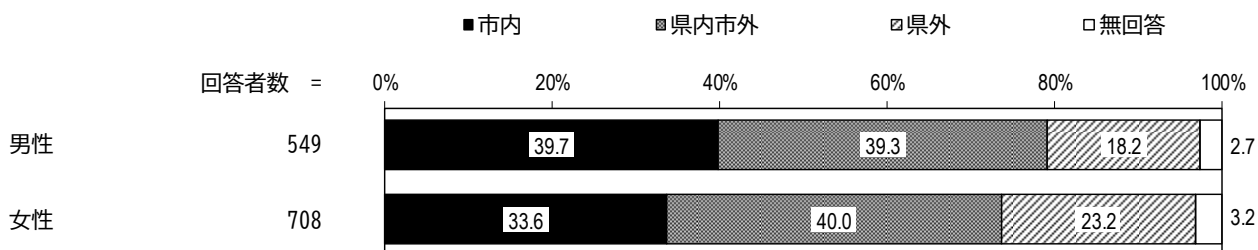
問 12 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。(○は1つだけ)

「県内市外」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「市内」の割合が 36.2%、「県外」の割合が 21.0%となっています。



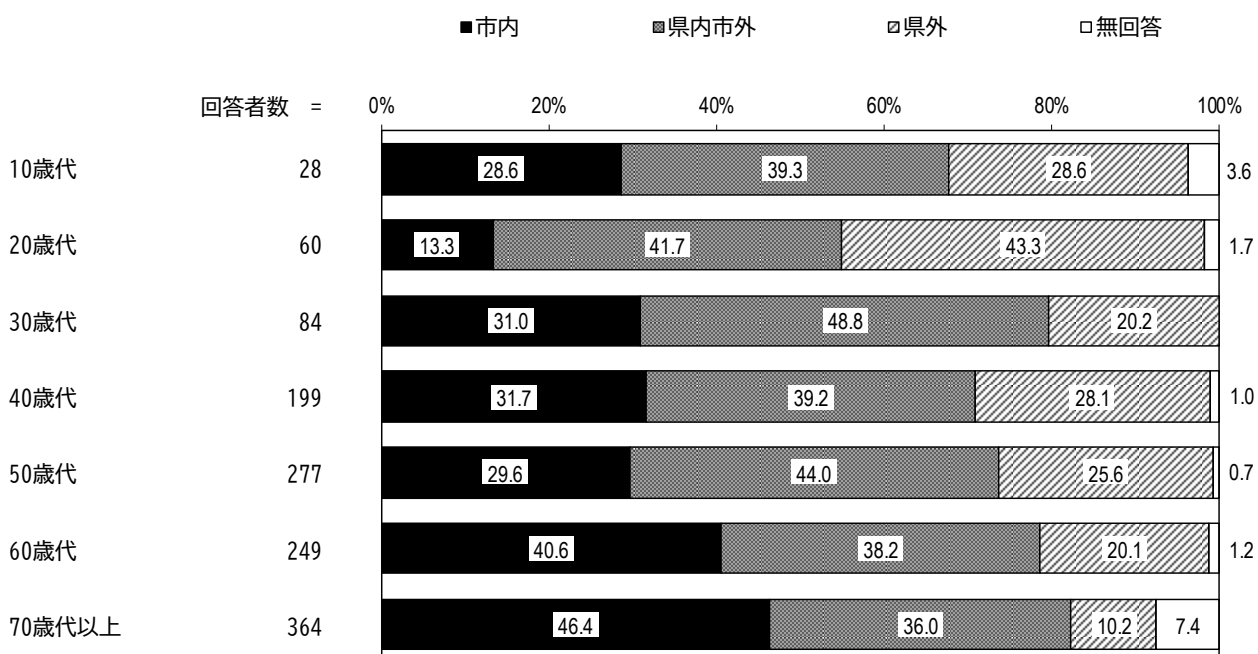
【性別】

性別にみると、「市内」の割合が男性で高く、「県外」の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

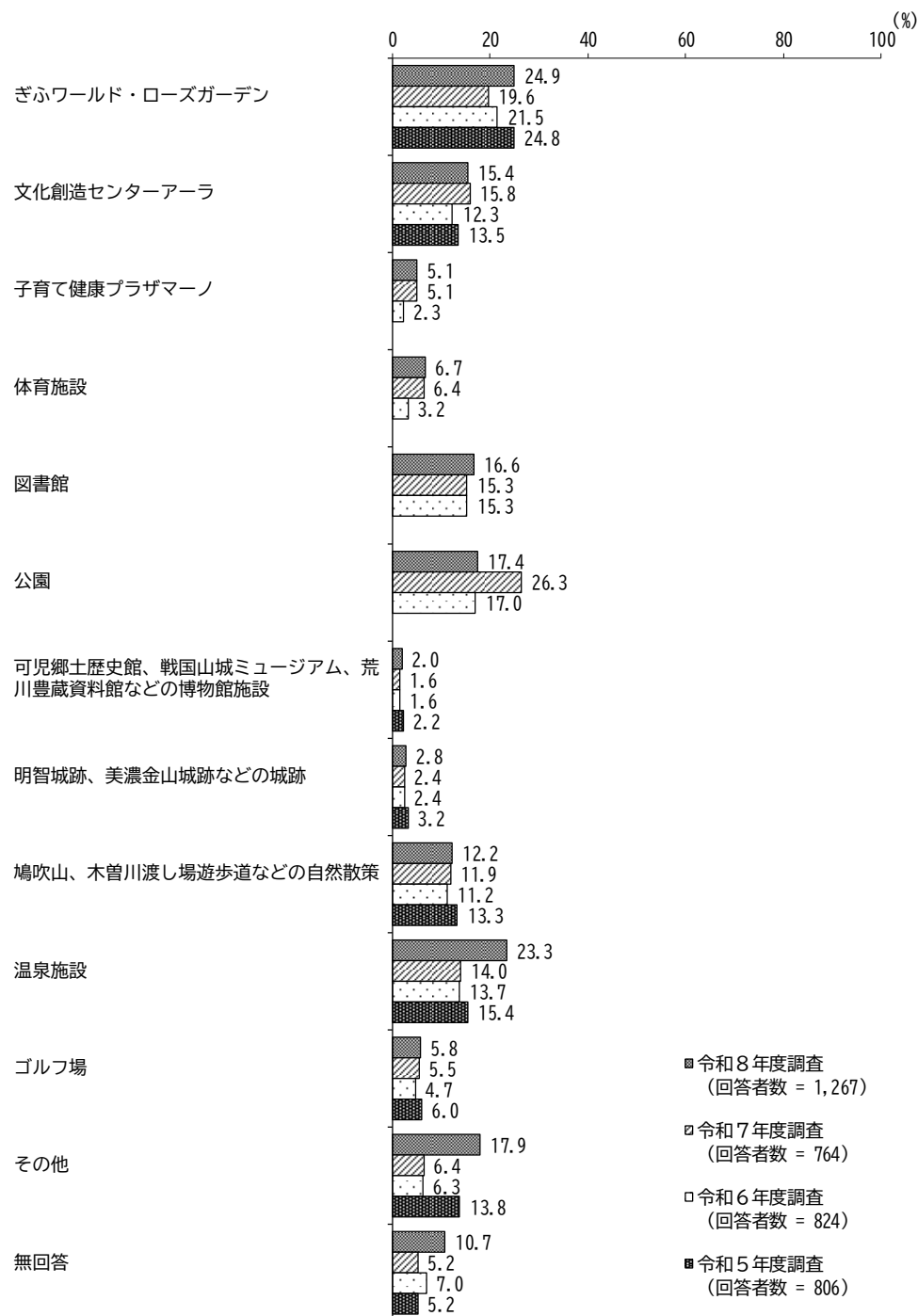
年代別にみると、「市内」の割合が70歳代以上で高く、「県外」の割合が20歳代で高くなっています。



問 13 市内でよく行くところはどこですか。(複数回答可)

「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「温泉施設」の割合が 23.3%、「公園」の割合が 17.4%となっています。

令和 7 年度調査と比較すると、「ぎふワールド・ローズガーデン」、「温泉施設」の割合が増加しています。



※令和 5 年度調査では、「子育て健康プラザマーノ」、「体育施設」、「図書館」、「公園」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「ゴルフ場」の割合が男性で高く、「ぎふワールド・ローズガーデン」、「文化創造センターアーラ」、「子育て健康プラザマーノ」の割合が女性で高くなっています。

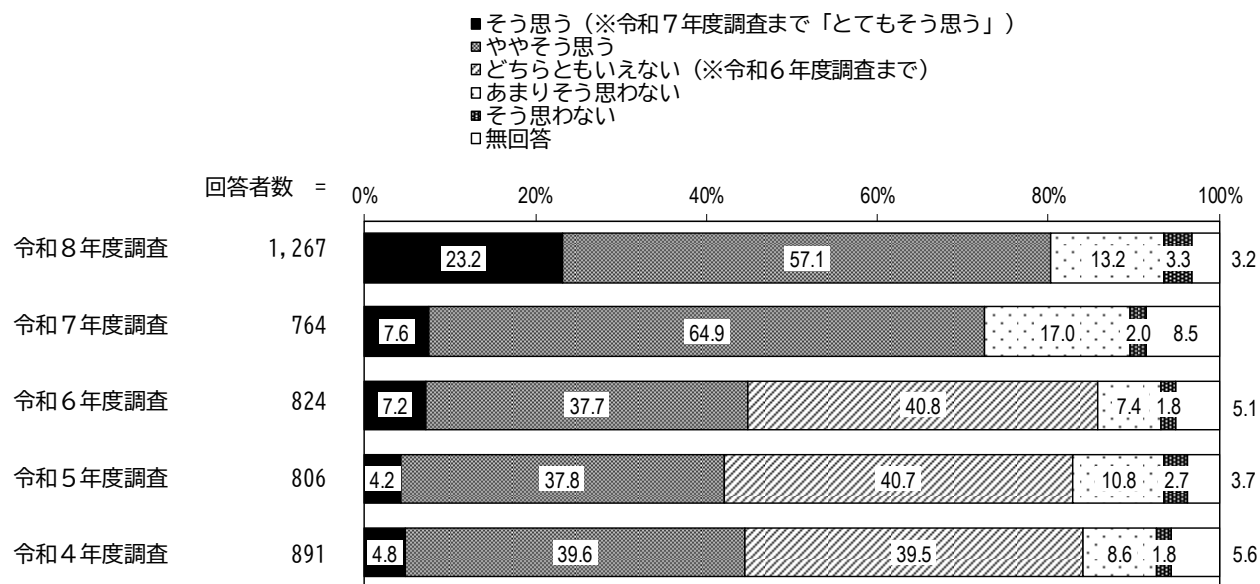
単位：％

区分	回答者数（件）	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアーラ	子育て健康プラザマーノ	体育施設	図書館	公園	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館などの博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡などの城跡	鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道などの自然散策	温泉施設	ゴルフ場	その他	無回答
全体	1,267	24.9	15.4	5.1	6.7	16.6	17.4	2.0	2.8	12.2	23.3	5.8	17.9	10.7
男性	549	21.5	11.7	2.6	7.5	14.8	18.2	2.6	3.1	12.8	23.1	10.0	18.4	10.2
女性	708	27.4	18.2	7.1	6.1	18.1	16.9	1.6	2.5	11.9	23.4	2.5	17.7	11.0

(4)子育て環境について

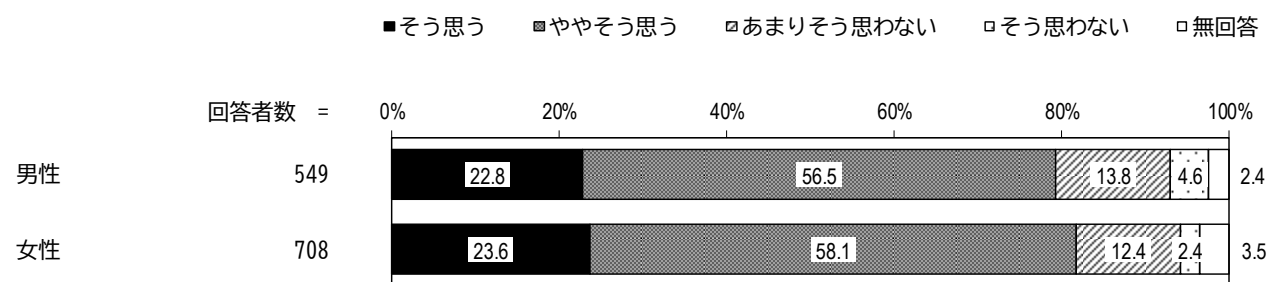
問 14 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が80.3%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が16.5%となっています。



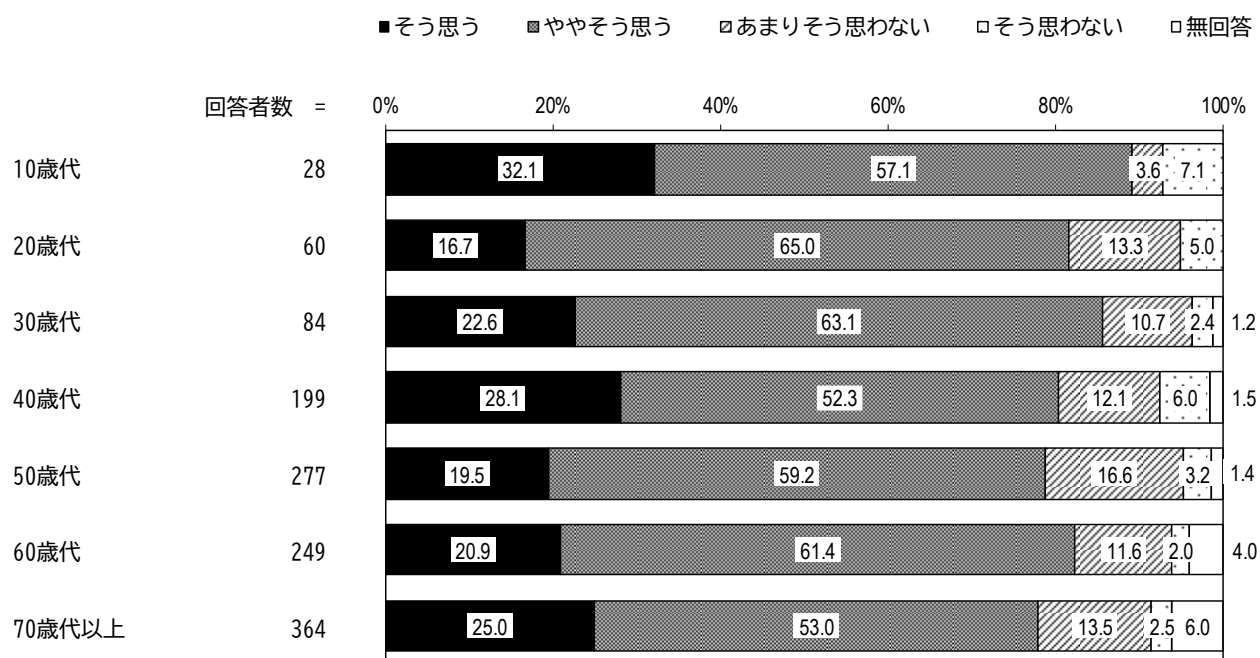
【性別】

性別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が女性で高くなっています。



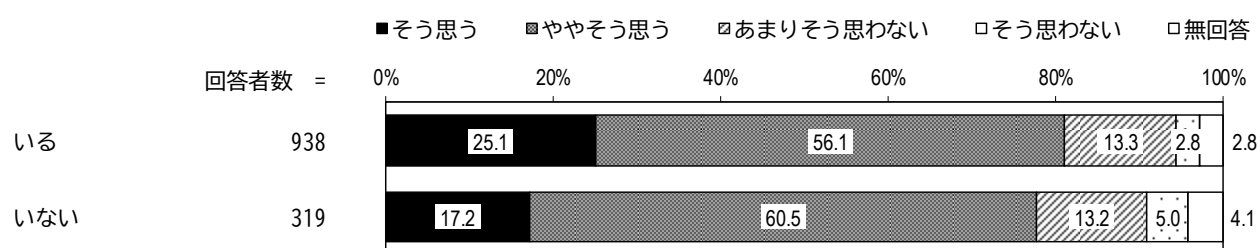
【年代別】

年代別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合は10歳代、30歳代で高くなっています。



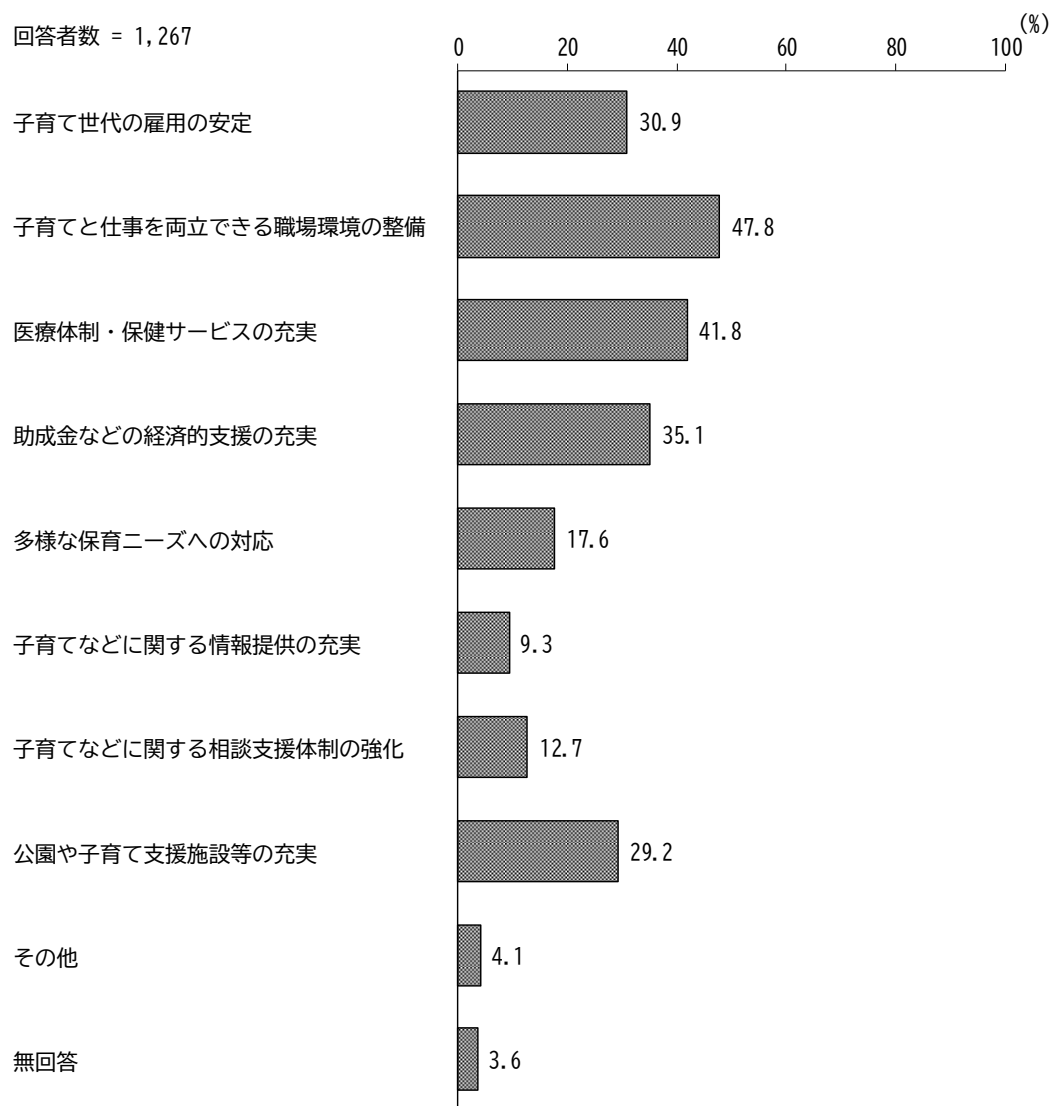
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が子どもが「いる」で高くなっています。



問 15 子育てしやすいまちづくりのために、市はどのようなことを重視して取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「医療体制・保健サービスの充実」の割合が 41.8%、「助成金などの経済的支援の充実」の割合が 35.1%となっています。



【性別】

性別にみると、「子育て世代の雇用の安定」、「医療体制・保健サービスの充実」、「助成金などの経済的支援の充実」の割合が男性で高く、「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」、「公園や子育て支援施設等の充実」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境の整備	医療体制・保健サービスの充実	助成金などの経済的支援の充実	多様な保育ニーズへの対応	子育てなどに関する情報提供の充実	子育てなどに関する相談支援体制の強化	公園や子育て支援施設等の充実	その他	無回答
全体	1,267	30.9	47.8	41.8	35.1	17.6	9.3	12.7	29.2	4.1	3.6
男性	549	34.6	43.4	45.2	38.6	14.8	9.1	10.4	25.9	5.1	3.1
女性	708	28.0	51.6	39.3	32.3	19.9	9.5	14.5	31.8	3.4	4.0

【年代別】

年代別にみると、「助成金などの経済的支援の充実」の割合が20歳代、30歳代、40歳代で高く、「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」の割合が30歳代で高くなっています。

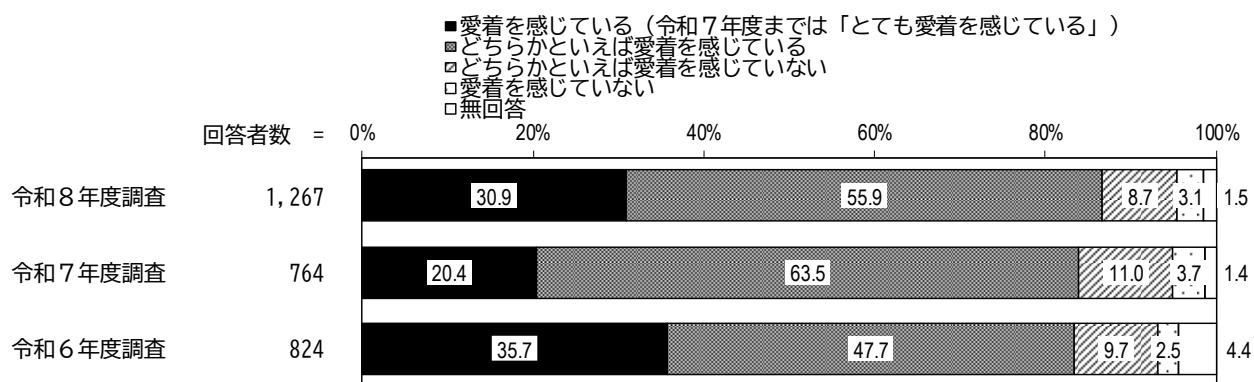
単位：％

区分	回答者数（件）	子育て世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境の整備	医療体制・保健サービスの充実	助成金などの経済的支援の充実	多様な保育ニーズへの対応	子育てなどに関する情報提供の充実	子育てなどに関する相談支援体制の強化	公園や子育て支援施設等の充実	その他	無回答
全体	1,267	30.9	47.8	41.8	35.1	17.6	9.3	12.7	29.2	4.1	3.6
10歳代	28	35.7	46.4	39.3	39.3	10.7	14.3	17.9	50.0	0.0	3.6
20歳代	60	35.0	48.3	45.0	46.7	16.7	8.3	8.3	31.7	3.3	5.0
30歳代	84	27.4	57.1	28.6	56.0	20.2	8.3	17.9	35.7	4.8	0.0
40歳代	199	23.6	43.2	44.2	44.7	14.6	8.0	10.6	32.7	5.5	2.5
50歳代	277	28.9	47.3	41.2	34.3	20.2	7.6	13.4	31.0	5.8	1.1
60歳代	249	29.7	47.0	41.8	29.7	24.5	10.0	10.8	27.3	4.0	2.0
70歳代以上	364	37.1	49.5	44.2	27.2	12.9	10.7	13.7	23.9	2.5	7.1

(5)可児市への愛着について

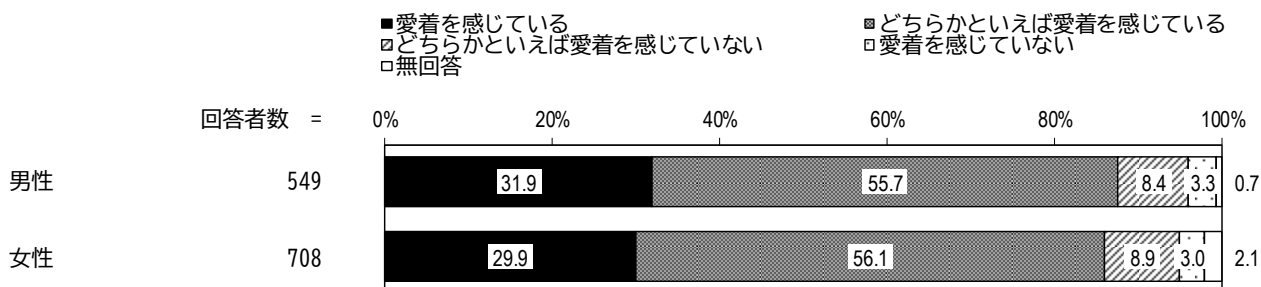
問 16 可児市に愛着を感じていますか？（○は1つだけ）

「愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた“愛着を感じている”の割合が 86.8%、「どちらかといえば愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた“愛着を感じていない”の割合が 11.8%となっています。



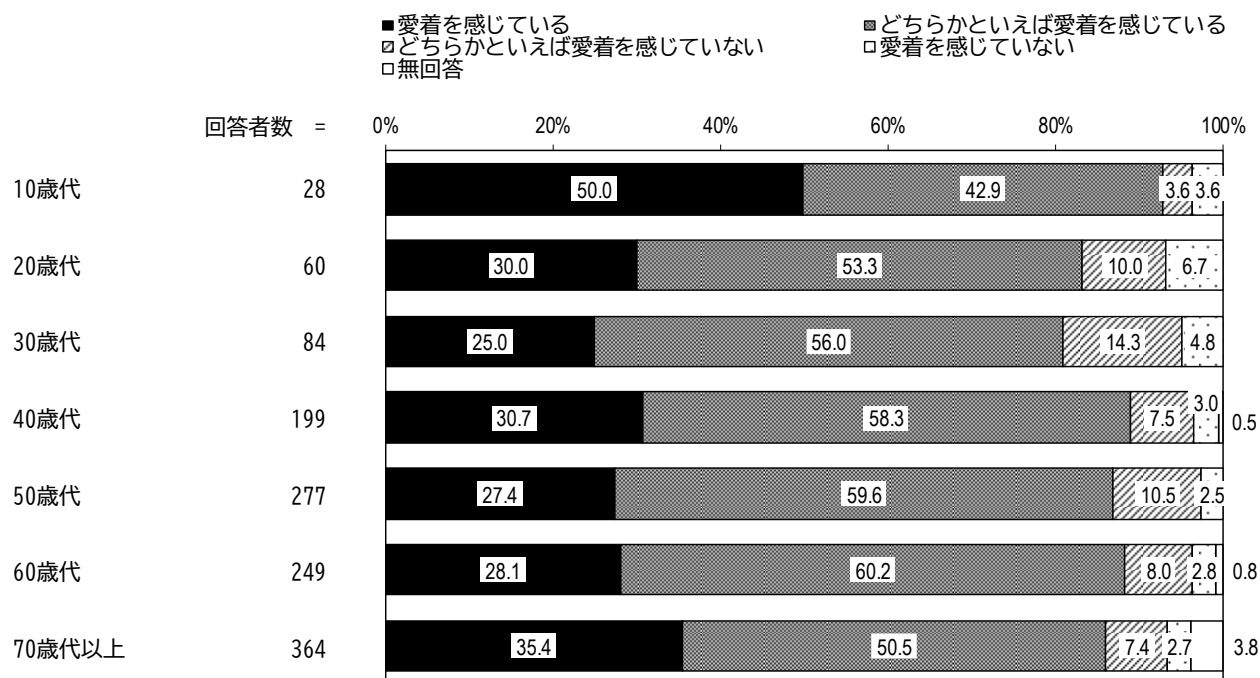
【性別】

性別による大きな差はみられません。



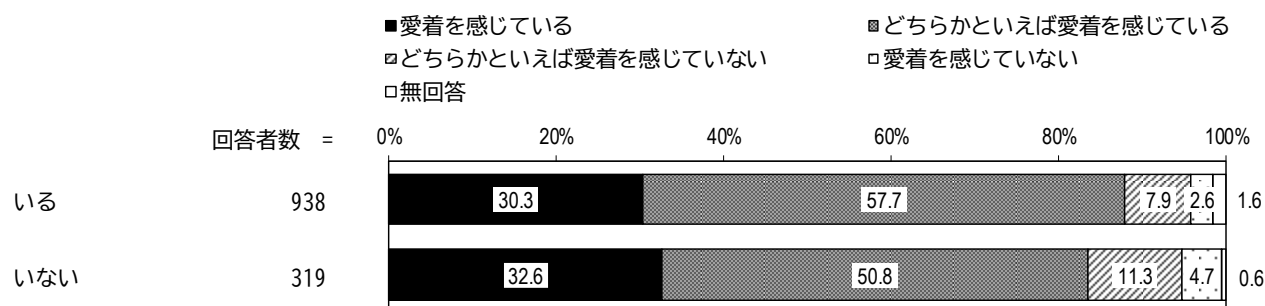
【年代別】

年代別にみると、“愛着を感じている”の割合は10歳代で高く、“愛着を感じていない”の割合は30歳代で高くなっています。



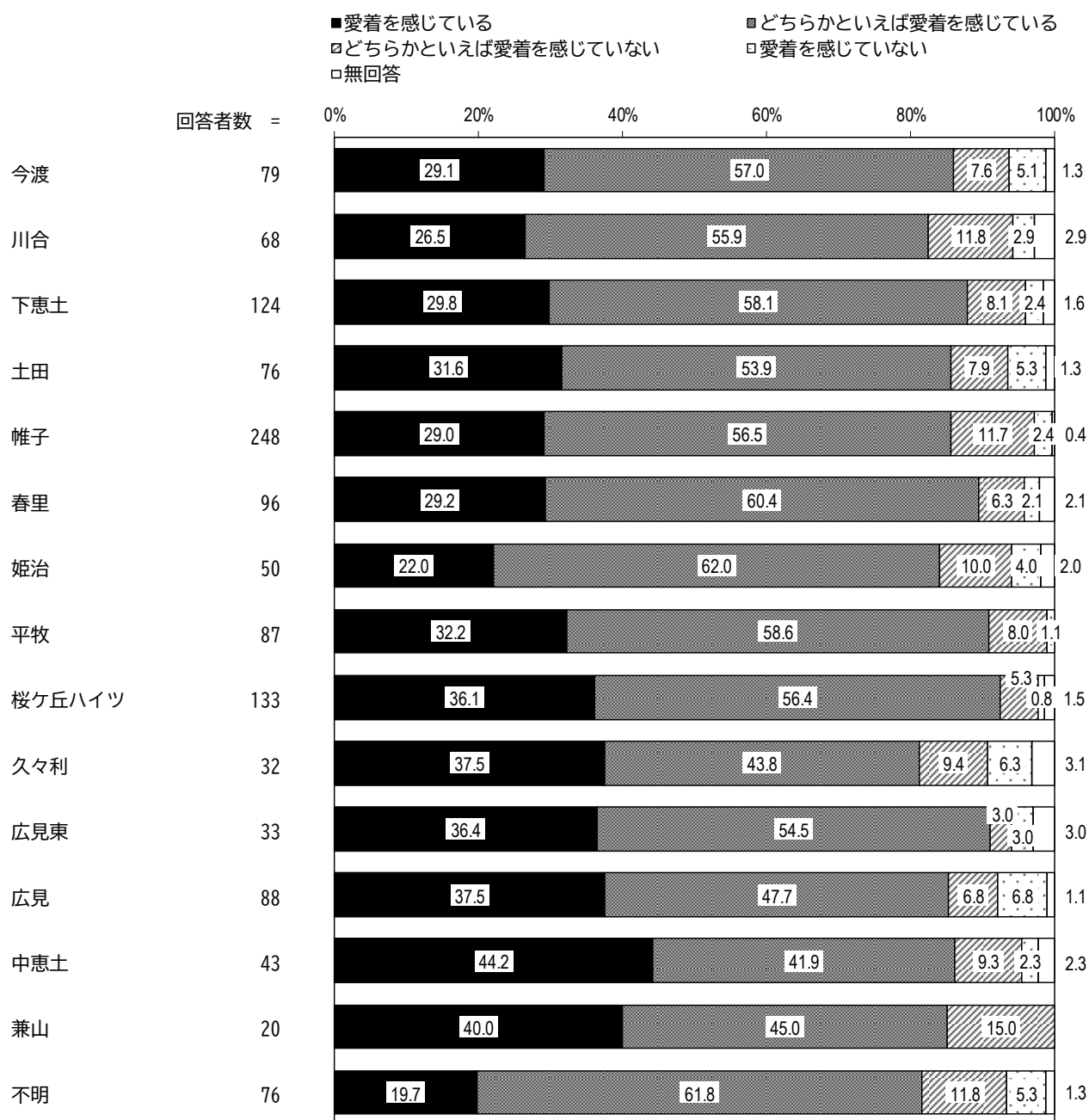
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、“愛着を感じていない”の割合は子どもが「いない」で高くなっています。



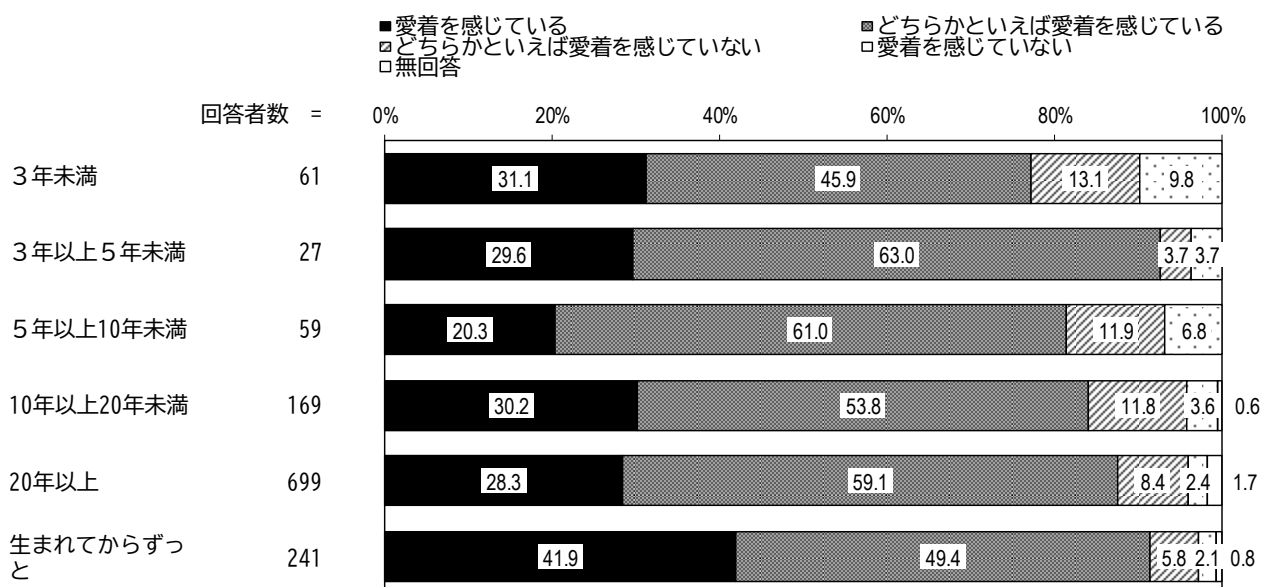
【居住地区別】

居住地区別にみると、“愛着を感じている”の割合は「桜ヶ丘ハイツ」、「平牧」、「広見東」で高くなっています。



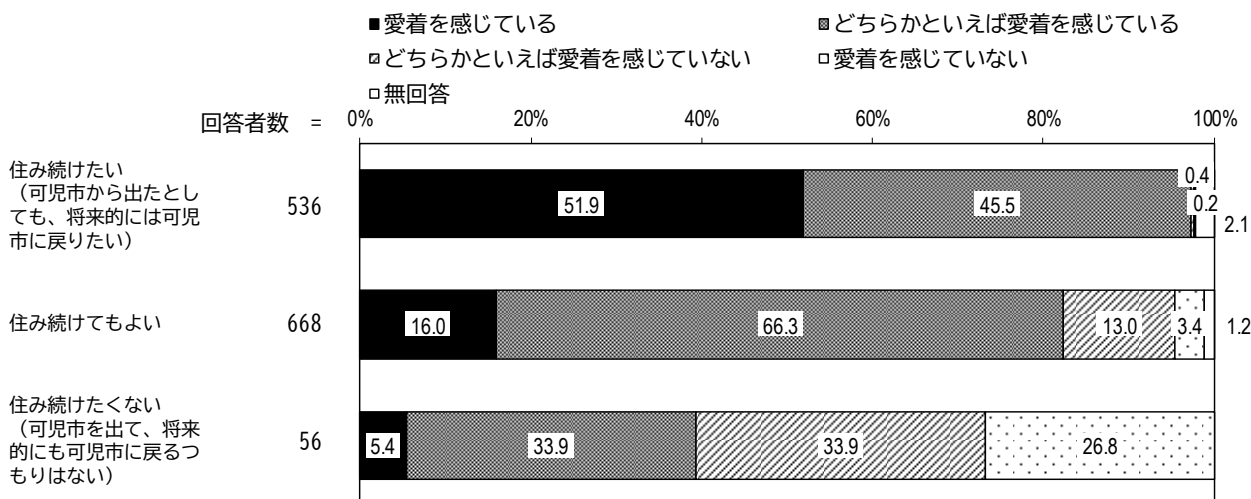
【居住年数別】

居住年数別にみると、“愛着を感じている”の割合は「3年以上5年未満」、「生まれてからずっと」で高く、“愛着を感じていない”の割合は「3年未満」で高くなっています。



【可児市への定住意向別】

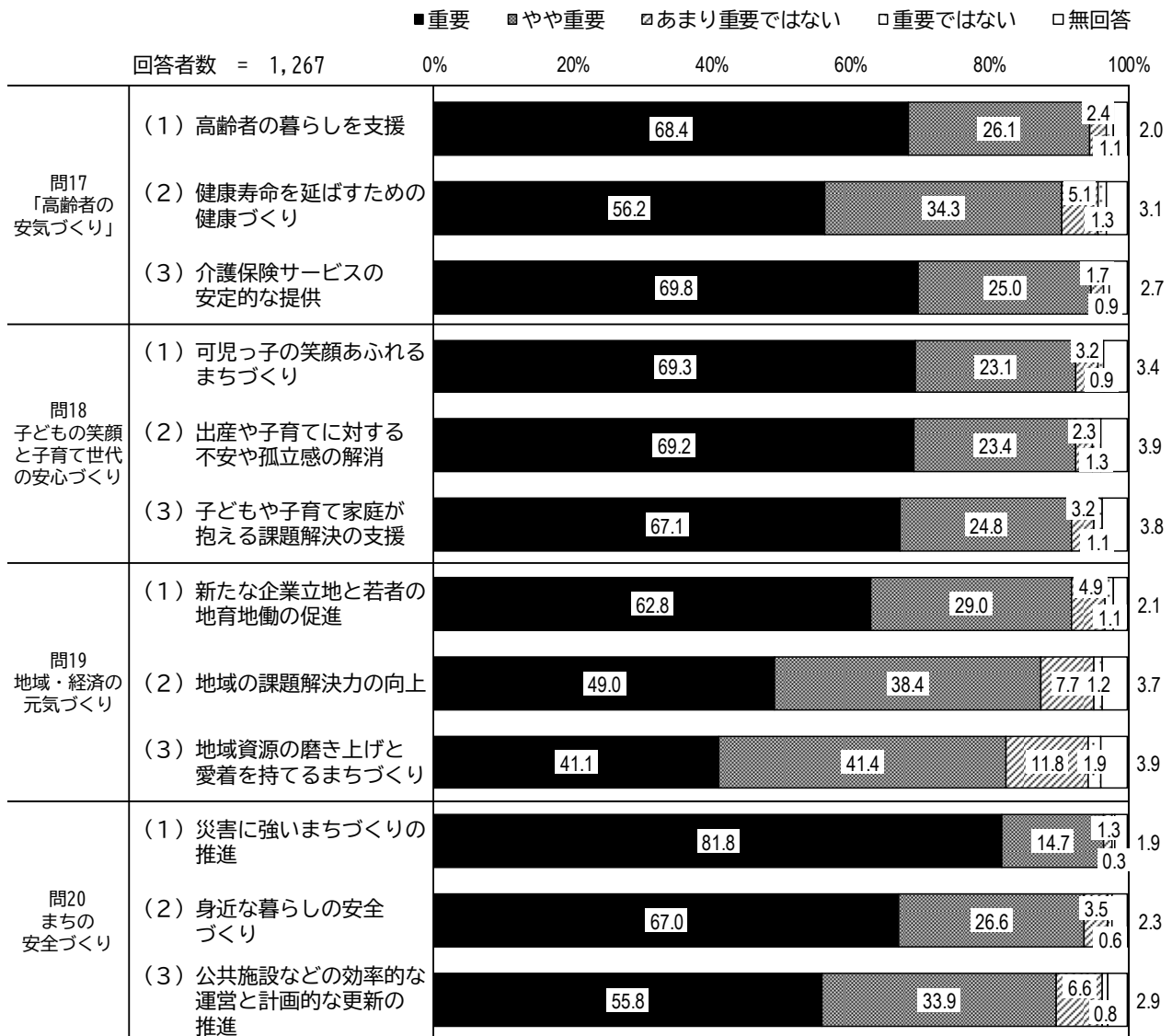
可児市への定住意向別にみると、“愛着を感じている”の割合が「住み続けたくない（可児市を出て、将来的にも可児市に戻るつもりはない）」で低くなっています。



(6)施策の重要度と満足度について

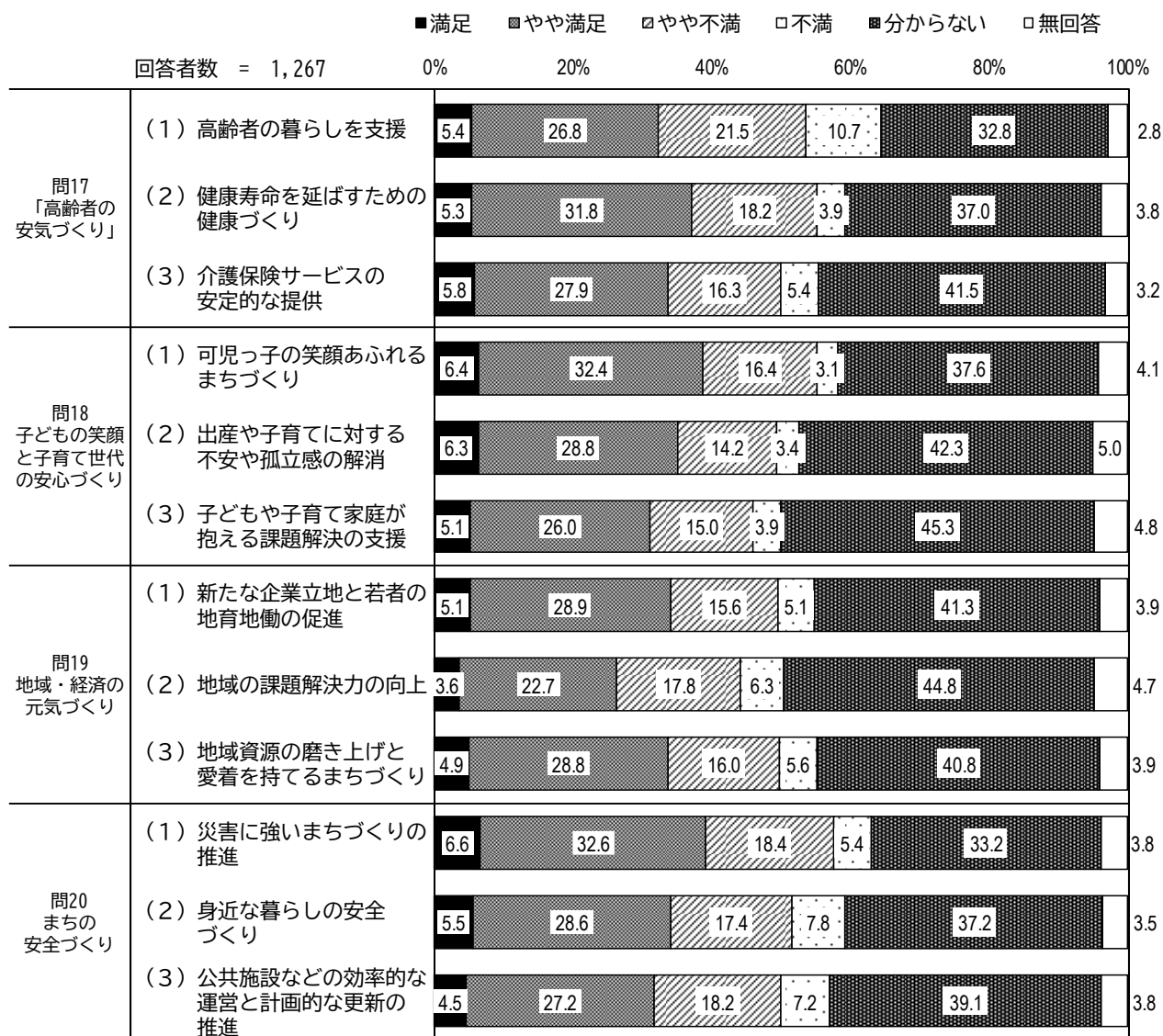
施策の重要度一覧

「災害に強いまちづくりの推進」で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が96.5%と最も高く、次いで「介護保険サービスの安定的な提供」、「高齢者の暮らしを支援」が高くなっています。一方、「地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり」は82.5%と他の施策と比べて低くなっていますが、約8割が“重要”と回答しています。



施策の満足度一覧

「災害に強いまちづくりの推進」で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が39.2%と最も高く、次いで「可児っ子の笑顔あふれるまちづくり」、「健康寿命を延ばすための健康づくり」で高くなっています。一方、「高齢者の暮らしを支援」で「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”が32.2%と最も高く、次いで「公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進」、「身近な暮らしの安全づくり」で高くなっています。

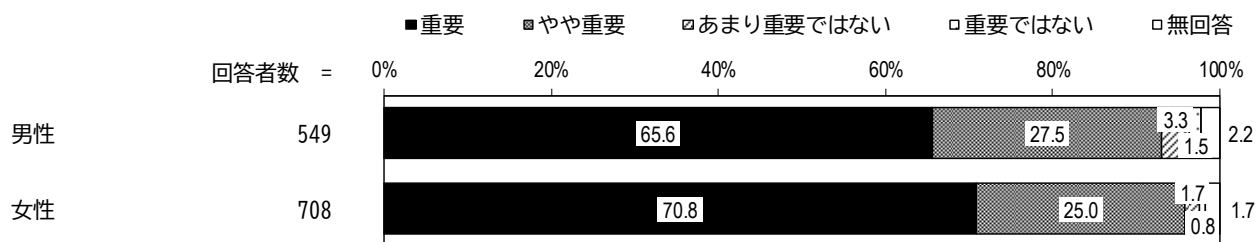


問 17 市政経営計画の重点方針「高齢者の安気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)高齢者の暮らしを支援 ①重要度

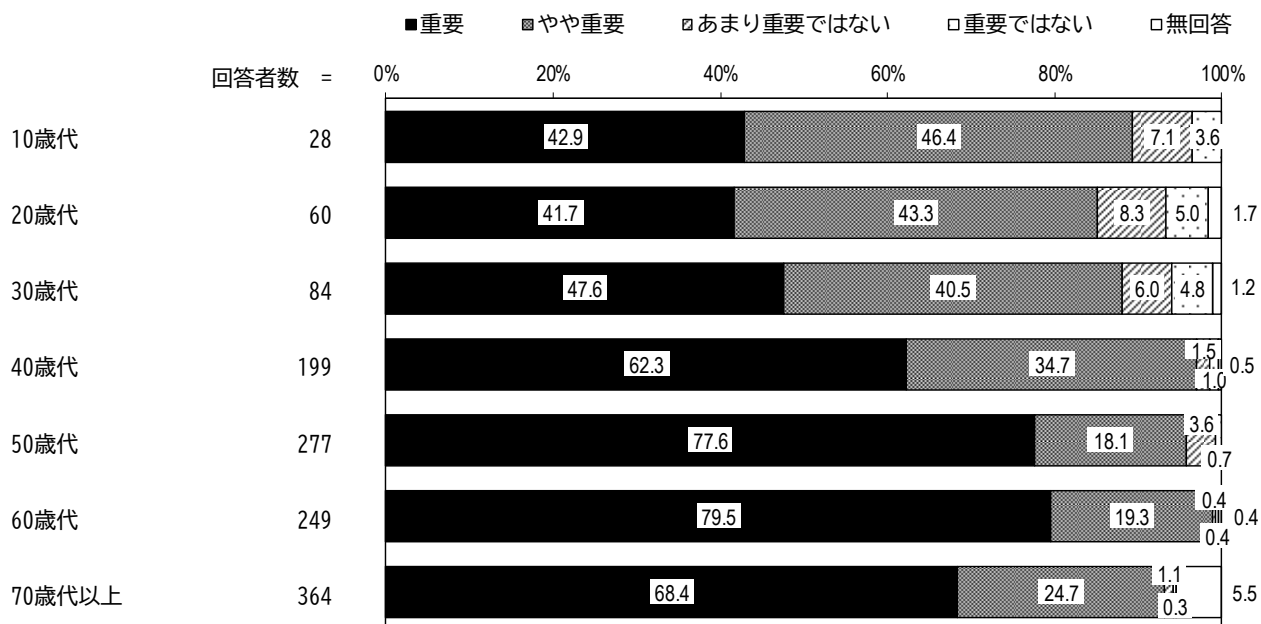
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



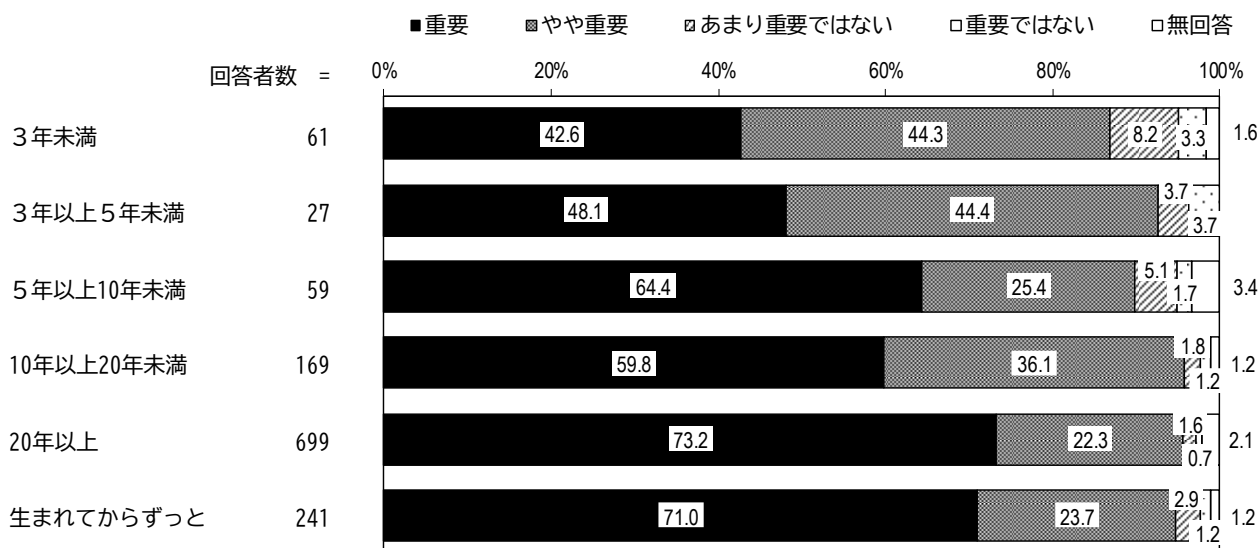
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が40歳代から60歳代で高くなっています。



【居住年数別】

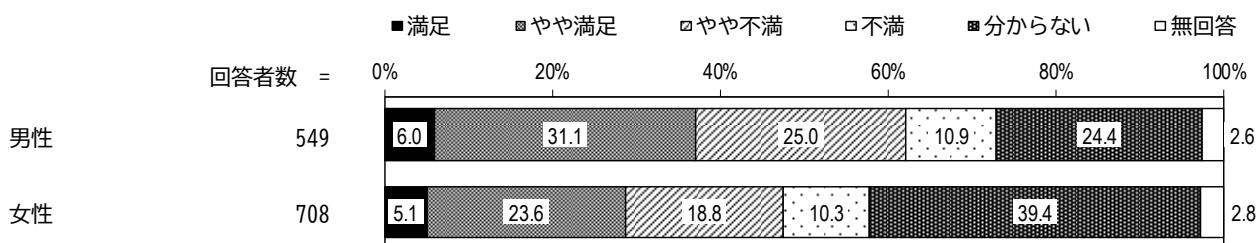
居住年数別にみると、“重要”の割合が「10年以上20年未満」で高くなっています。



(1)高齢者の暮らしを支援 ②満足度

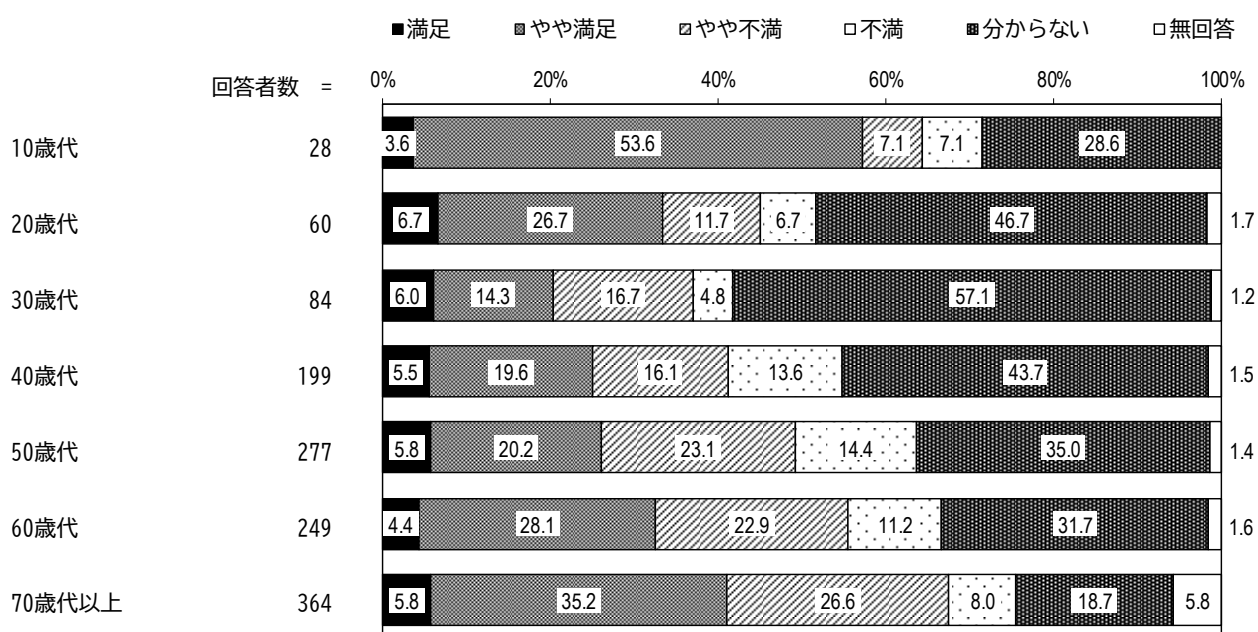
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



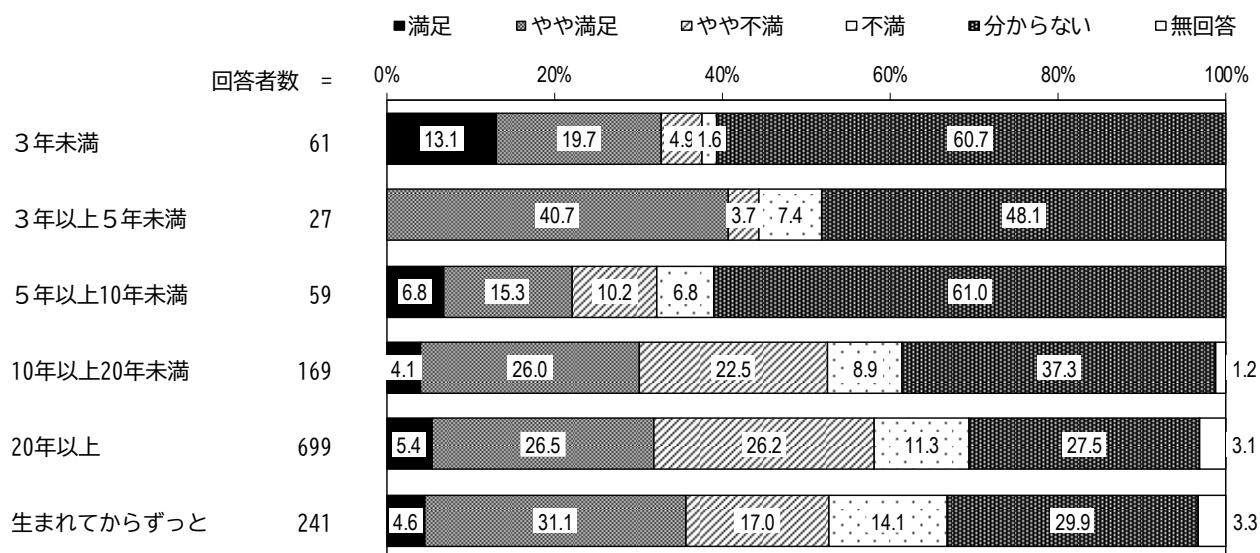
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、70歳代以上で高く、“不満”の割合が50歳代以降で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」、「生まれてからずっと」で高く、“不満”の割合が「20年以上」で高くなっています。

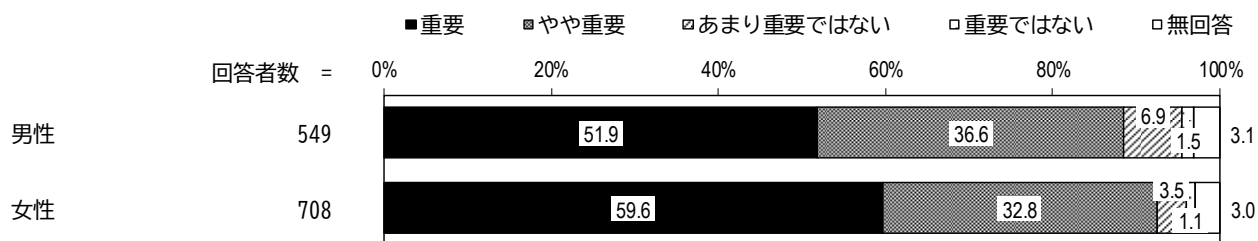


問17 「高齢者の安気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)健康寿命を延ばすための健康づくり ①重要度

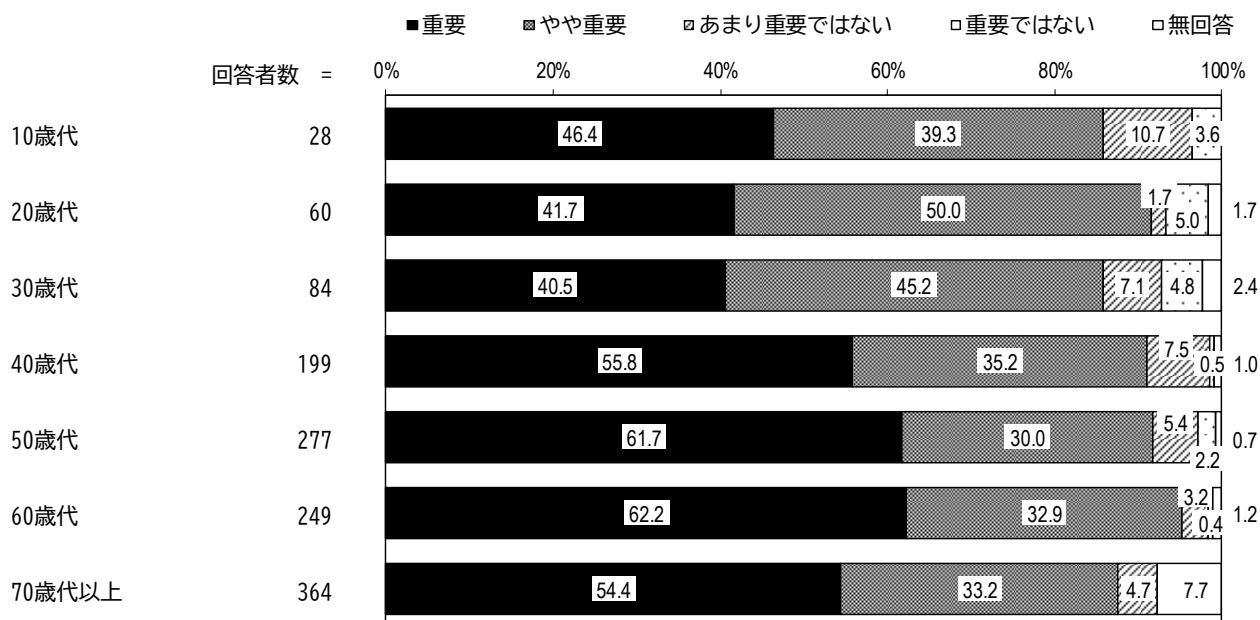
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



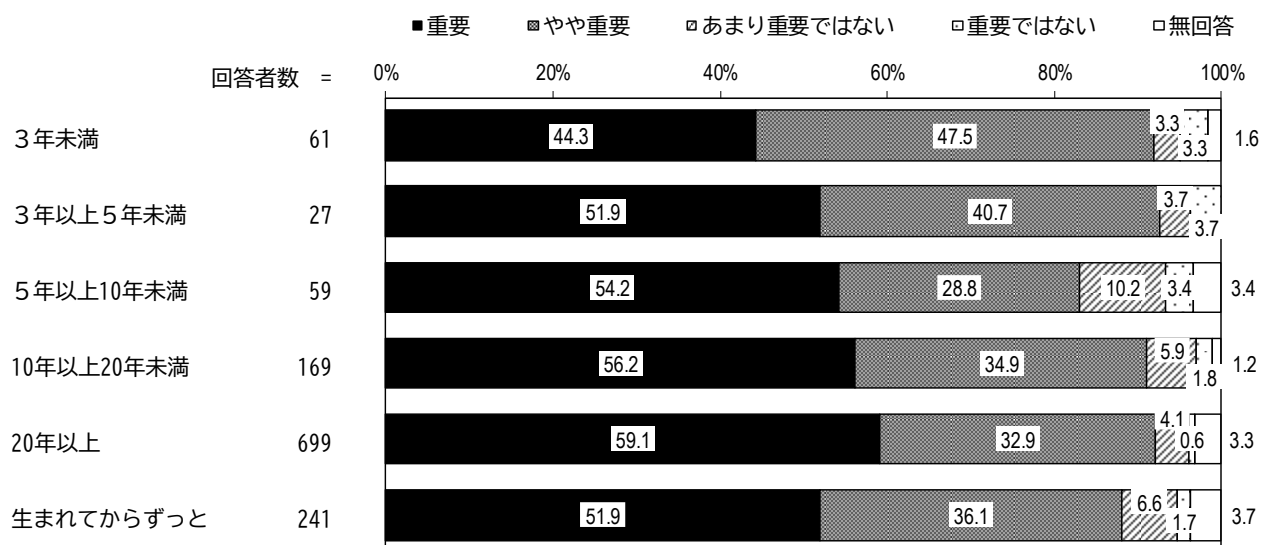
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が60歳代で高くなっています。



【居住年数別】

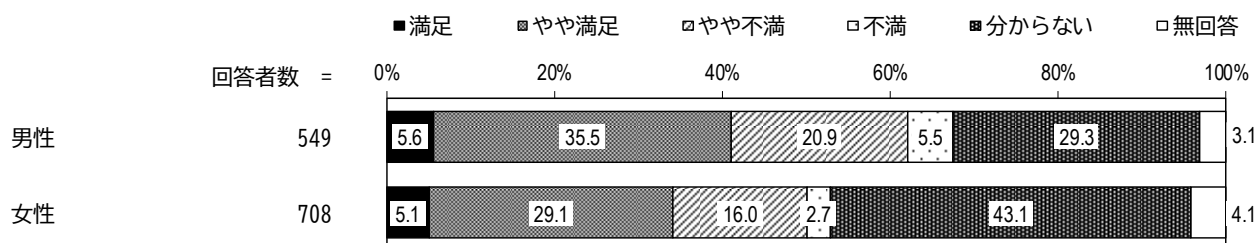
居住年数別にみると、「重要」の割合が「20 年以上」で高くなっています。



(2)健康寿命を延ばすための健康づくり ②満足度

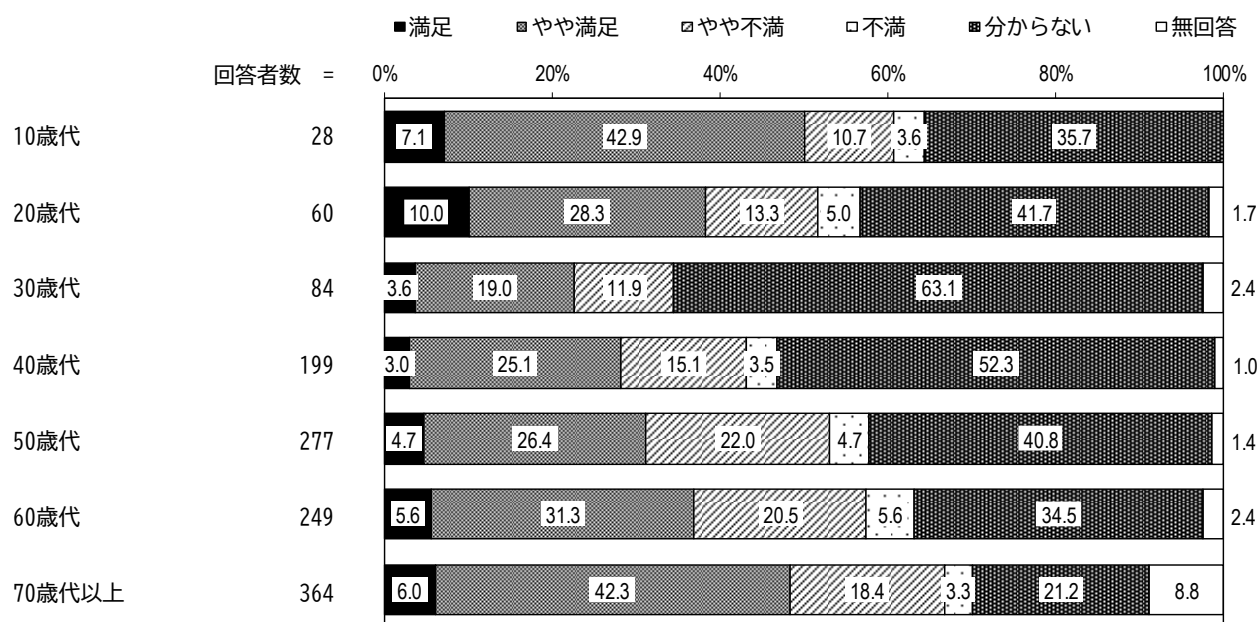
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



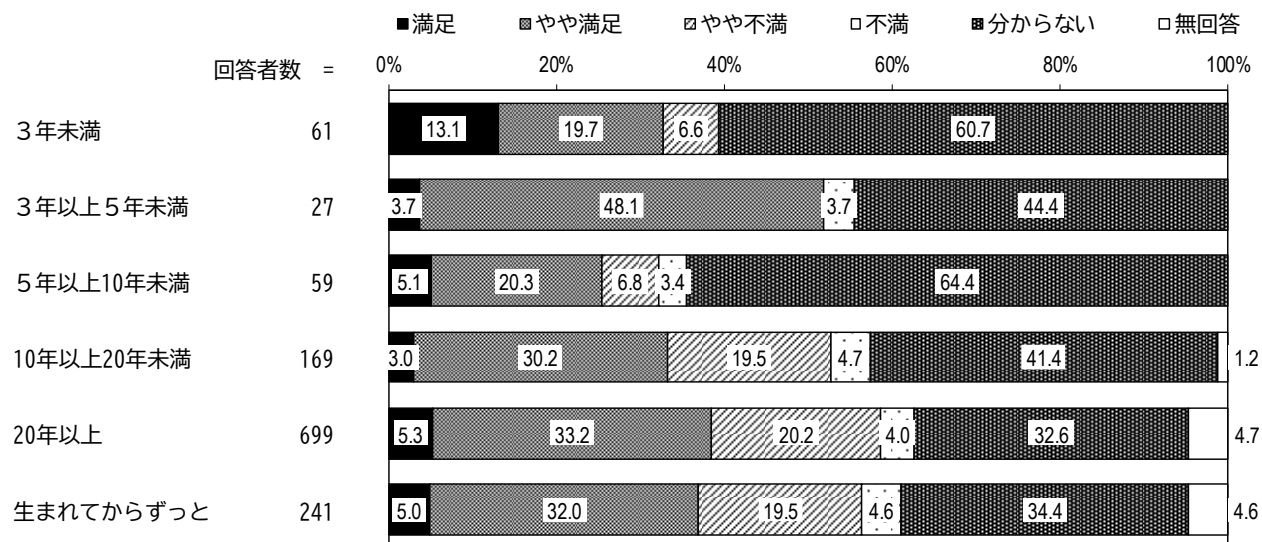
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、70歳代以上で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高くなっています。

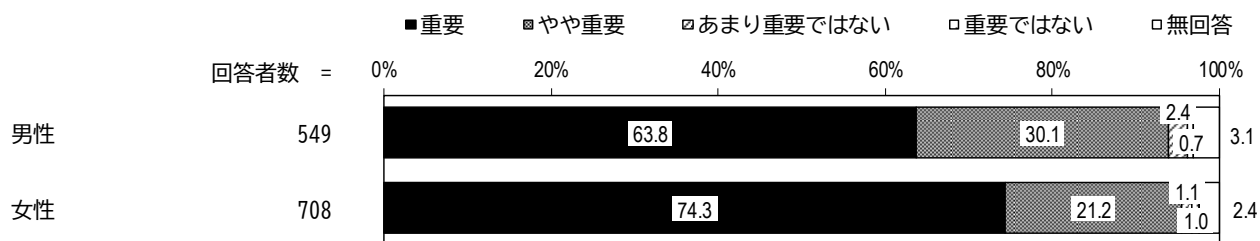


問17 「高齢者の安気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)介護保険サービスの安定的な提供 ①重要度

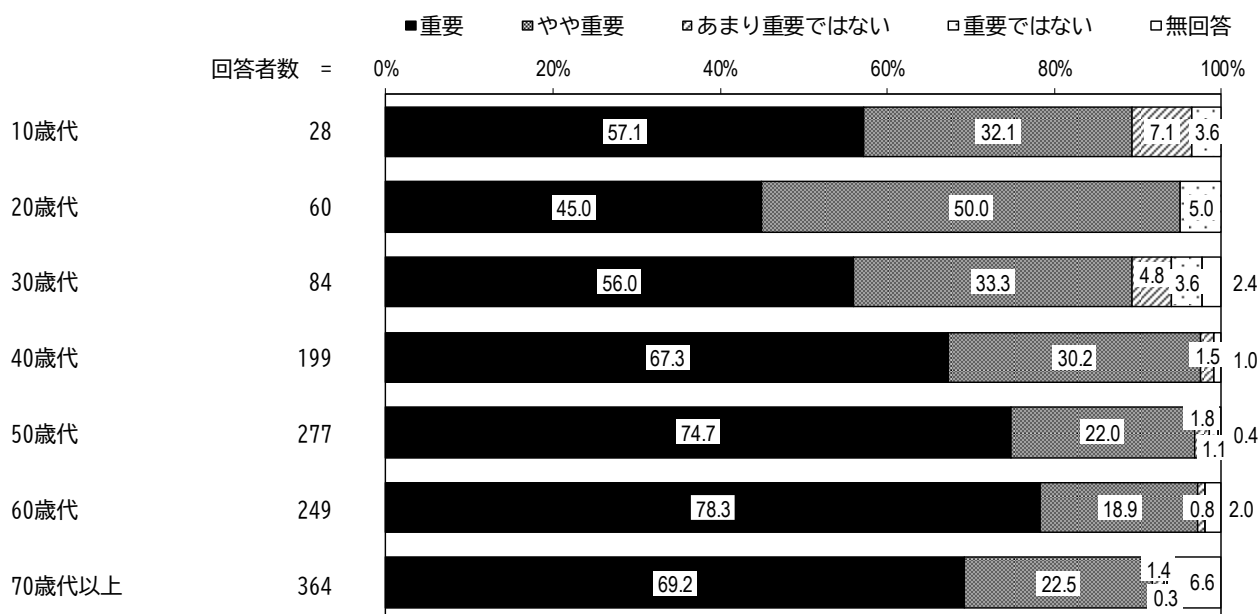
【性別】

性別にみると、「重要」の割合は女性で高くなっています。



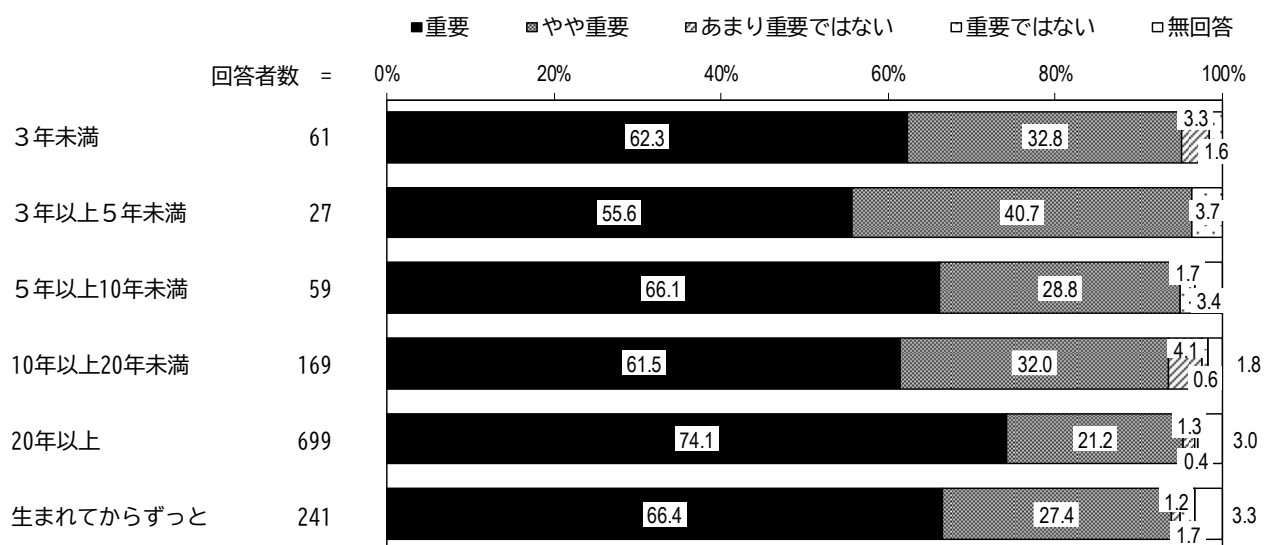
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合は40歳代から60歳代で高くなっています。



【居住年数別】

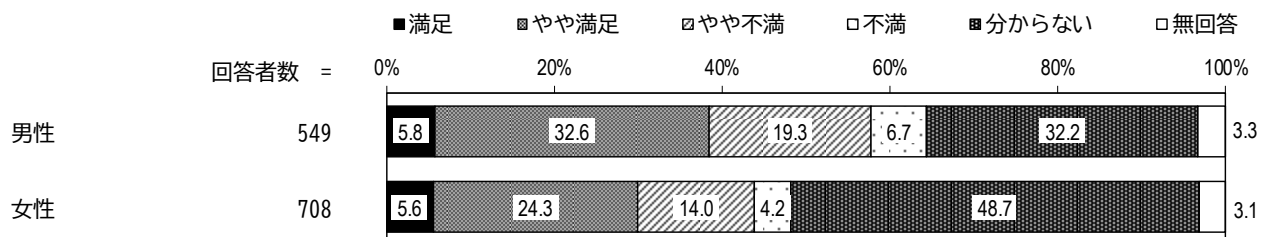
居住年数別にみると、「重要」の割合が「20 年以上」で高くなっています。



(3)介護保険サービスの安定的な提供 ②満足度

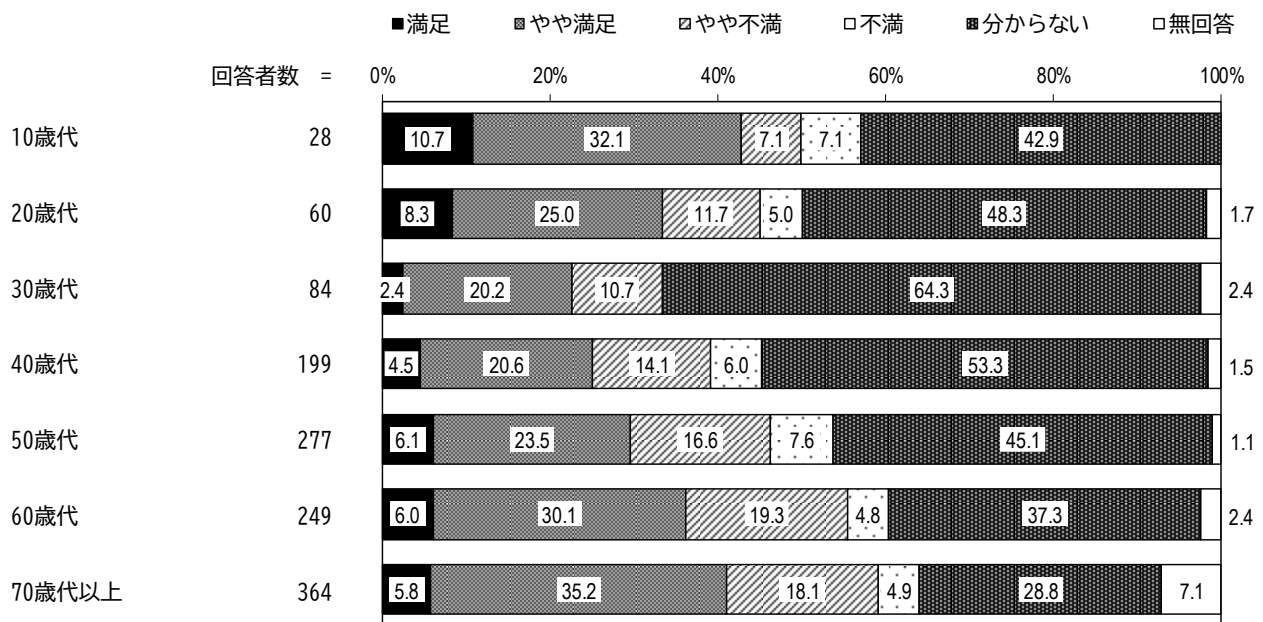
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



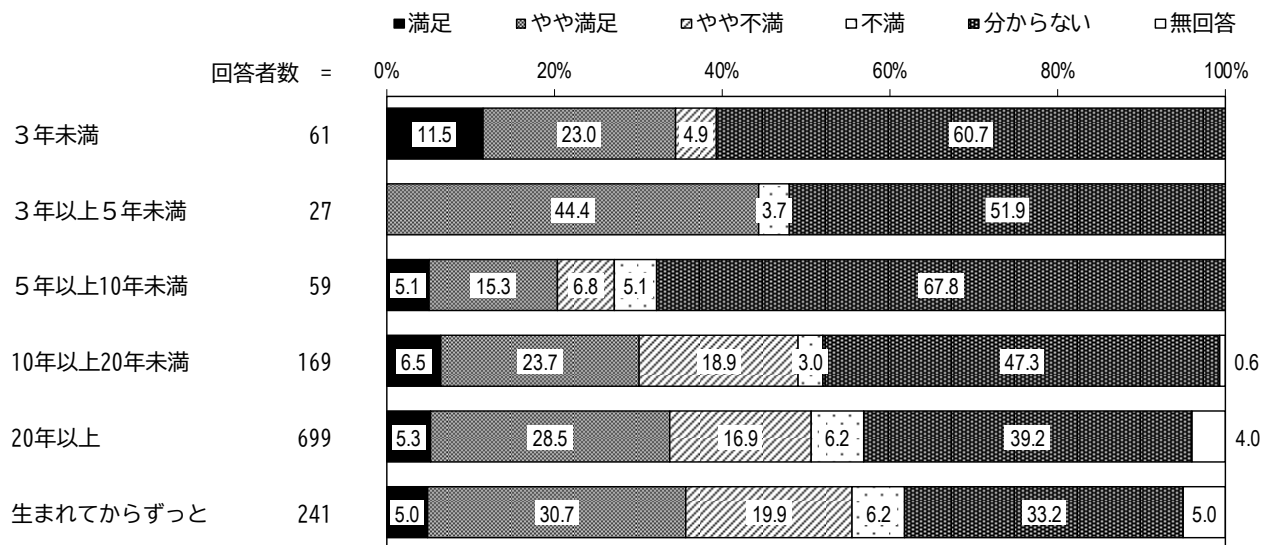
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、70歳代以上で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高くなっています。

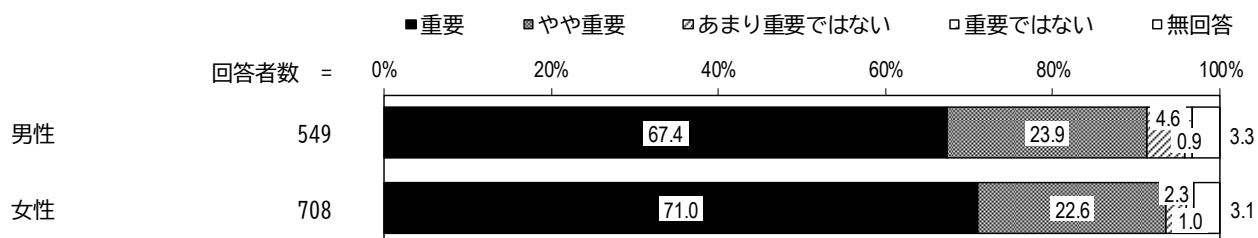


問 18 市政経営計画の重点方針「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり ①重要度

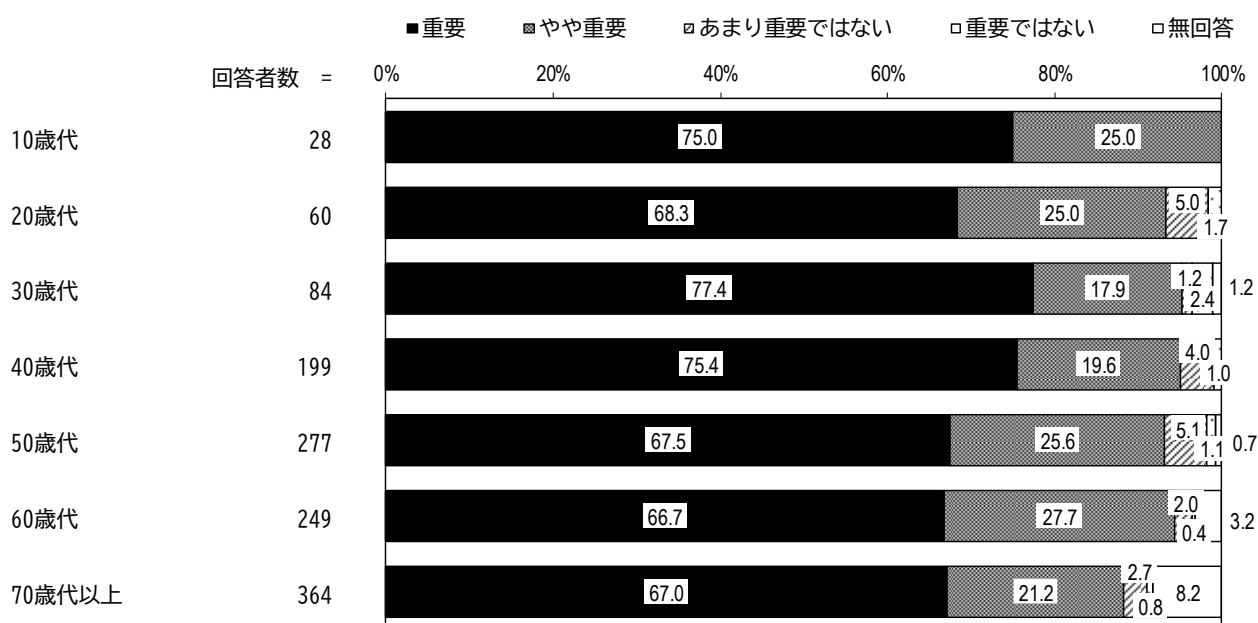
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



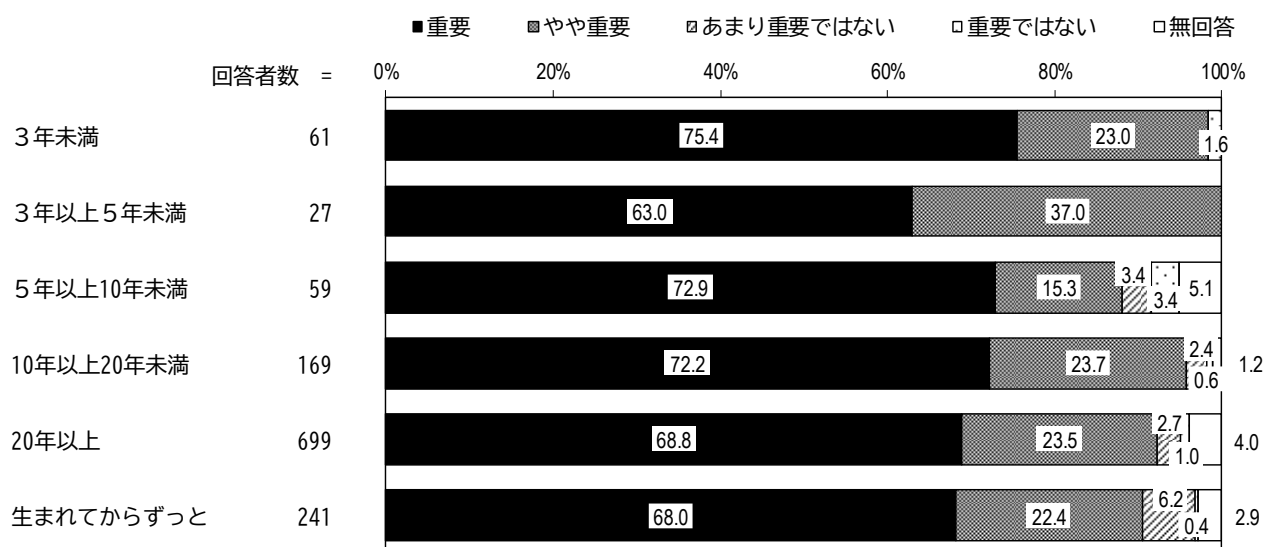
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代、30歳代、40歳代で高くなっています。



【居住年数別】

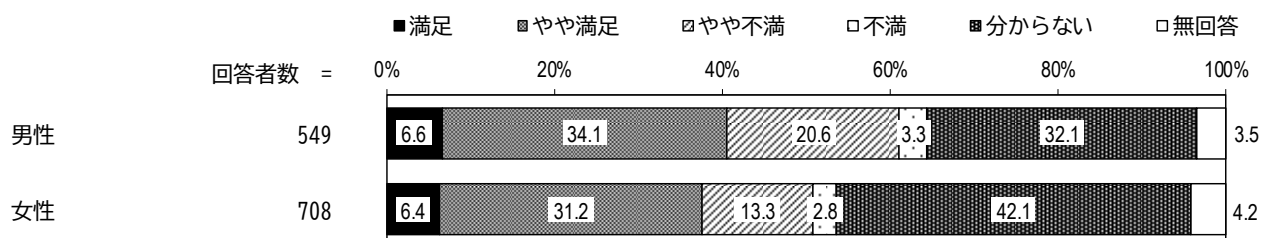
居住年数別にみると、“重要”の割合が「3年未満」、「3年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で高くなっています。



(1)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり ②満足度

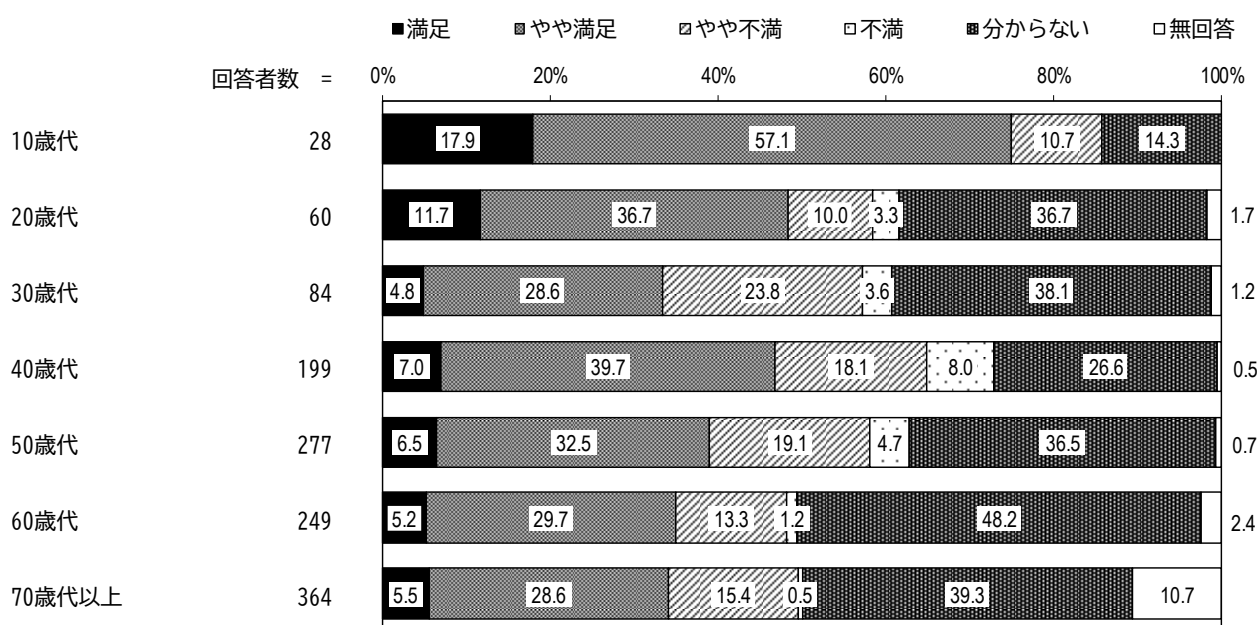
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



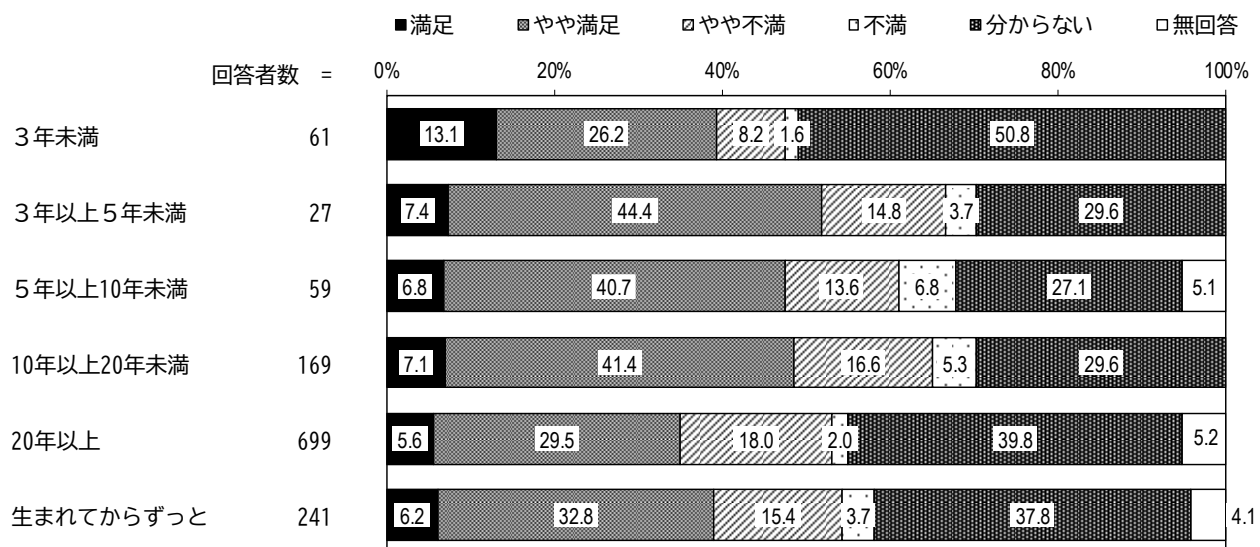
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、20歳代、40歳代で高く、“不満”の割合が30歳代、40歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で高くなっています。

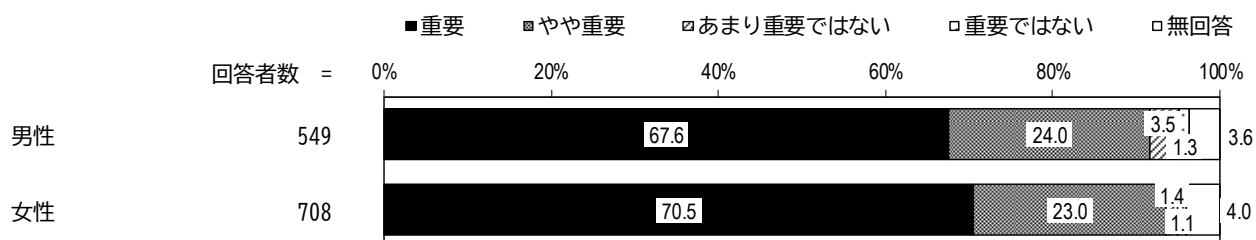


問18 「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消 ①重要度

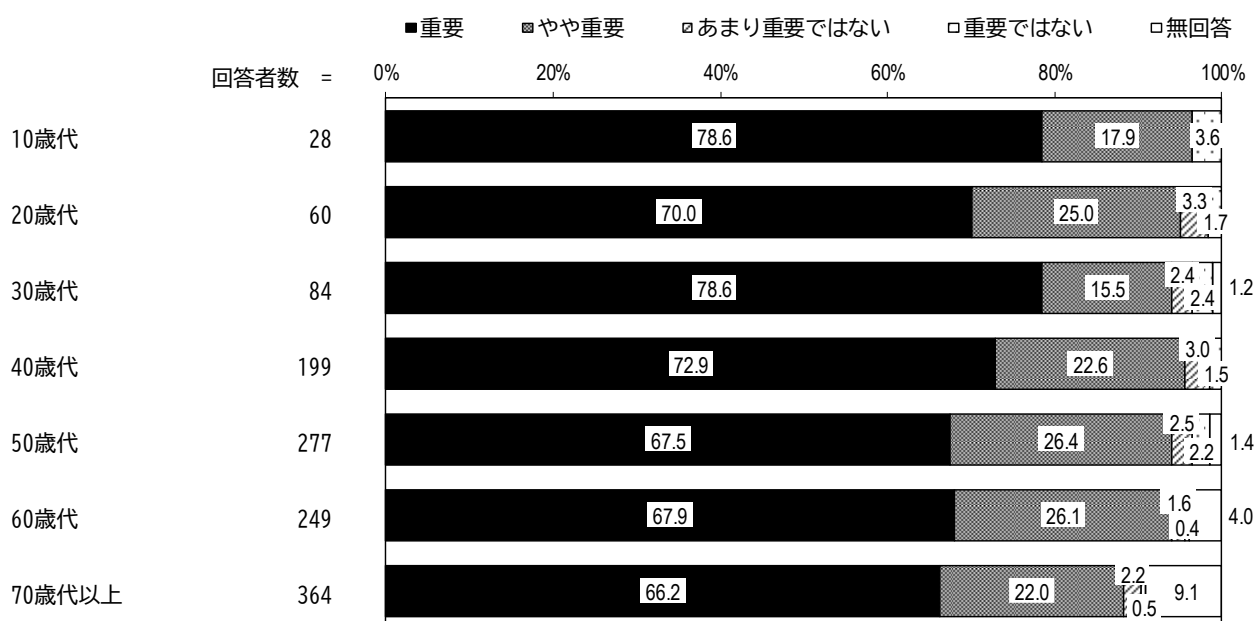
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



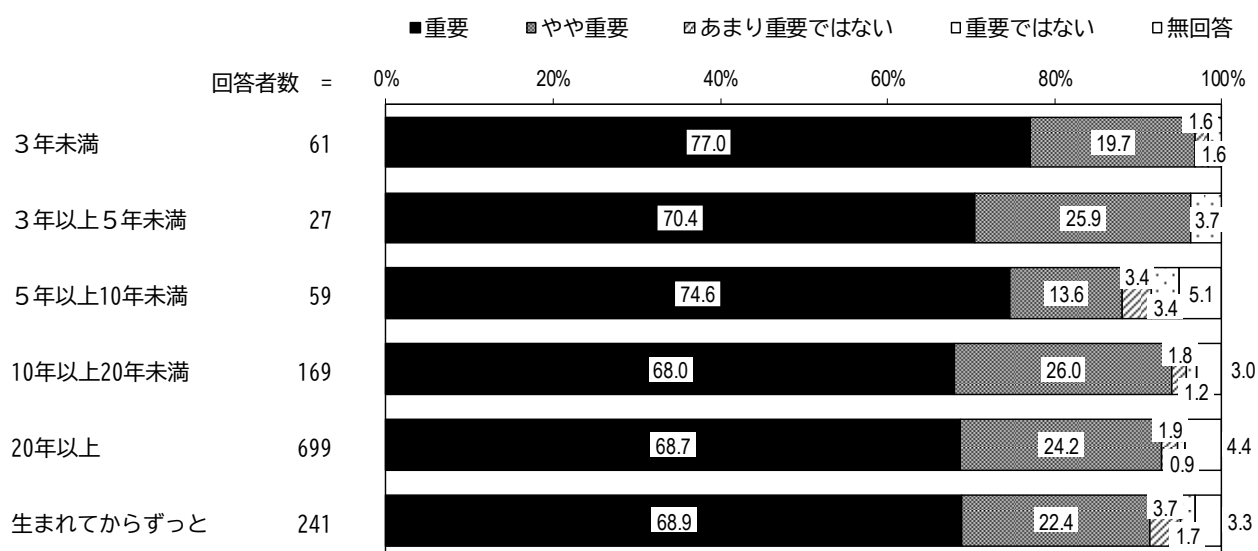
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代、30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

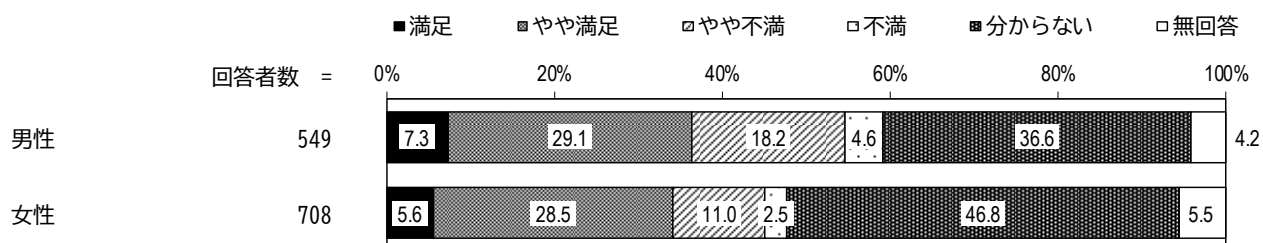
居住年数別にみると、「重要」の割合が「3年未満」、「5年以上10年未満」で高くなっています。



(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消 ②満足度

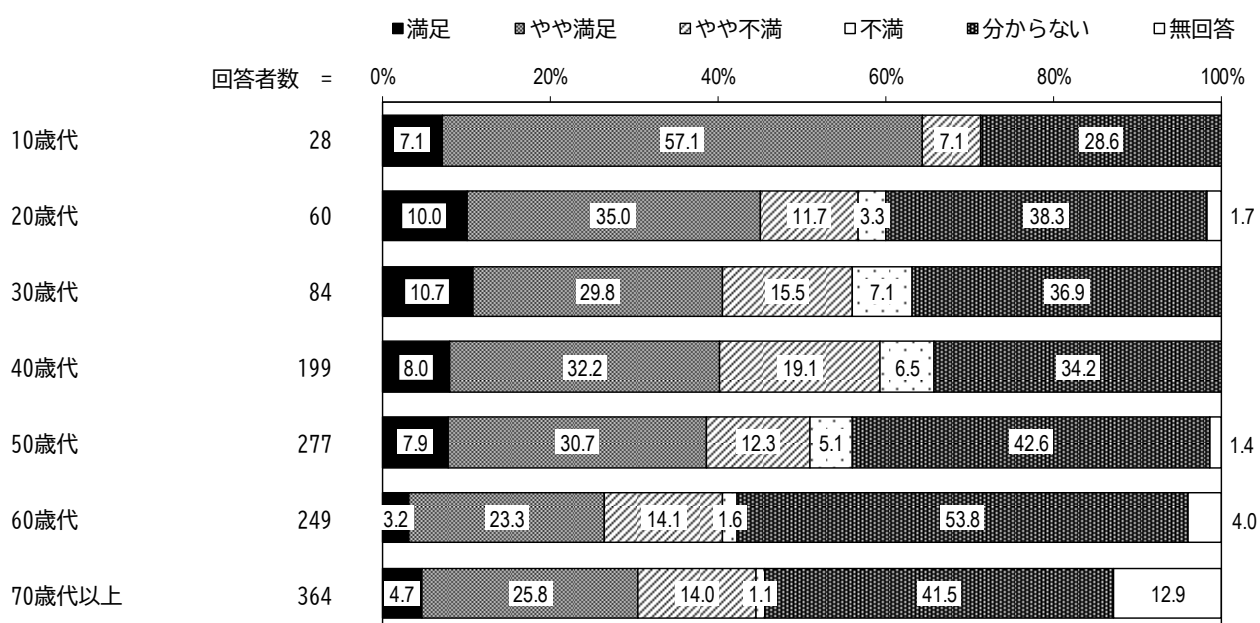
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



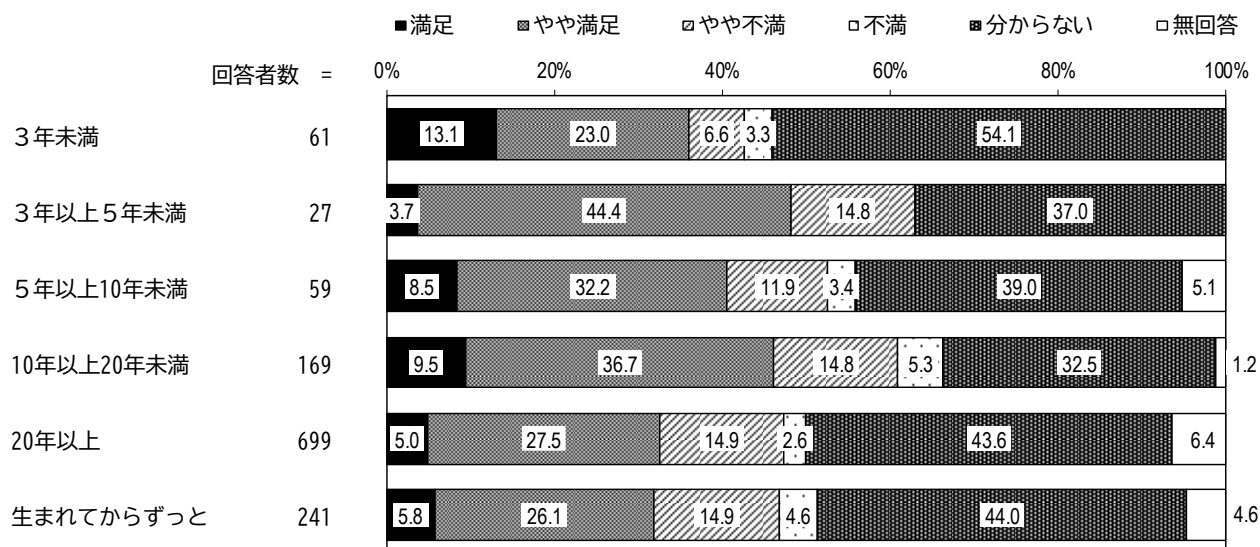
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が若い世代で高い傾向にあります。一方で、“不満”の割合が30歳代、40歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で高くなっています。

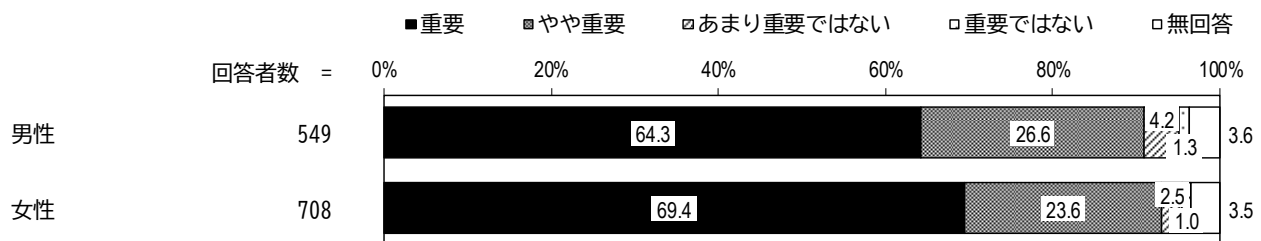


問18 「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援 ①重要度

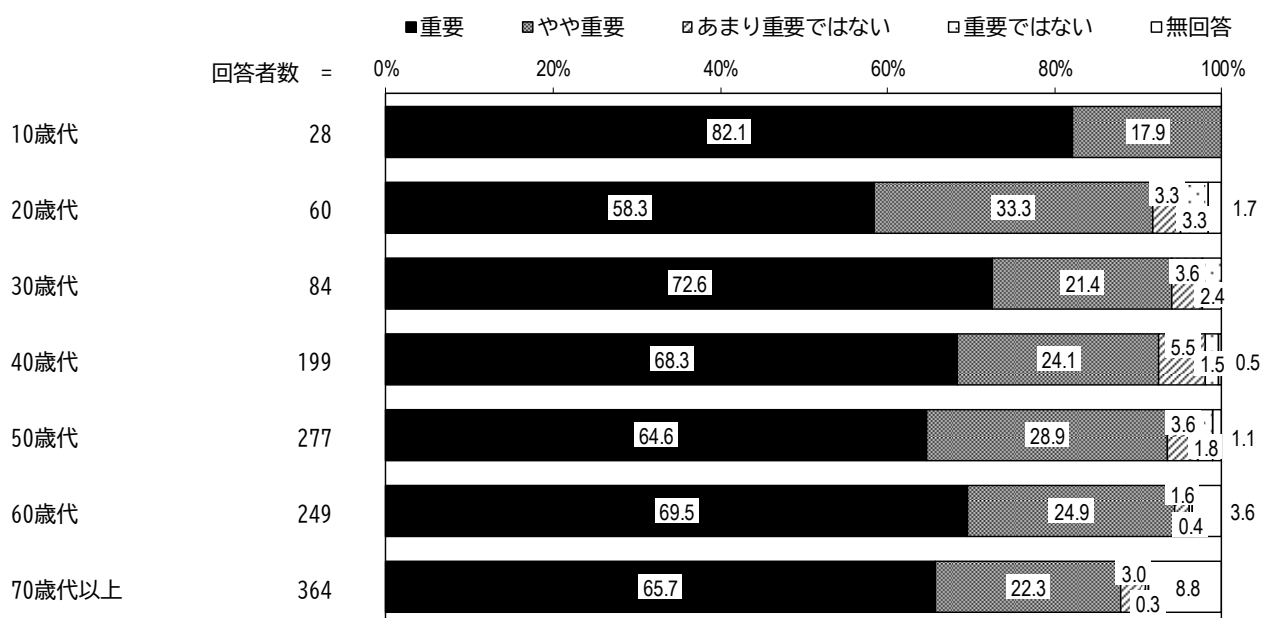
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



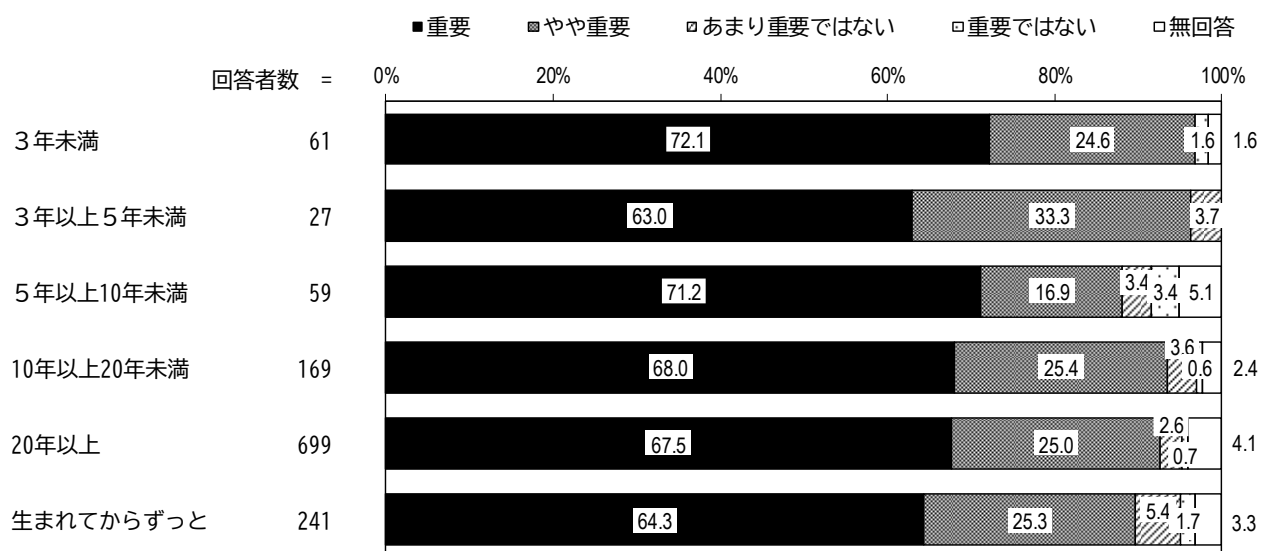
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が10歳代、30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

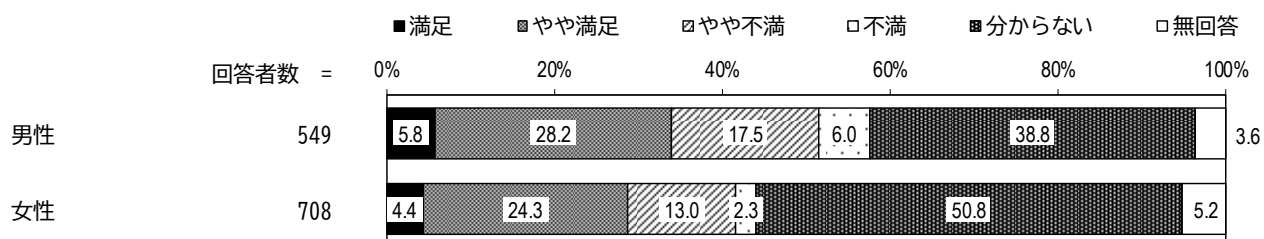
居住年数別にみると、“重要”の割合が「3年未満」、「3年以上5年未満」で高くなっています。



(3)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援 ②満足度

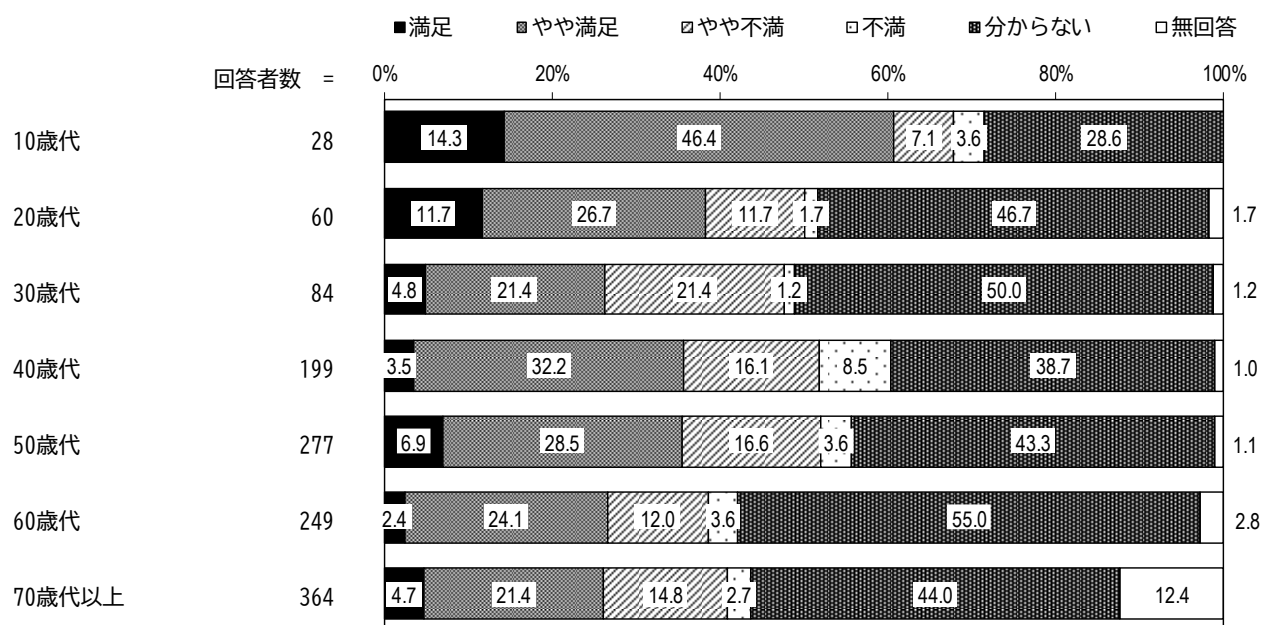
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



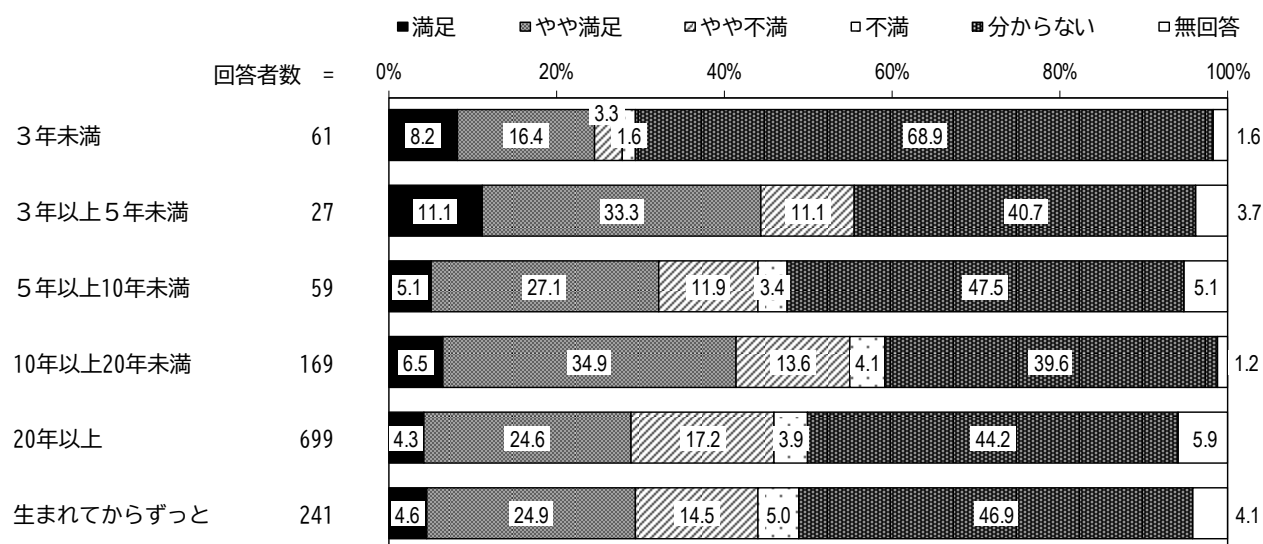
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高く、“不満”の割合が30歳代から50歳代で高い傾向がみられます。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で高くなっています。

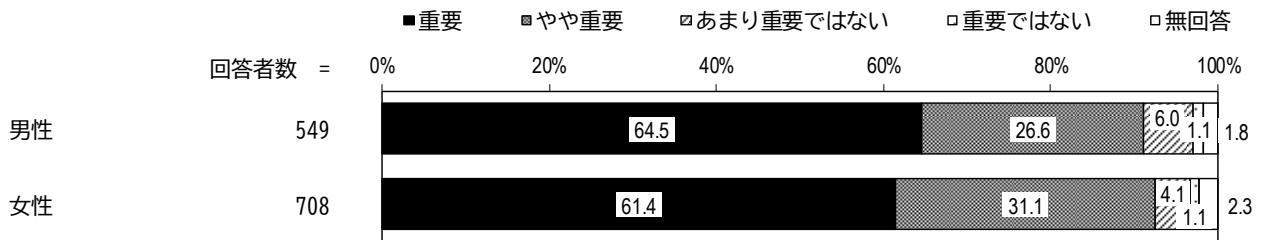


問 19 市政経営計画の重点方針「地域・経済の元気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)新たな企業立地と若者の地育地働の促進 ①重要度

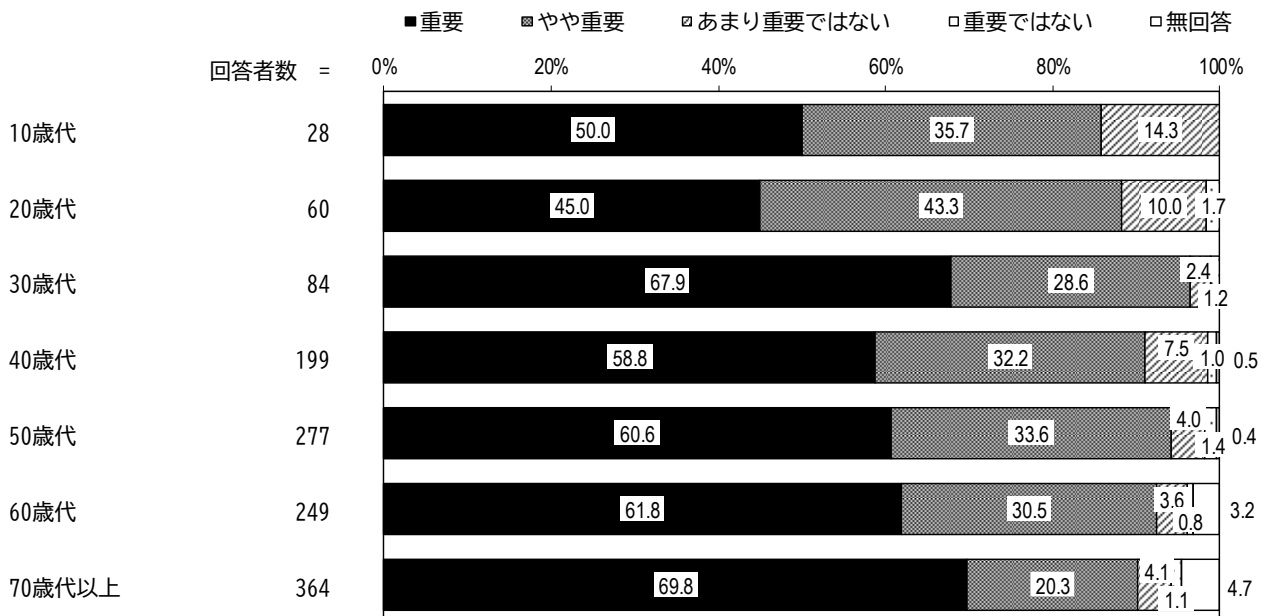
【性別】

性別による大きな差はみられません。



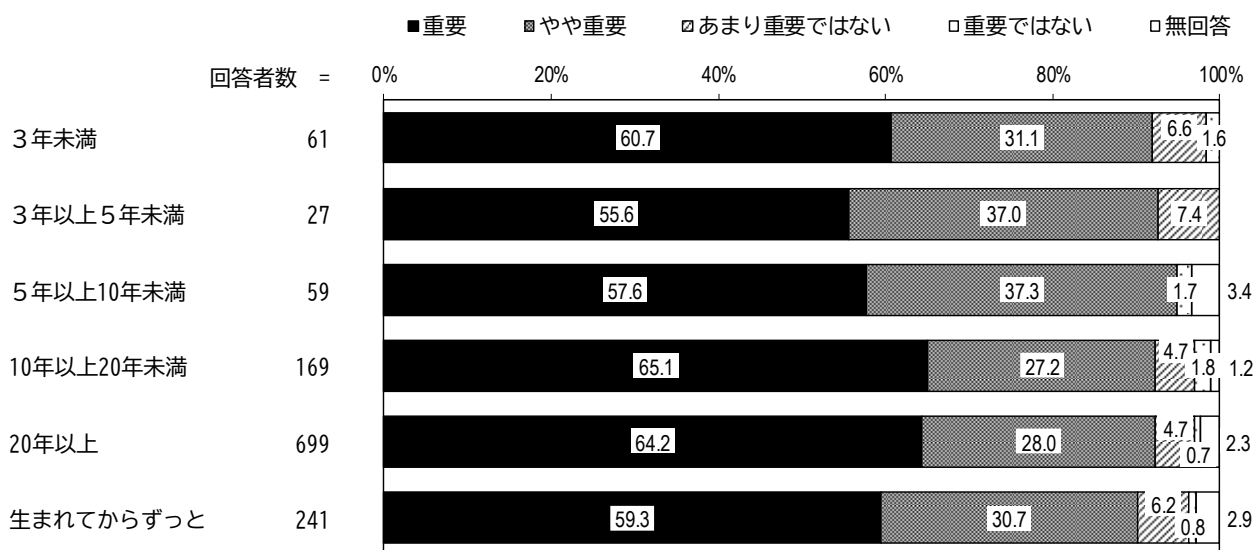
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

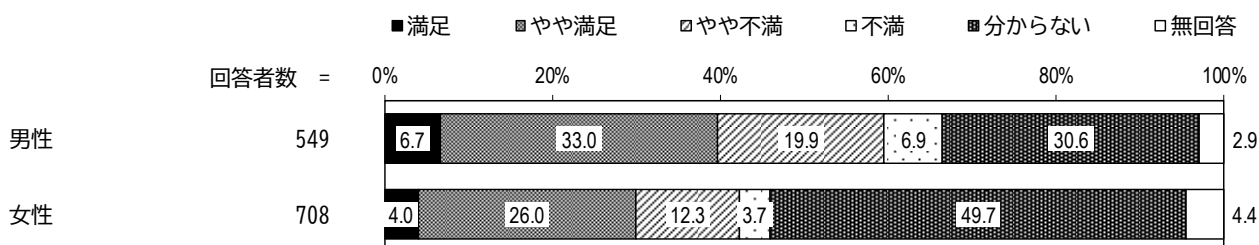
居住年数別による大きな差はみられません。



(1)新たな企業立地と若者の地育地働の促進 ②満足度

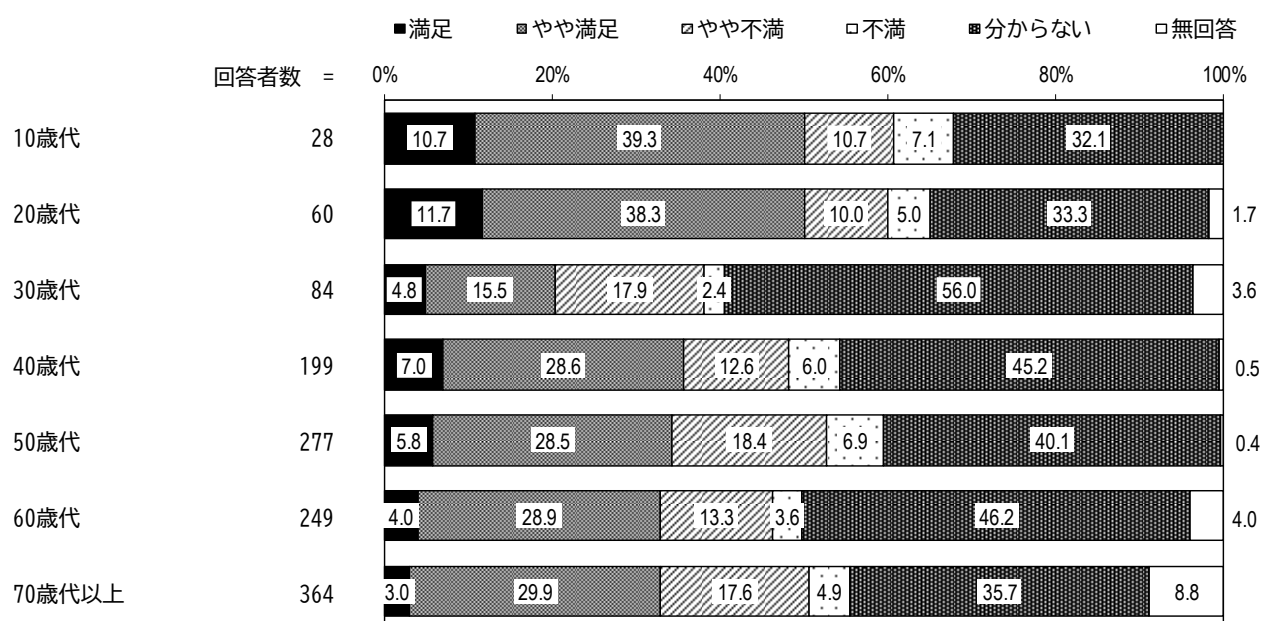
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



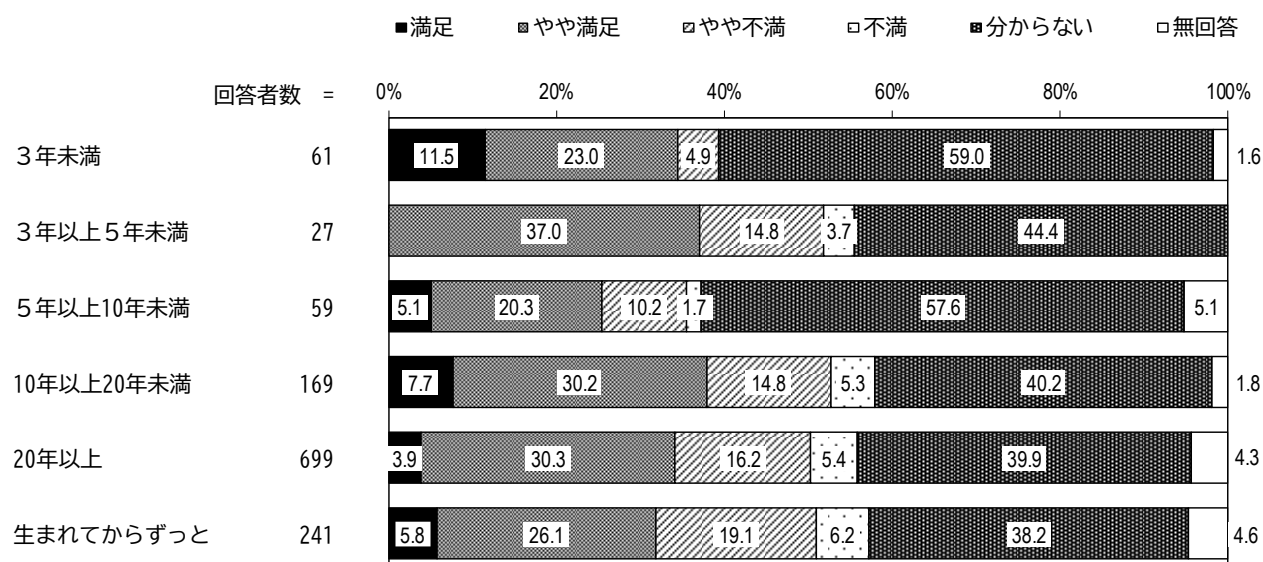
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、20歳代で高く、“不満”の割合が50歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で高く、“不満”の割合が「生まれてからずっと」で高くなっています。

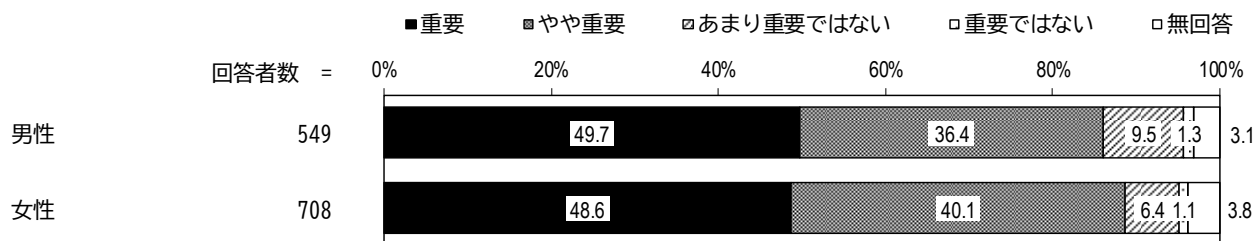


問19 「地域・経済の元気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)地域の課題解決力の向上 ①重要度

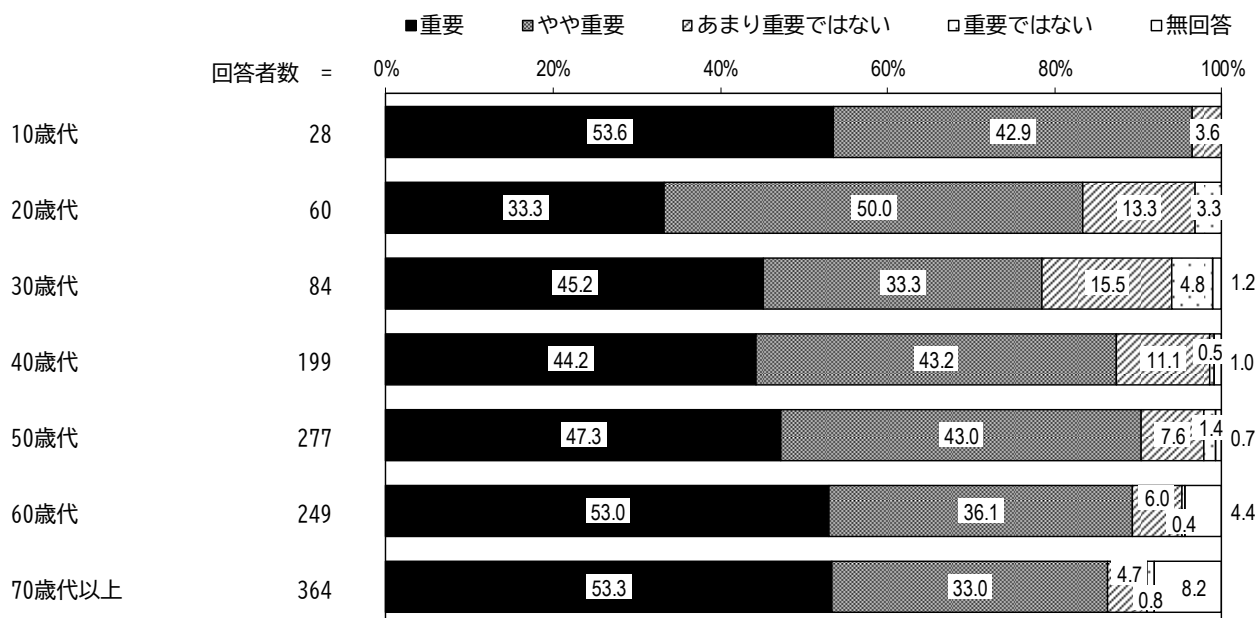
【性別】

性別による大きな差はみられません。



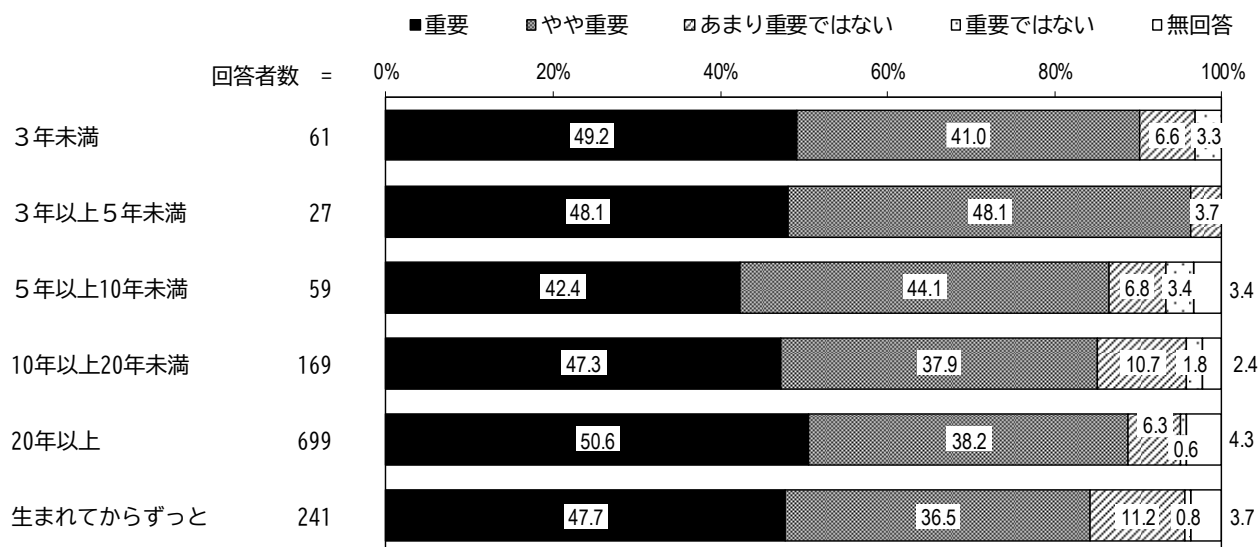
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

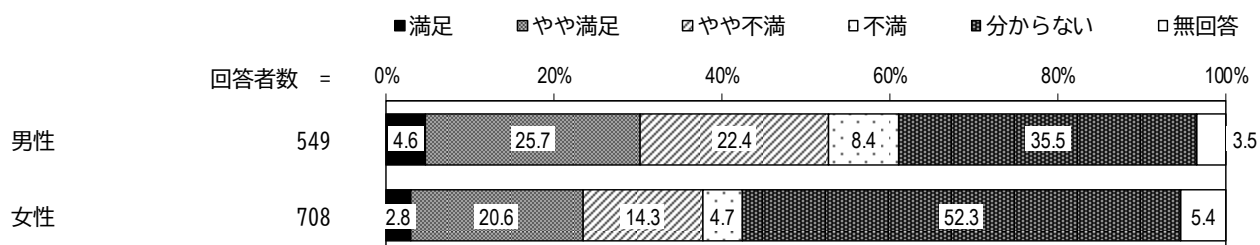
居住年数別にみると、“重要”の割合が「3年以上5年未満」で高くなっています。



(2)地域の課題解決力の向上 ②満足度

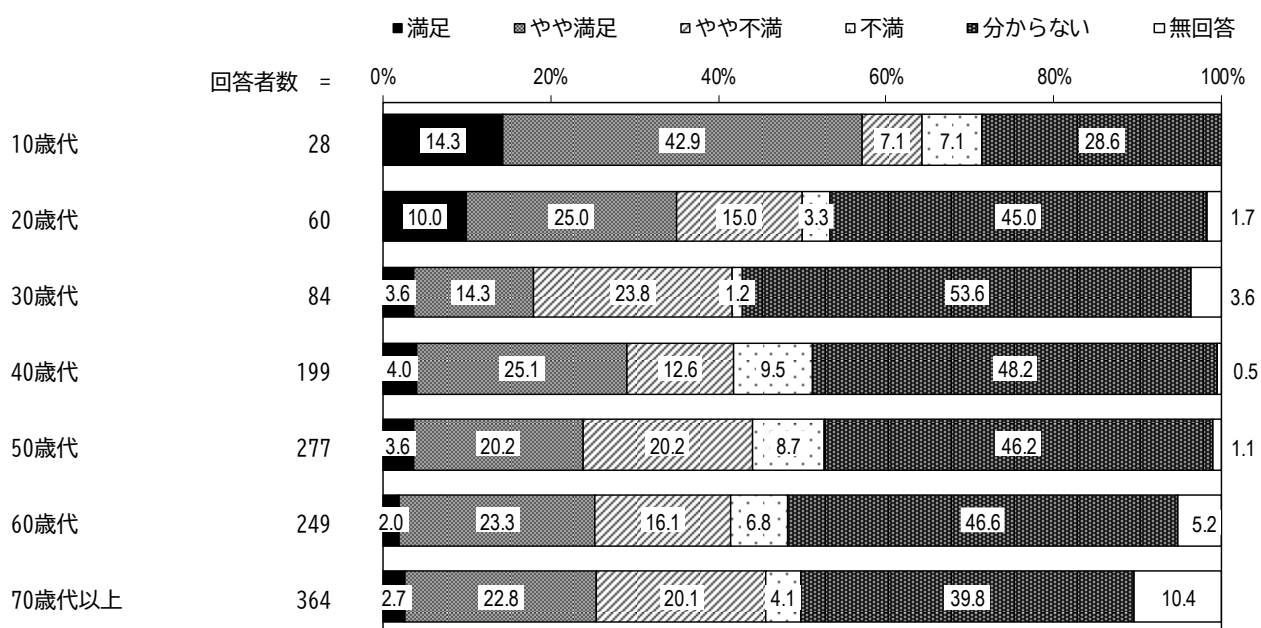
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



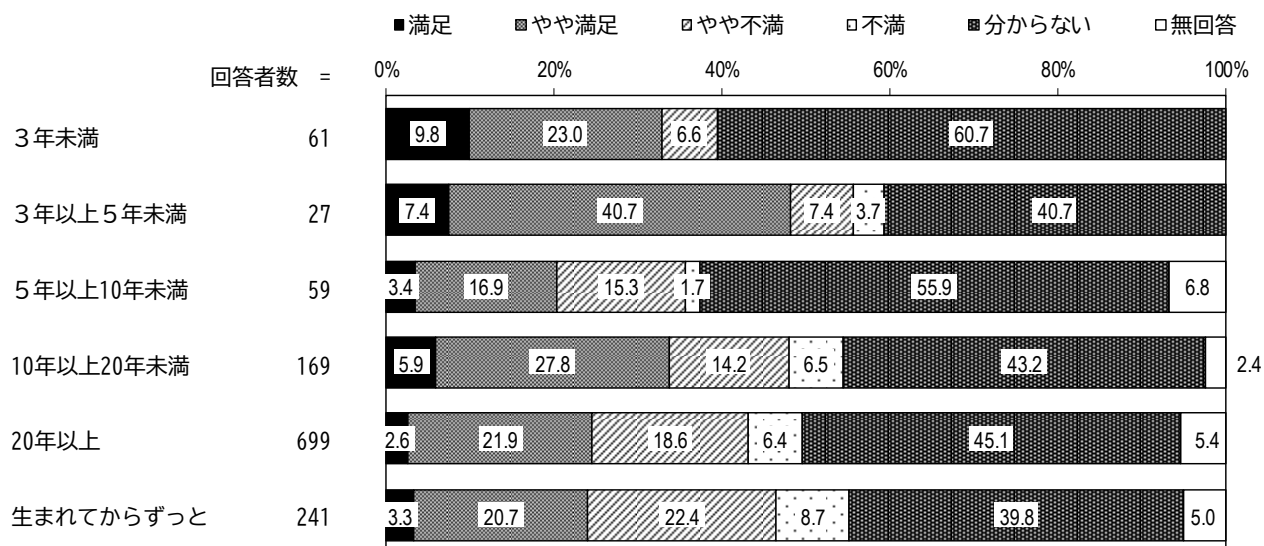
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高く、“不満”の割合が30歳代以降で高い傾向がみられます。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合が「生まれてからずっと」で高くなっています。

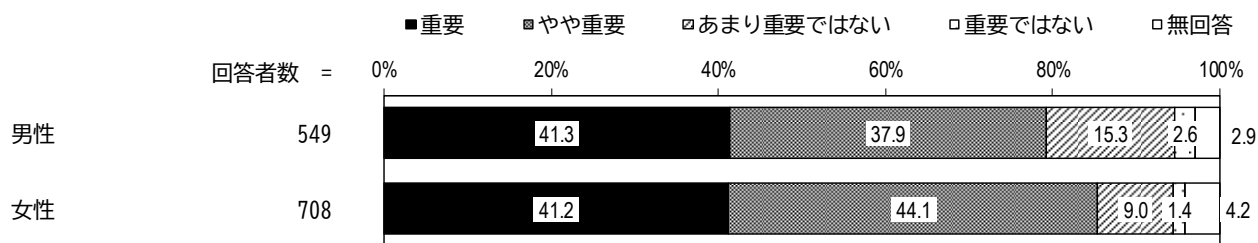


問19 「地域・経済の元気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり ①重要度

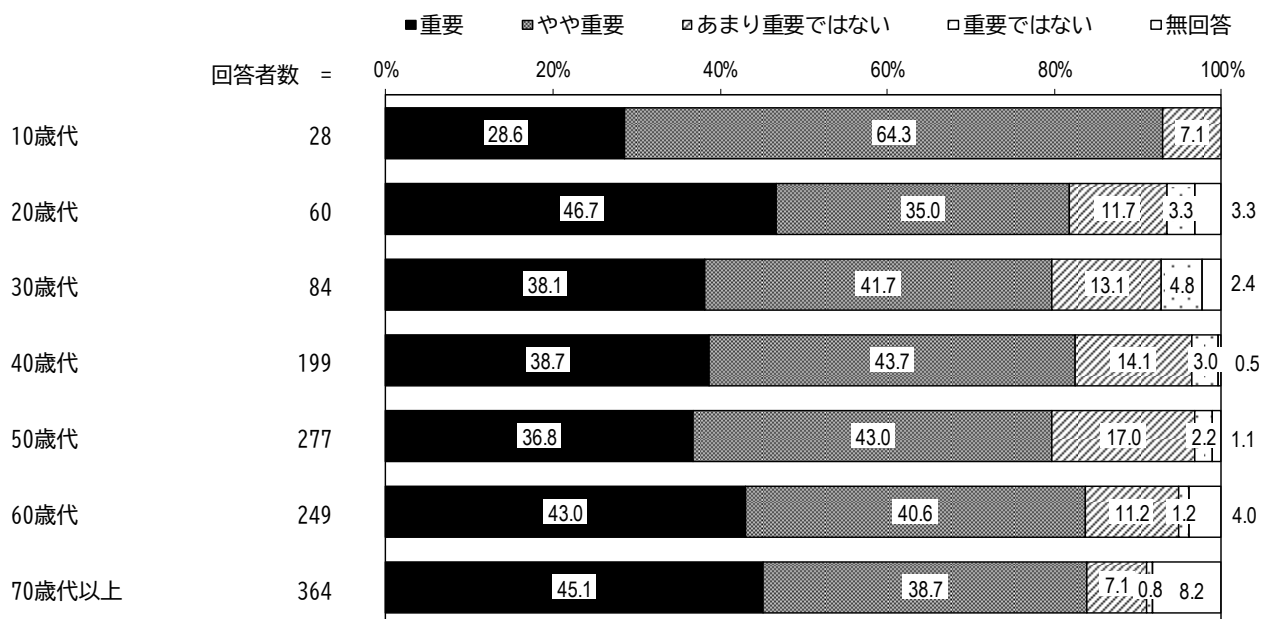
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



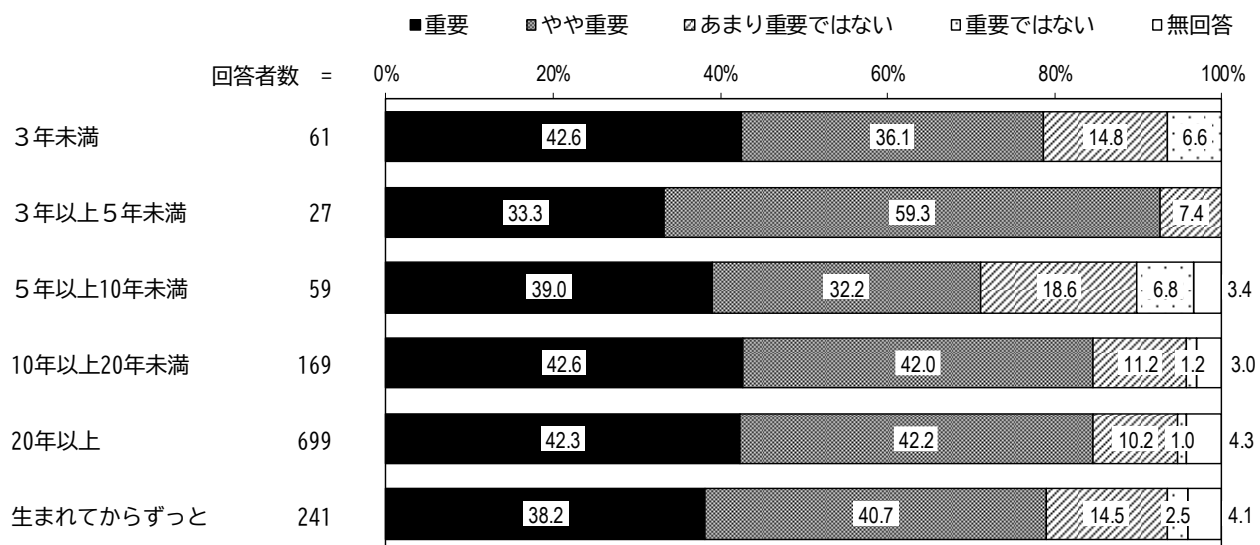
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

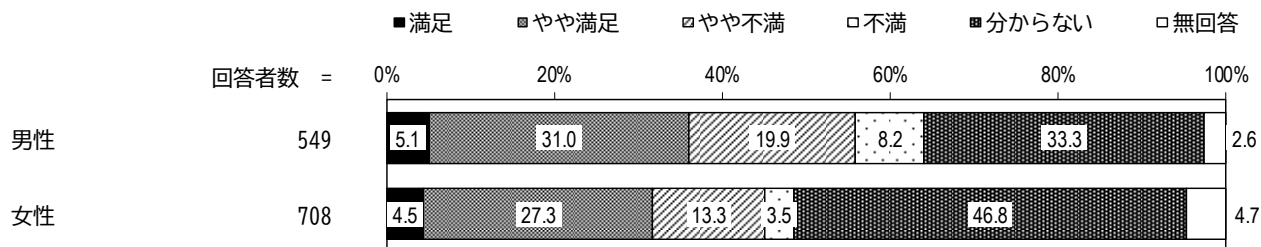
居住年数別にみると、“重要”の割合が「3年以上5年未満」で高くなっています。



(3)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり ②満足度

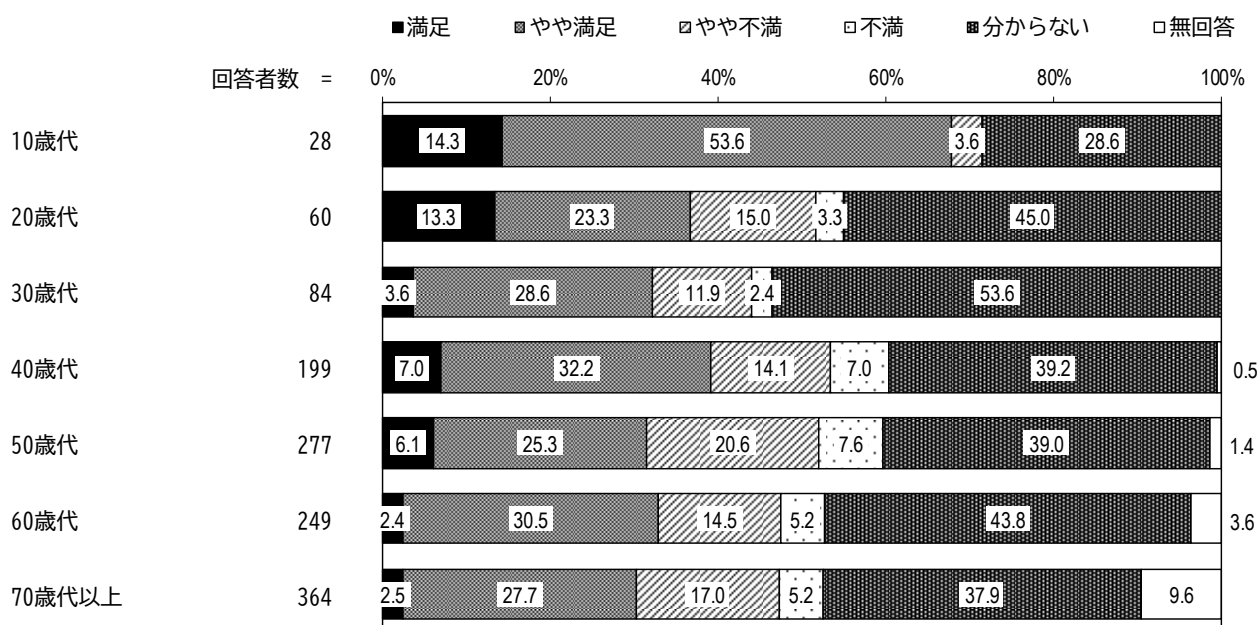
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



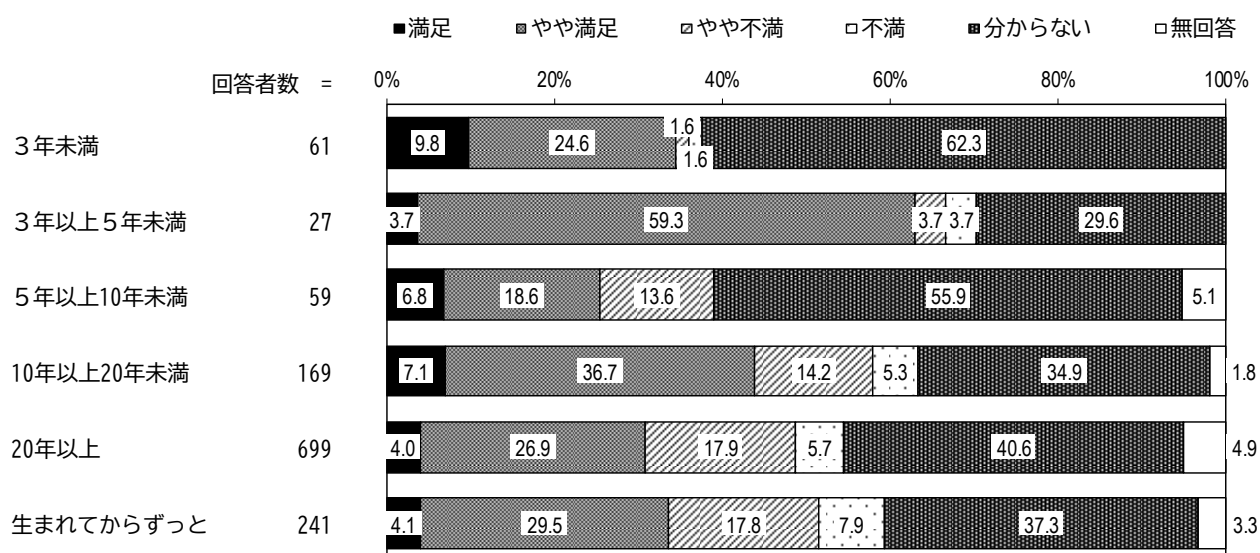
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高く、“不満”の割合が40歳代から70歳代以上で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合が「生まれてからずっと」で高くなっています。

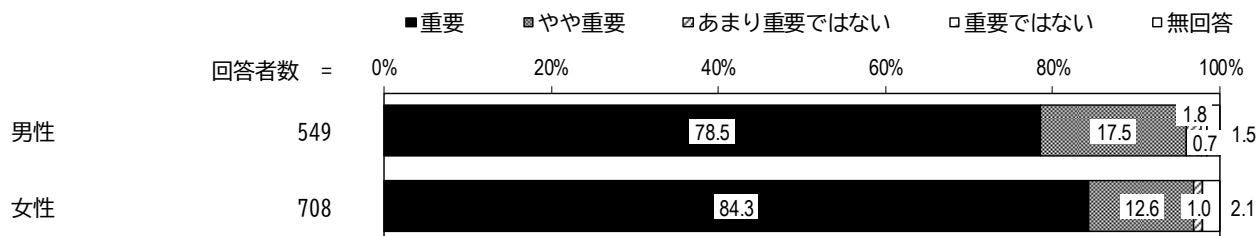


問 20 市政経営計画の重点方針「まちの安全づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(○は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)災害に強いまちづくりの推進 ①重要度

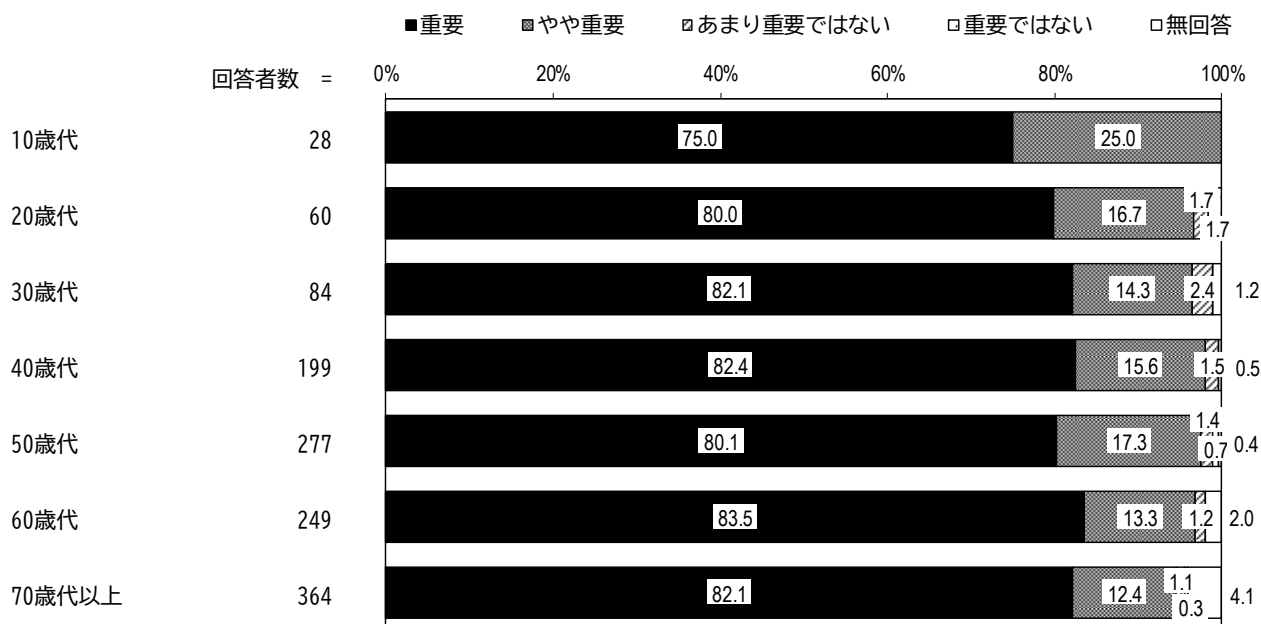
【性別】

性別による大きな差はみられません。



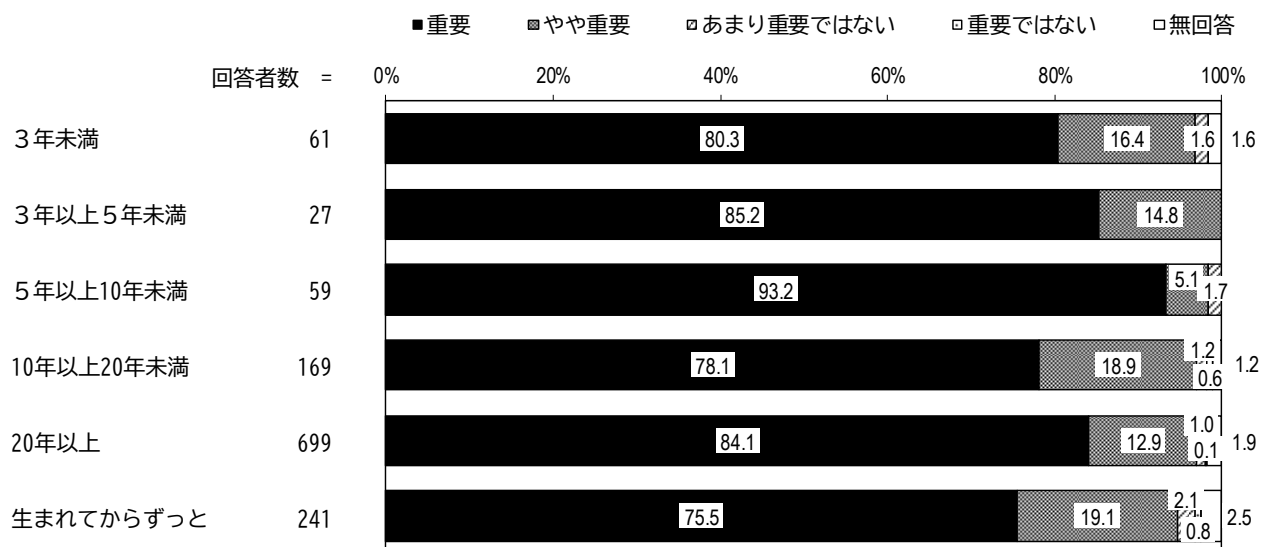
【年代別】

年代別による大きな差はみられません。



【居住年数別】

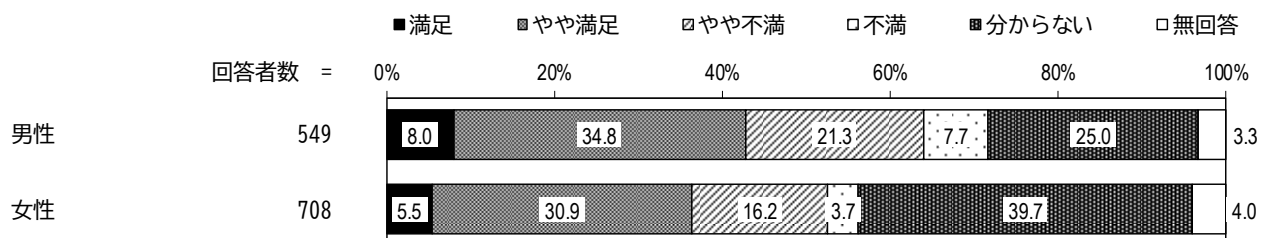
居住年数別にみると、「重要」の割合が「5年以上10年未満」で高くなっています。



(1)災害に強いまちづくりの推進 ②満足度

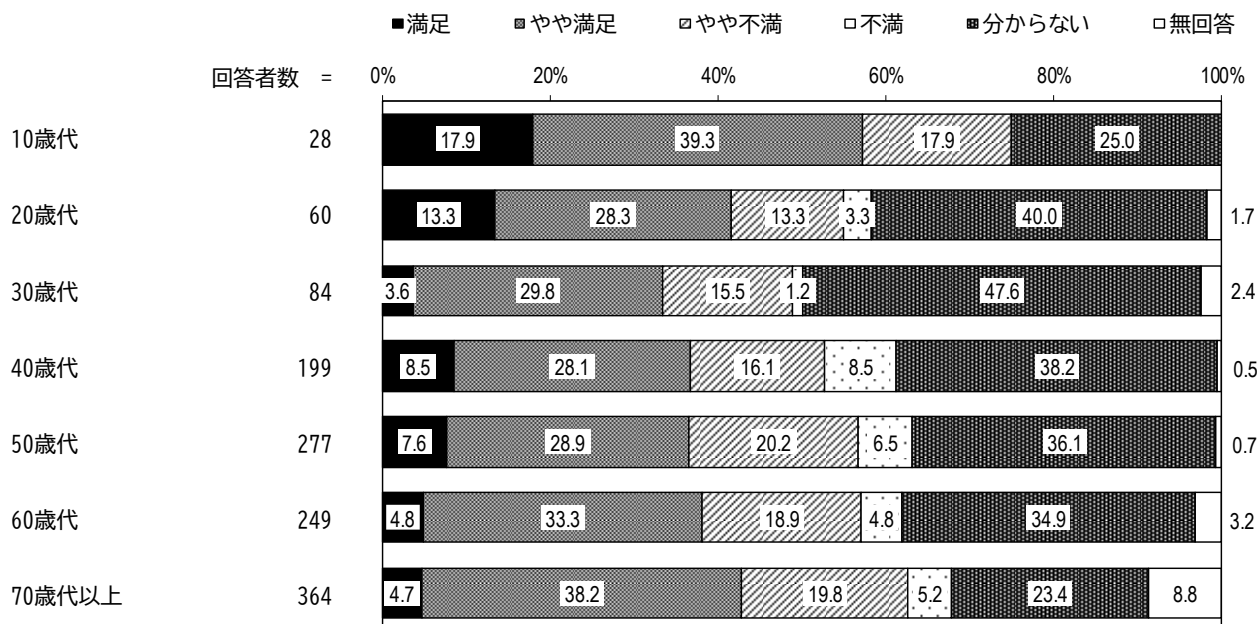
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合が男性で高くなっています。



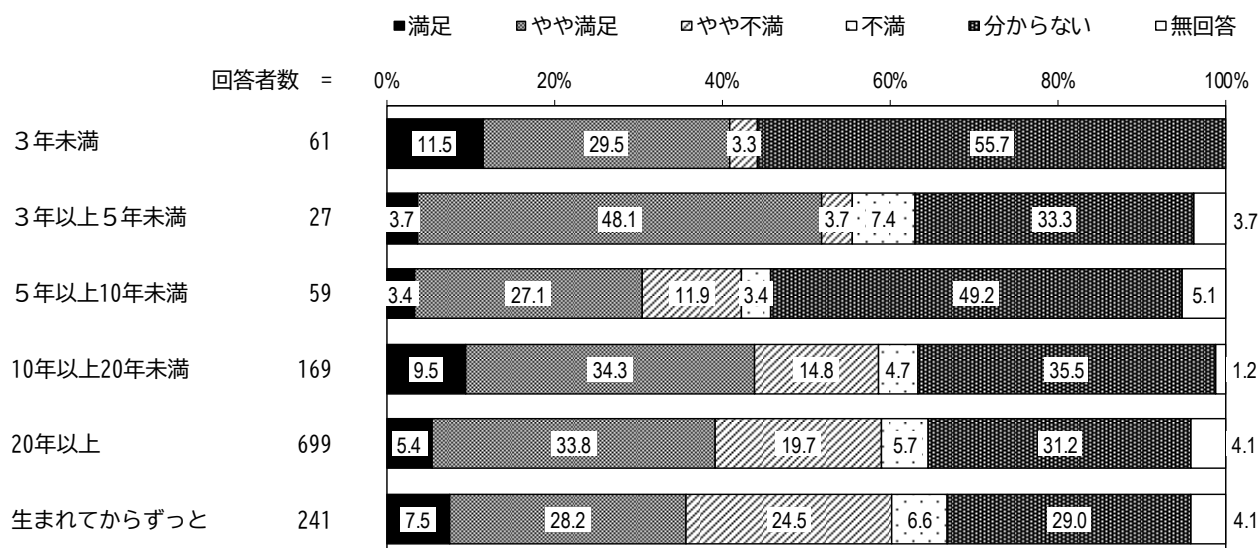
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高く、“不満”の割合が40歳代以降で高い傾向がみられます。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合が「生まれてからずっと」で高くなっています。

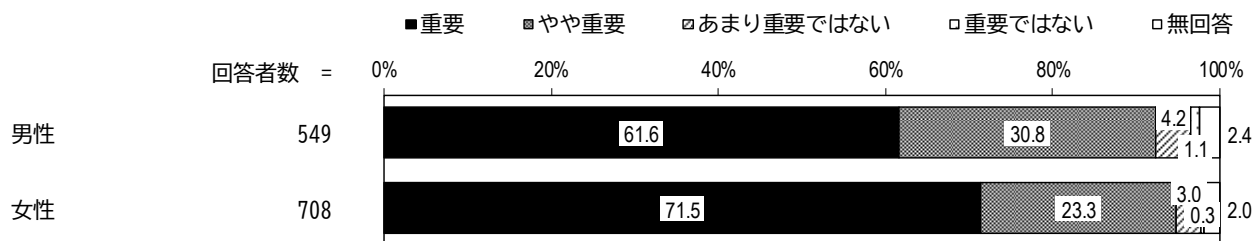


問 20 「まちの安全づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)身近な暮らしの安全づくり ①重要度

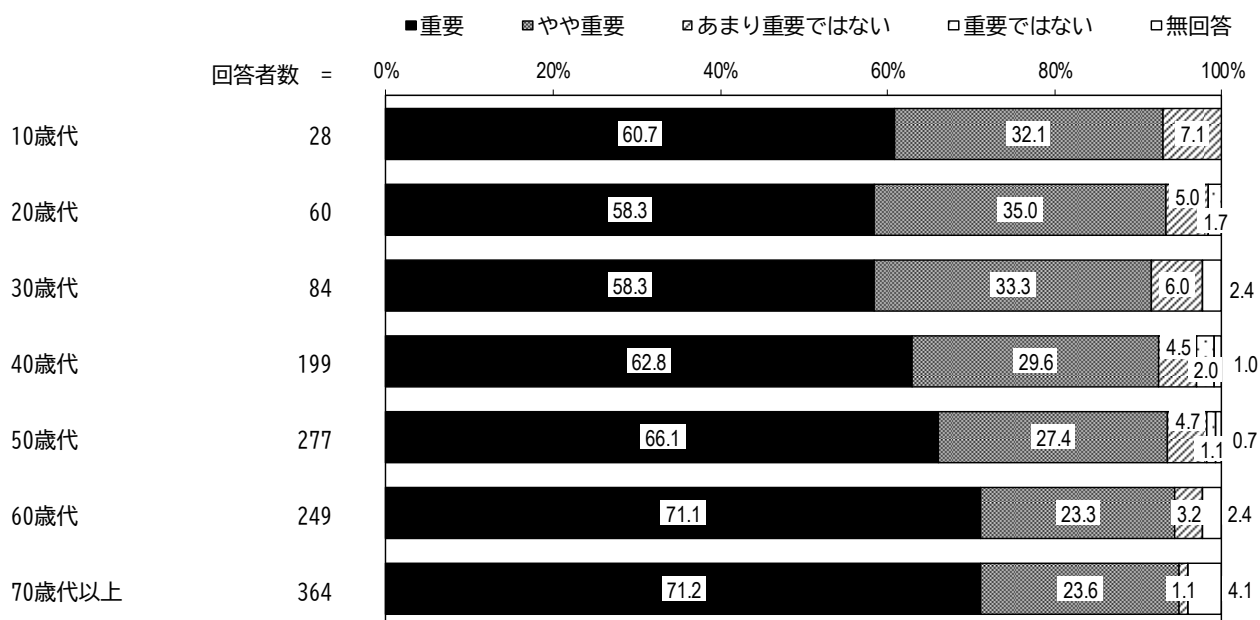
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。



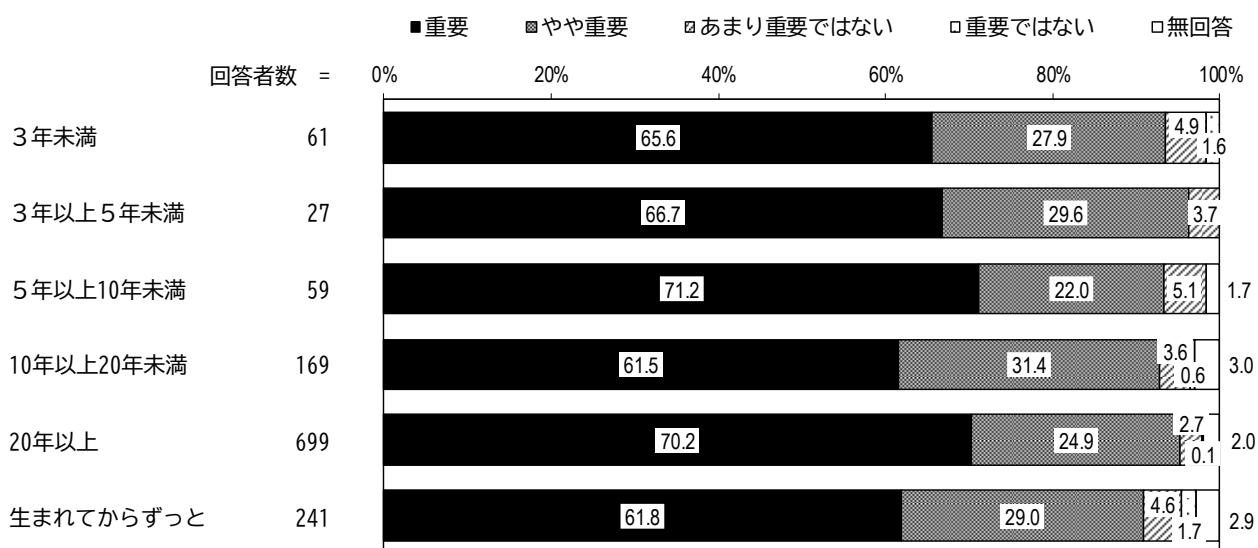
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年代が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。



【居住年数別】

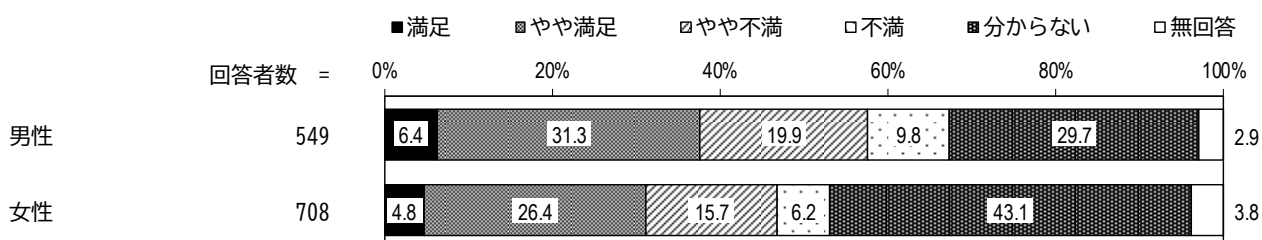
居住年数別による大きな差はみられません。



(2)身近な暮らしの安全づくり ②満足度

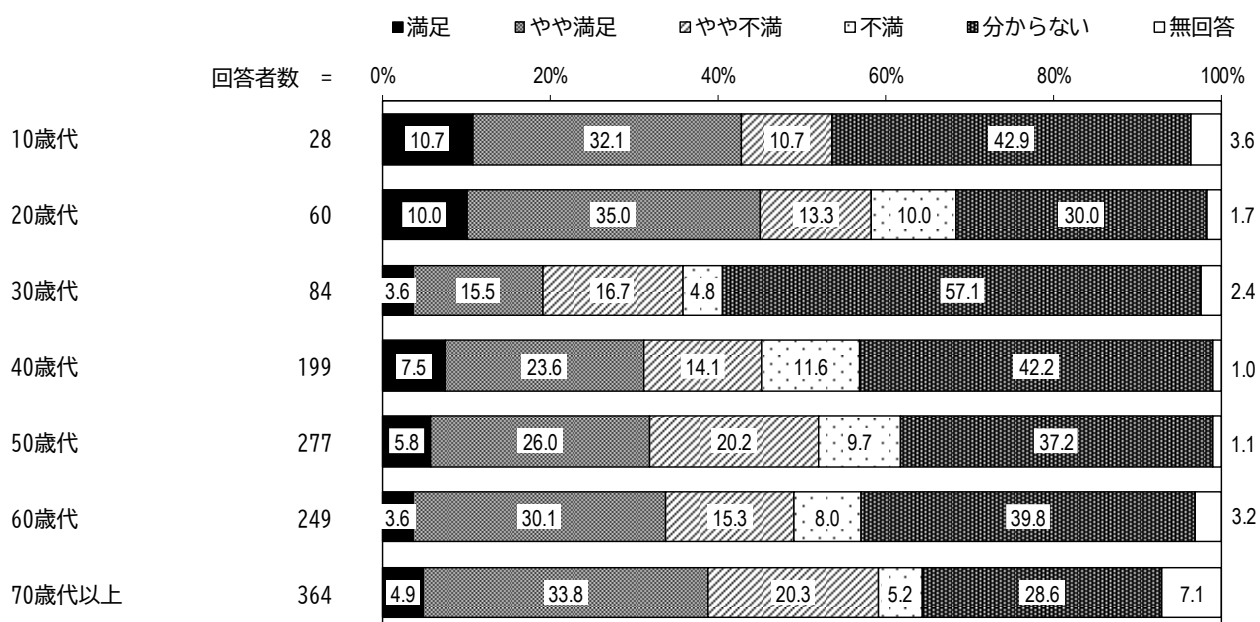
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合は男性で高くなっています。



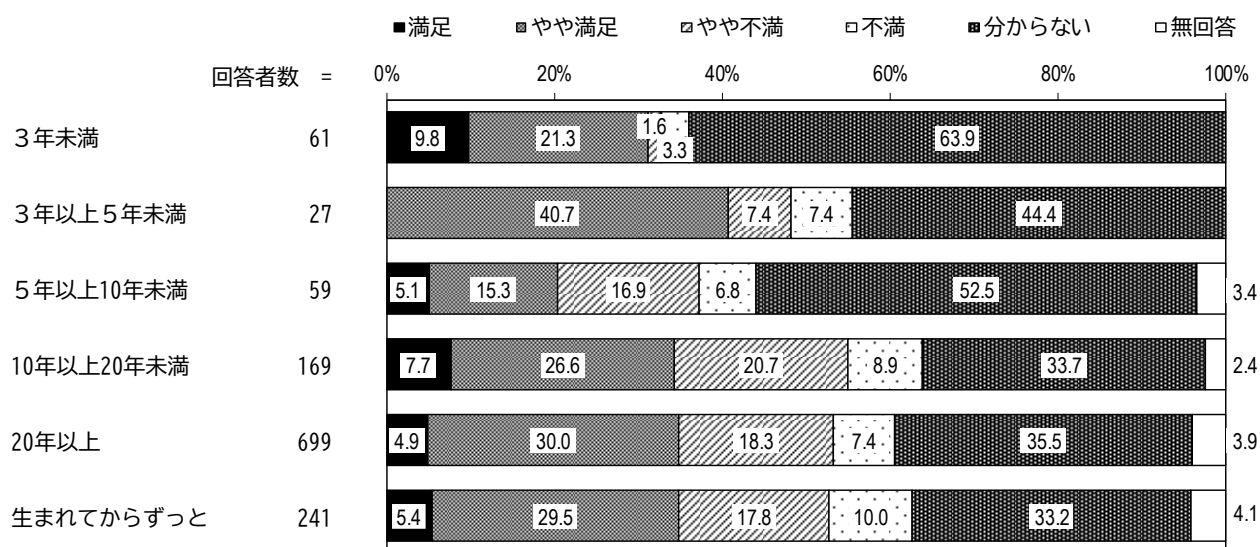
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は10歳代、20歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合は「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合は「10年以上20年未満」で高くなっています。

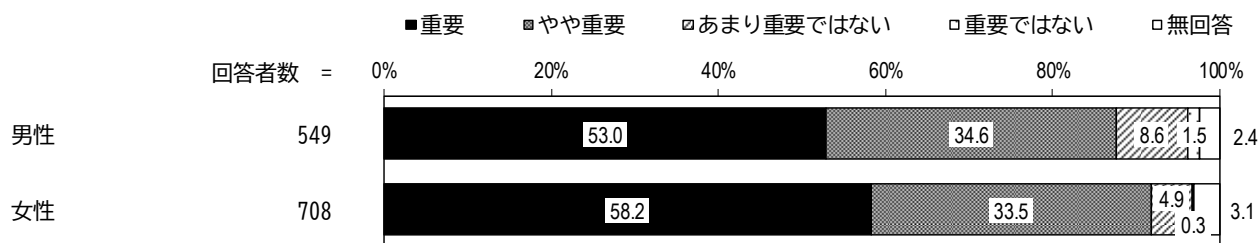


問 20 「まちの安全づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進 ①重要度

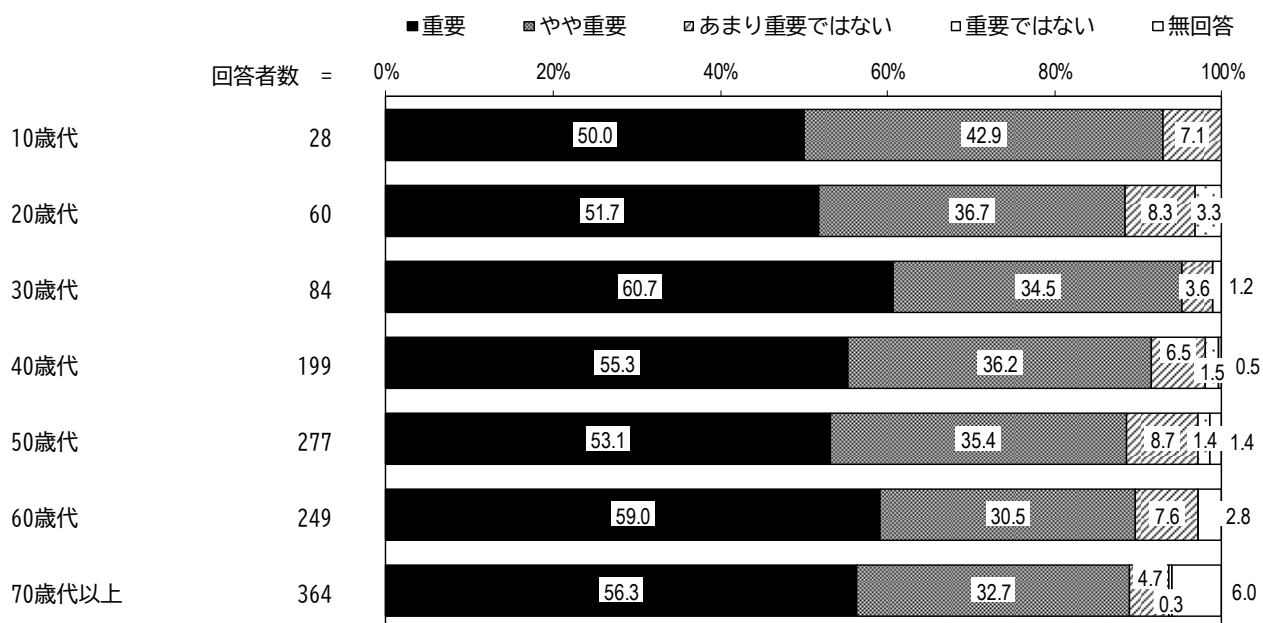
【性別】

性別にみると、“重要”の割合は女性で高くなっています。



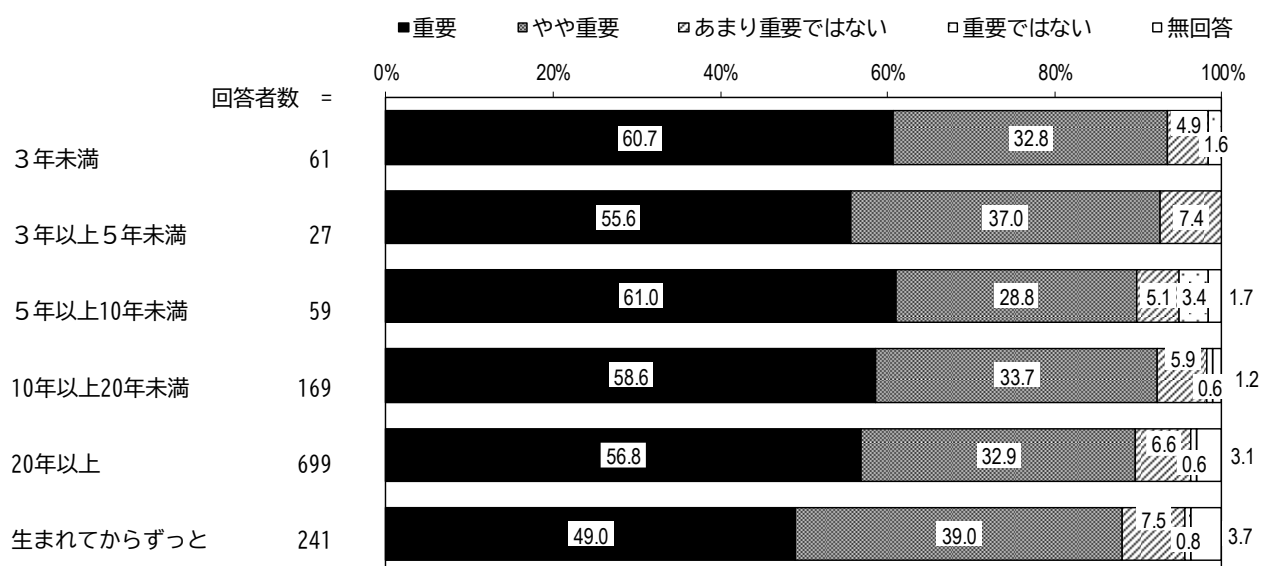
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合は30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

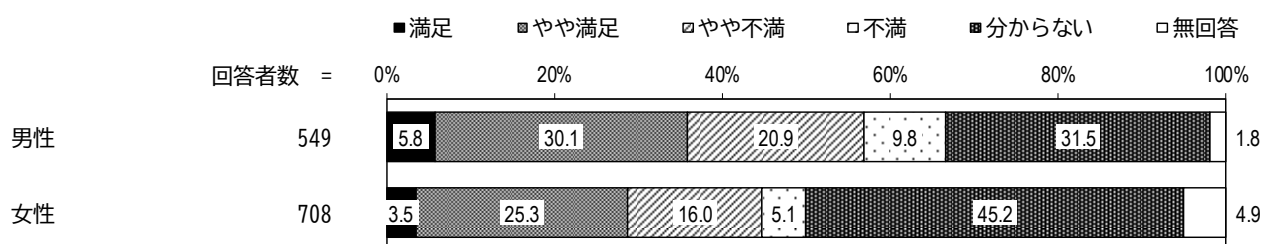
居住年数別にみると、“重要”の割合は居住年数が長くなるにつれ低くなる傾向がみられます。



(3) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進 ②満足度

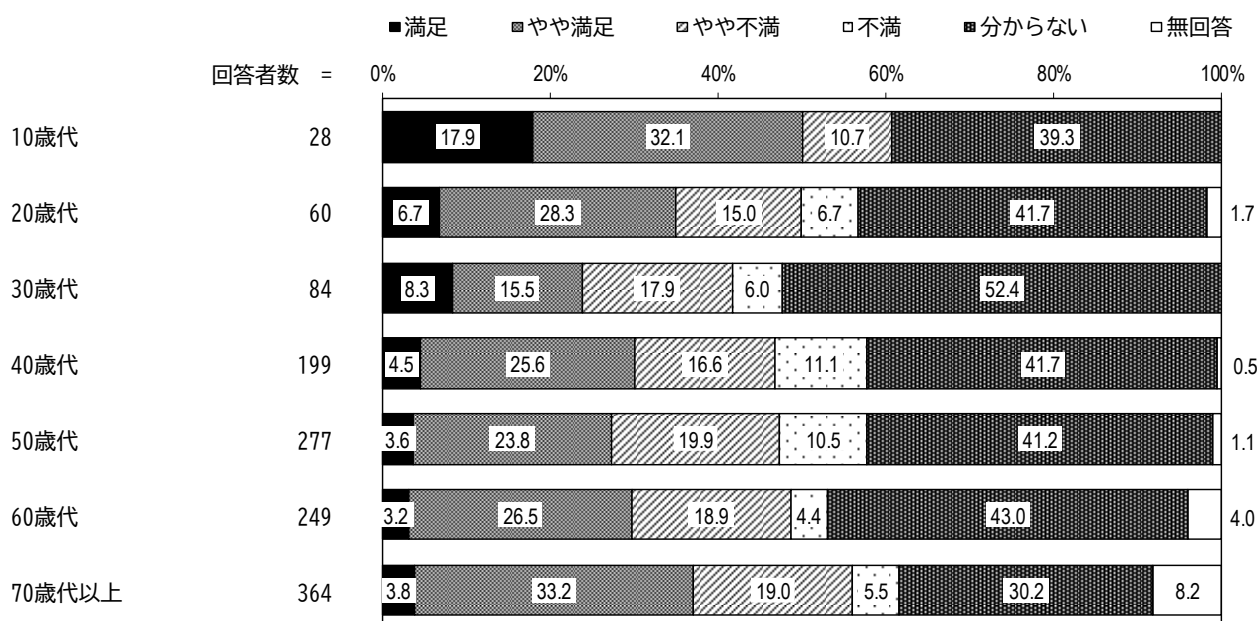
【性別】

性別にみると、特に“不満”の割合は男性で高くなっています。



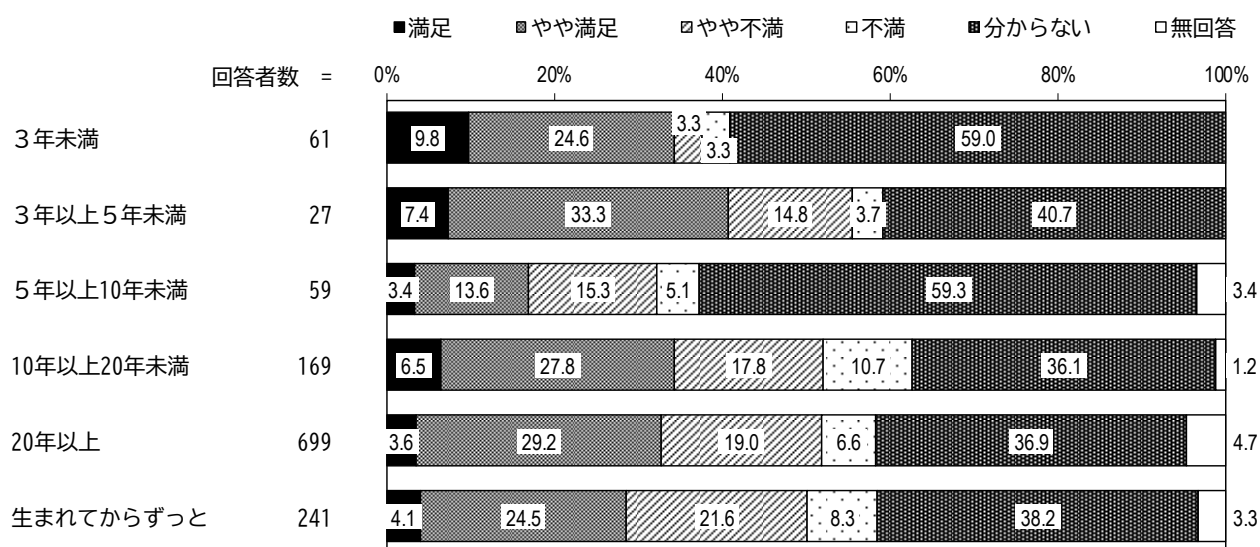
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は10歳代で高く、“不満”の割合は40歳代、50歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合は「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合は「生まれてからずっと」で高くなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

12 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を各選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点	重要度		得点
満足	→	2 点	重要	→	2 点
やや満足	→	1 点	やや重要	→	1 点
やや不満	→	-1 点	あまり重要ではない	→	-1 点
不満	→	-2 点	重要ではない	→	-2 点
分からない	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外
無回答	→	計算対象外			

■得点の算出式■

2 点×「満足（重要）」の回答数
 +1 点×「やや満足（やや重要）」の回答数
 -1 点×「やや不満（あまり重要ではない）」の回答数
 -2 点×「不満（重要ではない）」の回答数／分からない・無回答を除く回答数

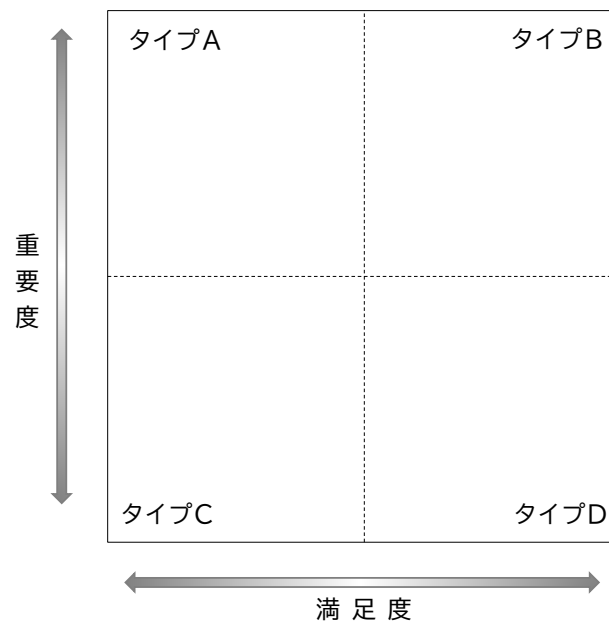
算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度 施策名	得点	順位	得点	重要度 施策名
(4)可児っ子の笑顔あふれる まちづくり	0.39	第1位	1.80	(10)災害に強いまちづくりの 推進
(5)出産や子育てに対する 不安や孤立感の解消	0.39	第2位	1.66	(3)介護保険サービスの 安定的な提供
(2)健康寿命を延ばすための 健康づくり	0.28	第3位	1.63	(5)出産や子育てに対する 不安や孤立感の解消
(12)公共施設などの効率的な 運営と計画的な更新の推進	0.06	第10位	1.42	(12)公共施設などの効率的な 運営と計画的な更新の推進
(8)地域の課題解決力の向上	-0.01	第11位	1.31	(8)地域の課題解決力の向上
(1)高齢者の暮らしを支援	-0.08	最下位	1.12	(9)地域資源の磨き上げと 愛着を持てるまちづくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプA 満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

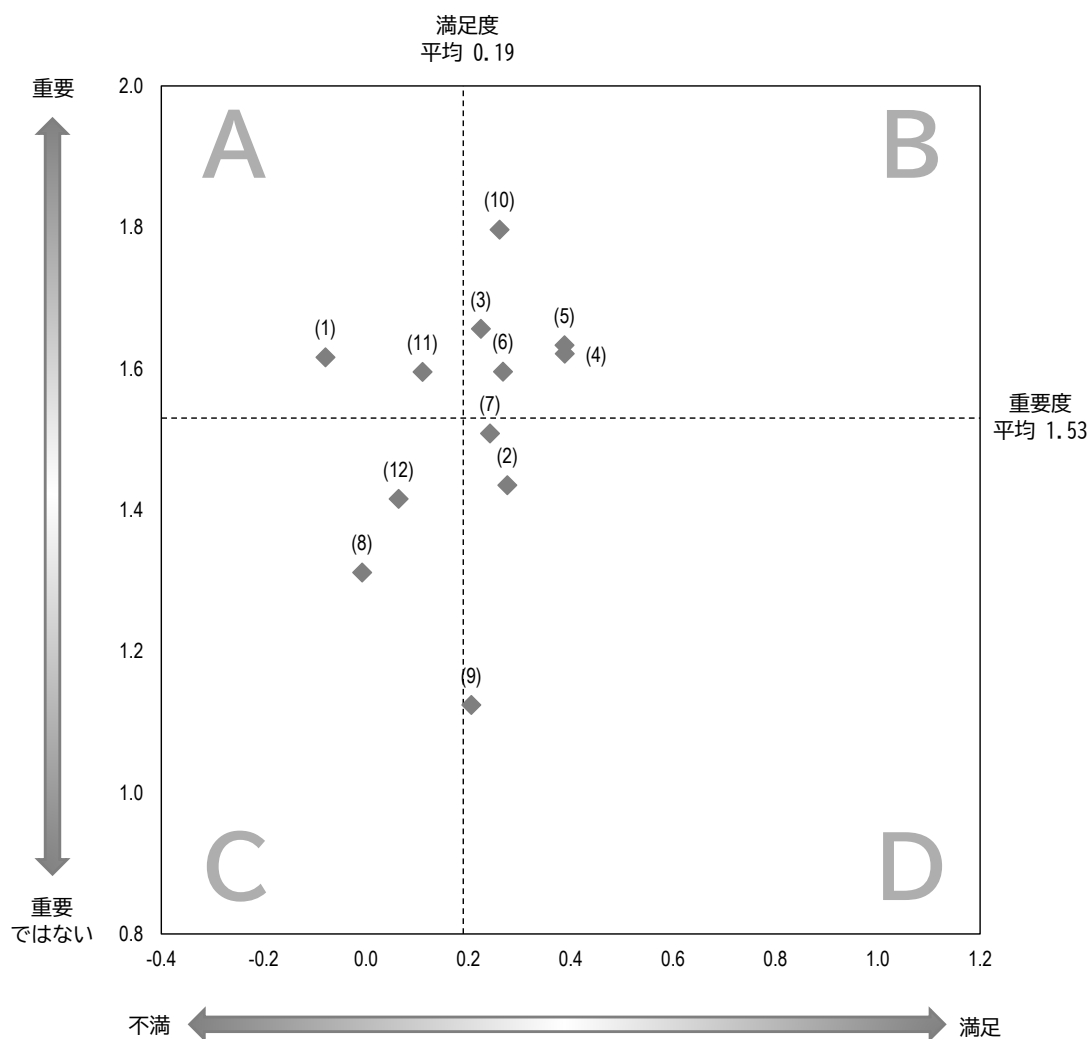
◆タイプD 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 1,267）

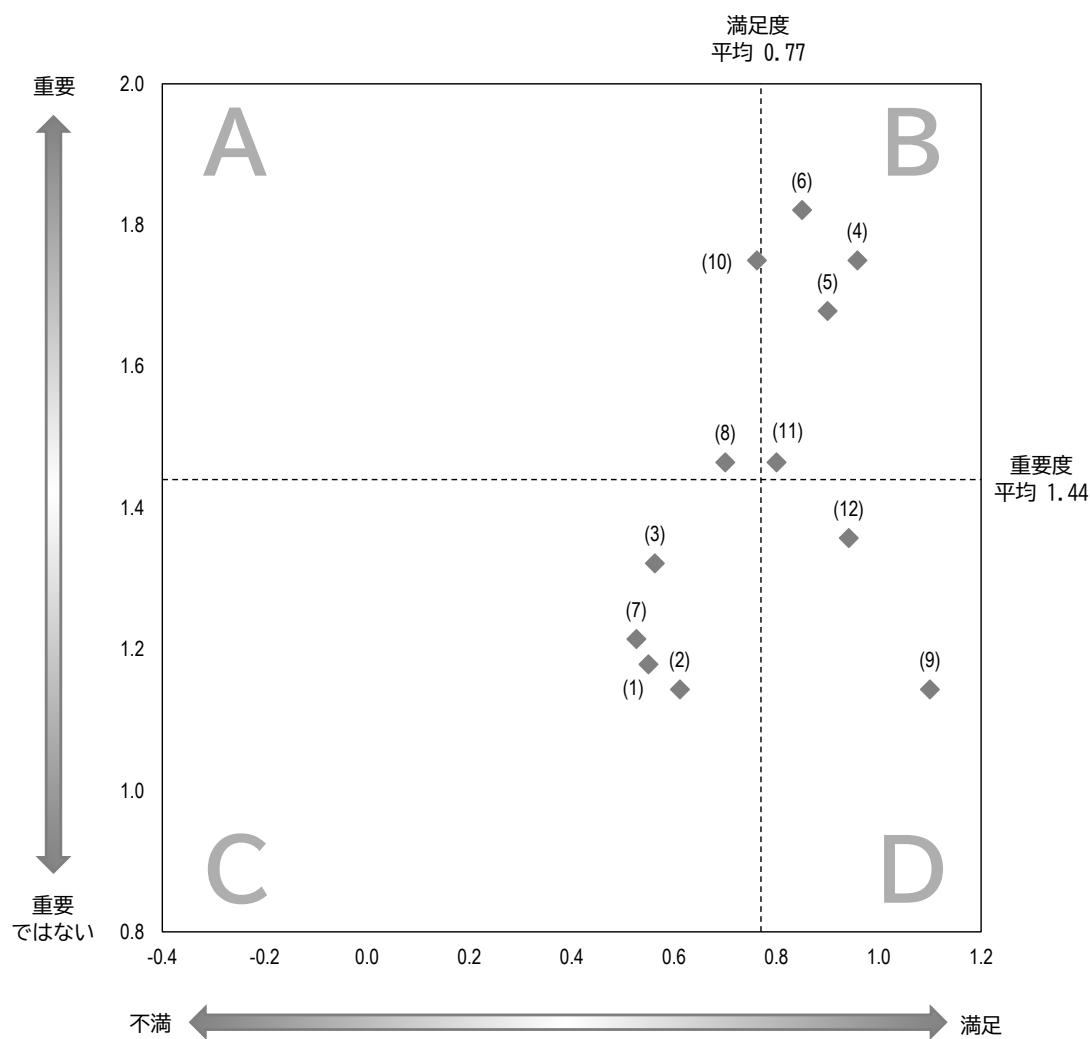
満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(3)介護保険サービスの安定的な提供』『(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり』『(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消』『(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援』『(10)災害に強いまちづくりの推進』となっています。

満足度が低く、重要度が高い施策（タイプA）は、『(1)高齢者の暮らしを支援』『(11)身近な暮らしの安全づくり』となっています。各年代のポートフォリオからみると、30歳代、40歳代で『(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援』、40歳代以上で『(1)高齢者の暮らしを支援』が挙げられています。



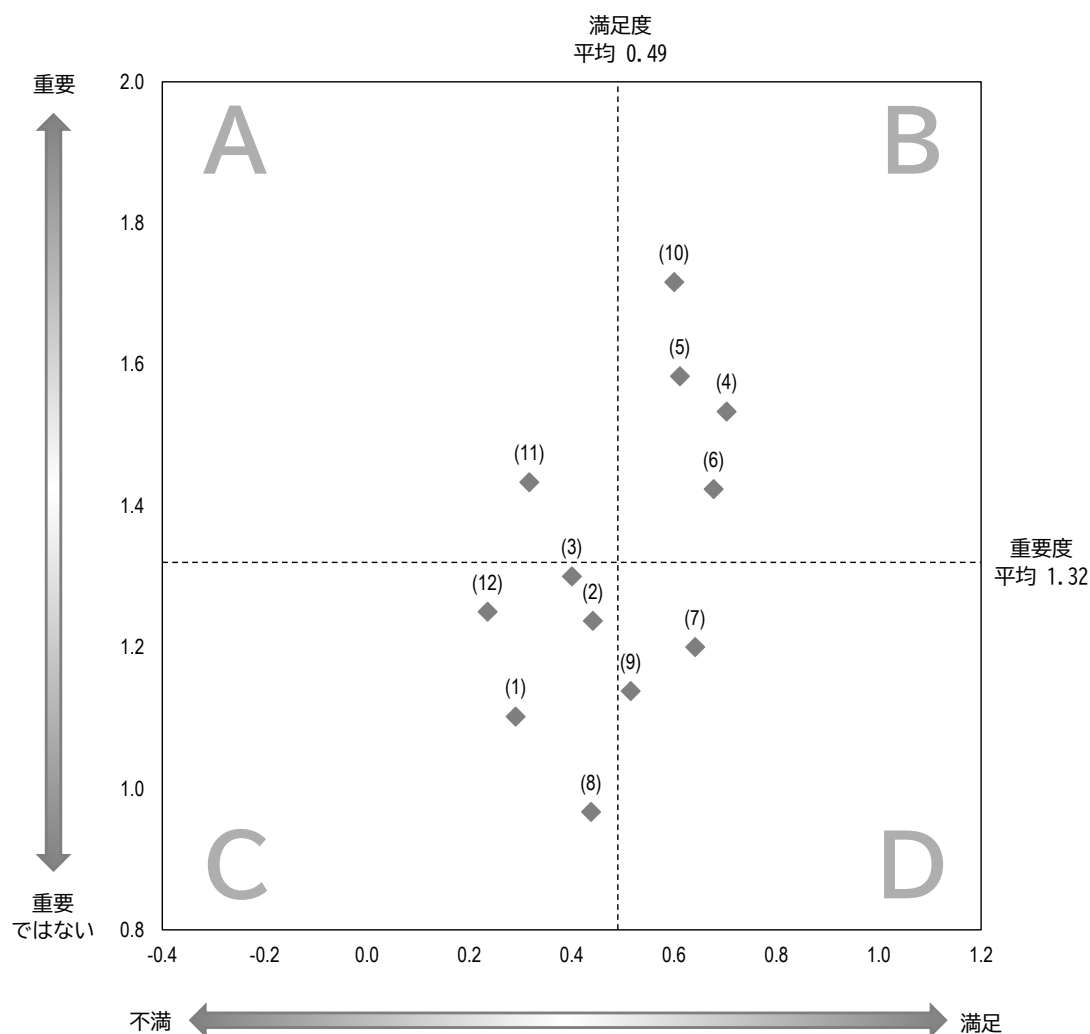
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（10 歳代 回答者数 = 28）



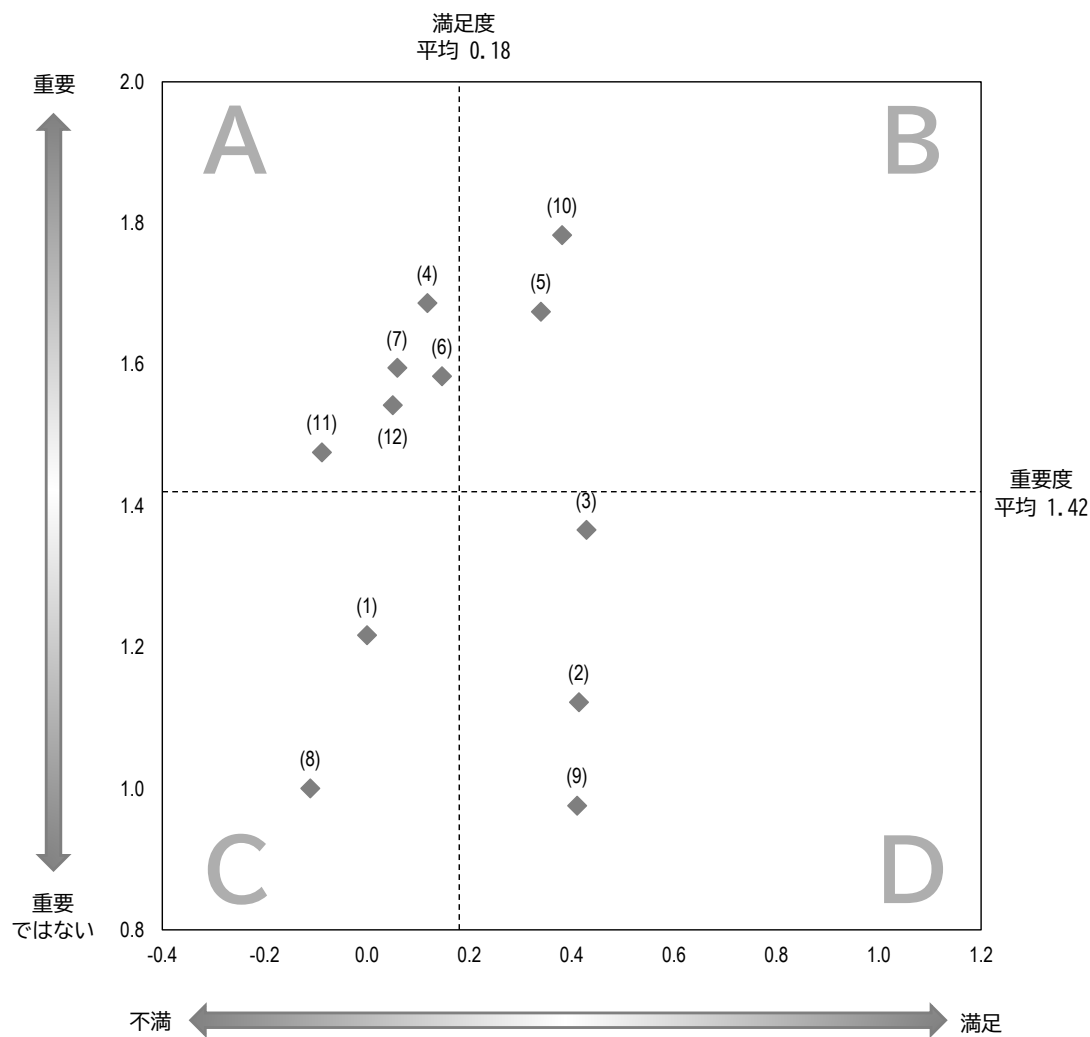
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（20 歳代 回答者数 = 60）



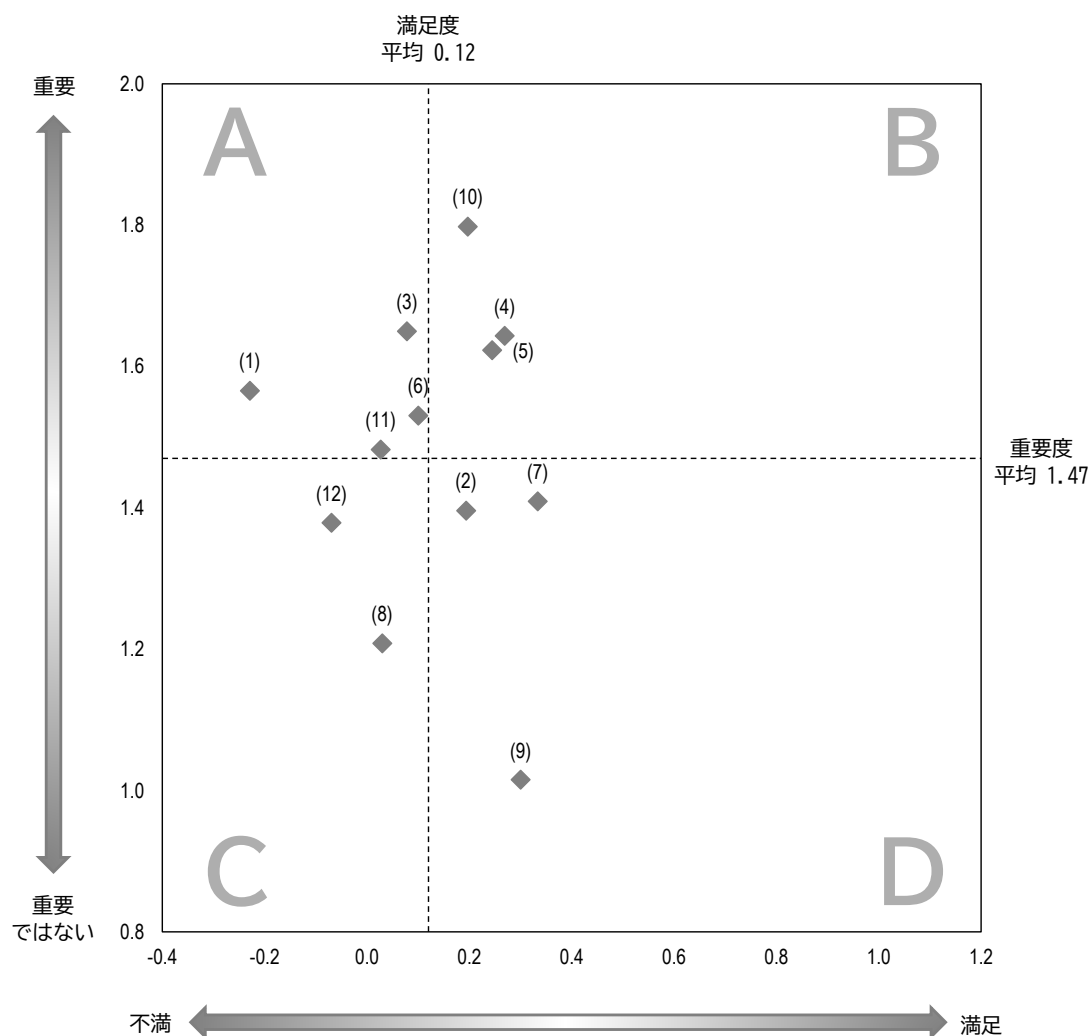
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（30 歳代 回答者数 = 84）



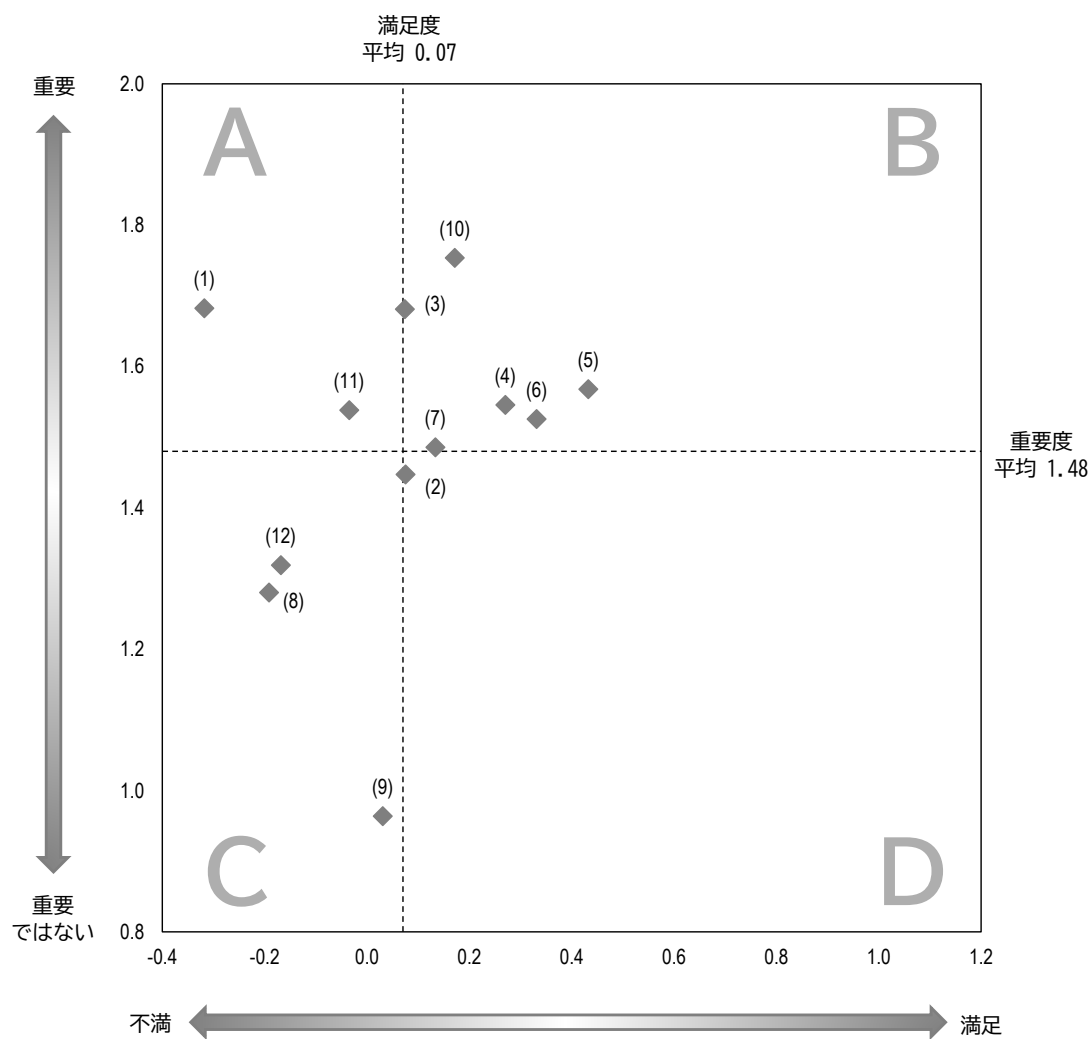
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（40 歳代 回答者数 = 199）



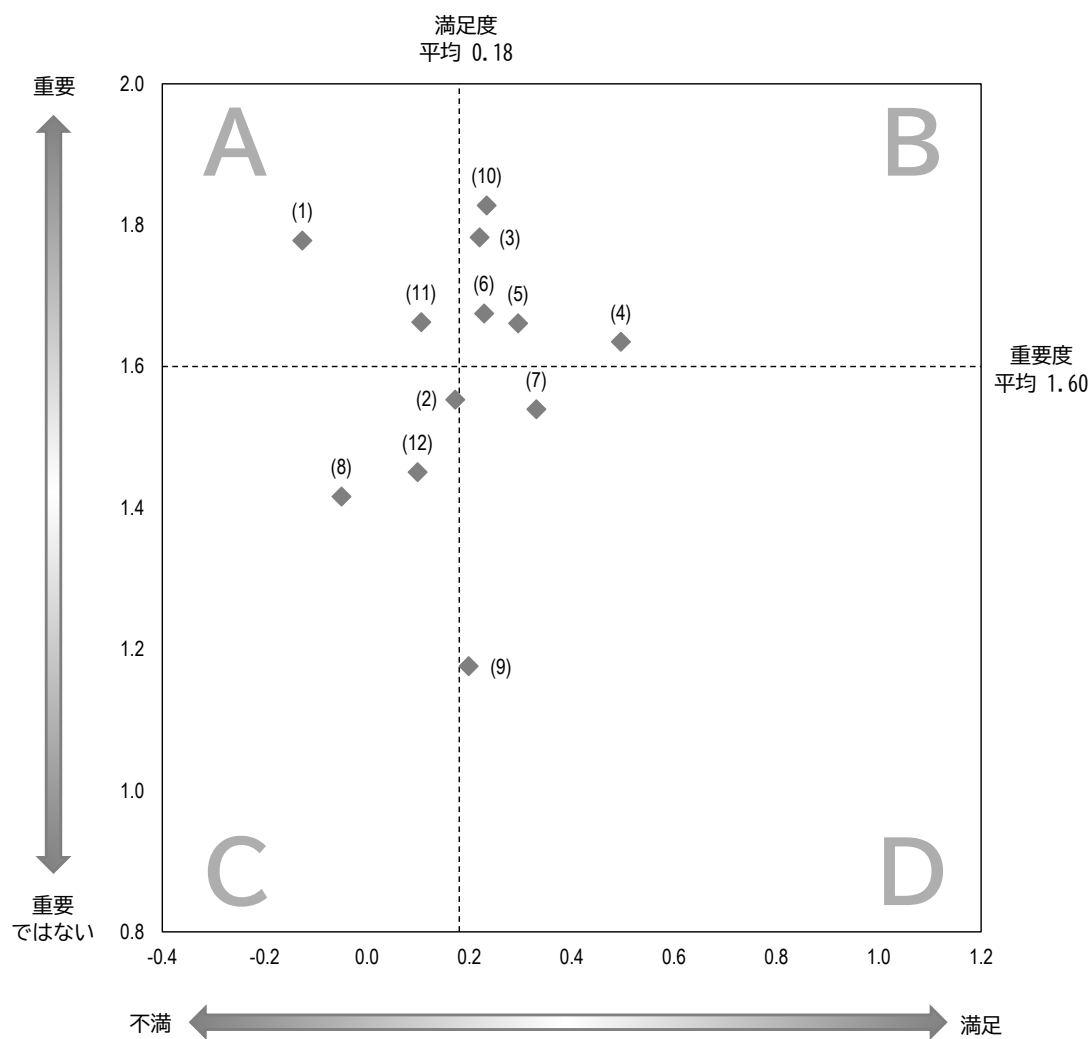
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（50 歳代 回答者数 = 277）



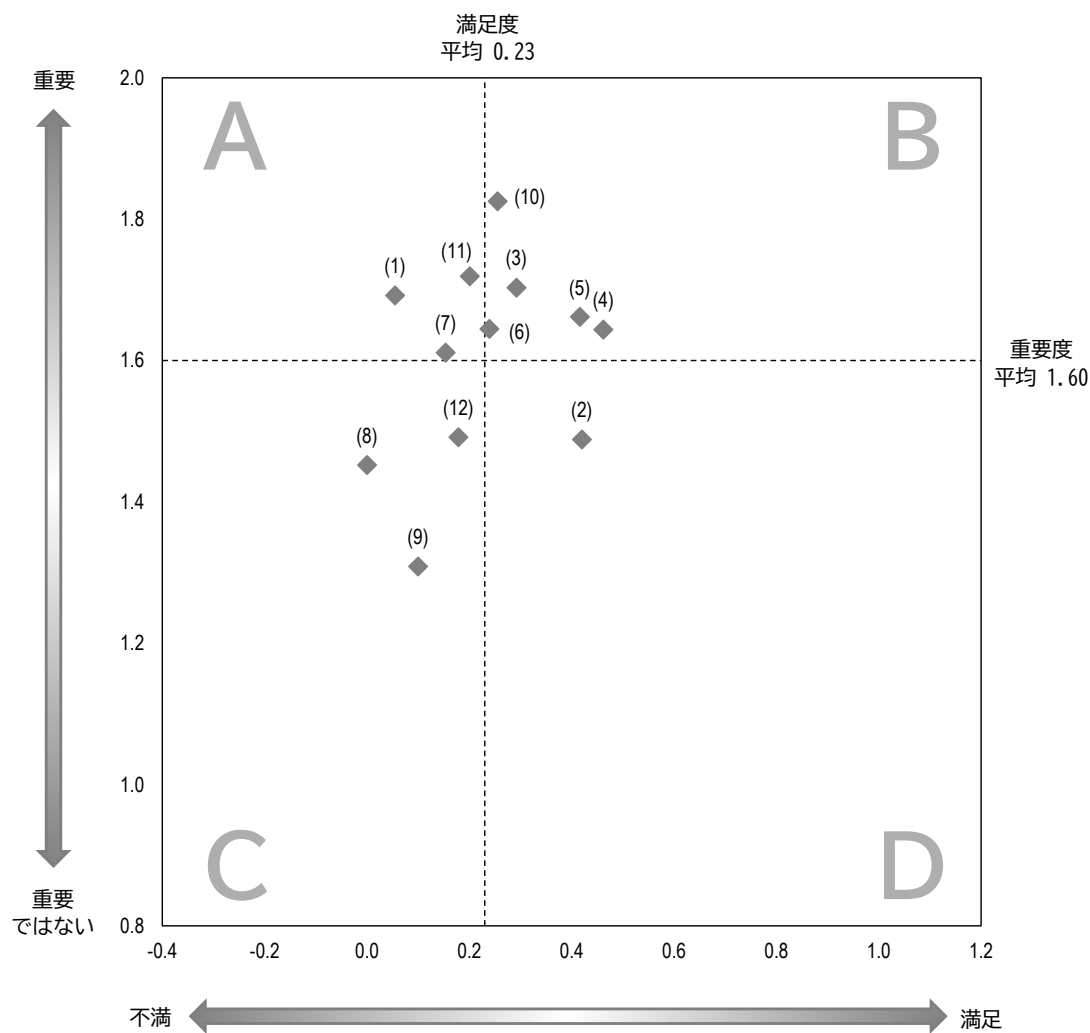
項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（60 歳代 回答者数 = 249）



項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

●施策のポートフォリオ分析（70 歳代以上 回答者数 = 364）



項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

問 21 可児市のこれからのまちづくりに関して、意見がありましたらお書きください。
(自由記述)

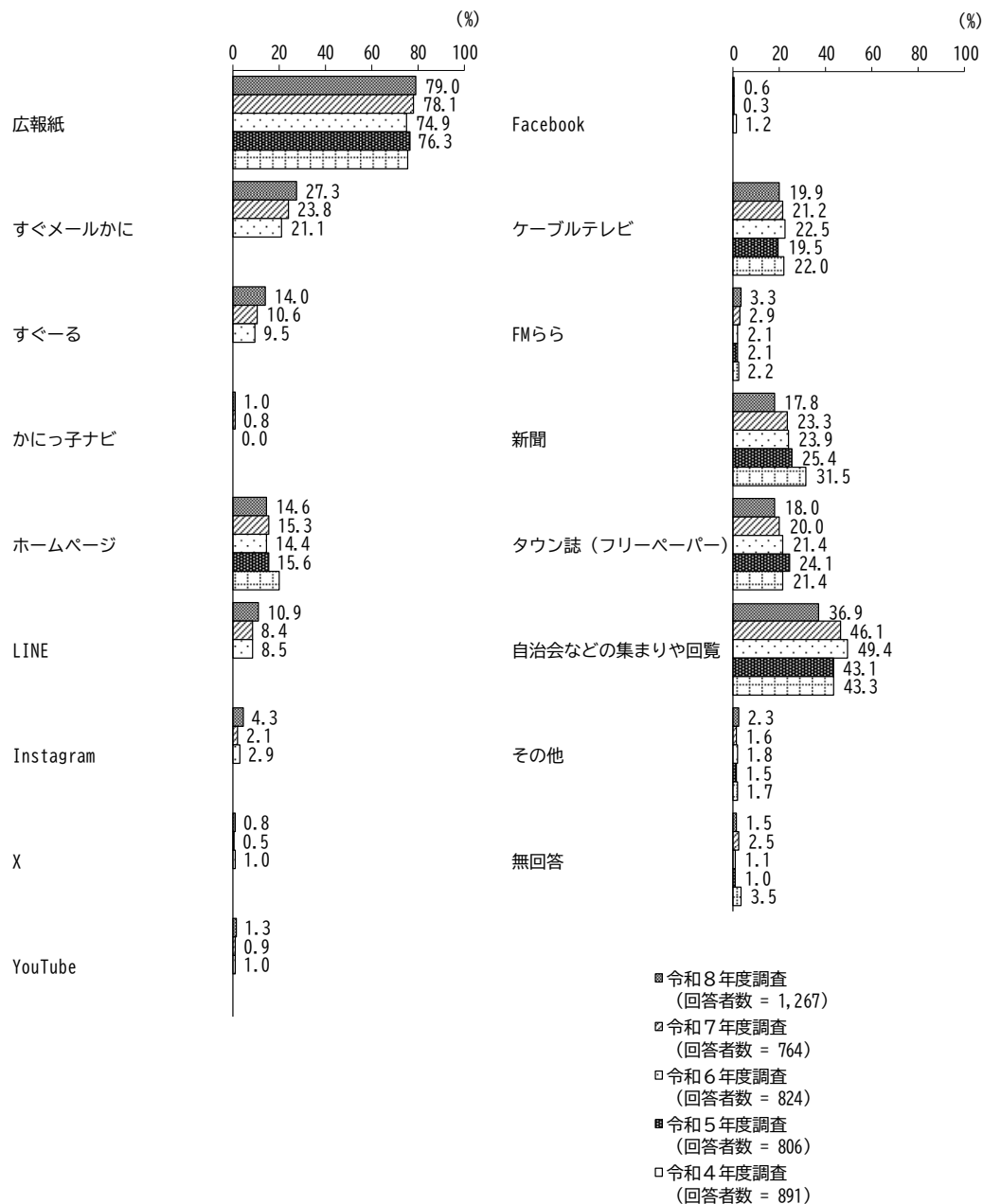
まちづくりに関して、443 件のご意見・ご要望が寄せられました。

(7)市の情報について

問 22 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が79.0%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が36.9%、「すぐメールかに」の割合が27.3%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「すぐメールかに」、「すぐーる」の割合が増加し、「自治会などの集まりや回覧」、「新聞」の割合が減少しています。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

また、「FM らら」については令和5年度調査では「コミュニティ FM」、令和6年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

男性は「ホームページ」、「ケーブルテレビ」の割合が高く、女性は「すぐる」、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐるメール かに	すぐる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	1,267	79.0	27.3	14.0	1.0	14.6	10.9	4.3	0.8	1.3	0.6	19.9	3.3
男性	549	76.5	24.2	7.8	1.5	17.9	9.5	3.5	1.3	2.0	0.7	23.5	4.9
女性	708	80.8	29.7	18.9	0.7	12.3	12.1	5.1	0.4	0.8	0.4	17.1	2.1
区分	新聞	タウン誌 (フリーペーパー)	自治会などの 集まり	その他	無回答								
全体	17.8	18.0	36.9	2.3	1.5								
男性	19.3	13.7	37.0	2.7	1.6								
女性	16.5	21.5	36.9	2.0	1.3								

【年代別】

年代が高くなるにつれて「広報紙」、「新聞」、「自治会などの集まりや回覧」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、「すぐメールかに」、「すぐーる」は40歳代で高くなっています。

単位：％

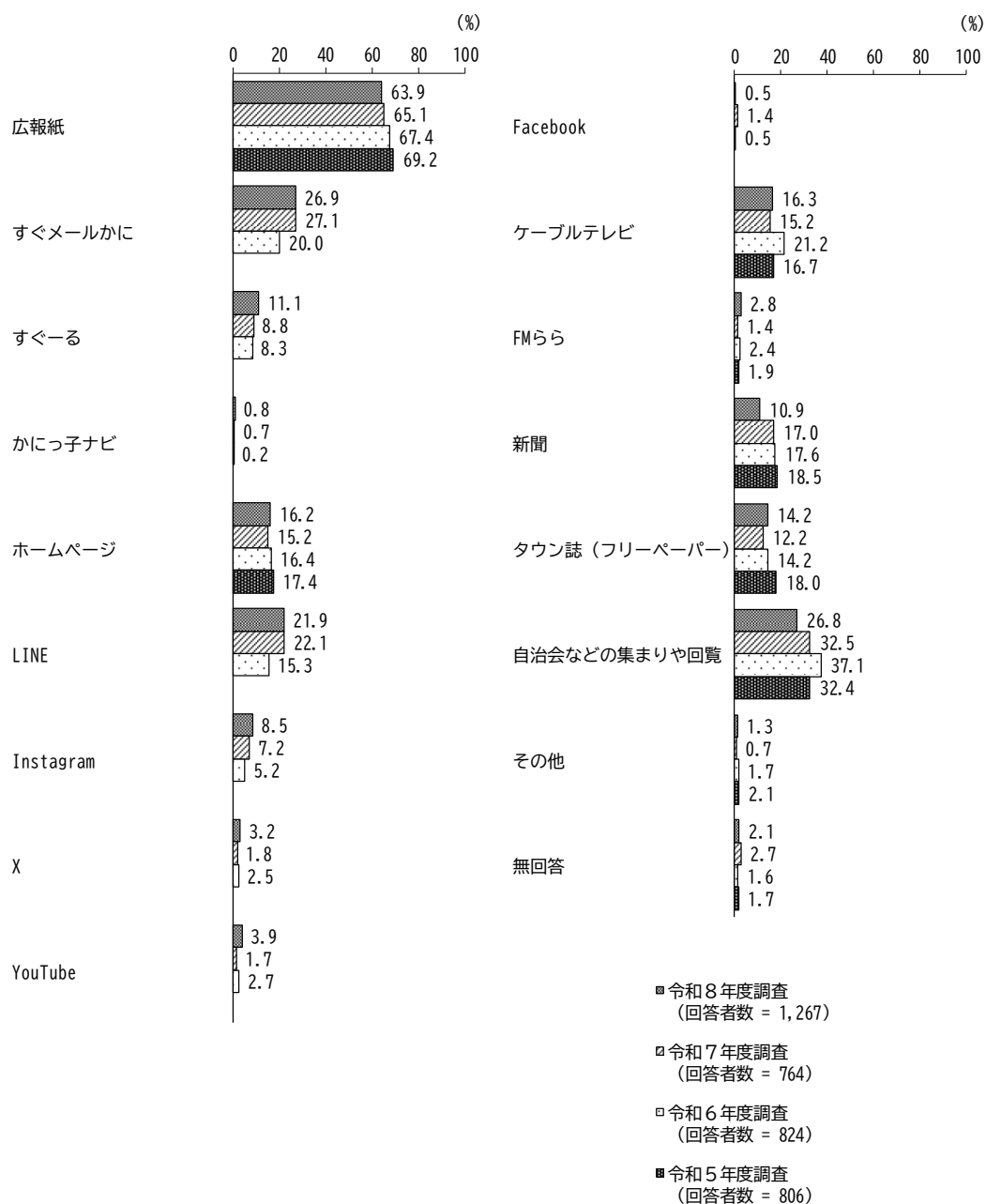
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐーる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	1,267	79.0	27.3	14.0	1.0	14.6	10.9	4.3	0.8	1.3	0.6	19.9	3.3
10歳代	28	57.1	28.6	35.7	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	3.6	0.0	10.7	0.0
20歳代	60	68.3	6.7	3.3	1.7	15.0	11.7	10.0	1.7	1.7	0.0	10.0	1.7
30歳代	84	65.5	19.0	28.6	2.4	14.3	10.7	7.1	1.2	2.4	0.0	6.0	1.2
40歳代	199	71.4	41.7	43.7	0.0	11.6	12.6	10.6	1.5	0.0	0.5	12.6	2.0
50歳代	277	78.7	34.3	13.0	0.7	14.4	12.3	3.6	1.1	1.8	0.7	19.9	2.2
60歳代	249	81.1	26.9	2.8	0.8	16.1	10.0	2.0	0.8	2.0	0.8	21.3	4.8
70歳代以上	364	88.5	19.8	3.0	1.6	16.5	9.9	1.4	0.0	0.8	0.5	28.0	4.7

区分	新聞	タウン誌（フリーパー）	や自治会などの集まり回覧	その他	無回答
全体	17.8	18.0	36.9	2.3	1.5
10歳代	14.3	3.6	28.6	3.6	3.6
20歳代	8.3	18.3	20.0	3.3	1.7
30歳代	3.6	20.2	19.0	7.1	1.2
40歳代	8.0	19.1	27.1	1.0	1.0
50歳代	13.4	23.8	35.4	2.5	0.0
60歳代	14.1	14.9	36.5	2.8	1.6
70歳代以上	33.8	15.4	51.1	0.8	2.7

問 23 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が63.9%と最も高く、次いで「すぐメールかに」の割合が26.9%、「自治会などの集まりや回覧」の割合が26.8%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「YouTube」、「X」、「Instagram」、「すぐーる」の割合が増加し、「自治会などの集まりや回覧」、「新聞」の割合が減少しています。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。

また、「FM らら」については令和5年度調査では「コミュニティ FM」、令和6年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

男性は「ホームページ」、「YouTube」、「ケーブルテレビ」、「新聞」の割合が高く、女性は「すぐー」、「LINE」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すぐー	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	1,267	63.9	26.9	11.1	0.8	16.2	21.9	8.5	3.2	3.9	0.5	16.3	2.8
男性	549	64.3	25.7	6.4	0.9	20.6	18.4	8.6	4.9	6.6	0.5	19.7	4.6
女性	708	63.4	28.0	15.0	0.7	12.7	25.0	8.6	2.0	1.7	0.4	13.7	1.4

区分	新聞	タウン誌（フリーパー）	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
全体	10.9	14.2	26.8	1.3	2.1
男性	13.8	14.4	29.1	1.6	2.0
女性	8.8	14.3	25.0	1.1	2.1

【年代別】

年代が高くなるにつれて「広報紙」、「新聞」、「ケーブルテレビ」、「自治会などの集まりや回覧」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、「LINE」、「Instagram」、「X」、「すぐる」の割合は若い年代で高くなる傾向がみられます。

単位：％

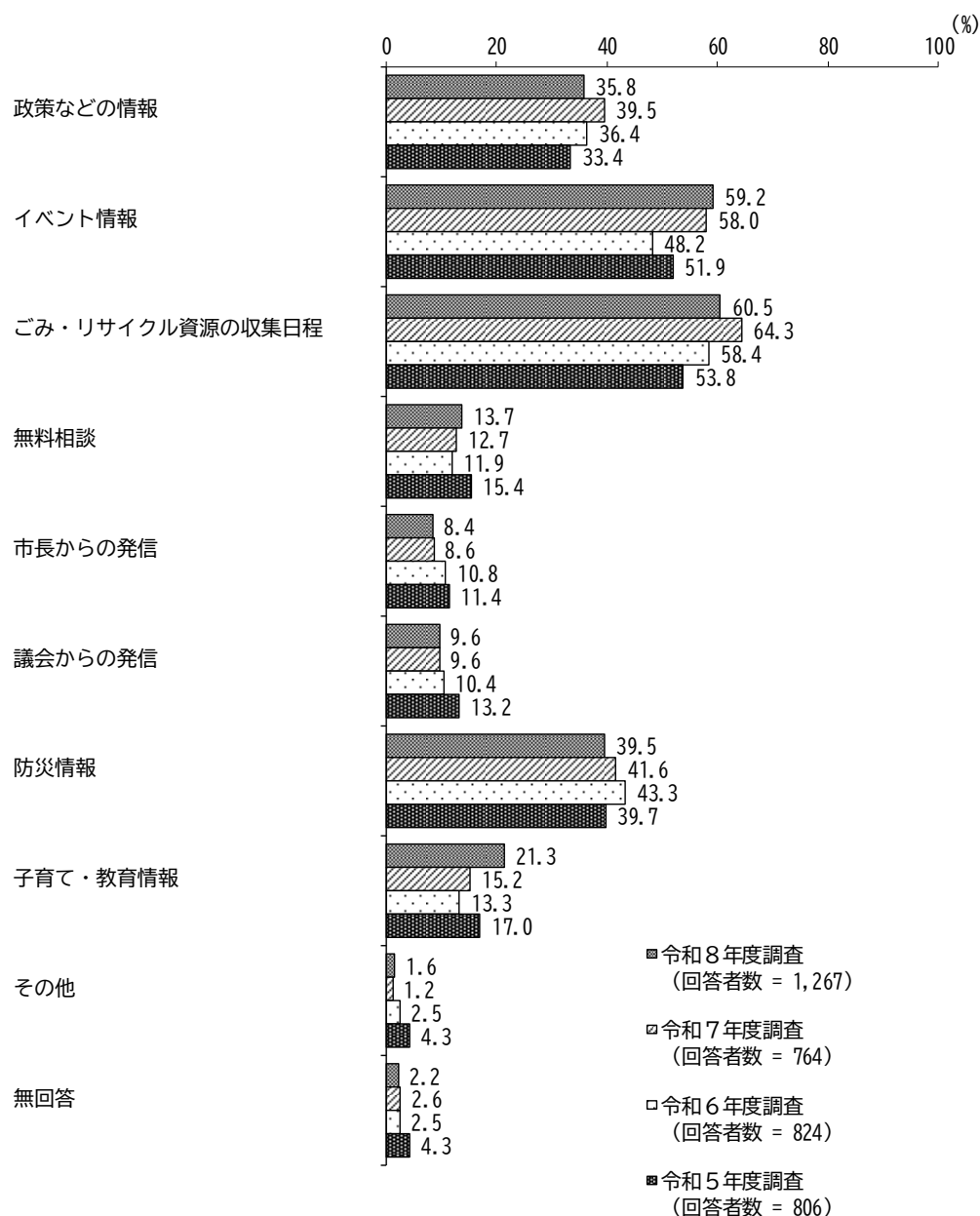
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐる メールに	すぐる	かにっ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	1,267	63.9	26.9	11.1	0.8	16.2	21.9	8.5	3.2	3.9	0.5	16.3	2.8
10歳代	28	39.3	21.4	21.4	0.0	7.1	35.7	32.1	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0
20歳代	60	51.7	13.3	3.3	3.3	11.7	33.3	36.7	21.7	3.3	0.0	6.7	0.0
30歳代	84	40.5	16.7	26.2	1.2	17.9	32.1	17.9	9.5	7.1	0.0	3.6	2.4
40歳代	199	53.3	36.7	36.2	0.5	11.1	21.1	14.1	3.5	3.0	1.0	8.0	2.0
50歳代	277	58.8	31.4	9.7	0.4	17.7	26.0	7.6	2.9	4.0	0.4	15.5	1.8
60歳代	249	66.7	30.5	2.0	0.4	19.7	19.7	3.6	0.4	4.8	0.8	16.9	4.0
70歳代以上	364	80.8	21.2	1.9	1.1	16.2	15.9	1.1	0.5	3.0	0.3	25.3	3.8

区分	新聞	ペタウン誌 (フリー)	や自治会 回覧などの 集まり	その他	無回答
全体	10.9	14.2	26.8	1.3	2.1
10歳代	10.7	10.7	17.9	0.0	3.6
20歳代	8.3	15.0	11.7	0.0	1.7
30歳代	1.2	20.2	11.9	2.4	3.6
40歳代	4.5	13.1	14.1	2.0	0.5
50歳代	7.9	17.3	19.9	1.8	1.4
60歳代	10.4	12.9	28.5	0.8	1.6
70歳代以上	19.5	12.1	44.5	0.8	3.6

問 24 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「イベント情報」の割合が 59.2%、「防災情報」の割合が 39.5%となっています。

令和 7 年度調査と比較すると、「子育て・教育情報」の割合が増加し、「政策などの情報」、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が減少しています。



【性別】

男性は「政策などの情報」の割合が高く、女性は「ごみ・リサイクル資源の収集日程」、「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全体	1,267	35.8	59.2	60.5	13.7	8.4	9.6	39.5	21.3	1.6	2.2
男性	549	42.8	55.7	55.0	12.9	9.3	12.2	40.1	18.9	2.0	2.7
女性	708	30.6	62.0	64.7	14.4	7.6	7.5	38.8	23.2	1.3	1.7

【年代別】

年代が高くなるにつれて「防災情報」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、「イベント情報」、「子育て・教育情報」の割合は若い年代で高くなる傾向がみられます。

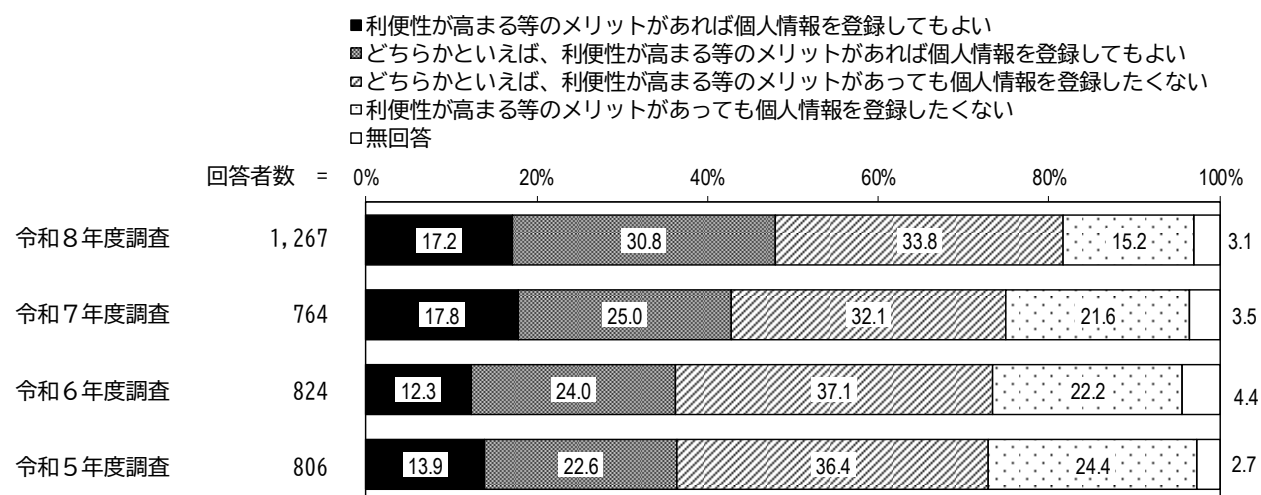
単位：％

区分	回答者数（件）	政策などの情報	イベント情報	ごみ・リサイクル資源の収集日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
全体	1,267	35.8	59.2	60.5	13.7	8.4	9.6	39.5	21.3	1.6	2.2
10歳代	28	17.9	67.9	42.9	3.6	0.0	10.7	21.4	32.1	0.0	7.1
20歳代	60	36.7	70.0	45.0	1.7	5.0	11.7	21.7	40.0	1.7	0.0
30歳代	84	39.3	61.9	52.4	11.9	7.1	7.1	27.4	52.4	0.0	2.4
40歳代	199	30.7	63.8	65.3	11.6	4.0	5.0	35.2	48.7	1.5	0.5
50歳代	277	35.4	60.6	63.5	18.8	7.2	8.7	44.0	17.7	2.2	1.8
60歳代	249	32.9	58.2	61.4	16.5	8.0	9.2	44.6	10.4	1.6	2.4
70歳代以上	364	41.5	53.3	60.7	12.4	13.2	12.9	42.0	5.2	1.6	3.3

問 25 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(〇は1つだけ)

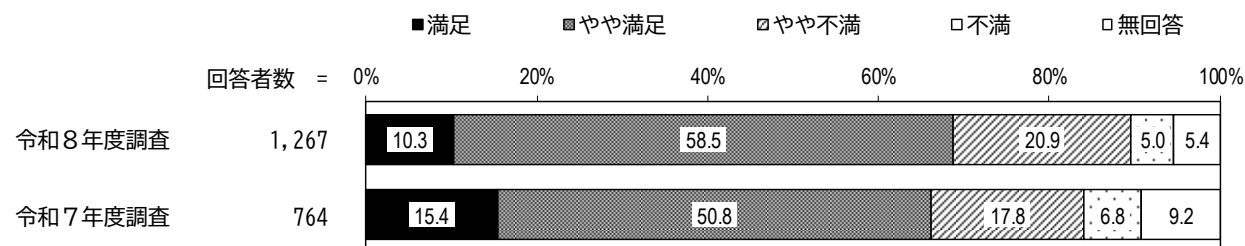
「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」と「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」を合わせた“登録してもよい”の割合が48.0%、「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」と「利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」を合わせた“登録したくない”の割合が49.0%と、両者はほぼ同程度となっています。

経年でみると、“登録してもよい”の割合が増加しています。



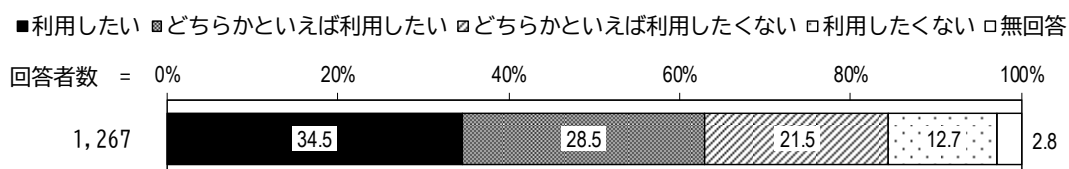
問 26 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が68.8%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が25.9%となっています。



問 27 市では、市内の協力店で利用できる地域通貨Kマネーを発行しています。今後、利便性の向上などを目的に、スマートフォン等で利用できる「デジタル版Kマネー」を導入した場合、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

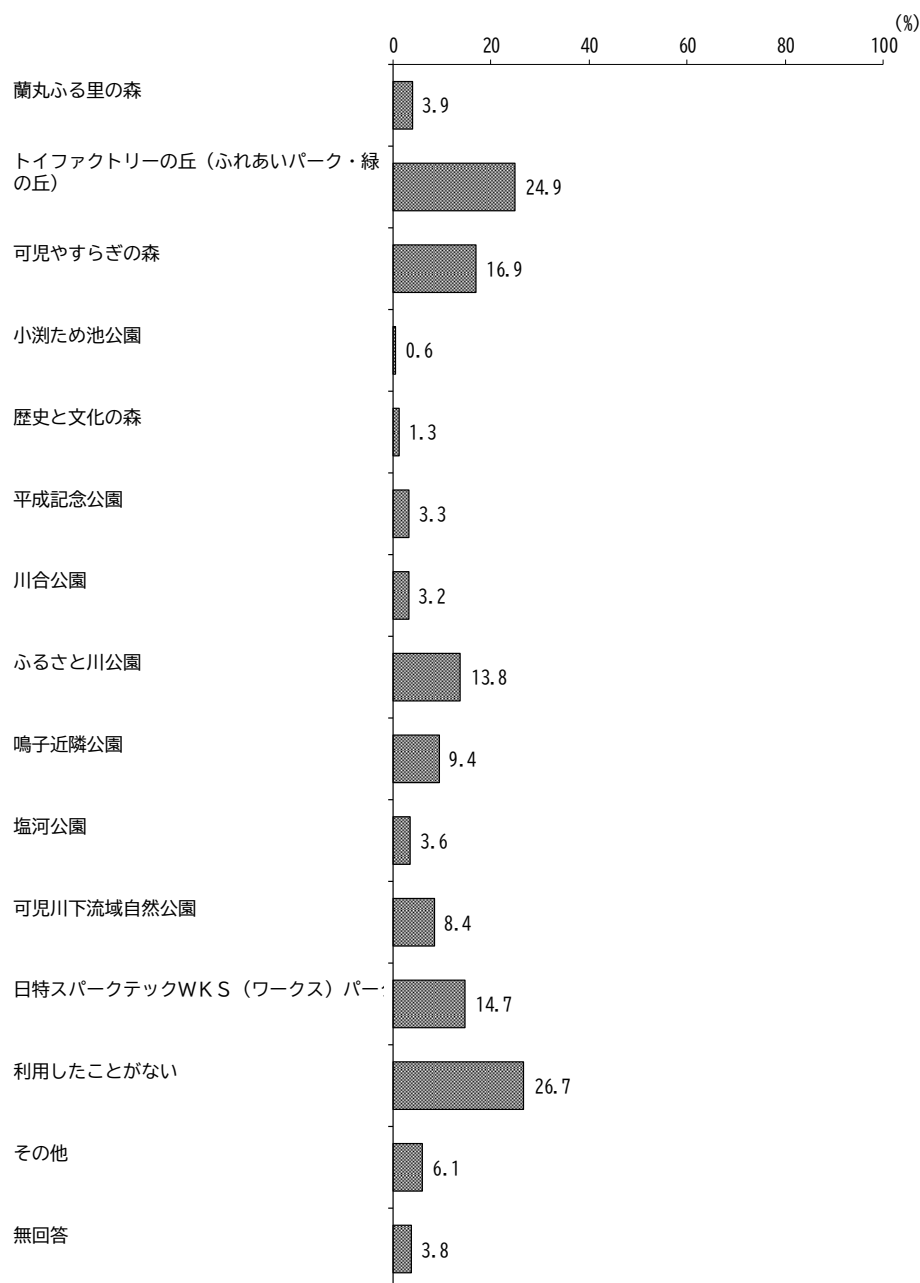
「利用したい」「どちらかといえば利用したい」を合わせた“利用したい”の割合が 63.0%、「どちらかといえば利用したくない」「利用したくない」を合わせた“利用したくない”の割合が 34.2%となっています。



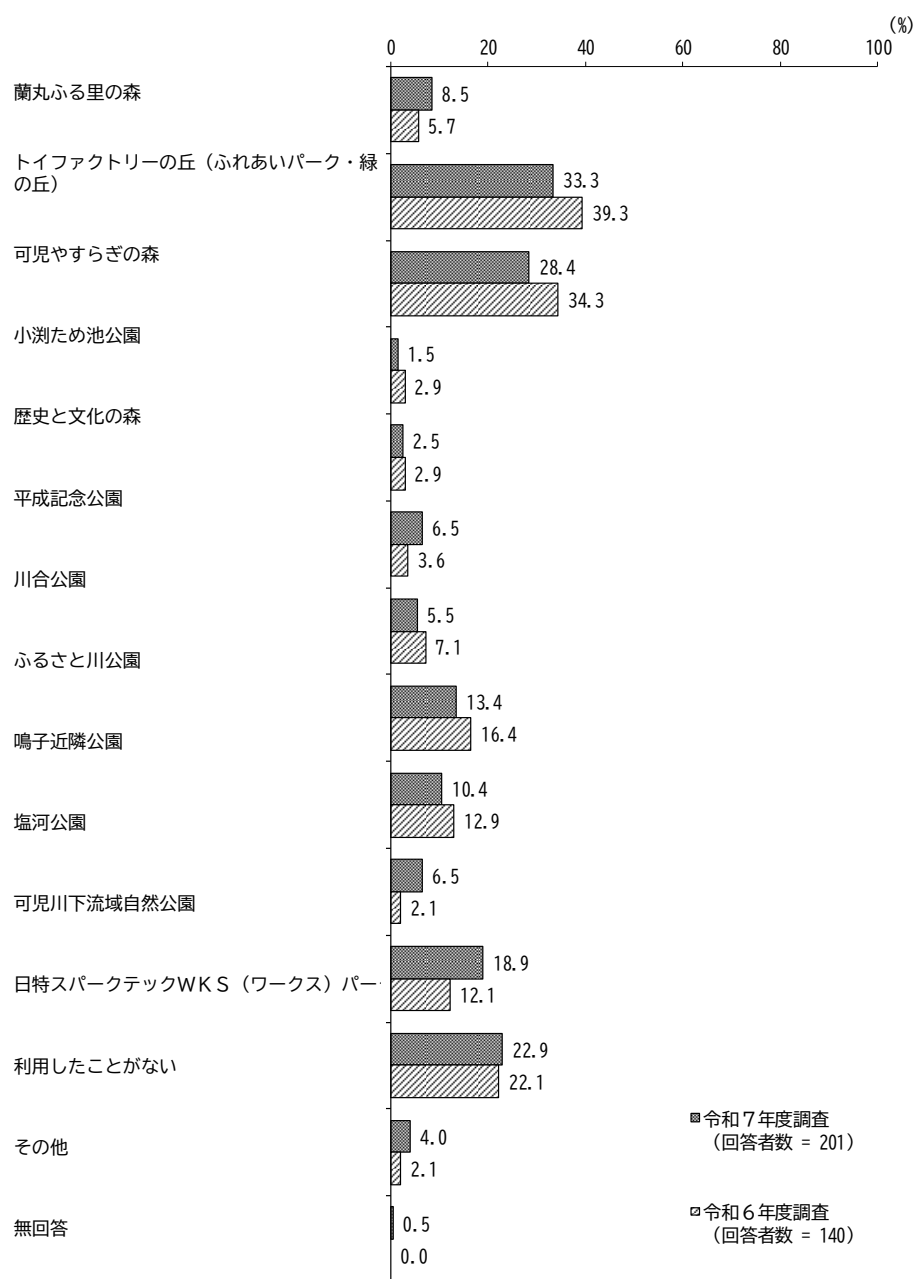
(8)公園について

問 28 よく利用する公園はどこですか。(複数回答可)

「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「可児やすらぎの森」の割合が 16.9%、「日特スパークテックWKS（ワークス）パーク」の割合が 14.7%となっています。一方で、「利用したことがない」の割合は 26.7%となっています。



【経年比較 参考】



※「よく行くところはどこですか。(複数回答可)」の設問で「市内の公園」を選択された方が回答。

【年代別】

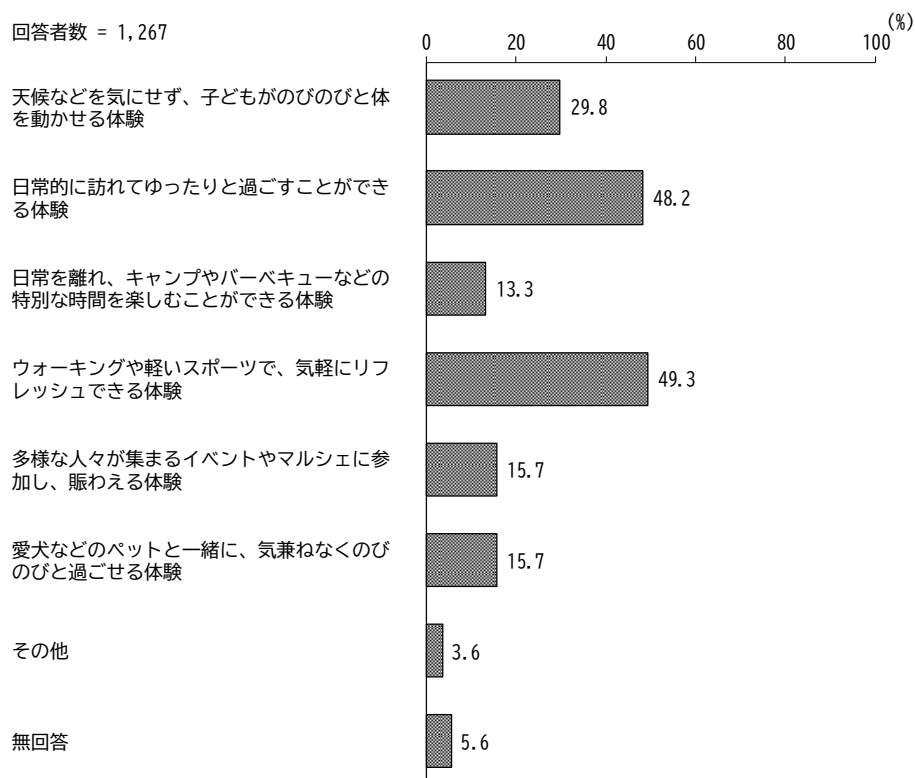
「ふるさと川公園」、「日特スパークテックWKS（ワークス）パーク」の割合は若い年代で高くなる傾向がみられます。一方、「利用したことがない」の割合は60歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	蘭丸ふる里の森	あいパーク・緑の丘（ふれ	トイファクトリーの丘（ふれ	可児やすらぎの森	小渕ため池公園	歴史と文化の森	平成記念公園	川合公園	ふるさと川公園	鳴子近隣公園	塩河公園	可児川下流域自然公園	日特スパークテックWKS（ワークス）パーク	利用したことがない	その他	無回答
全体	1,267	3.9	24.9	16.9	0.6	1.3	3.3	3.2	13.8	9.4	3.6	8.4	14.7	26.7	6.1	3.8	
10歳代	28	0.0	28.6	21.4	0.0	0.0	10.7	10.7	32.1	10.7	3.6	0.0	10.7	7.1	0.0	3.6	
20歳代	60	3.3	21.7	15.0	0.0	0.0	0.0	5.0	11.7	13.3	5.0	10.0	18.3	31.7	5.0	1.7	
30歳代	84	1.2	26.2	11.9	0.0	0.0	4.8	3.6	27.4	14.3	4.8	3.6	29.8	25.0	3.6	0.0	
40歳代	199	2.0	32.7	13.6	0.0	0.5	4.5	4.0	19.1	17.6	4.5	4.0	26.6	18.1	6.0	3.5	
50歳代	277	2.5	25.3	14.4	0.7	1.1	3.2	4.0	17.3	9.0	5.8	7.9	12.6	28.2	6.9	1.8	
60歳代	249	4.4	20.1	14.9	0.4	1.6	2.4	2.0	8.0	7.2	1.6	6.4	12.9	34.9	4.0	4.8	
70歳代以上	364	6.3	23.9	23.1	1.1	2.2	3.0	2.2	8.0	4.7	2.5	14.0	7.1	25.5	8.0	5.8	

問 29 公園での過ごし方について、求めるものはどれですか。（複数回答可）

「ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験」の割合が49.3%と最も高く、次いで「日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験」の割合が48.2%、「天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験」の割合が29.8%となっています。



【性別】

性別にみると、「天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験	日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験	日常を離れ、キャンプやバーベキューなどの特別な時間を楽しむことができる体験	ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験	多様な人々が集まるイベントやマルシェに参加し、賑わえる体験	愛犬などのペットと一緒に、気兼ねなくのびのびと過ごせる体験	その他	無回答
全体	1,267	29.8	48.2	13.3	49.3	15.7	15.7	3.6	5.6
男性	549	25.5	46.4	14.2	48.5	12.8	14.6	3.5	6.2
女性	708	33.3	49.6	12.3	49.9	17.9	16.8	3.7	5.1

【年代別】

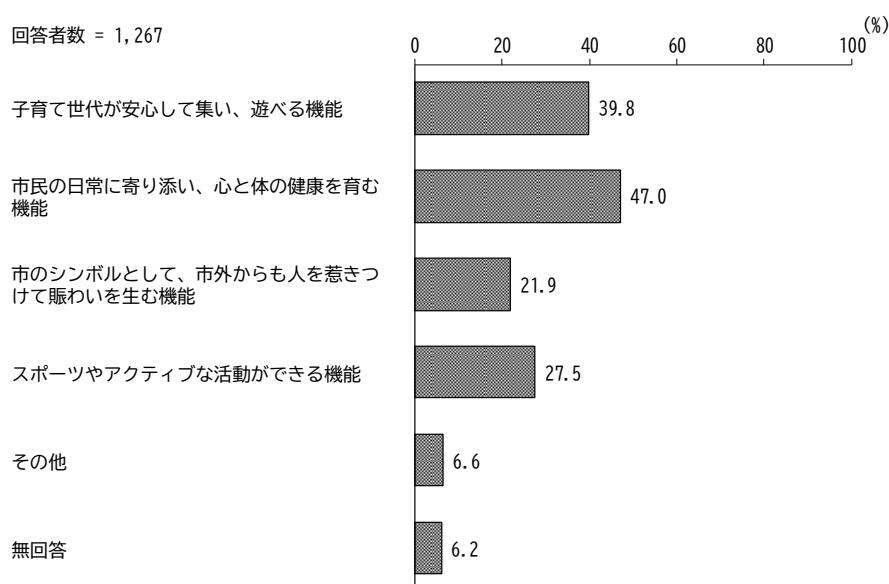
年代別にみると、「天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験」の割合が 30 歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験	日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験	日常を離れ、キャンプやバーベキューなどの特別な時間を楽しむことができる体験	ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験	多様な人々が集まるイベントやマルシェに参加し、賑わえる体験	愛犬などのペットと一緒に、気兼ねなくのびのびと過ごせる体験	その他	無回答
全体	1,267	29.8	48.2	13.3	49.3	15.7	15.7	3.6	5.6
10歳代	28	42.9	57.1	25.0	39.3	32.1	25.0	0.0	3.6
20歳代	60	45.0	45.0	30.0	41.7	25.0	28.3	5.0	1.7
30歳代	84	53.6	57.1	13.1	32.1	26.2	17.9	1.2	1.2
40歳代	199	47.2	44.2	20.6	43.2	20.1	19.1	3.0	3.5
50歳代	277	25.6	46.2	16.2	52.0	15.5	19.5	3.6	4.3
60歳代	249	26.9	50.2	9.2	49.0	13.3	14.5	4.4	4.8
70歳代以上	364	16.5	48.4	6.0	56.3	10.2	8.5	3.8	9.9

問 30 現在、市では「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の再整備に向けた検討を進めています。当公園に求める機能はどれですか。（複数回答可）

「市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「子育て世代が安心して集い、遊べる機能」の割合が 39.8%、「スポーツやアクティブな活動ができる機能」の割合が 27.5%となっています。



【性別】

性別にみると、「スポーツやアクティブな活動ができる機能」の割合が男性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て世代が安心して集い、遊べる機能	市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能	市のシンボルとして、賑わいを生む機能	スポーツやアクティブな活動ができる機能	その他	無回答
全体	1,267	39.8	47.0	21.9	27.5	6.6	6.2
男性	549	37.5	41.9	23.5	30.8	7.3	6.2
女性	708	42.1	51.1	20.2	25.0	6.1	6.1

【年代別】

年代別にみると、「子育て世代が安心して集い、遊べる機能」の割合が30歳代で高くなっています。

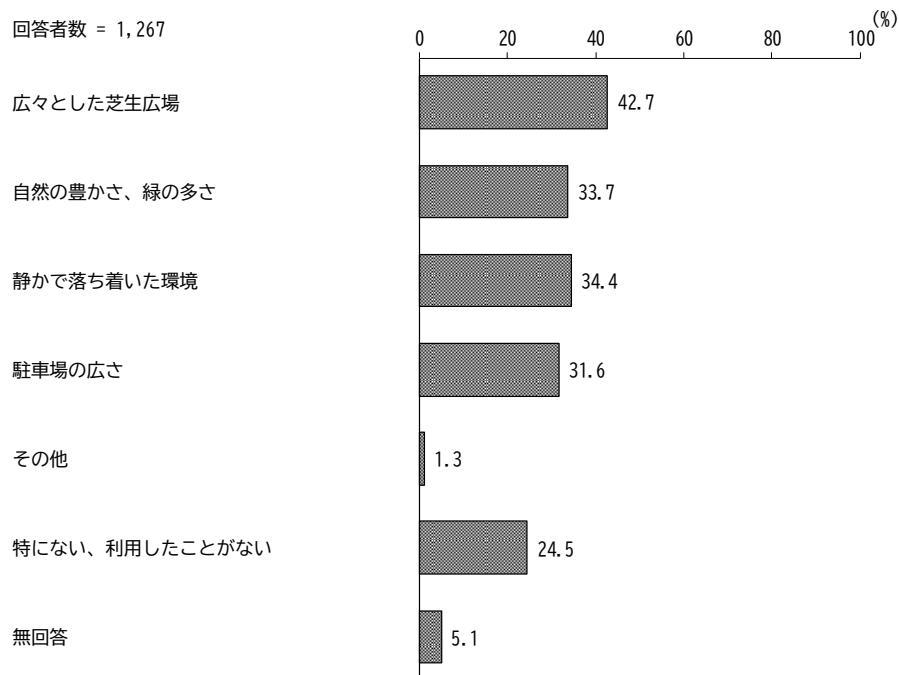
単位：％

区分	回答者数 (件)	子育て世代が安心して集い、遊べる機能	市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能	市のシンボルとして、市外からも人を惹きつけて賑わいを生む機能	スポーツやアクティブな活動ができる機能	その他	無回答
全体	1,267	39.8	47.0	21.9	27.5	6.6	6.2
10歳代	28	50.0	42.9	14.3	46.4	7.1	3.6
20歳代	60	51.7	30.0	23.3	31.7	11.7	1.7
30歳代	84	70.2	31.0	26.2	39.3	3.6	0.0
40歳代	199	52.8	36.7	20.6	41.7	3.5	4.5
50歳代	277	37.5	51.3	23.8	26.0	7.2	4.3
60歳代	249	31.3	55.0	22.1	24.9	6.0	5.2
70歳代以上	364	30.5	50.8	20.3	18.4	8.0	11.3

問 31 「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の再整備にあたり、現状の機能のうち、活かしてほしい点と改善してほしい点はどれですか。（複数回答可）

【活かしてほしい点】

「広々とした芝生広場」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「静かで落ち着いた環境」の割合が 34.4%、「自然の豊かさ、緑の多さ」の割合が 33.7%となっています。一方で、「特にない、利用したことがない」の割合は 24.5%となっています。



【性別】

性別にみると、「駐車場の広さ」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	広々とした芝生広場	自然の豊かさ、緑の多さ	静かで落ち着いた環境	駐車場の広さ	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	1,267	42.7	33.7	34.4	31.6	1.3	24.5	5.1
男性	549	43.9	32.8	32.1	28.6	1.6	23.7	4.4
女性	708	41.8	34.3	36.2	34.0	1.1	25.0	5.8

【年代別】

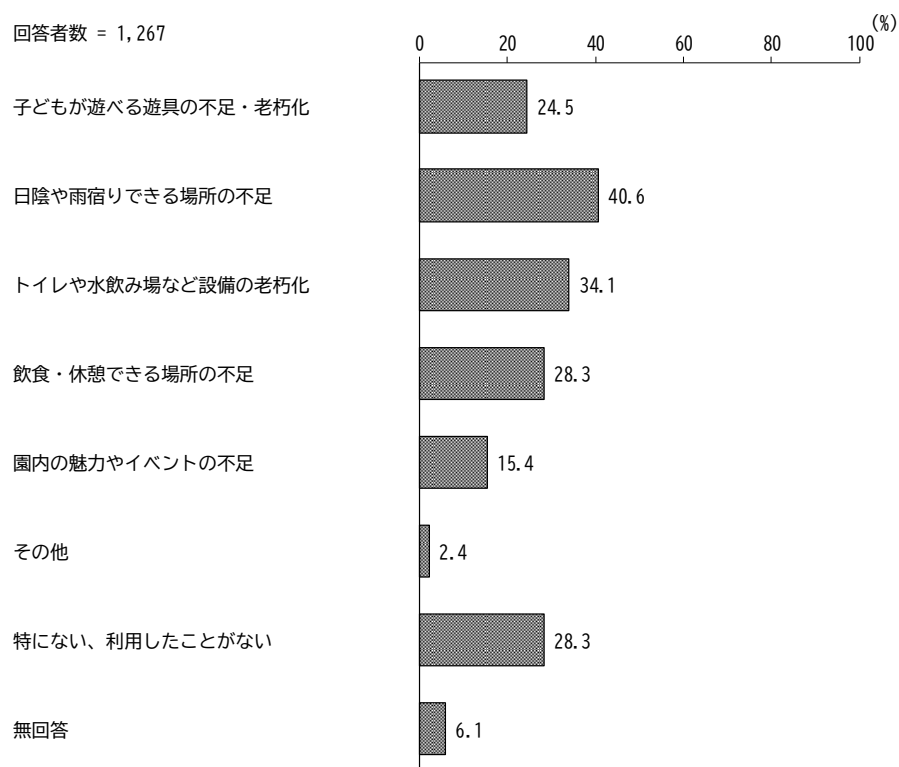
年代別にみると、「広々とした芝生広場」の割合が10歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	広々とした芝生広場	自然の豊かさ、緑の多さ	静かで落ち着いた環境	駐車場の広さ	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	1,267	42.7	33.7	34.4	31.6	1.3	24.5	5.1
10歳代	28	64.3	39.3	46.4	42.9	0.0	10.7	3.6
20歳代	60	50.0	30.0	25.0	23.3	5.0	28.3	1.7
30歳代	84	56.0	35.7	32.1	44.0	1.2	22.6	0.0
40歳代	199	54.8	34.7	34.2	46.7	1.5	16.1	3.0
50歳代	277	44.4	35.0	40.8	39.4	1.4	23.5	1.8
60歳代	249	39.4	30.9	30.9	23.7	1.6	30.1	5.2
70歳代以上	364	31.3	33.8	33.2	20.9	0.5	26.6	10.4

【改善してほしい点】

「日陰や雨宿りできる場所の不足」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「トイレや水飲み場など設備の老朽化」の割合が 34.1%、「飲食・休憩できる場所の不足」の割合が 28.3%となっています。一方で、「特にない、利用したことがない」の割合も 28.3%となっています。



【性別】

性別にみると、「トイレや水飲み場など設備の老朽化」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもが遊べる遊具の不足・老朽化	日陰や雨宿りできる場所の不足	トイレや水飲み場など設備の老朽化	飲食・休憩できる場所の不足	園内の魅力やイベントの不足	その他	特になし、利用したことがない	無回答
全体	1,267	24.5	40.6	34.1	28.3	15.4	2.4	28.3	6.1
男性	549	23.5	39.7	30.6	27.7	16.0	2.4	28.4	5.8
女性	708	25.6	41.7	36.9	28.5	14.8	2.4	28.1	6.4

【年代別】

年代別にみると、「子どもが遊べる遊具の不足・老朽化」の割合が30歳代、40歳代で高くなっています。

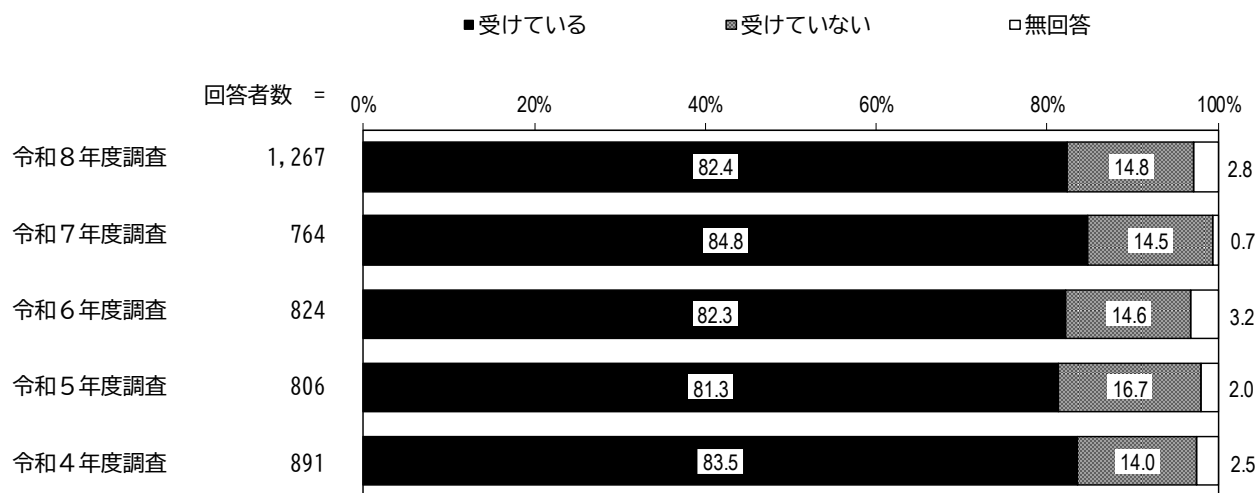
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもが遊べる遊具の不足・老朽化	日陰や雨宿りできる場所の不足	トイレや水飲み場など設備の老朽化	飲食・休憩できる場所の不足	園内の魅力やイベントの不足	その他	特になし、利用したことがない	無回答
全体	1,267	24.5	40.6	34.1	28.3	15.4	2.4	28.3	6.1
10歳代	28	17.9	53.6	46.4	32.1	17.9	0.0	21.4	7.1
20歳代	60	31.7	35.0	48.3	18.3	26.7	5.0	25.0	3.3
30歳代	84	45.2	50.0	46.4	38.1	19.0	1.2	26.2	0.0
40歳代	199	44.2	49.2	46.2	38.2	20.1	2.0	14.6	6.0
50歳代	277	21.7	43.0	35.7	31.4	18.8	2.9	28.5	3.2
60歳代	249	20.1	38.2	27.3	22.1	11.6	2.8	35.3	5.2
70歳代以上	364	14.0	34.1	25.3	23.9	10.2	1.9	31.9	10.2

(9)健康管理・運動の推進について

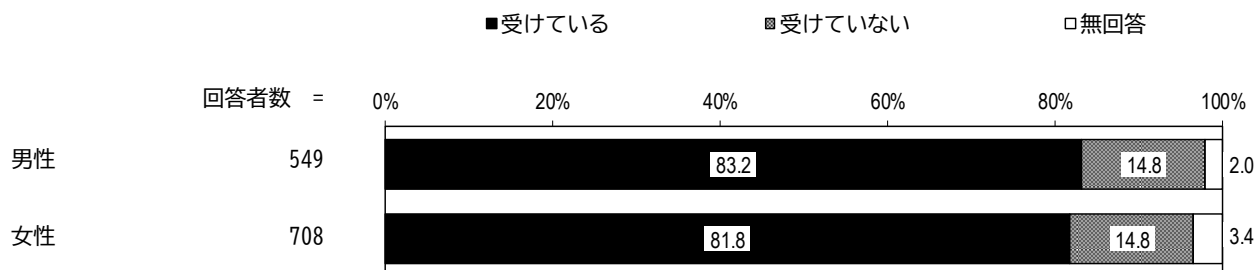
問 32 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が82.4%となっています。



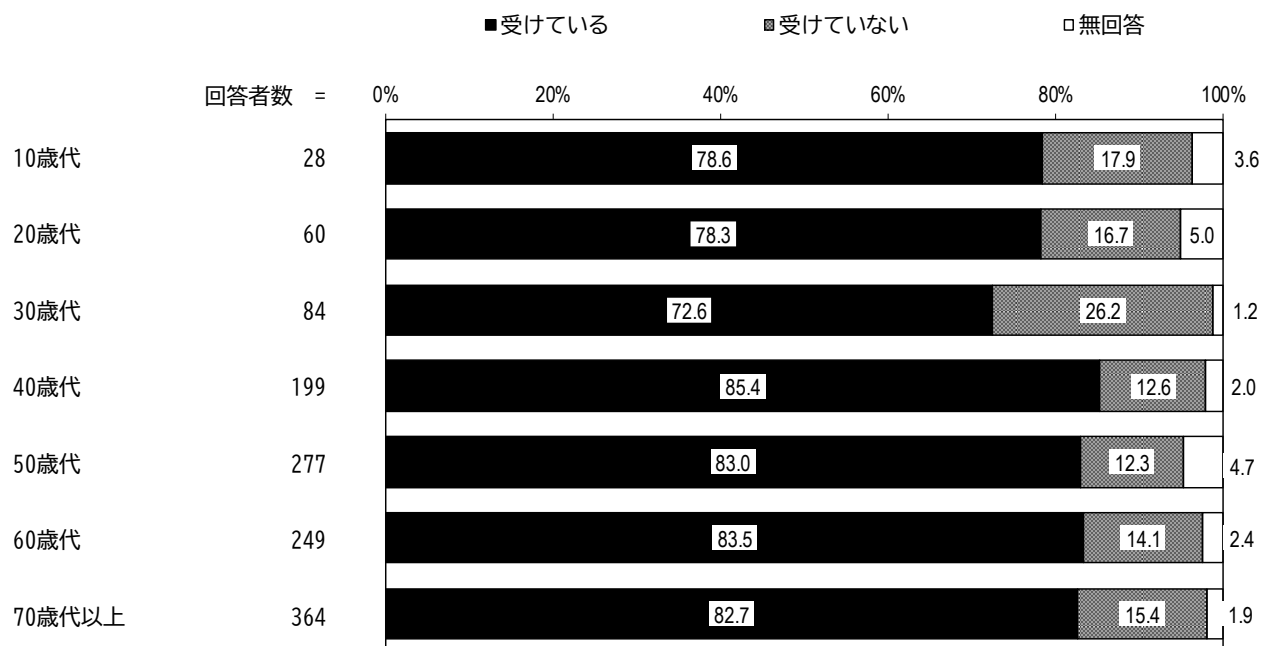
【性別】

性別による大きな差はみられません。



【年代別】

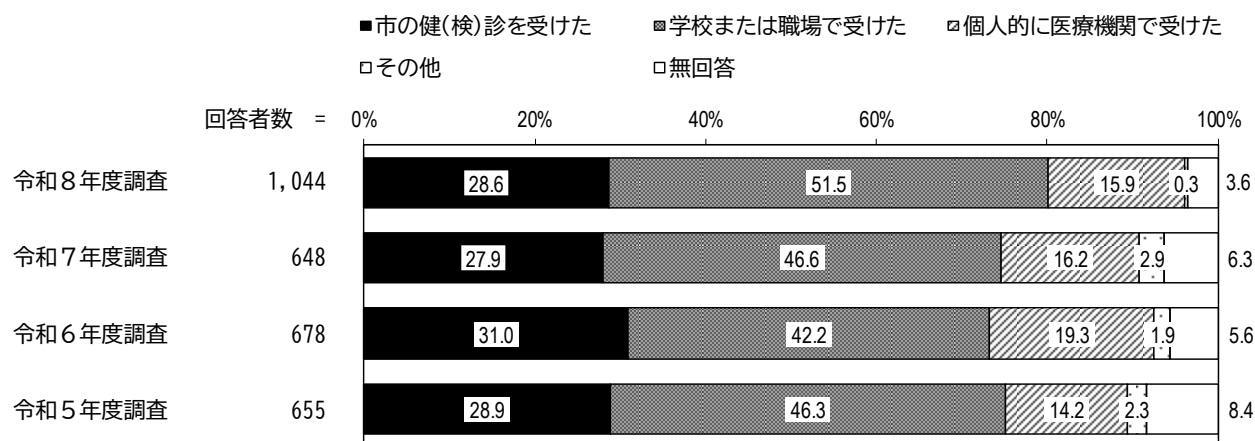
年代別にみると、「受けている」の割合が30歳では低くなっています。



受診場所

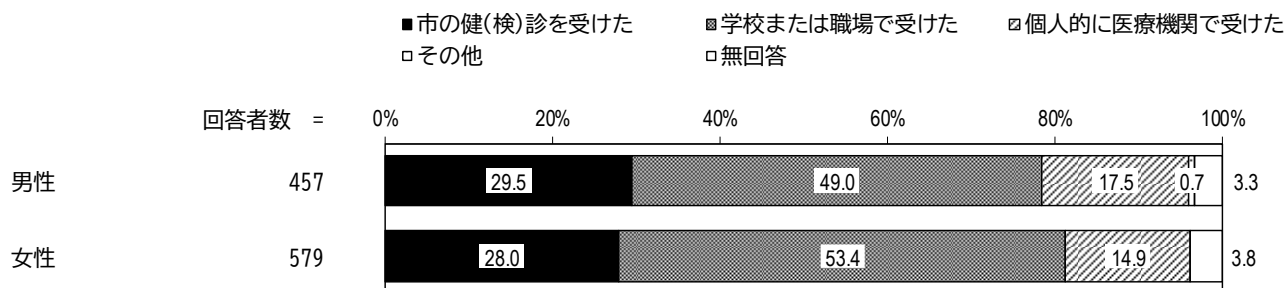
「学校または職場で受けた」の割合が51.5%と最も高く、次いで「市の健（検）診を受けた」の割合が28.6%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が15.9%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「学校または職場で受けた」の割合が増加しています。



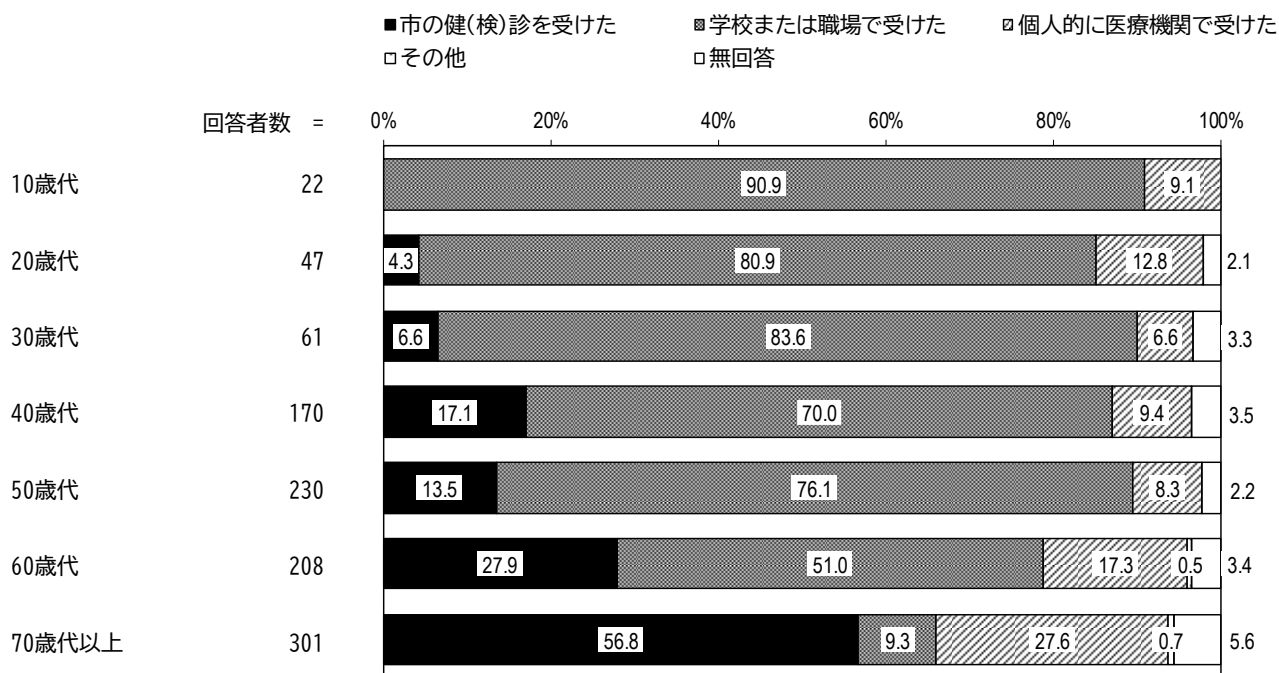
【性別】

性別による大きな差はみられません。



【年代別】

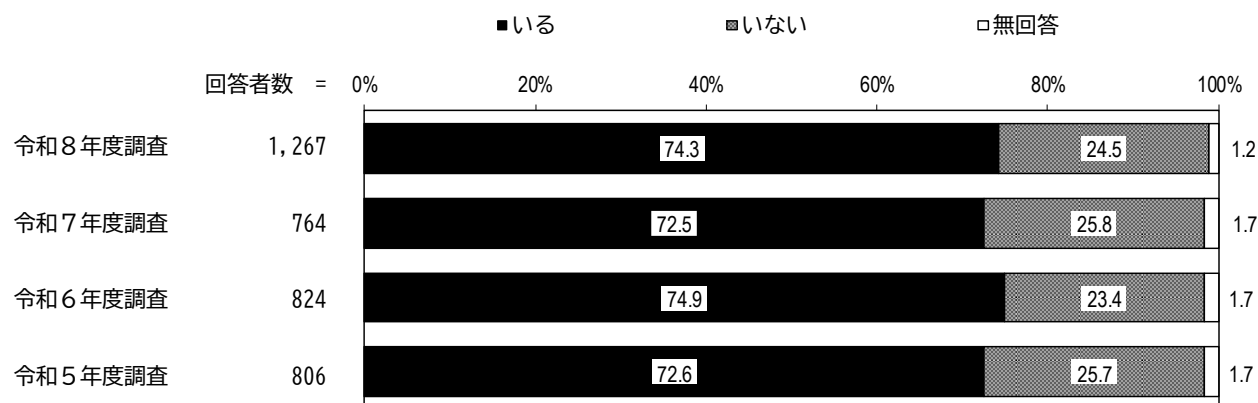
年代別にみると、「市の健(検)診を受けた」の割合は年代が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。一方、「学校または職場で受けた」の割合は年代が高くなるにつれて低くなる傾向がみられます。また、「個人的に医療機関で受けた」の割合は70歳代以上で高くなっています。



問 33 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。(それぞれ○は1つだけ)

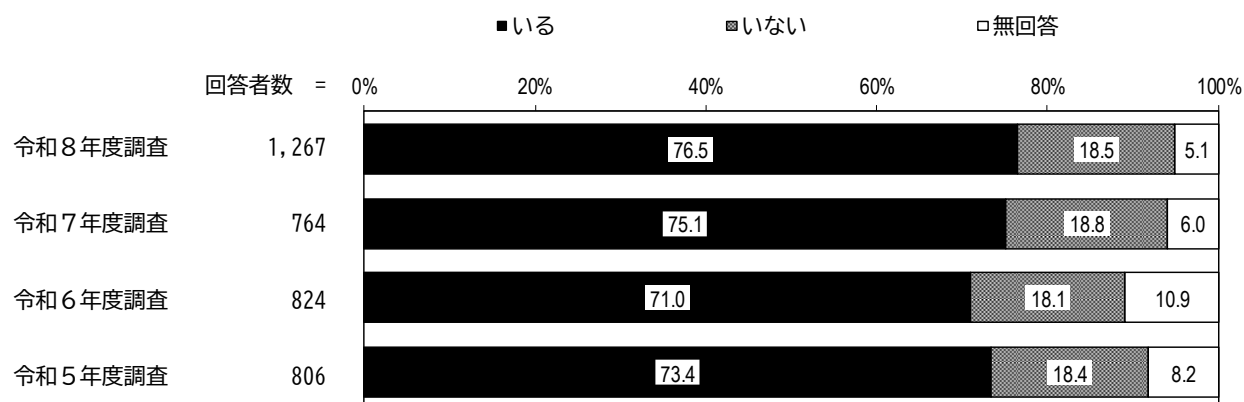
かかりつけ医

「いる」の割合が 74.3%、「いない」の割合が 24.5%となっています。



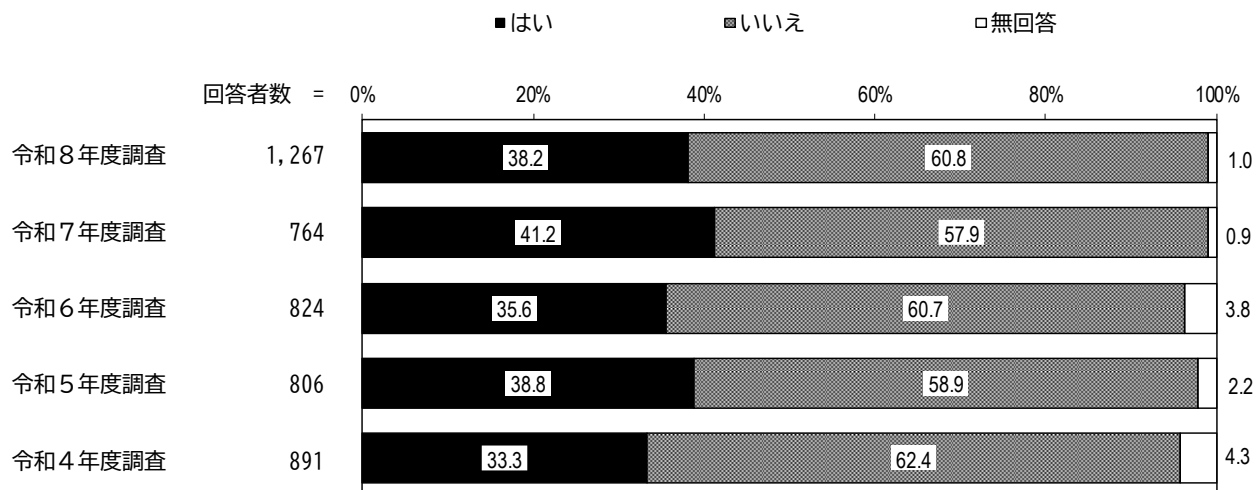
かかりつけ歯科医

「いる」の割合が 76.5%、「いない」の割合が 18.5%となっています。



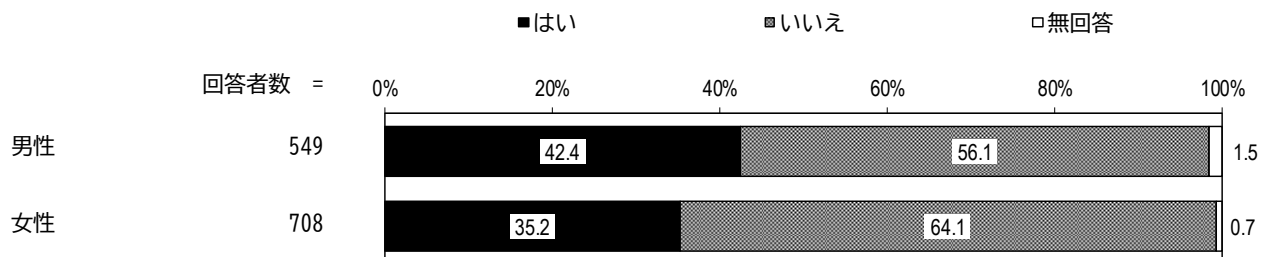
問 34 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する「歩こう可児 302」運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民一スポーツを推進しています。あなたは、1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行い、それを 1 年以上続けていますか。(○は 1 つだけ)

「はい」の割合が 38.2%、「いいえ」の割合が 60.8%となっています。
令和 7 年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



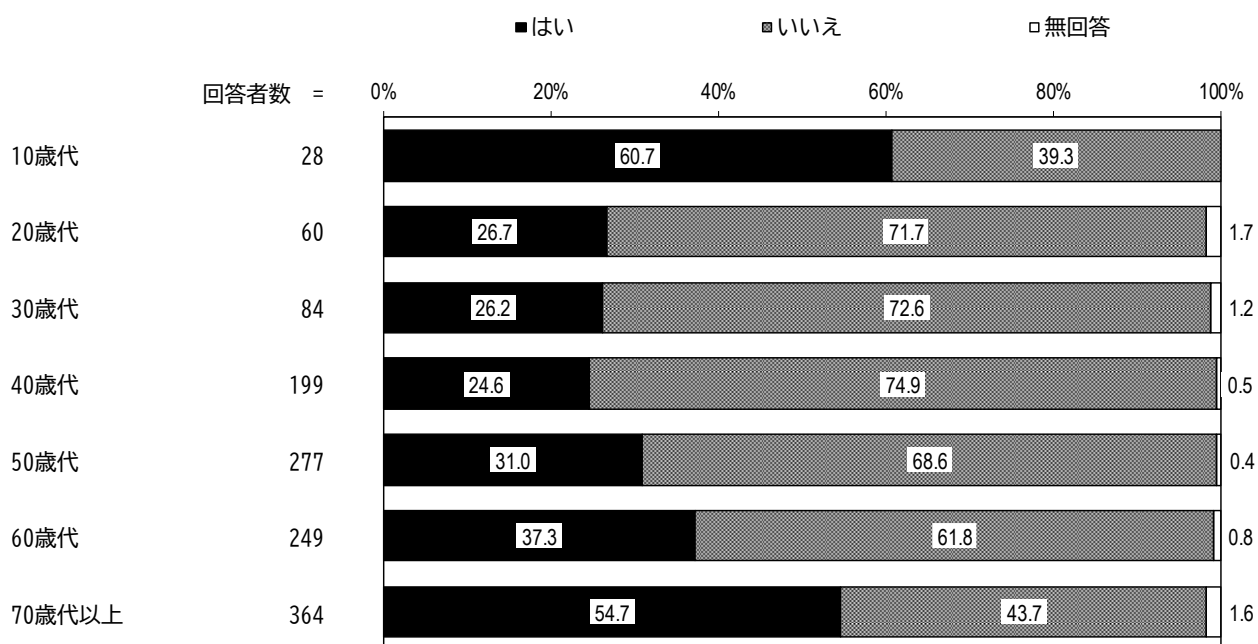
【性別】

性別にみると、「はい」の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

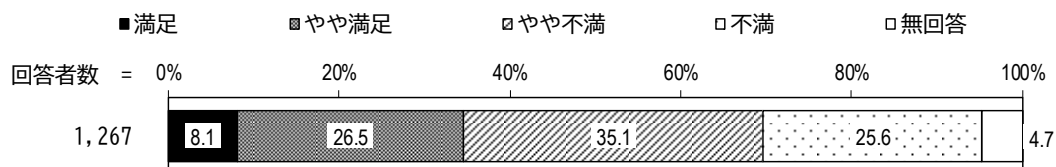
年代別にみると、「はい」の割合が10歳代、70歳代以上で高く、「いいえ」の割合が20歳代から60歳代で高くなっています。



(10)公共交通について

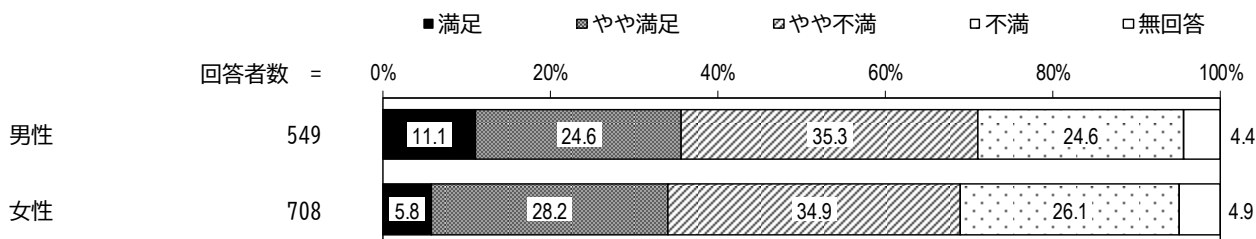
問 35 市の公共交通（鉄道やバス、タクシーなど）は、利用しやすく満足できる交通手段だと思いますか。（○は1つだけ）

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 34.6%となっています。一方で、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 60.7%となっています。



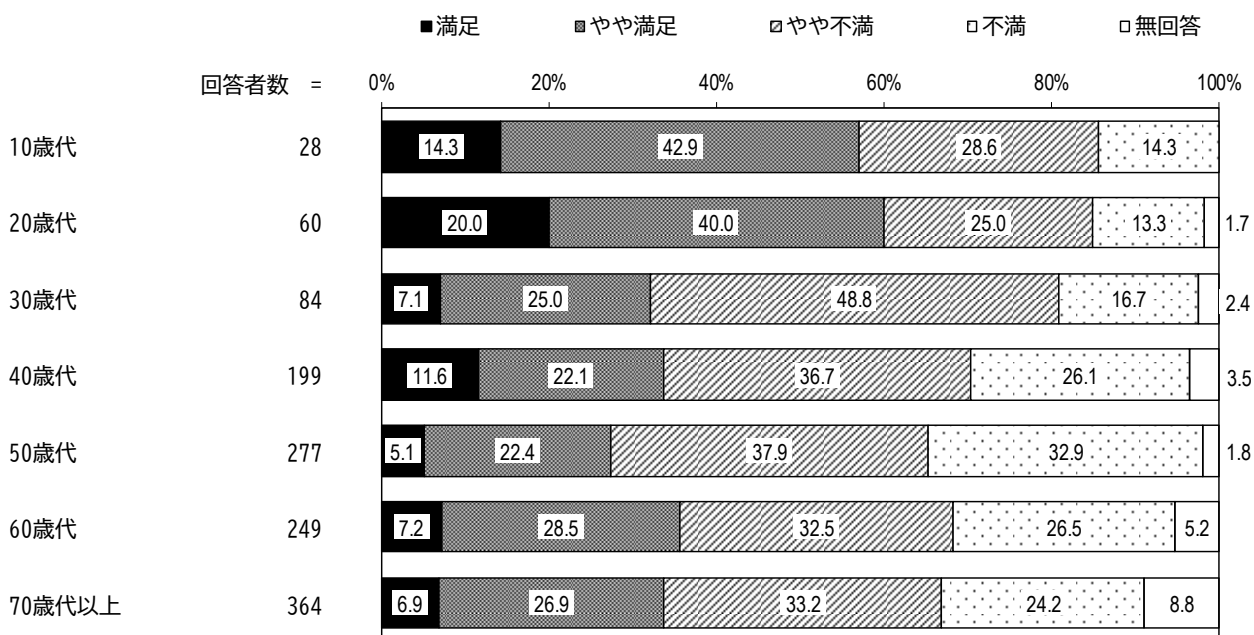
【性別】

性別による大きな差はみられません。



【年代別】

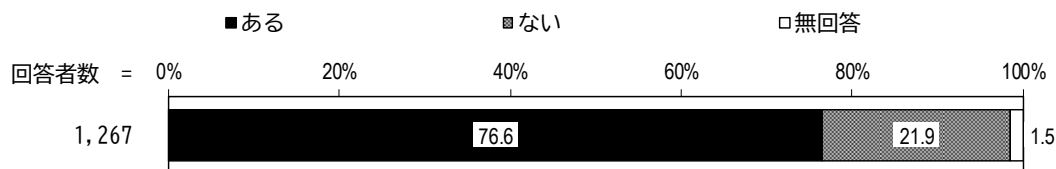
年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、20歳代で高く、“不満”の割合が50歳代で高くなっています。



(11)文化創造センター アーラについて

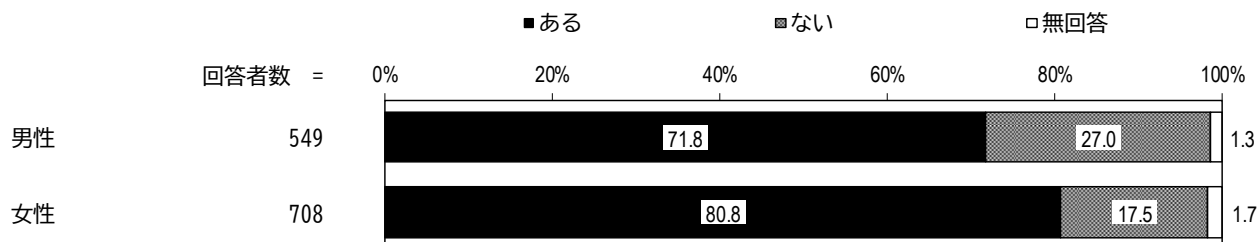
問 36 文化創造センター アーラを利用したことはありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が76.6%、「ない」の割合が21.9%となっています。



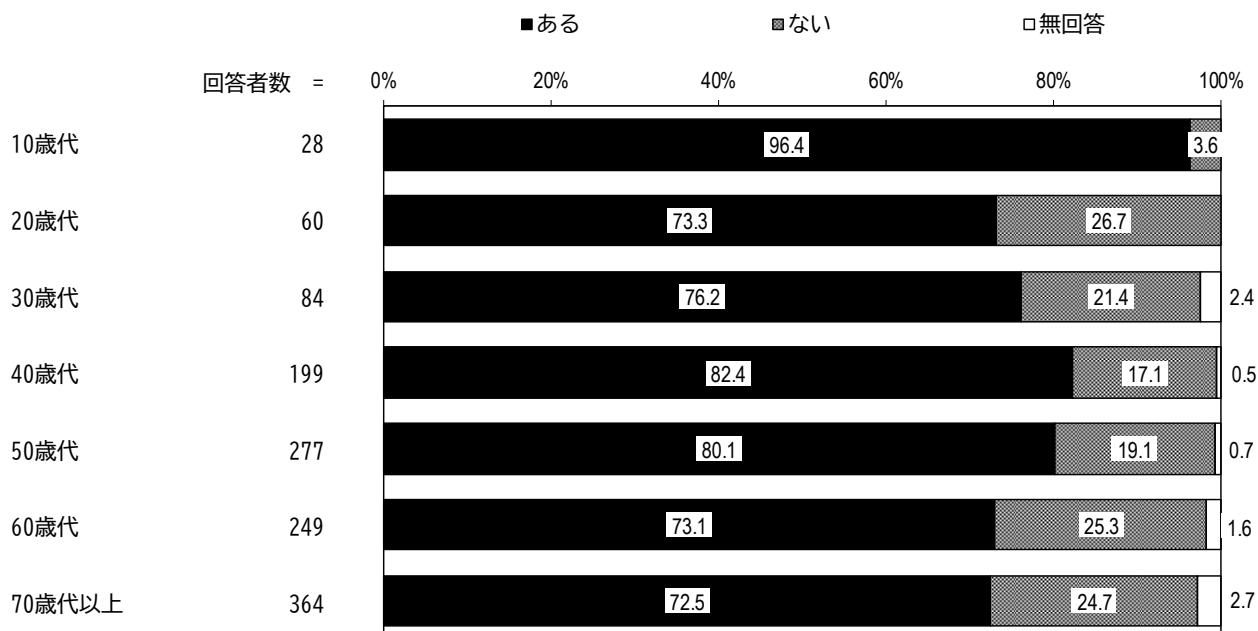
【性別】

性別にみると、「ある」の割合が女性で高くなっています。



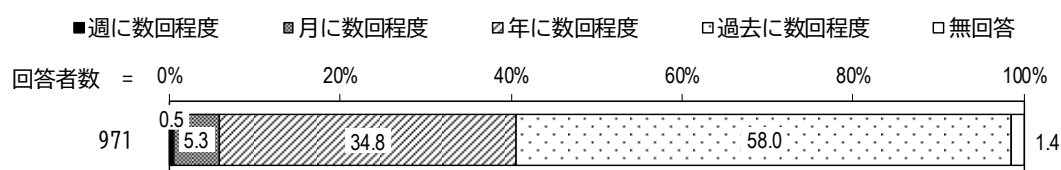
【年代別】

年代別にみると、「ある」の割合が10歳代で高くなっています。



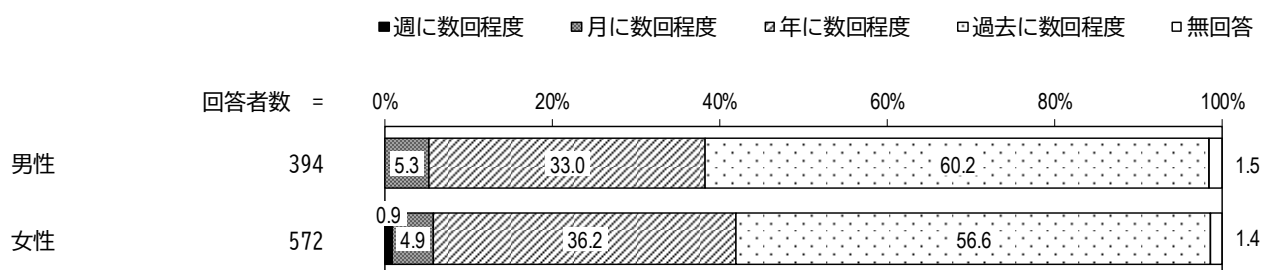
利用頻度

「過去に数回程度」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が 34.8%となっています。



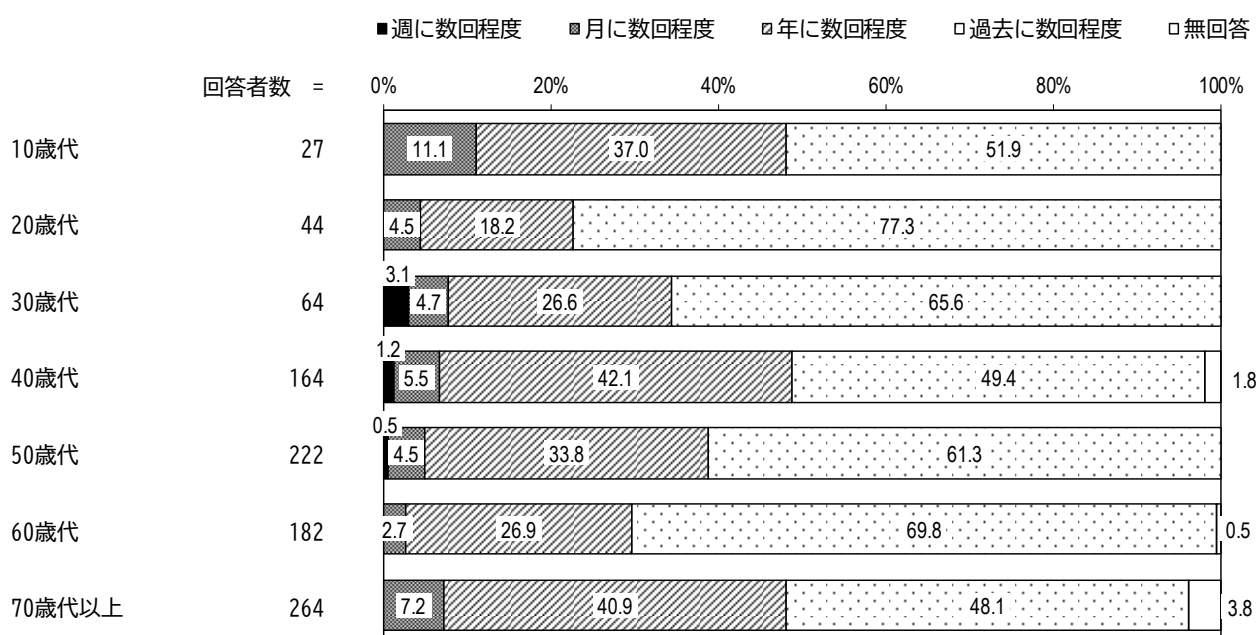
【性別】

性別による大きな差はみられません。



【年代別】

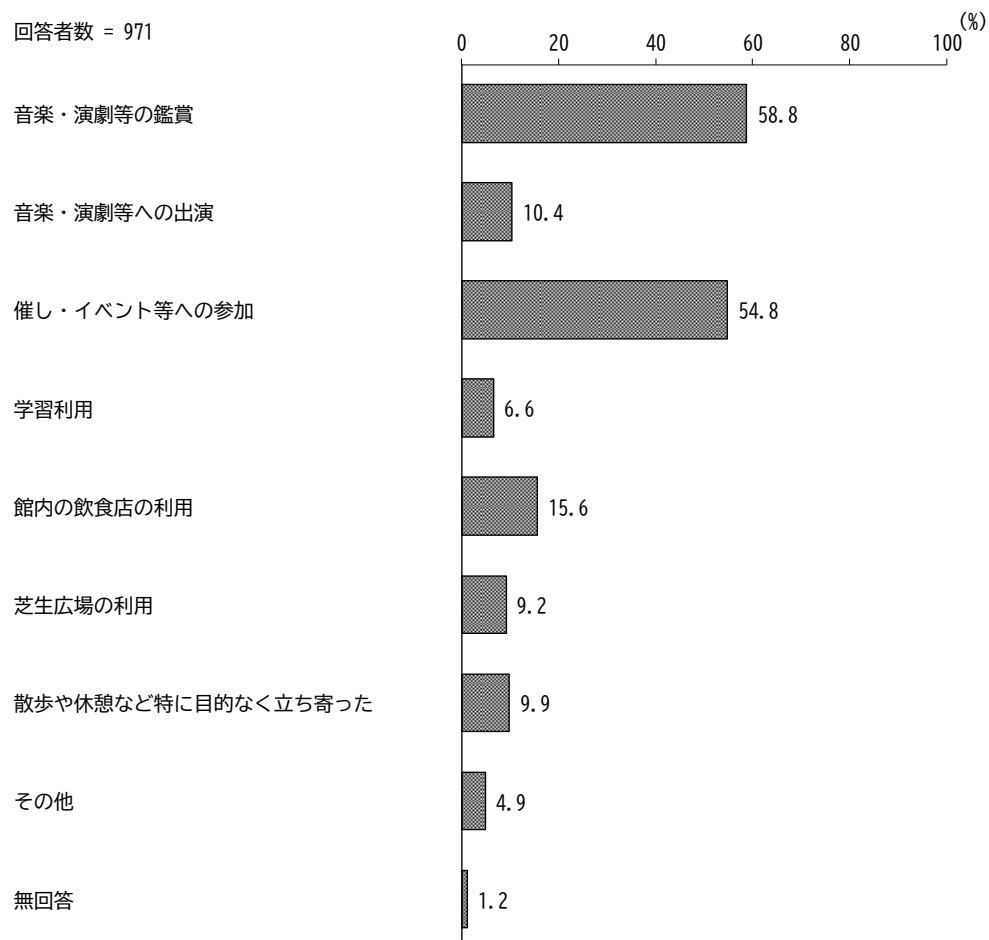
年代別にみると、「年に数回程度」の割合が 40 歳代、70 歳代以上で高く、「過去に数回程度」の割合が 20 歳代、60 歳代で高くなっています。



【問 36 で 1 (ある) を選択された方に伺います】

問 37 利用用途は、次のうちどれですか。(複数回答可)

「音楽・演劇等の鑑賞」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「催し・イベント等への参加」の割合が 54.8%、「館内の飲食店の利用」の割合が 15.6%となっています。



【性別】

性別にみると、「音楽・演劇等の鑑賞」、「音楽・演劇等への出演」、「館内の飲食店の利用」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	音楽・演劇等の鑑賞	音楽・演劇等への出演	催し・イベント等への参加	学習利用	館内の飲食店の利用	芝生広場の利用	散歩や休憩など特に目的なく立ち寄った	その他	無回答
全体	971	58.8	10.4	54.8	6.6	15.6	9.2	9.9	4.9	1.2
男性	394	51.8	5.6	56.1	4.8	8.9	10.2	10.7	6.1	1.5
女性	572	63.6	13.6	54.2	7.7	20.3	8.2	9.3	4.2	1.0

【年代別】

年代別にみると、「音楽・演劇等の鑑賞」の割合が年代が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。また、「音楽・演劇等への出演」の割合が10歳代で、「学習利用」の割合が10歳代、20歳代で高くなっています。

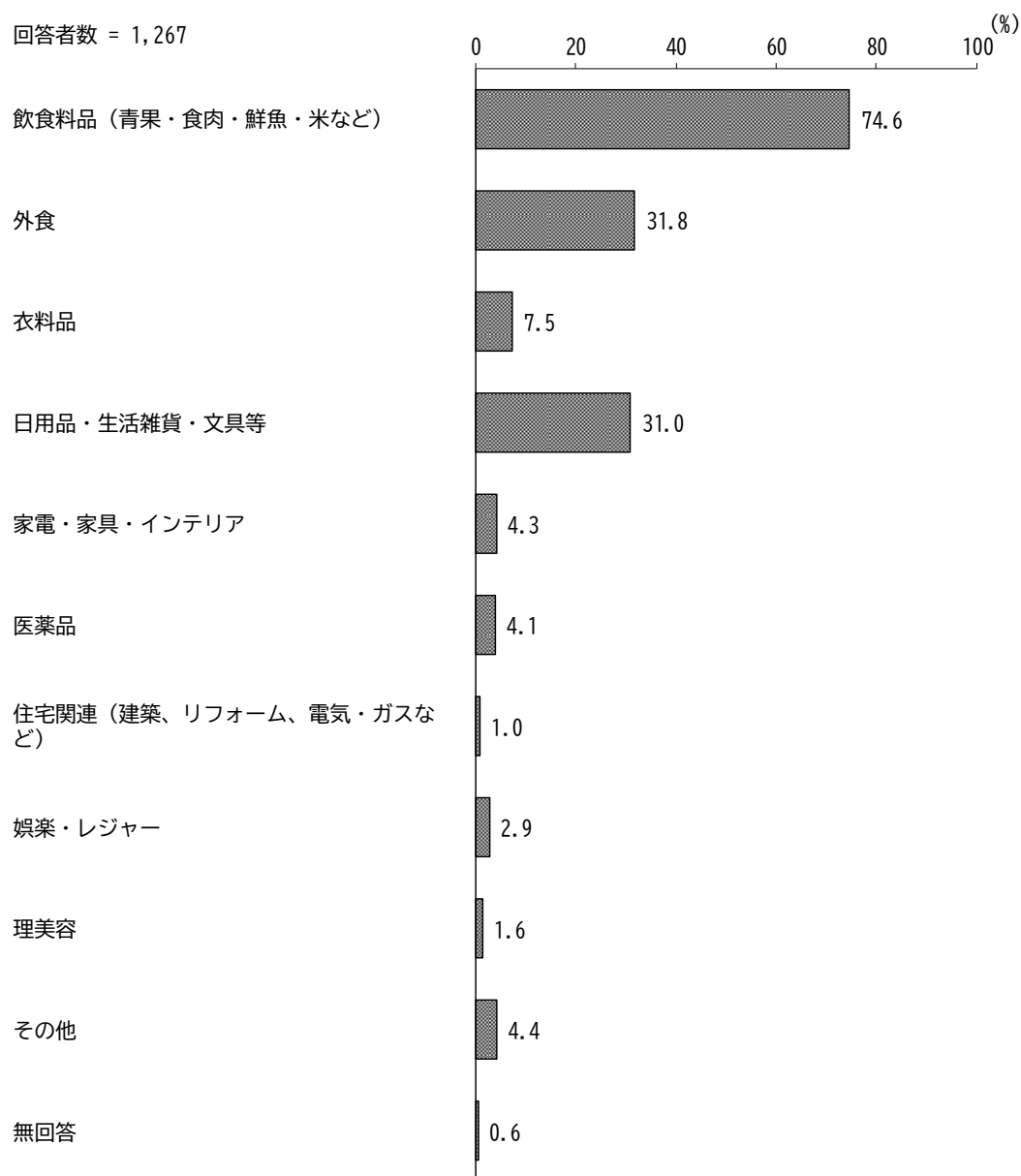
単位：％

区分	回答者数 (件)	音楽・演劇等の鑑賞	音楽・演劇等への出演	催し・イベント等への参加	学習利用	館内の飲食店の利用	芝生広場の利用	散歩や休憩など特に目的なく立ち寄った	その他	無回答
全体	971	58.8	10.4	54.8	6.6	15.6	9.2	9.9	4.9	1.2
10歳代	27	48.1	44.4	51.9	22.2	7.4	11.1	7.4	7.4	0.0
20歳代	44	65.9	13.6	45.5	31.8	9.1	13.6	6.8	4.5	0.0
30歳代	64	46.9	21.9	51.6	10.9	20.3	18.8	15.6	7.8	0.0
40歳代	164	50.6	13.4	59.1	6.1	15.2	14.0	7.3	6.1	0.6
50歳代	222	58.6	8.1	57.2	6.3	12.2	9.0	10.4	6.8	0.5
60歳代	182	61.0	4.9	53.3	3.8	22.0	7.1	9.3	3.3	1.6
70歳代以上	264	65.2	7.6	53.8	2.3	14.8	4.5	10.6	3.0	2.7

(12)K マネーについて

問 38 市では、物価高騰対策として、市民1人当たり6,000円分の地域通貨Kマネーを配布しています。このKマネーを何に利用する予定、または利用しましたか。(複数回答可)

「飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）」の割合が74.6%と最も高く、次いで「外食」の割合が31.8%、「日用品・生活雑貨・文具等」の割合が31.0%となっています。



【性別】

性別にみると、「外食」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）	外食	衣料品	日用品・生活雑貨・文具等	家電・家具・インテリア	医薬品	住宅関連（建築、リフォーム、電気・ガスなど）	娯楽・レジャー	理美容	その他	無回答
全体	1,267	74.6	31.8	7.5	31.0	4.3	4.1	1.0	2.9	1.6	4.4	0.6
男性	549	74.3	29.1	8.9	30.8	5.3	4.2	0.9	3.3	0.4	4.6	1.3
女性	708	74.7	34.0	6.4	31.5	3.7	4.0	1.0	2.7	2.5	4.4	0.1

【年代別】

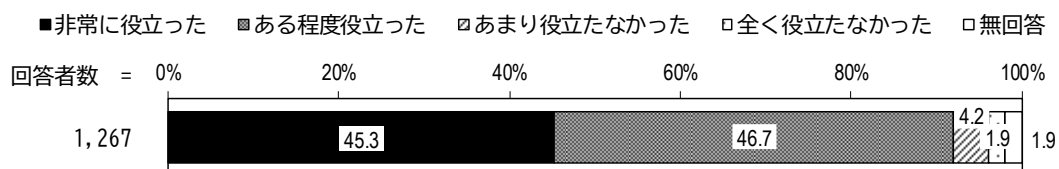
年代別にみると、「飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）」の割合が年代が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。また、「日用品・生活雑貨・文具等」の割合が50歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）	外食	衣料品	日用品・生活雑貨・文具等	家電・家具・インテリア	医薬品	住宅関連（建築、リフォーム、電気・ガスなど）	娯楽・レジャー	理美容	その他	無回答
全体	1,267	74.6	31.8	7.5	31.0	4.3	4.1	1.0	2.9	1.6	4.4	0.6
10歳代	28	46.4	39.3	7.1	35.7	3.6	0.0	0.0	17.9	10.7	0.0	3.6
20歳代	60	61.7	35.0	1.7	28.3	6.7	5.0	0.0	0.0	0.0	8.3	1.7
30歳代	84	73.8	38.1	8.3	32.1	6.0	3.6	0.0	2.4	0.0	7.1	0.0
40歳代	199	74.9	29.1	6.5	32.2	3.5	2.5	0.5	4.5	2.5	6.5	0.0
50歳代	277	75.8	31.4	8.3	37.5	3.6	7.6	2.5	2.2	1.4	4.0	0.4
60歳代	249	76.7	30.1	8.0	26.9	4.0	2.8	0.8	3.2	0.8	2.8	0.4
70歳代以上	364	76.6	31.9	8.0	28.3	4.7	3.6	0.8	1.9	1.6	3.8	1.1

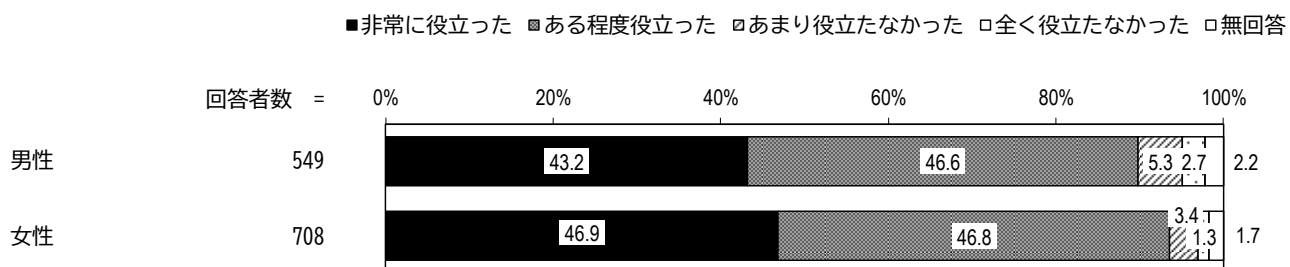
問 39 今回の地域通貨K マネーの配布は、家計に役立ちましたか。(○は1つだけ)

「非常に役立った」と「ある程度役立った」を合わせた“役に立った”の割合が92.0%となっています。



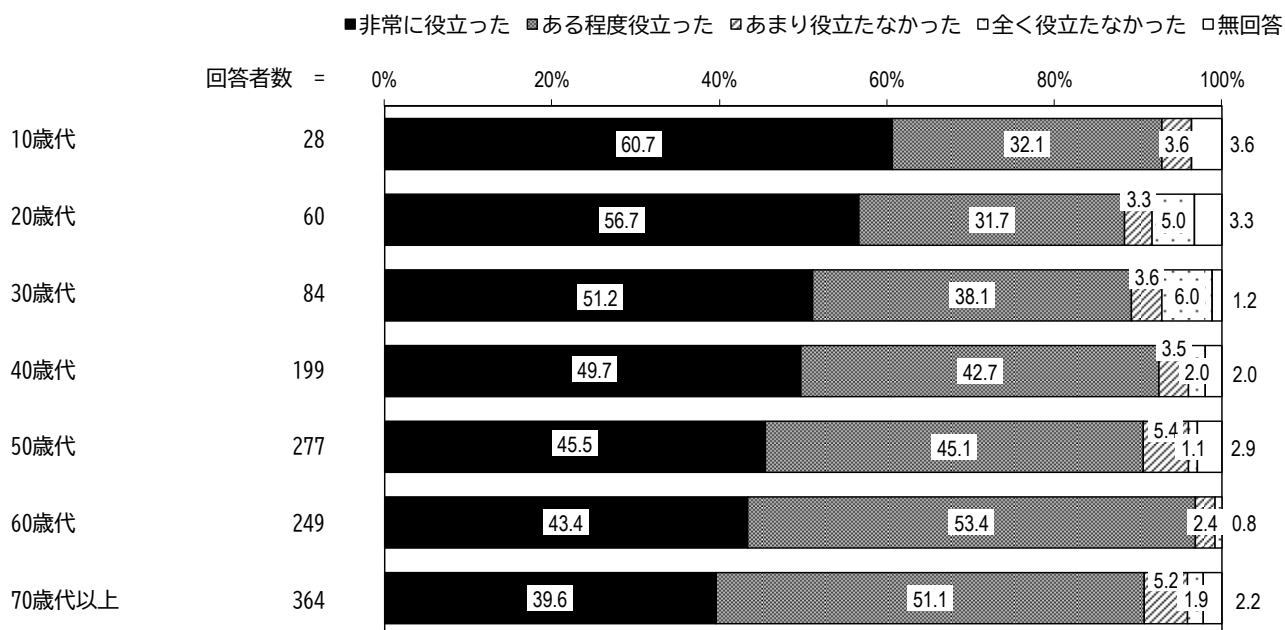
【性別】

性別にみると、“役に立った”の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「非常に役立った」の割合が年代が低くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

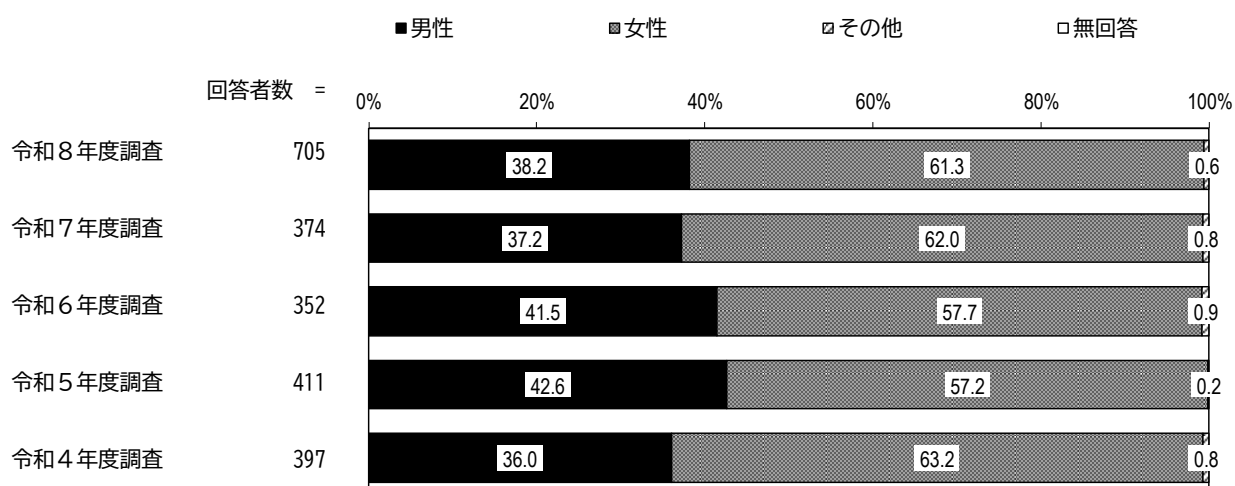


2 若年層

(1)回答者属性

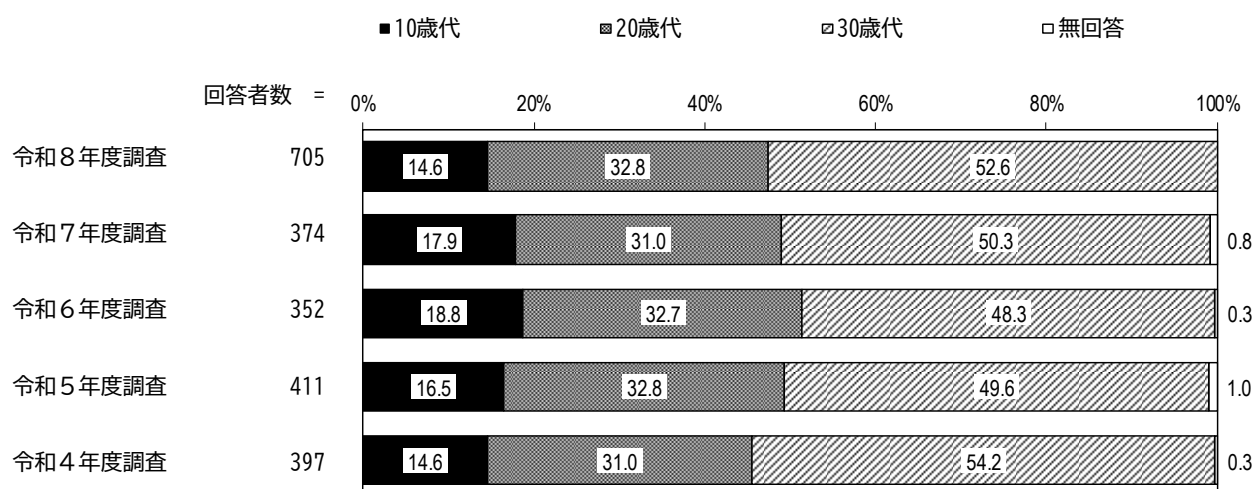
問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が38.2%、「女性」の割合が61.3%となっています。
令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



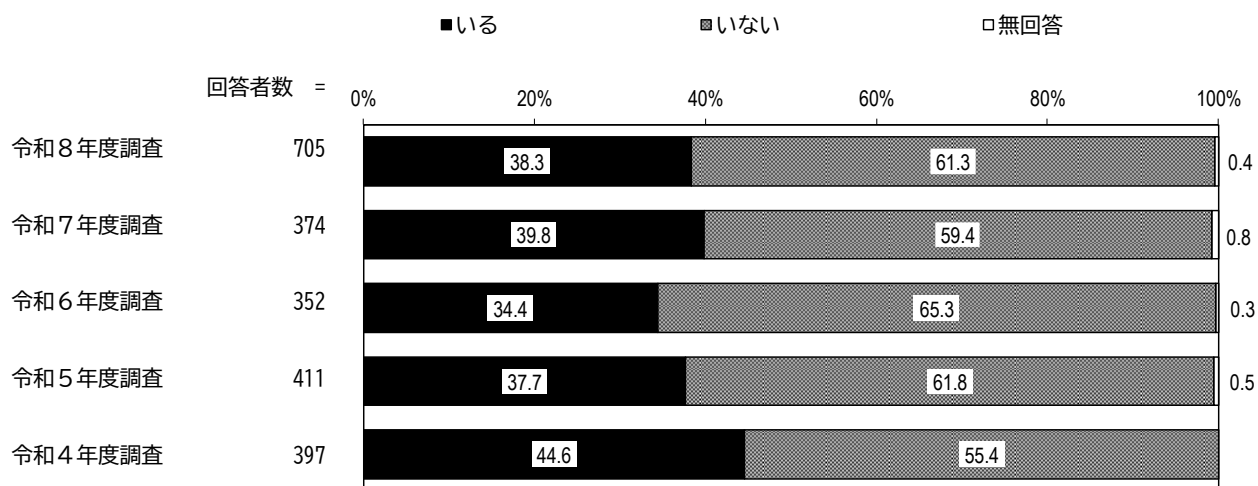
問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「30歳代」の割合が52.6%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が32.8%、「10歳代」の割合が14.6%となっています。
令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



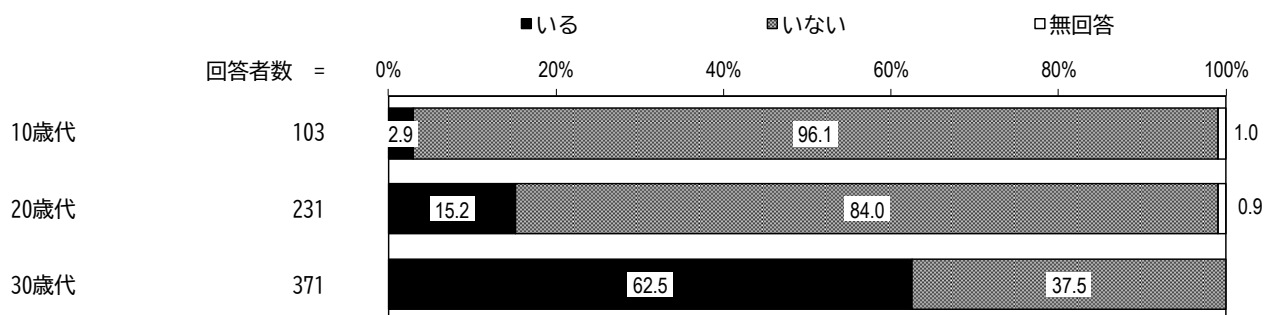
問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が38.3%、「いない」の割合が61.3%となっています。
令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



【年代別】

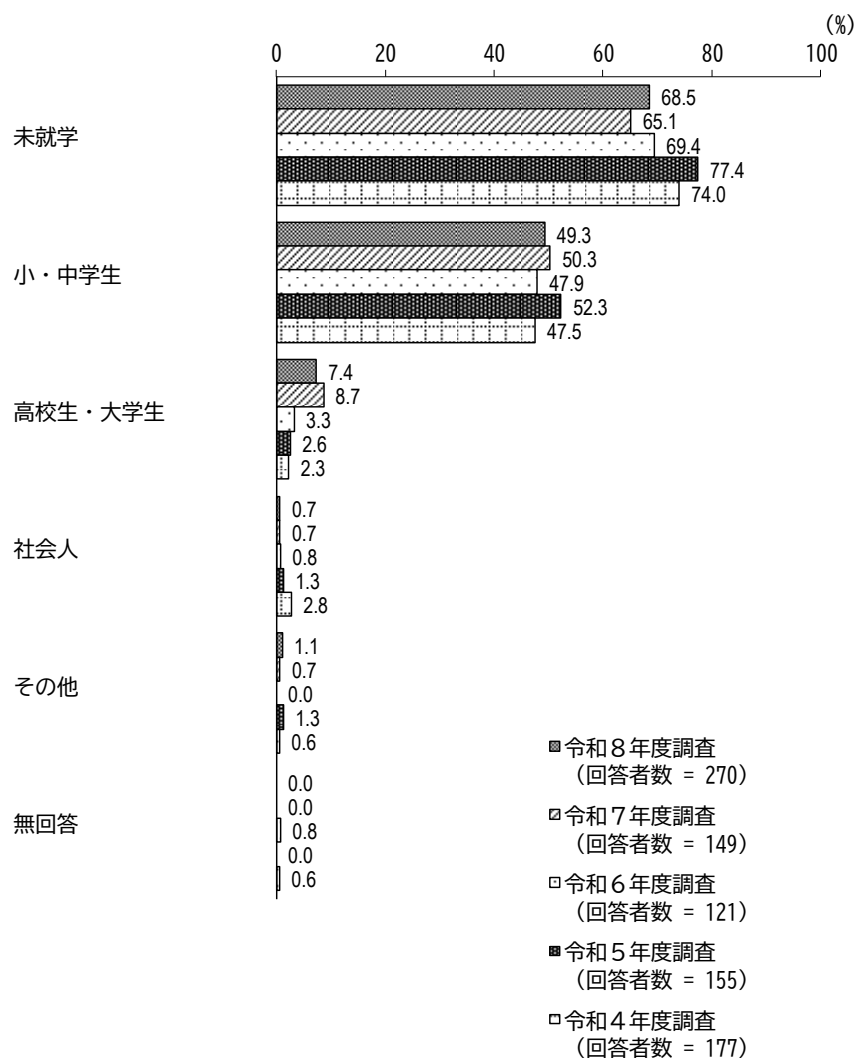
年代別にみると、「いる」の割合は、年代が高くなるにつれて高くなっています。



子どもの世代

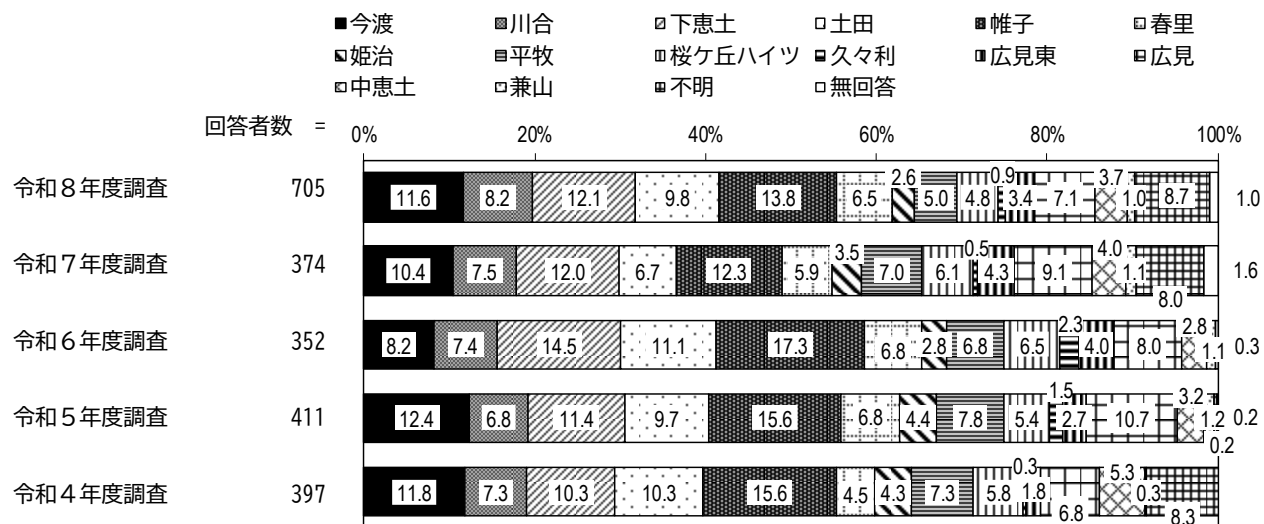
「未就学」の割合が68.5%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が49.3%、「高校生・大学生」の割合が7.4%となっています。

令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



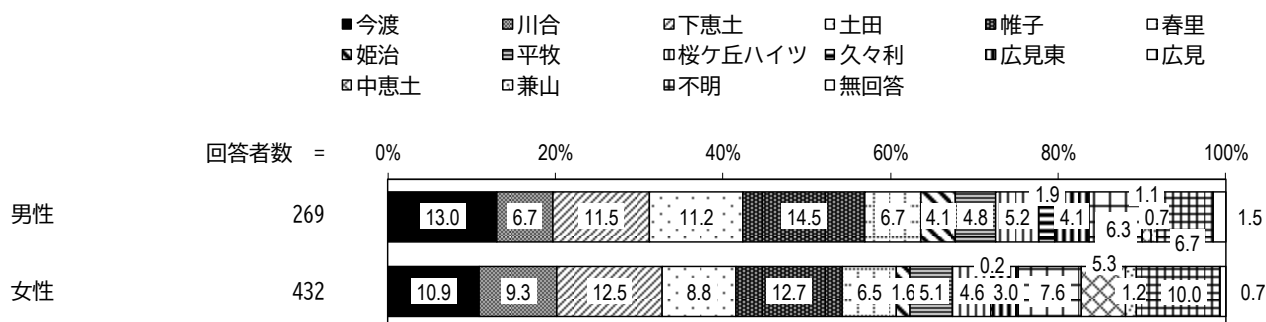
問4 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

「帷子」の割合が13.8%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が12.1%、「今渡」の割合が11.6%となっています。



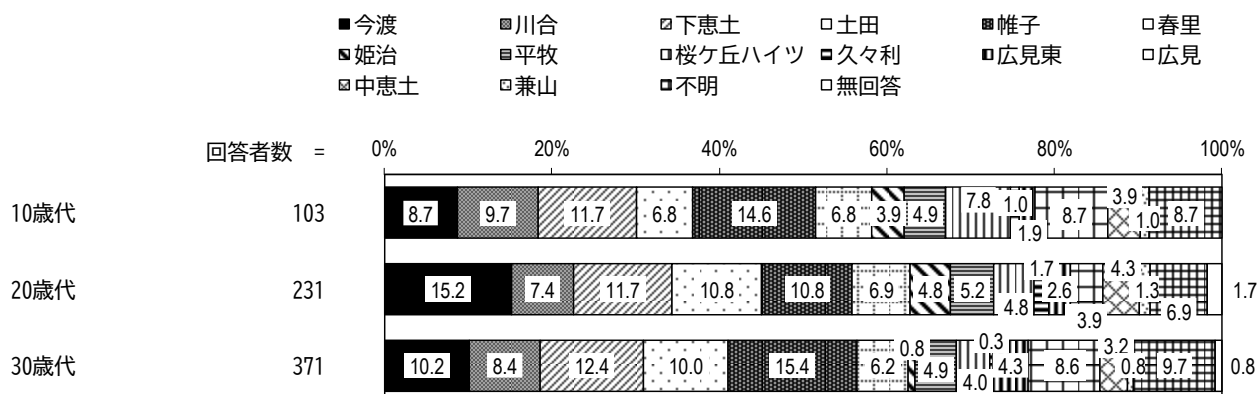
【性別】

性別による大きな差はみられません。



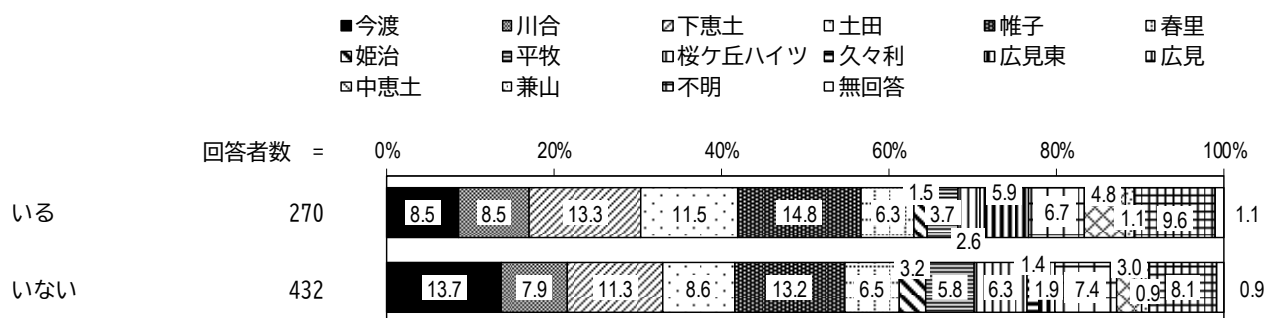
【年代別】

年代別にみると、「今渡」の割合が20歳代で高くなっています。



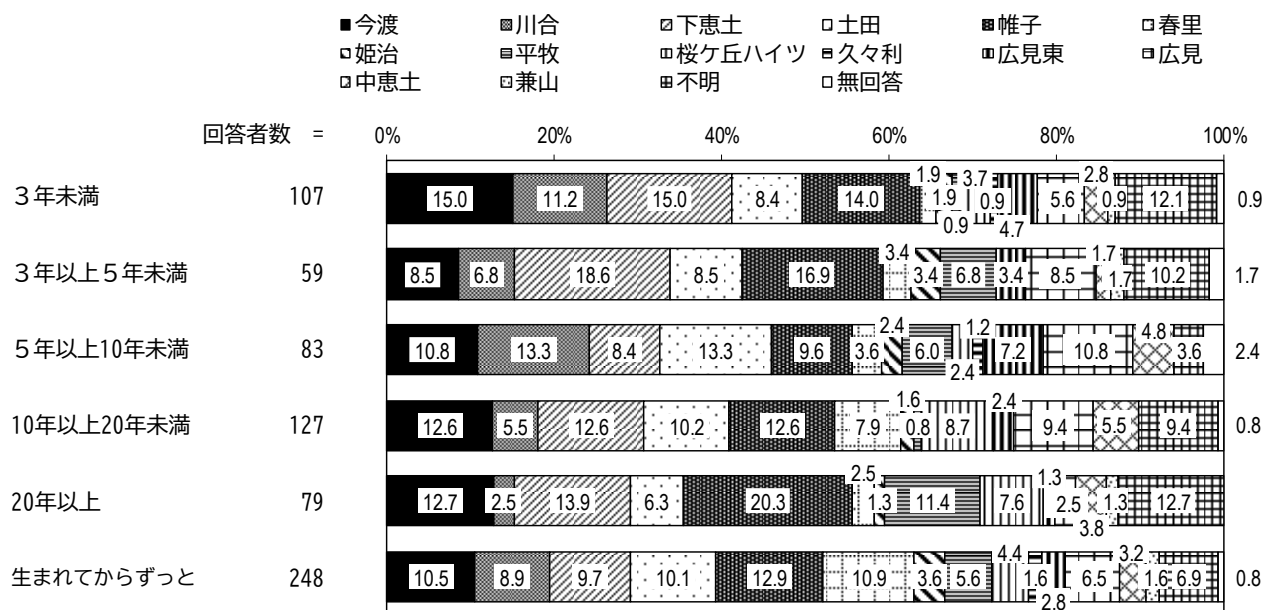
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「今渡」の割合が子どもが「いない」で高くなっています。



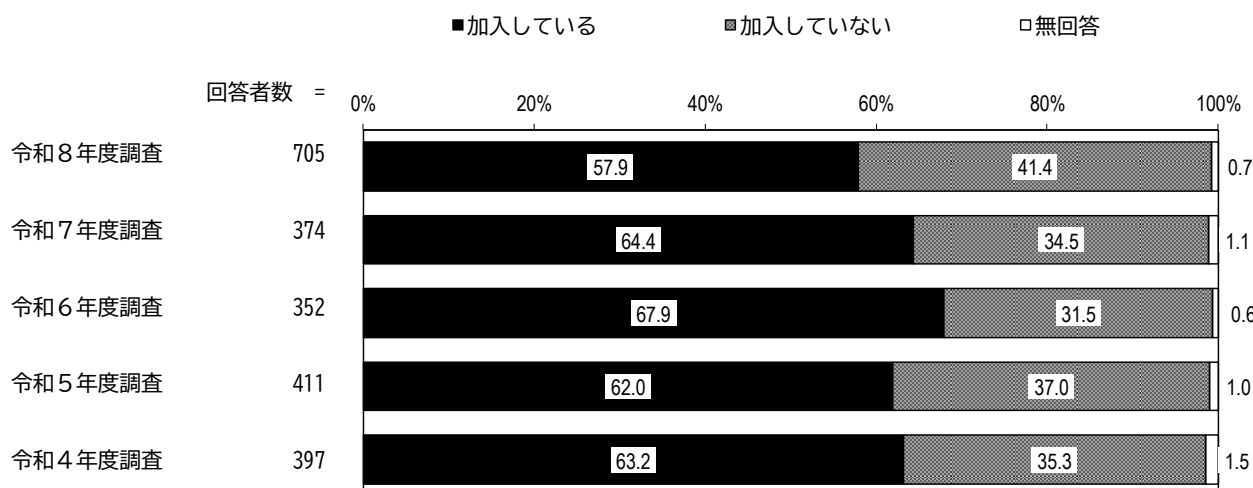
【居住年数別】

居住年数別にみると、「帷子」の割合が「20 年以上」で高くなっています。



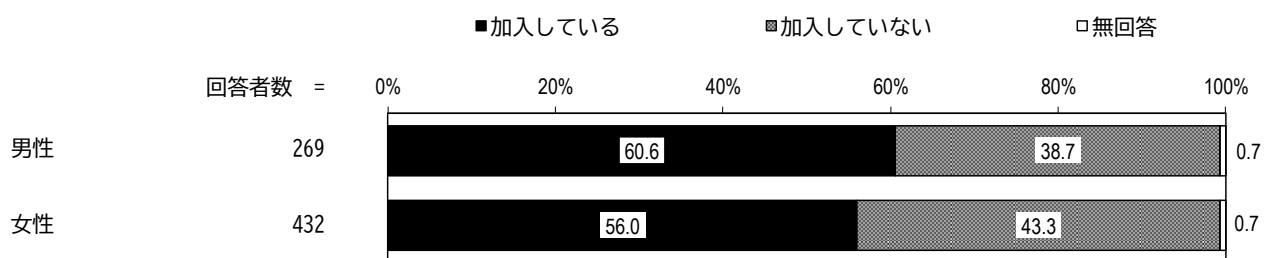
問5 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

「加入している」の割合が 57.9%、「加入していない」の割合が 41.4%となっています。
令和7年度調査と比較すると、「加入している」の割合が減少しています。



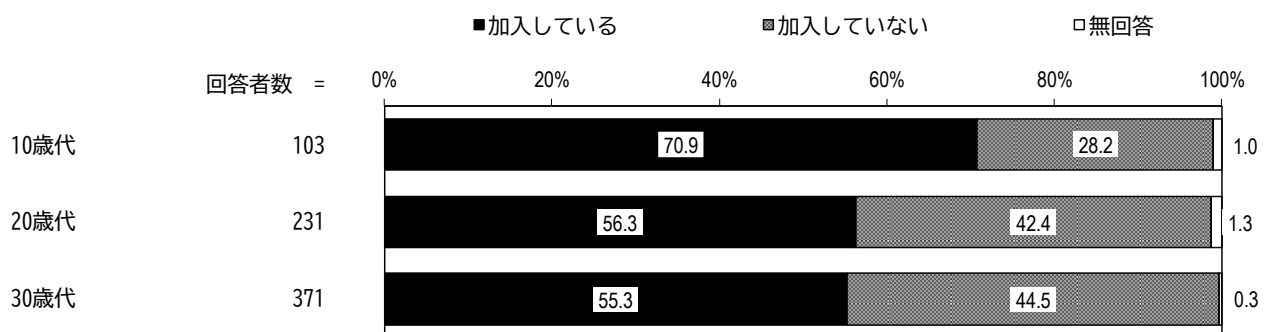
【性別】

性別にみると、「加入している」の割合が男性で高くなっています。



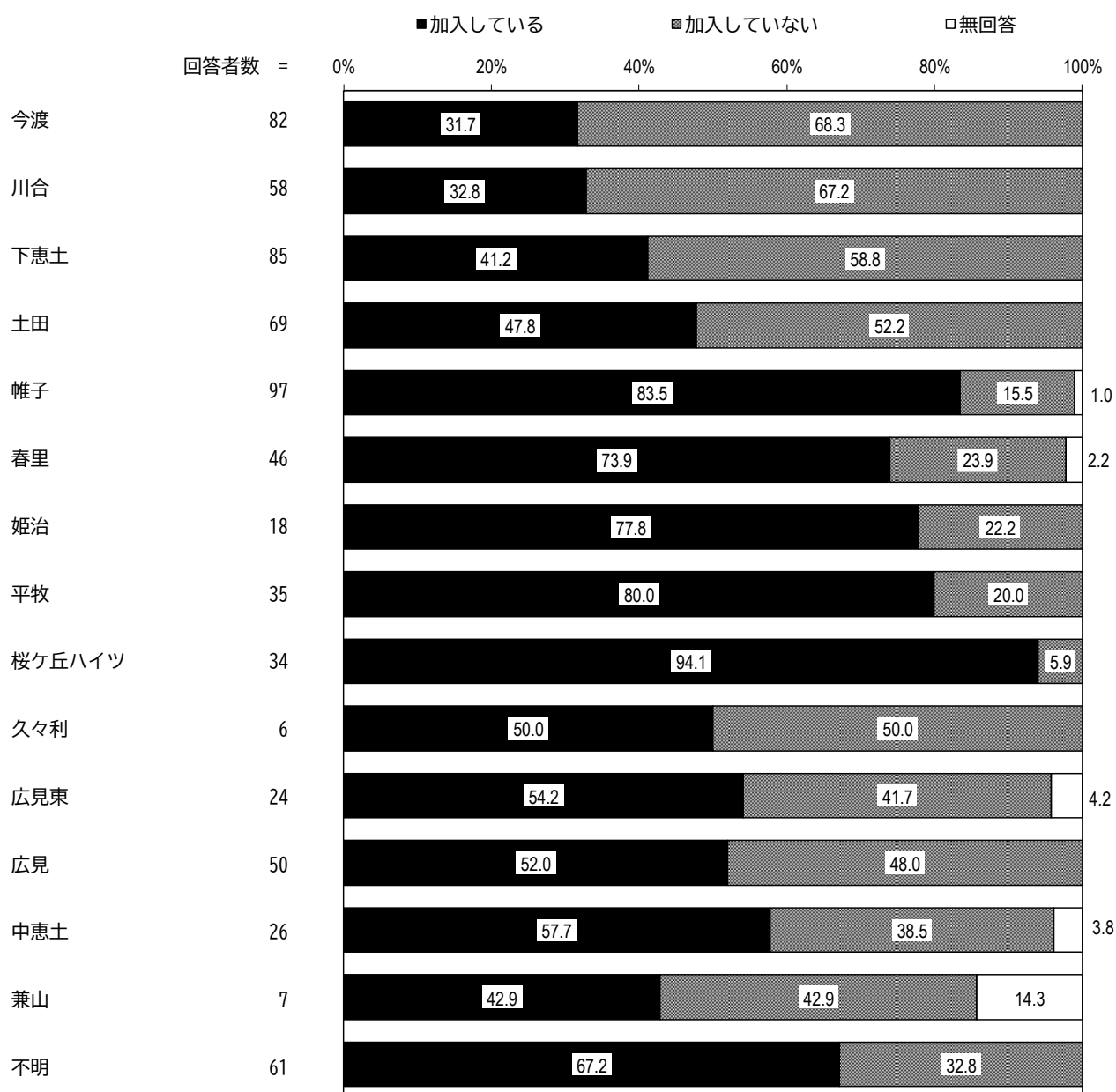
【年代別】

年代別にみると、「加入している」の割合が10歳代で高くなっています。



【居住地区別】

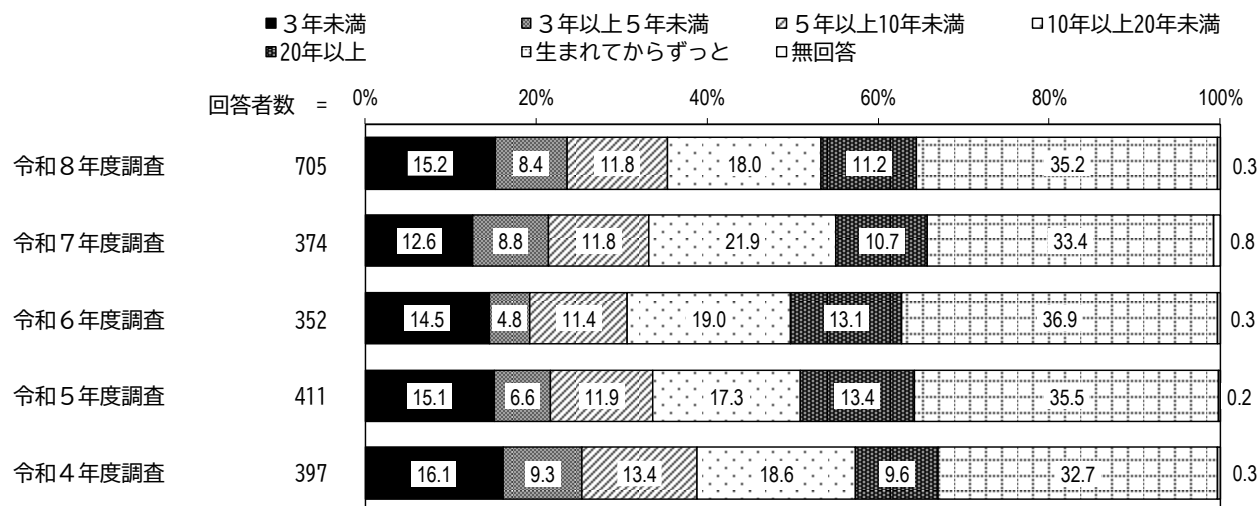
居住地区別にみると、「加入している」の割合が「桜ヶ丘ハイツ」、「帷子」で高くなっています。



問6 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

「生まれてからずっと」の割合が35.2%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が18.0%、「3年未満」の割合が15.2%となっています。

令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



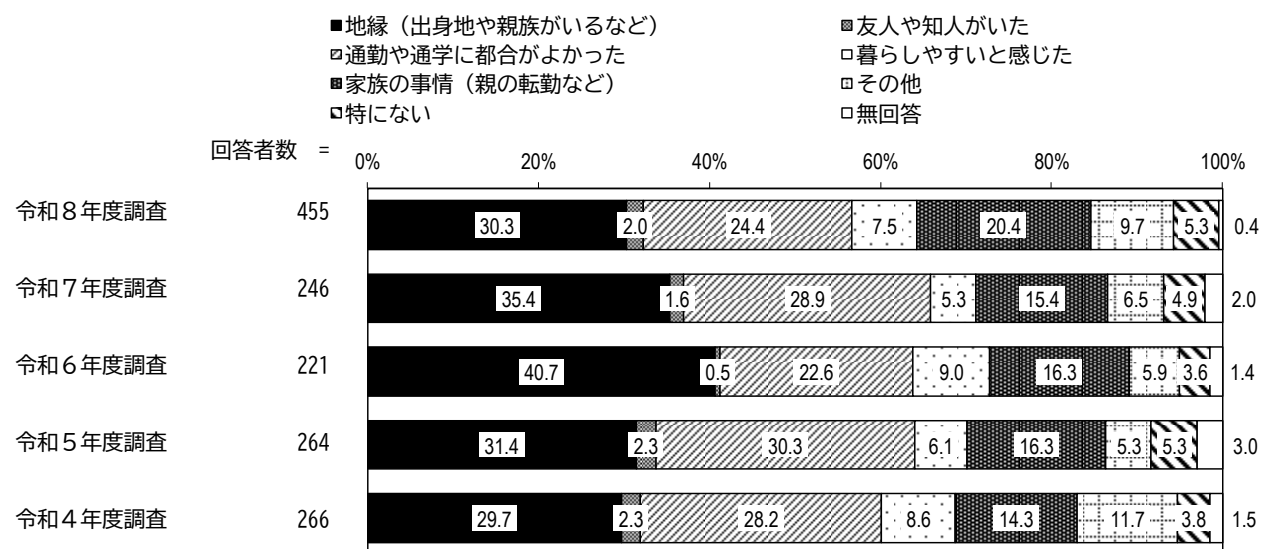
(2)可児市での居住について

【問6で1（3年未満）、2（3年以上5年未満）、3（5年以上10年未満）、4（10年以上20年未満）、5（20年以上）を選択された方に伺います】

問7 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。（○は1つだけ）

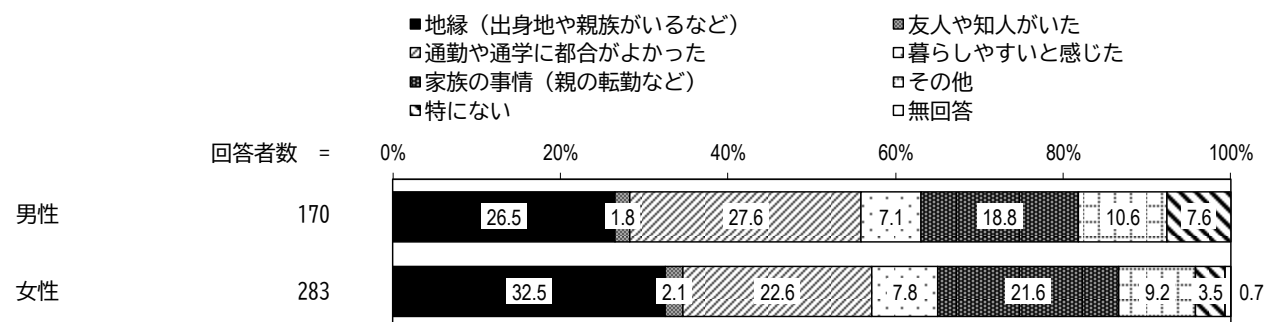
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 24.4%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が 20.4%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が増加し、「地縁（出身地や親族がいるなど）」、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が減少しています。



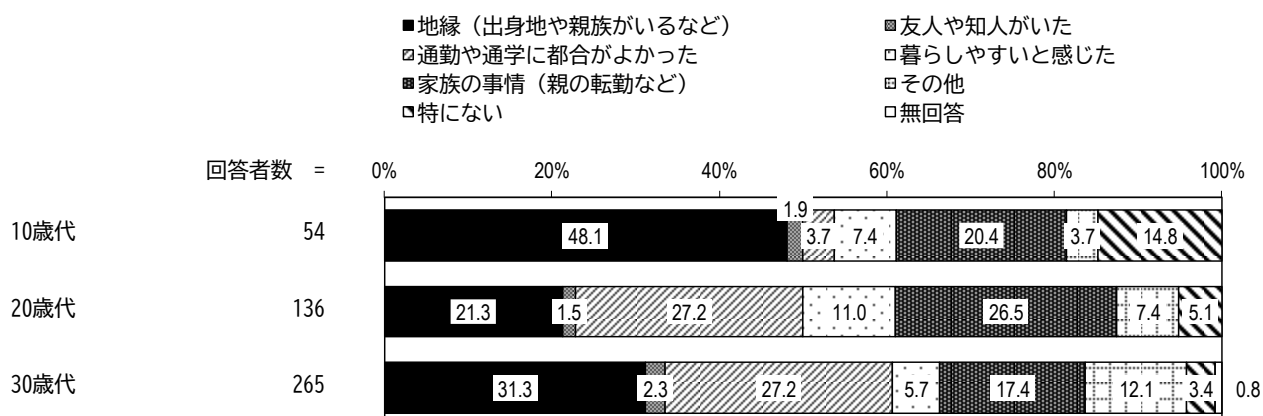
【性別】

男性では「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、女性では「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



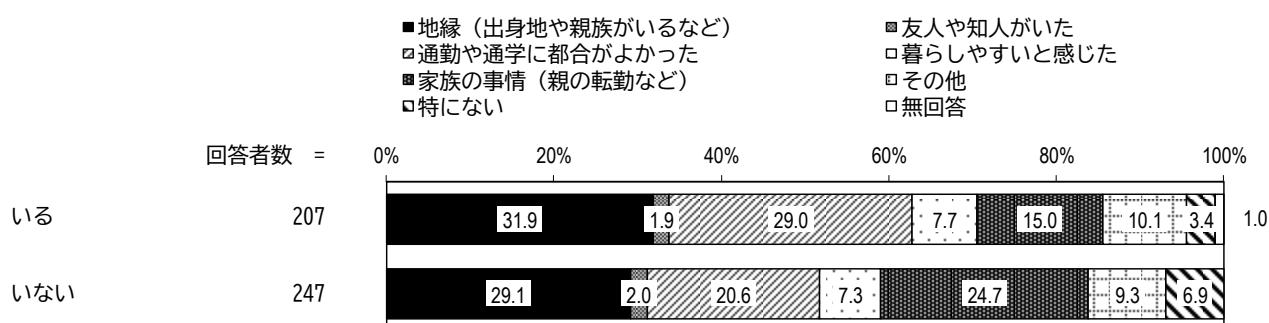
【年代別】

年代別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が10歳代で高くなっています。



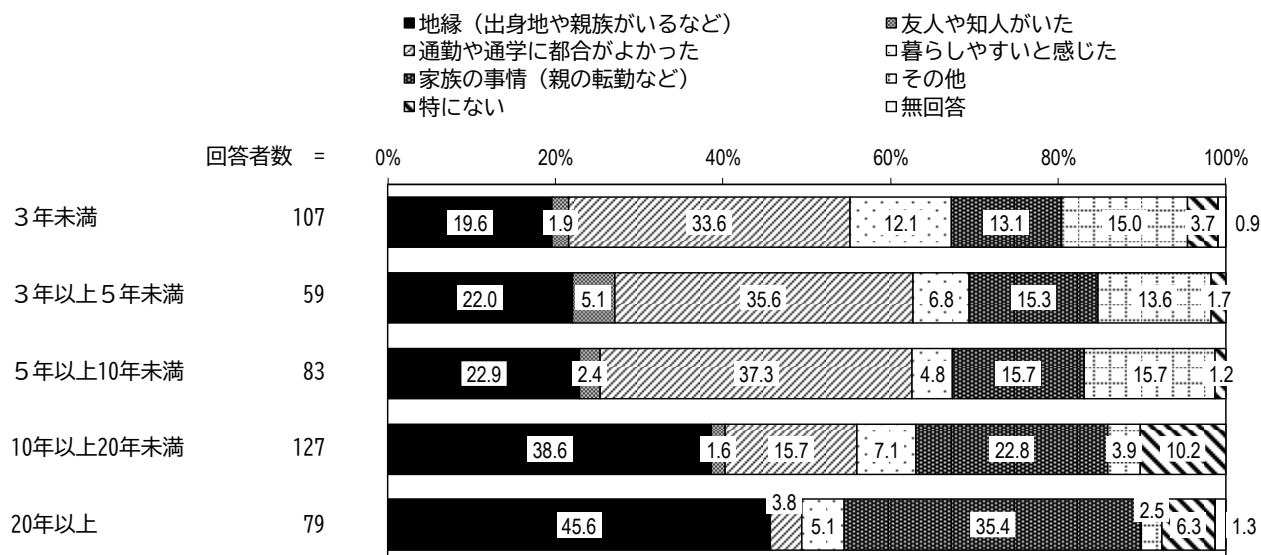
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合は子どもが「いる」で高く、「家族の事情（親の転勤など）」の割合は子どもが「いない」で高くなっています。



【居住年数別】

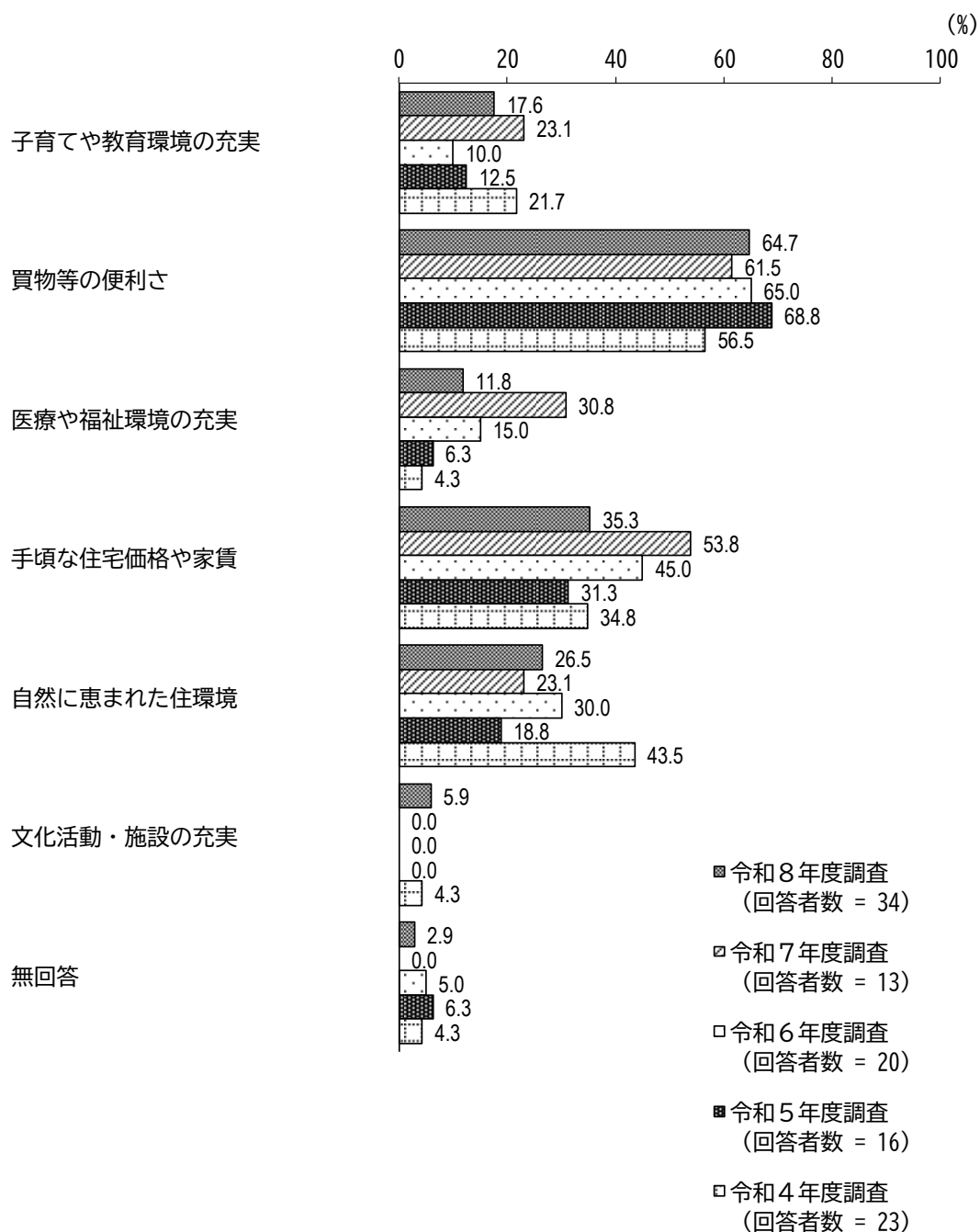
居住年数別にみると、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が居住年数が長くなるにつれて高くなっています。一方で、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が居住年数が短い区分で高くなっています。



暮らしやすいと感じた理由

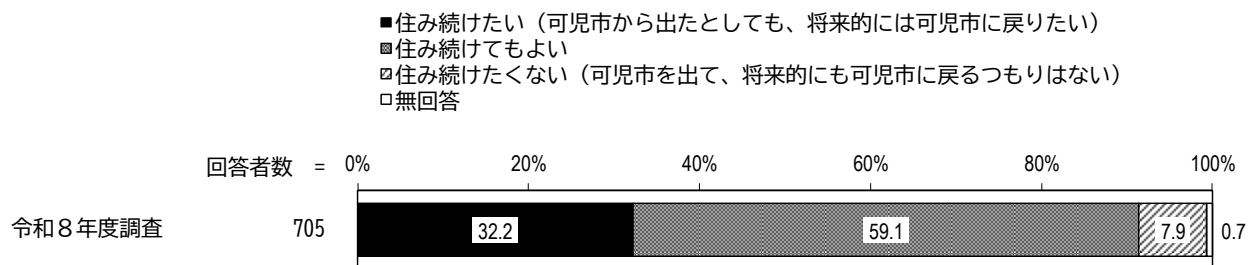
「買物等の便利さ」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 35.3%、「自然に恵まれた住環境」の割合が 26.5%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「医療や福祉環境の充実」、「手頃な住宅価格や家賃」の割合が減少しています。

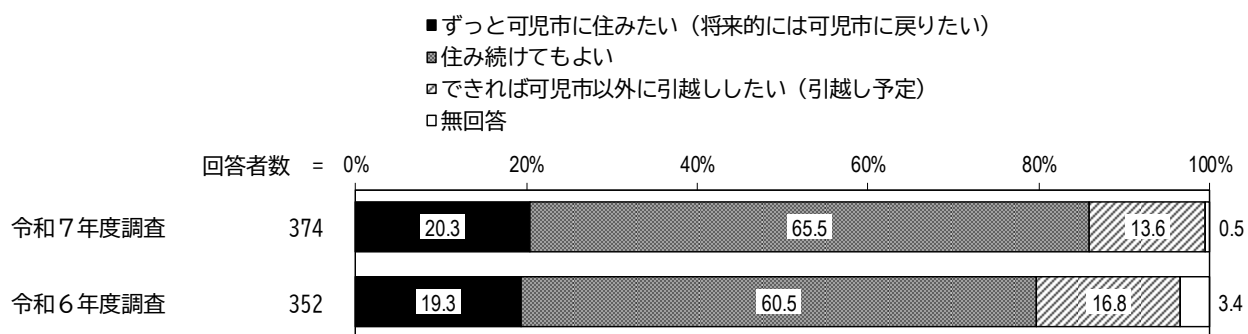


問8 可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「住み続けてもよい」の割合が59.1%と最も高く、次いで「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が32.2%となっています。

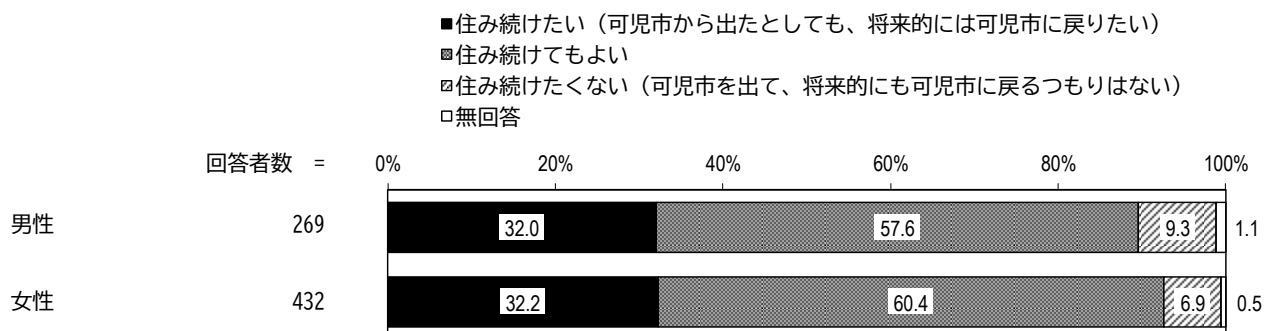


【経年比較 参考】



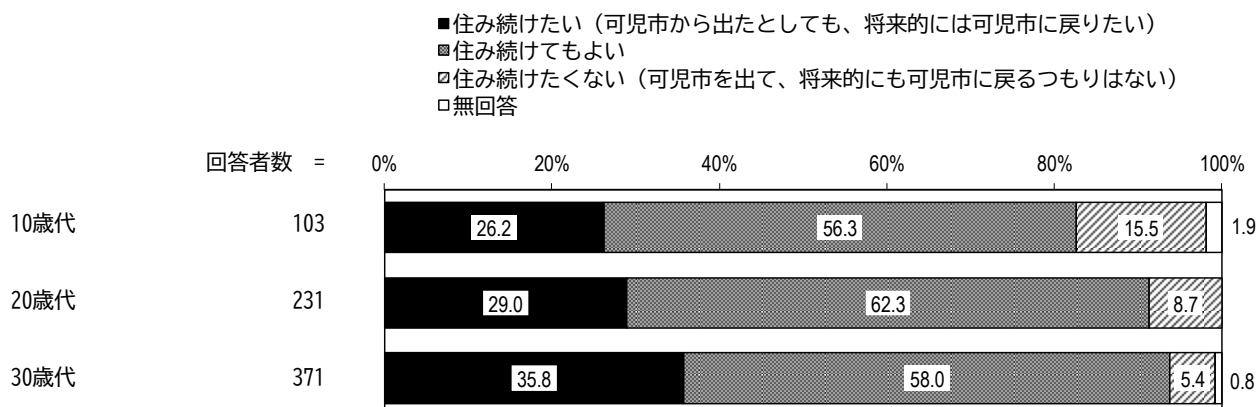
【性別】

性別による大きな差はみられません。



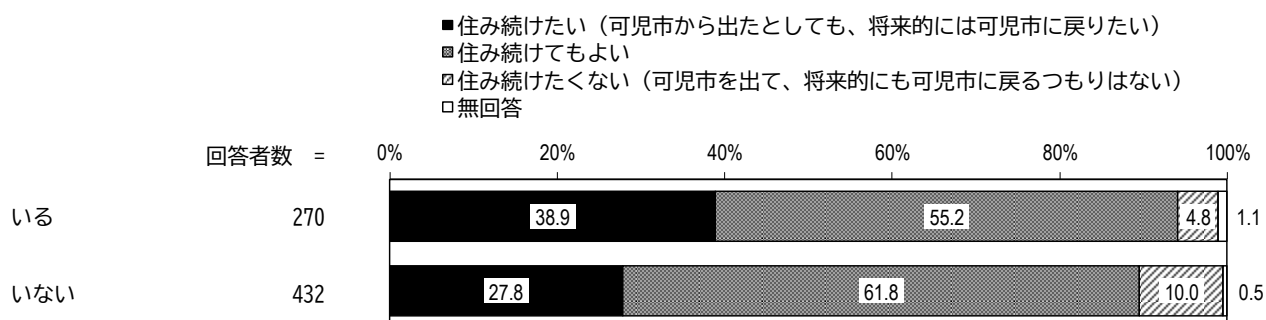
【年代別】

年代別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合は年代が高くなるにつれて高くなる傾向にあります。



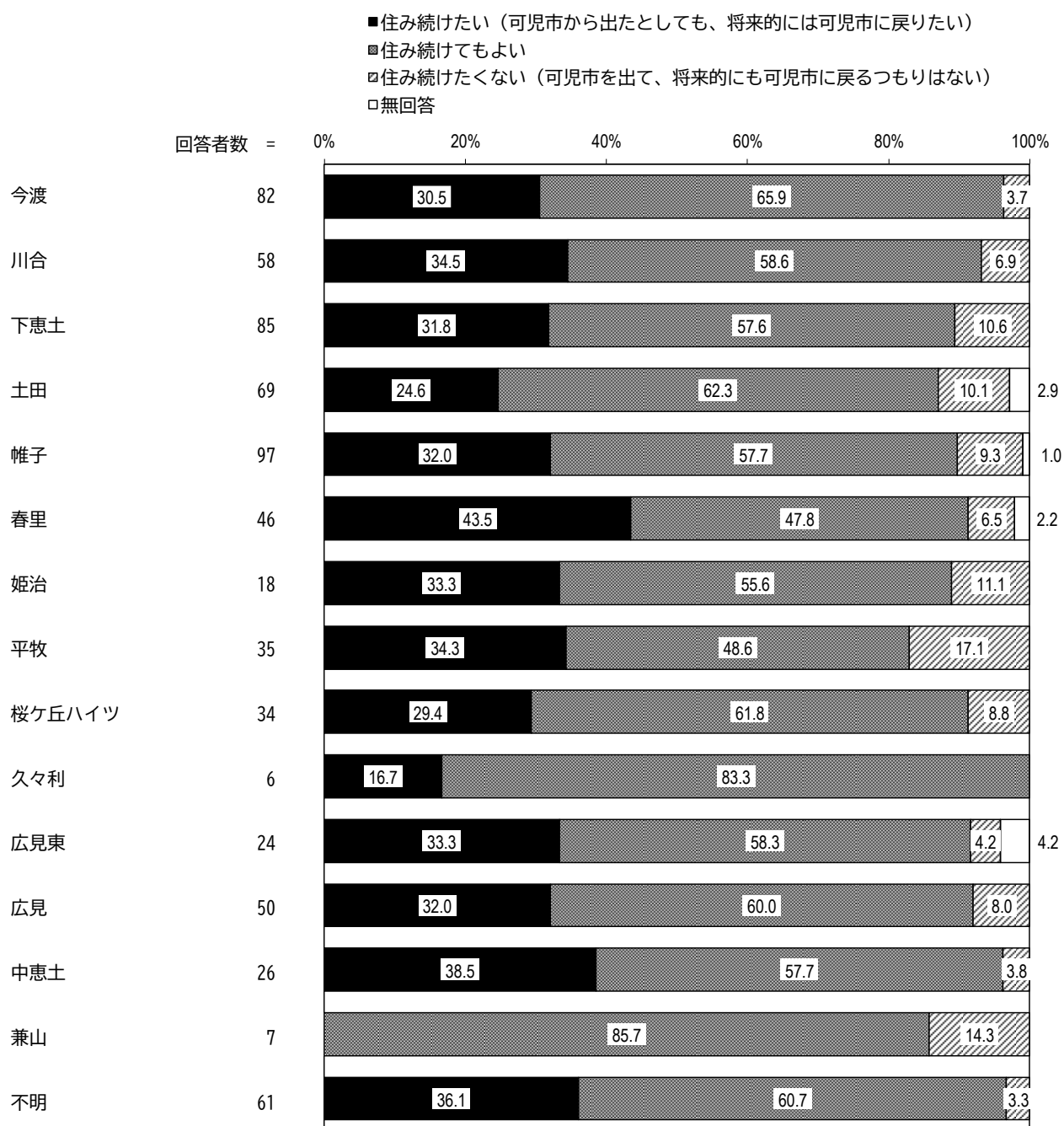
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が子どもが「いる」で高くなっています。



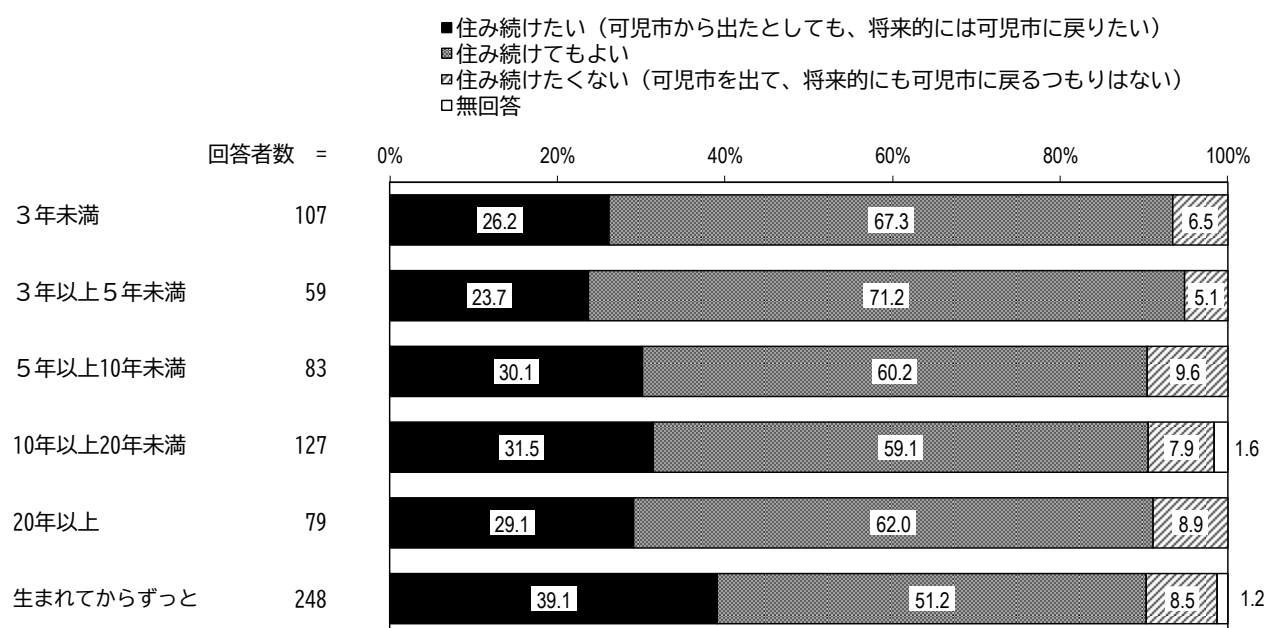
【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合が「春里」で高くなっています。



【居住年数別】

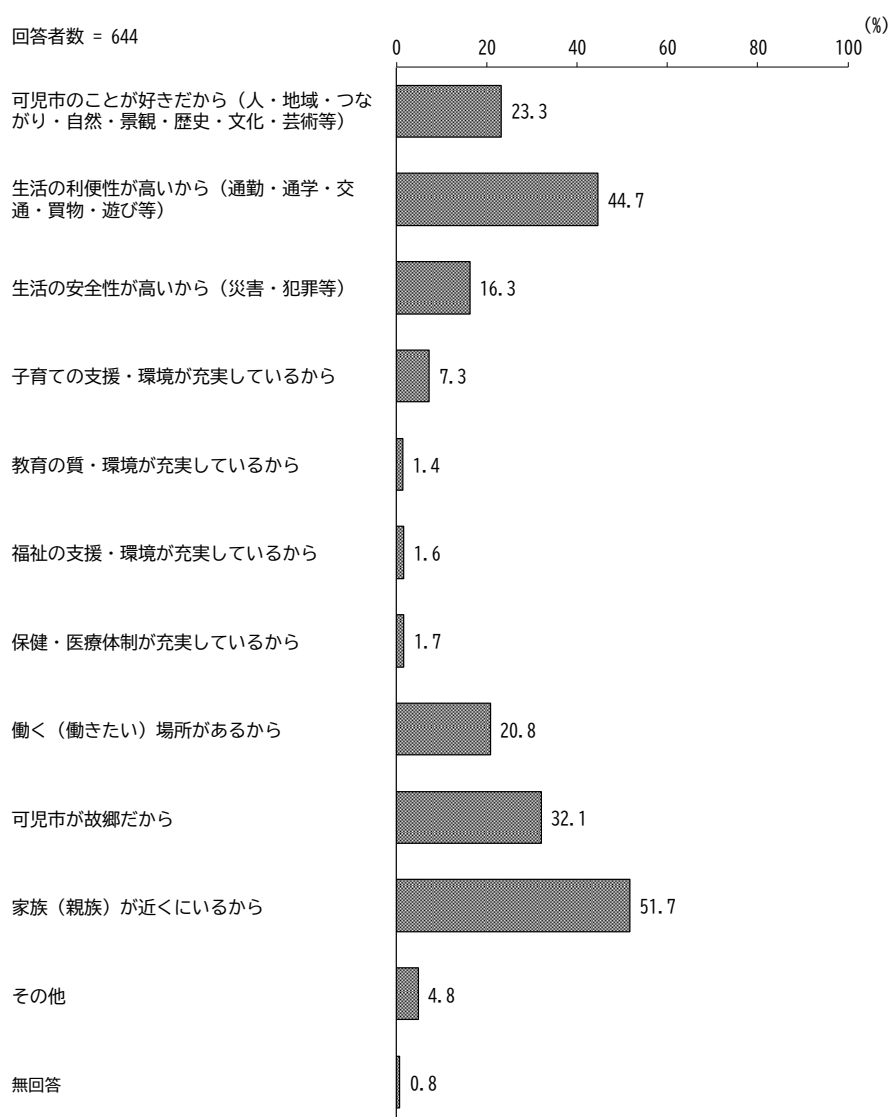
居住年数別にみると、「住み続けたい（可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい）」の割合は「生まれてからずっと」で高くなっています。



問8で1(住み続けたい)または2(住み続けてもよい)を選択された方に伺います】

問9 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「家族(親族)が近くにいるから」の割合が51.7%と最も高く、次いで「生活の利便性が高いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)」の割合が44.7%、「可児市が故郷だから」の割合が32.1%となっています。



【性別】

性別にみると、「可児市が故郷だから」の割合は男性で高く、「家族（親族）が近くにいるから」の割合は女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	644	23.3	44.7	16.3	7.3	1.4	1.6	1.7	20.8	32.1	51.7	4.8	0.8
男性	241	22.0	43.6	16.2	4.1	0.4	0.8	1.7	21.6	36.1	42.7	5.4	1.2
女性	400	24.0	45.3	16.5	9.3	2.0	2.0	1.8	20.5	29.8	57.3	4.3	0.5

【年代別】

年代別にみると、「可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）」、「可児市が故郷だから」の割合が10歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	644	23.3	44.7	16.3	7.3	1.4	1.6	1.7	20.8	32.1	51.7	4.8	0.8
10歳代	85	38.8	35.3	25.9	4.7	3.5	2.4	3.5	5.9	47.1	50.6	2.4	0.0
20歳代	211	21.8	49.3	14.7	3.3	0.9	0.9	1.4	20.9	34.6	52.1	3.3	0.9
30歳代	348	20.4	44.3	14.9	10.3	1.1	1.7	1.4	24.4	27.0	51.7	6.3	0.9

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「子育ての支援・環境が充実しているから」の割合が子どもが「いる」で高く、「可児市が故郷だから」が子どもが「いない」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きだから（人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等）	生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）	生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く（働きたい）場所があるから	可児市が故郷だから	家族（親族）が近くにいるから	その他	無回答
全体	644	23.3	44.7	16.3	7.3	1.4	1.6	1.7	20.8	32.1	51.7	4.8	0.8
いる	254	19.7	47.2	12.2	15.4	1.6	1.6	2.4	24.0	23.2	54.3	5.5	0.8
いない	387	25.3	42.9	18.6	2.1	1.3	1.6	1.3	18.9	37.7	49.9	4.4	0.8

【居住地区別】

居住地区別にみると、「生活の利便性が高いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等）」の割合が「広見東」で、「生活の安全性が高いから（災害・犯罪等）」の割合が「桜ヶ丘ハイツ」で高くなっています。

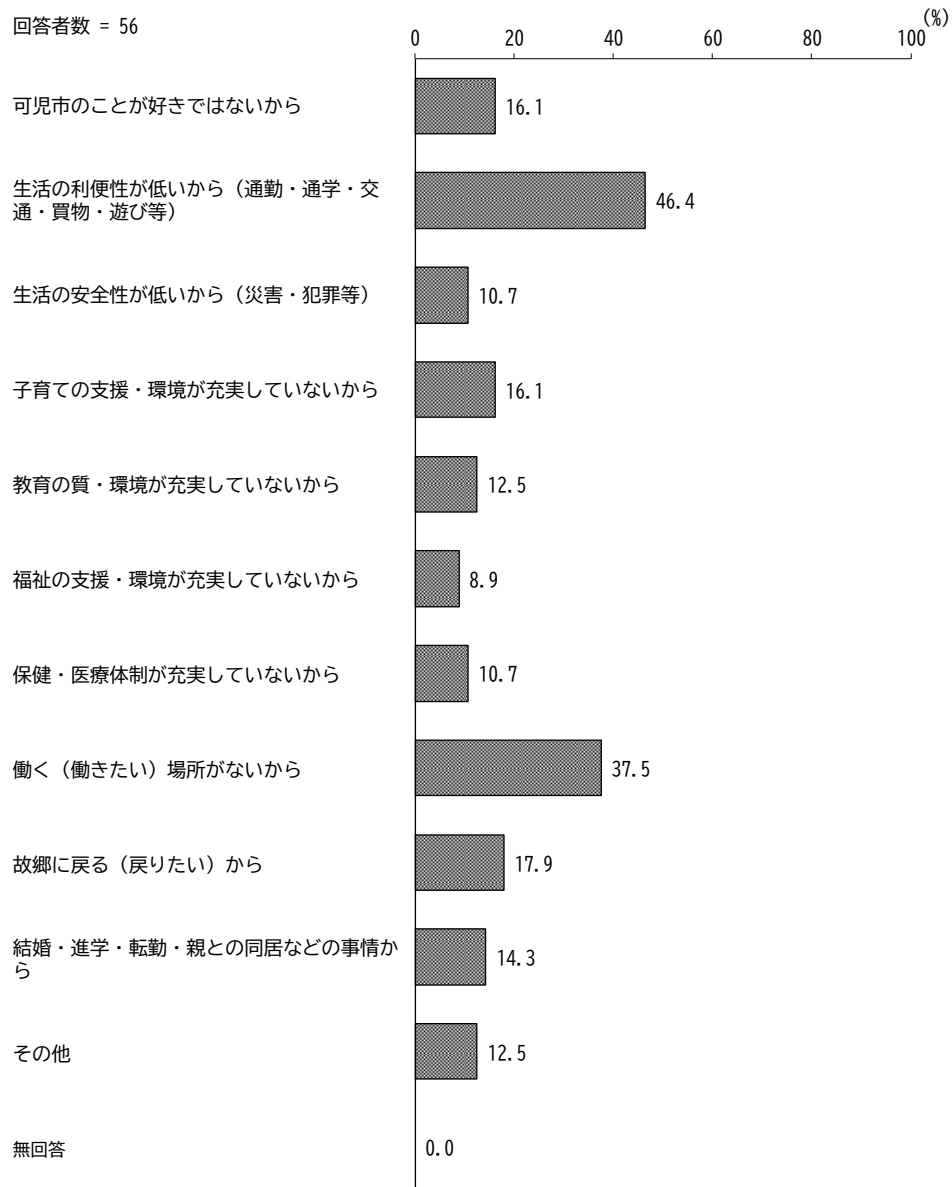
単位：％

区分	回答者数 (件)	可児市のことが好きだから (人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等)	生活の利便性が高いから (通勤・通学・交通・買物・遊び等)	生活の安全性が高いから (災害・犯罪等)	子育ての支援・環境が充実しているから	教育の質・環境が充実しているから	福祉の支援・環境が充実しているから	保健・医療体制が充実しているから	働く(働きたい)場所があるから	可児市が故郷だから	家族(親族)が近くにいるから	その他	無回答
全体	644	23.3	44.7	16.3	7.3	1.4	1.6	1.7	20.8	32.1	51.7	4.8	0.8
今渡	79	20.3	60.8	11.4	2.5	1.3	0.0	0.0	20.3	25.3	50.6	2.5	0.0
川合	54	29.6	59.3	18.5	14.8	0.0	5.6	1.9	22.2	29.6	48.1	1.9	0.0
下恵土	76	25.0	52.6	6.6	5.3	0.0	0.0	1.3	18.4	34.2	46.1	10.5	1.3
土田	60	20.0	46.7	10.0	8.3	1.7	3.3	5.0	26.7	35.0	53.3	5.0	0.0
帷子	87	14.9	34.5	16.1	4.6	1.1	1.1	2.3	16.1	34.5	57.5	6.9	0.0
春里	42	35.7	28.6	21.4	11.9	7.1	2.4	4.8	21.4	42.9	59.5	2.4	0.0
姫治	16	25.0	31.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	43.8	68.8	6.3	0.0
平牧	29	17.2	37.9	20.7	10.3	6.9	0.0	0.0	24.1	41.4	58.6	3.4	0.0
桜ヶ丘ハイツ	31	22.6	25.8	41.9	9.7	3.2	0.0	6.5	6.5	35.5	61.3	0.0	0.0
久々利	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7
広見東	22	18.2	72.7	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	13.6	31.8	45.5	4.5	0.0
広見	46	32.6	39.1	13.0	8.7	0.0	2.2	0.0	30.4	28.3	43.5	0.0	4.3
中恵土	25	24.0	48.0	36.0	12.0	0.0	4.0	0.0	24.0	20.0	48.0	0.0	0.0
兼山	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0
不明	59	25.4	39.0	18.6	5.1	0.0	1.7	0.0	27.1	27.1	50.8	8.5	0.0

【問8で3(住み続けたくない)を選択された方に伺います】

問10 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「生活の利便性が低いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等)」の割合が46.4%と最も高く、次いで「働く(働きたい)場所がないから」の割合が37.5%、「故郷に戻る(戻りたい)から」の割合が17.9%となっています。



【性別】

性別にみると、「働く（働きたい）場所がないから」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	16.1	46.4	10.7	16.1	12.5	8.9	10.7	37.5	17.9	14.3	12.5	0.0
男性	25	8.0	40.0	8.0	24.0	8.0	16.0	16.0	24.0	20.0	20.0	20.0	0.0
女性	30	23.3	53.3	13.3	10.0	16.7	3.3	6.7	50.0	16.7	10.0	3.3	0.0

【年代別】

年代別にみると、「子育ての支援・環境が充実していないから」、「故郷に戻る（戻りたい）から」の割合が30歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	可児市のことが好きではないから	生活の利便性が低いから（通勤・通学・交通・買物・遊び等	生活の安全性が低いから（災害・犯罪等）	子育ての支援・環境が充実していないから	教育の質・環境が充実していないから	福祉の支援・環境が充実していないから	保健・医療体制が充実していないから	働く（働きたい）場所がないから	故郷に戻る（戻りたい）から	結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から	その他	無回答
全体	56	16.1	46.4	10.7	16.1	12.5	8.9	10.7	37.5	17.9	14.3	12.5	0.0
10歳代	16	6.3	56.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	37.5	12.5	6.3	25.0	0.0
20歳代	20	15.0	40.0	5.0	5.0	10.0	5.0	10.0	45.0	10.0	25.0	5.0	0.0
30歳代	20	25.0	45.0	15.0	35.0	20.0	20.0	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0

【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、「子育ての支援・環境が充実していないから」の割合が子どもが「いる」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	可見市 のことが好き ではないから	生活の利便性 が低いから (通勤・通 学・交通・買物・遊び等)	生活の安全性 が低いから (災害・犯 罪等)	子育ての支援・ 環境が充実して いないから	教育の質・環境 が充実して いないから	福祉の支援・環 境が充実して いないから	保健・医療体制 が充実して いないから	働く(働きたい) 場所がないから	故郷に戻る(戻 りたい)から	結婚・進学・転 勤・親との同居 など	その他	無回答
全体	56	16.1	46.4	10.7	16.1	12.5	8.9	10.7	37.5	17.9	14.3	12.5	0.0
いる	13	15.4	46.2	15.4	46.2	38.5	7.7	15.4	23.1	38.5	7.7	0.0	0.0
いない	43	16.3	46.5	9.3	7.0	4.7	9.3	9.3	41.9	11.6	16.3	16.3	0.0

【居住地区別】

居住地区別では有効回答者数が少ないため、コメントは差し控えます。

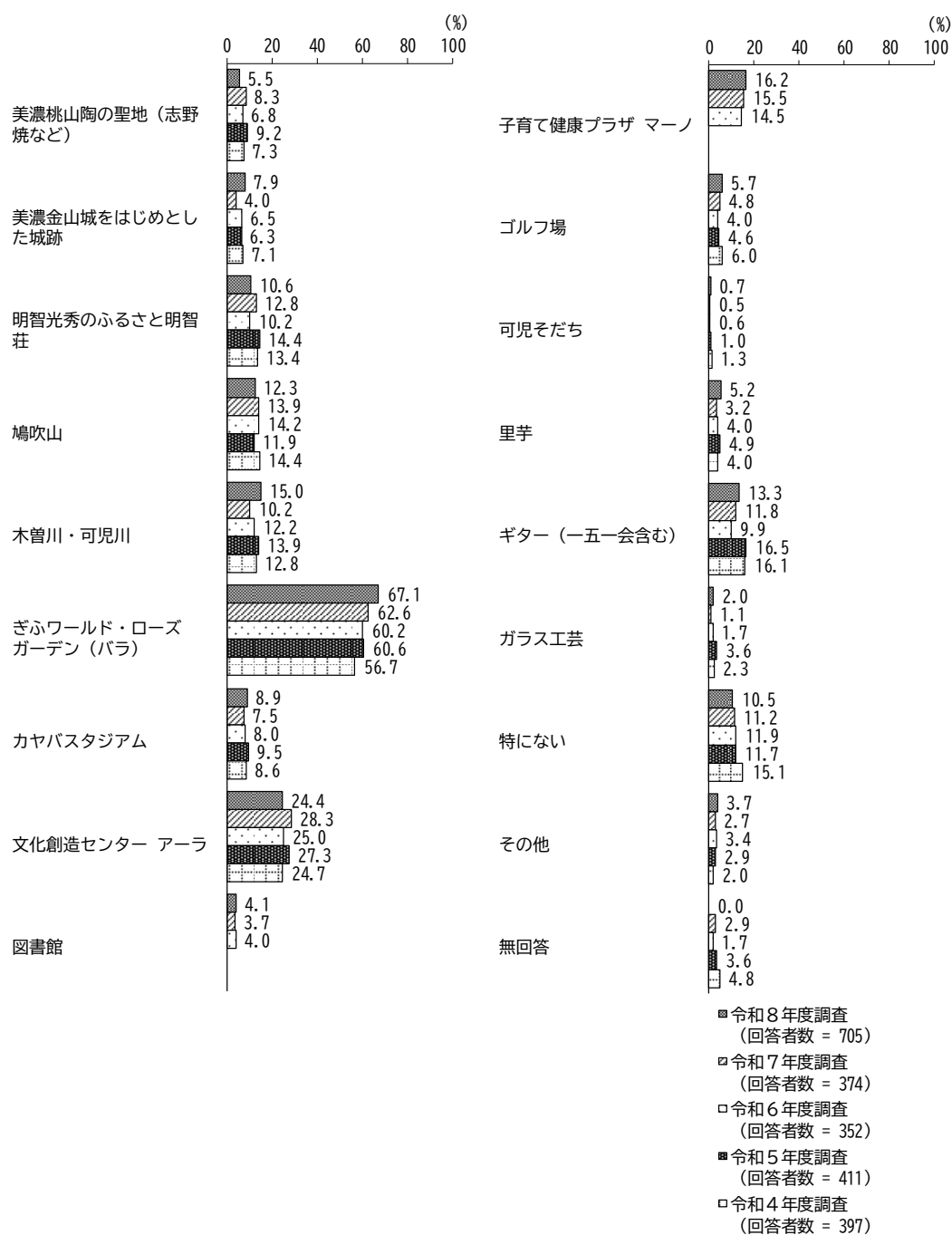
単位：％

区分	回答者数 (件)	可見市 のことが好き ではないから	生活の利便性 が低いから (通勤・通 学・交通・買物・遊び等)	生活の安全性 が低いから (災害・犯 罪等)	子育ての支援・ 環境が充実して いないから	教育の質・環境 が充実して いないから	福祉の支援・環 境が充実して いないから	保健・医療体制 が充実して いないから	働く(働きたい) 場所がないから	故郷に戻る(戻 りたい)から	結婚・進学・転 勤・親との同居 など	その他	無回答
全体	56	16.1	46.4	10.7	16.1	12.5	8.9	10.7	37.5	17.9	14.3	12.5	0.0
今渡	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
川合	4	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
下恵土	9	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	11.1	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0
土田	7	14.3	57.1	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0
帷子	9	11.1	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	44.4	33.3	0.0	22.2	0.0
春里	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
姫治	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
平牧	6	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
桜ヶ丘ハイツ	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
久々利	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見東	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広見	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
中恵土	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
兼山	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
不明	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 11 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。(〇は3つまで)

「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「文化創造センター アーラ」の割合が 24.4%、「子育て健康プラザ マーノ」の割合が 16.2%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「木曽川・可児川」、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が増加しています。



※令和5年度調査以前では、「図書館」、「子育て健康プラザ マーノ」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）」、「子育て健康プラザ マーノ」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアーラ	図書館	子育て健康プラザマーノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	705	5.5	7.9	10.6	12.3	15.0	67.1	8.9	24.4	4.1	16.2	5.7	0.7
男性	269	8.9	9.3	10.8	15.6	14.9	56.9	9.7	22.3	3.7	8.2	8.2	1.1
女性	432	3.5	7.2	10.6	10.4	15.3	73.4	8.6	25.9	4.4	21.3	4.2	0.5

区分	里芋	むギター（一五一会含）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全体	5.2	13.3	2.0	10.5	3.7	0.0
男性	6.7	13.8	1.5	11.2	4.8	0.0
女性	4.4	13.2	2.1	10.0	3.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、「文化創造センター アーラ」の割合が10歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ローズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアーラ	図書館	子育て健康プラザマーノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	705	5.5	7.9	10.6	12.3	15.0	67.1	8.9	24.4	4.1	16.2	5.7	0.7
10歳代	103	7.8	9.7	13.6	17.5	16.5	66.0	15.5	37.9	4.9	12.6	2.9	1.0
20歳代	231	5.2	5.2	5.6	12.6	18.2	65.8	6.1	23.8	4.8	12.1	5.6	0.9
30歳代	371	5.1	9.2	12.9	10.8	12.7	68.2	8.9	21.0	3.5	19.7	6.5	0.5

区分	里芋	むギター（一五一会含）	ガラス工芸	特にない	その他	無回答
全体	5.2	13.3	2.0	10.5	3.7	0.0
10歳代	13.6	14.6	3.9	1.9	4.9	0.0
20歳代	4.3	10.4	2.2	10.0	4.3	0.0
30歳代	3.5	14.8	1.3	13.2	3.0	0.0

【居住地区別】

居住地区別にみると、「文化創造センター アーラ」の割合が「桜ヶ丘ハイツ」で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめ とした城跡	明智光秀のふるさと 明智荘	鳩吹山	木曽川・可児川	ぎふワールド・ロー ズガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センター アーラ	図書館	子育て健康プラザ マリーノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	705	5.5	7.9	10.6	12.3	15.0	67.1	8.9	24.4	4.1	16.2	5.7	0.7
今渡	82	4.9	9.8	9.8	6.1	18.3	65.9	6.1	20.7	4.9	9.8	6.1	3.7
川合	58	5.2	5.2	15.5	12.1	24.1	77.6	13.8	22.4	3.4	19.0	10.3	0.0
下恵土	85	5.9	7.1	10.6	14.1	20.0	64.7	3.5	27.1	5.9	21.2	5.9	0.0
土田	69	1.4	4.3	8.7	30.4	17.4	56.5	7.2	30.4	4.3	15.9	2.9	0.0
帷子	97	3.1	7.2	3.1	15.5	7.2	63.9	11.3	24.7	2.1	8.2	1.0	0.0
春里	46	2.2	8.7	6.5	23.9	15.2	63.0	21.7	32.6	8.7	21.7	6.5	0.0
姫治	18	11.1	5.6	5.6	5.6	27.8	61.1	5.6	16.7	5.6	22.2	0.0	0.0
平牧	35	20.0	5.7	17.1	2.9	5.7	62.9	11.4	20.0	5.7	25.7	8.6	0.0
桜ヶ丘ハイツ	34	11.8	8.8	8.8	2.9	14.7	76.5	14.7	44.1	2.9	23.5	11.8	0.0
久々利	6	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
広見東	24	8.3	8.3	20.8	4.2	12.5	75.0	4.2	8.3	8.3	12.5	4.2	8.3
広見	50	6.0	18.0	22.0	4.0	10.0	66.0	8.0	18.0	2.0	18.0	4.0	0.0
中恵土	26	3.8	11.5	19.2	0.0	15.4	80.8	7.7	34.6	3.8	23.1	0.0	0.0
兼山	7	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
不明	61	3.3	1.6	9.8	13.1	14.8	75.4	6.6	18.0	1.6	13.1	9.8	0.0

区分	里芋	むギター（一五一会含）	ガラス工芸	特にな	その他	無回答
全体	5.2	13.3	2.0	10.5	3.7	0.0
今渡	3.7	13.4	1.2	9.8	1.2	0.0
川合	10.3	6.9	1.7	6.9	1.7	0.0
下恵土	5.9	16.5	1.2	11.8	4.7	0.0
土田	5.8	15.9	4.3	11.6	5.8	0.0
帷子	2.1	13.4	3.1	18.6	4.1	0.0
春里	2.2	10.9	2.2	13.0	4.3	0.0
姫治	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0
平牧	5.7	20.0	0.0	11.4	5.7	0.0
桜ヶ丘ハイツ	8.8	11.8	2.9	2.9	0.0	0.0
久々利	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
広見東	0.0	20.8	0.0	8.3	12.5	0.0
広見	6.0	18.0	0.0	10.0	2.0	0.0
中恵土	0.0	3.8	3.8	7.7	0.0	0.0
兼山	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
不明	9.8	9.8	1.6	4.9	4.9	0.0

【居住年数別】

居住年数別にみると、「文化創造センター アーラ」の割合が居住年数が長いほど、高くなる傾向にあります。

単位：％

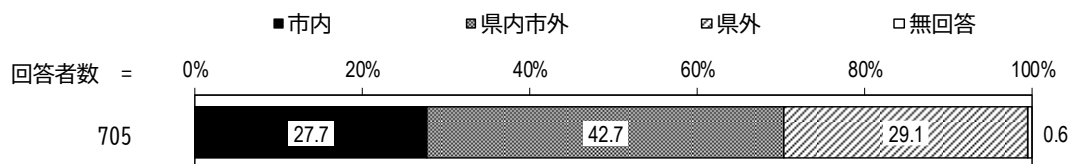
区分	回答者数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと明智荘	鳩吹山	木曾川・可児川	ズギふワールド・ローザガーデン（バラ）	カヤバスタジアム	文化創造センターアーラ	図書館	子育て健康プラザマノノ	ゴルフ場	可児そだち
全体	705	5.5	7.9	10.6	12.3	15.0	67.1	8.9	24.4	4.1	16.2	5.7	0.7
3年未満	107	3.7	5.6	7.5	12.1	24.3	65.4	3.7	11.2	5.6	19.6	8.4	0.0
3年以上5年未満	59	3.4	6.8	6.8	6.8	6.8	69.5	8.5	18.6	6.8	25.4	6.8	0.0
5年以上10年未満	83	3.6	8.4	12.0	9.6	10.8	65.1	8.4	15.7	1.2	22.9	9.6	1.2
10年以上20年未満	127	3.9	7.1	11.8	14.2	15.0	62.2	15.7	28.3	3.9	18.9	3.1	0.0
20年以上	79	6.3	7.6	8.9	15.2	13.9	69.6	7.6	30.4	6.3	8.9	6.3	1.3
生まれてからずっと	248	8.1	9.3	12.5	12.9	14.9	69.8	8.5	30.6	3.2	11.3	4.0	1.2

区分	里芋	むギター（一五一会含）	ガラス工芸	特にな	その他	無回答
全体	5.2	13.3	2.0	10.5	3.7	0.0
3年未満	4.7	6.5	1.9	8.4	9.3	0.0
3年以上5年未満	1.7	8.5	1.7	15.3	1.7	0.0
5年以上10年未満	7.2	16.9	3.6	13.3	1.2	0.0
10年以上20年未満	2.4	14.2	2.4	10.2	3.1	0.0
20年以上	2.5	22.8	3.8	8.9	1.3	0.0
生まれてからずっと	8.1	12.9	0.8	9.7	3.6	0.0

(3)余暇の過ごし方について

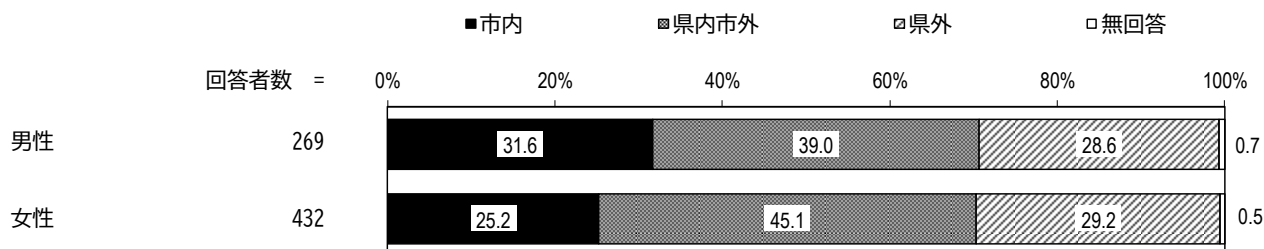
問 12 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。(〇は1つだけ)

「県内市外」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「市内」の割合が 27.7%、「県外」の割合が 29.1%となっています。



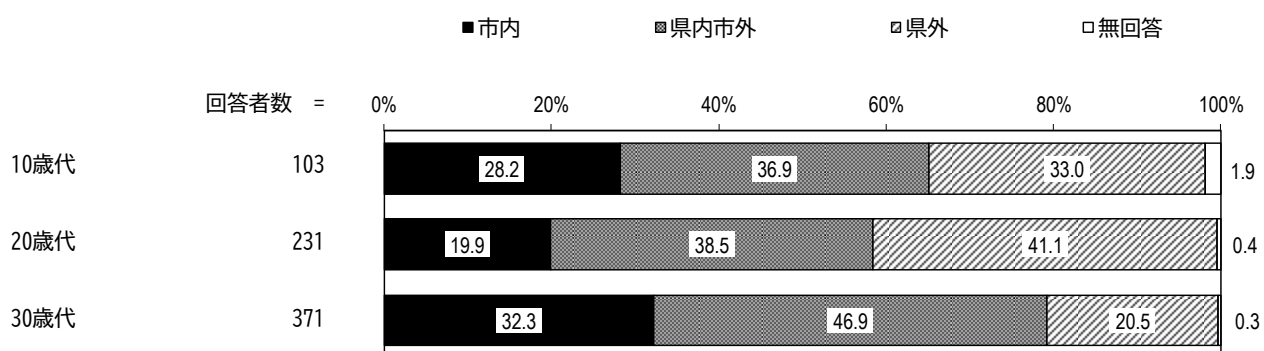
【性別】

性別にみると、「市内」の割合は男性で高くなっています。



【年代別】

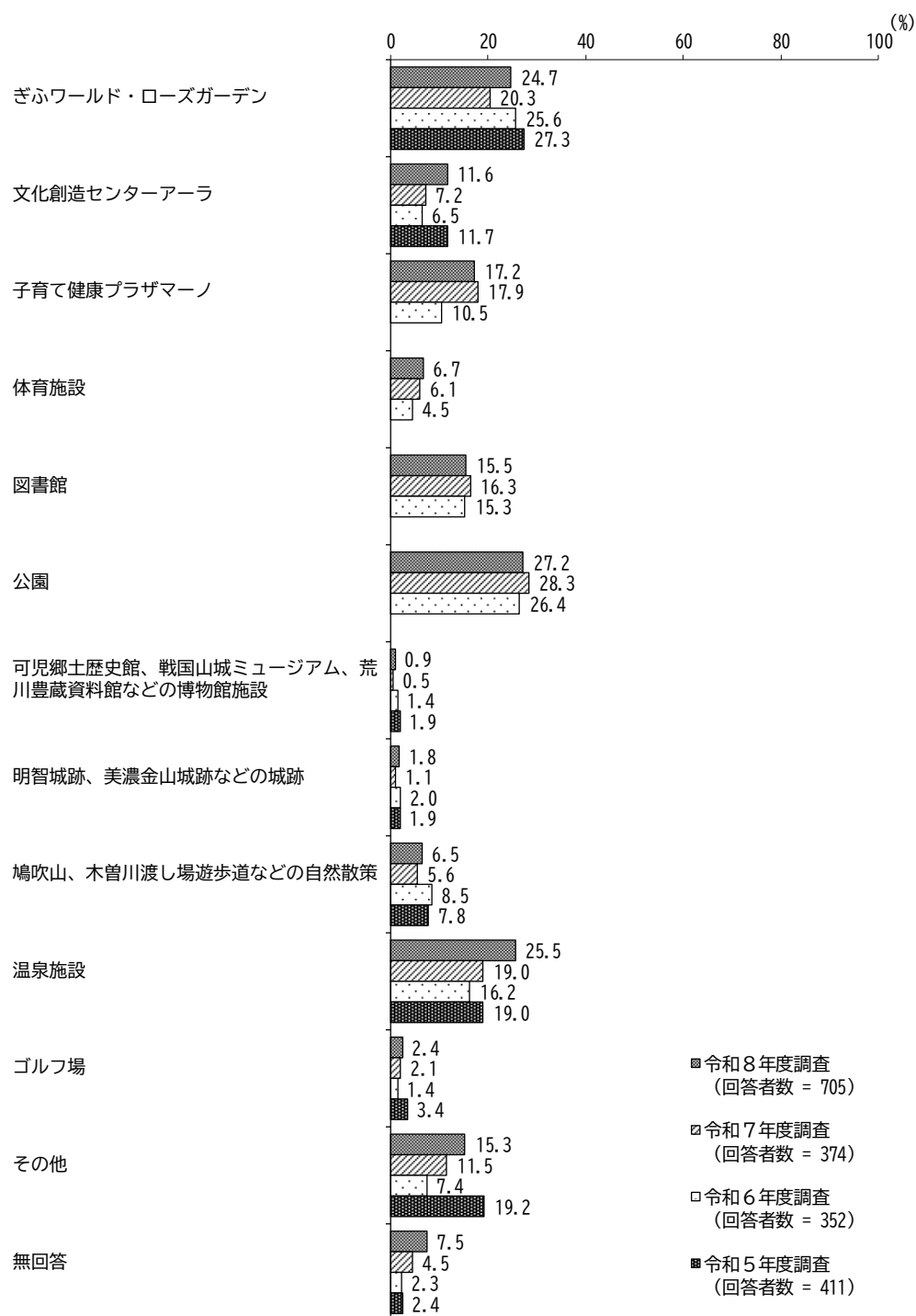
年代別にみると、「県外」の割合が 20 歳代で高く、「市内」、「県内市外」の割合が 30 歳代で高くなっています。



問 13 市内でよく行くところはどこですか。(複数回答可)

「公園」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「温泉施設」の割合が 25.5%、「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が 24.7%となっています。

令和 7 年度調査と比較すると、「温泉施設」、「文化創造センターアール」の割合が増加しています。



※令和 5 年度調査では、「子育て健康プラザマーノ」、「体育施設」、「図書館」、「公園」がありませんでした。

【性別】

性別にみると、「温泉施設」の割合が男性で高く、「子育て健康プラザマーノ」、「ぎふワールド・ローズガーデン」の割合が女性で高くなっています。

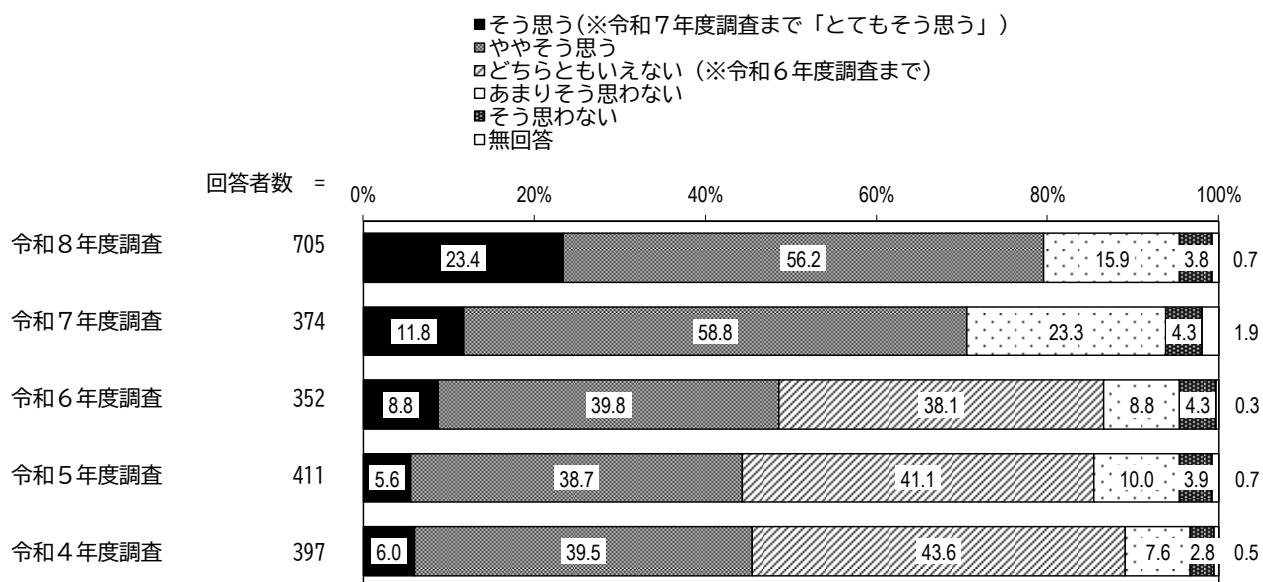
単位：％

区分	回答者数（件）	ぎふワールド・ローズガーデン	文化創造センターアール	子育て健康プラザマーノ	体育施設	図書館	公園	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館などの博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡などの城跡	鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道などの自然散策	温泉施設	ゴルフ場	その他	無回答
全体	705	24.7	11.6	17.2	6.7	15.5	27.2	0.9	1.8	6.5	25.5	2.4	15.3	7.5
男性	269	19.3	9.7	7.8	7.4	9.7	25.7	1.9	2.6	8.2	32.3	3.7	17.5	9.7
女性	432	28.2	13.0	23.1	6.3	18.8	28.2	0.2	1.4	5.6	21.3	1.6	14.1	6.0

(4)子育て環境について

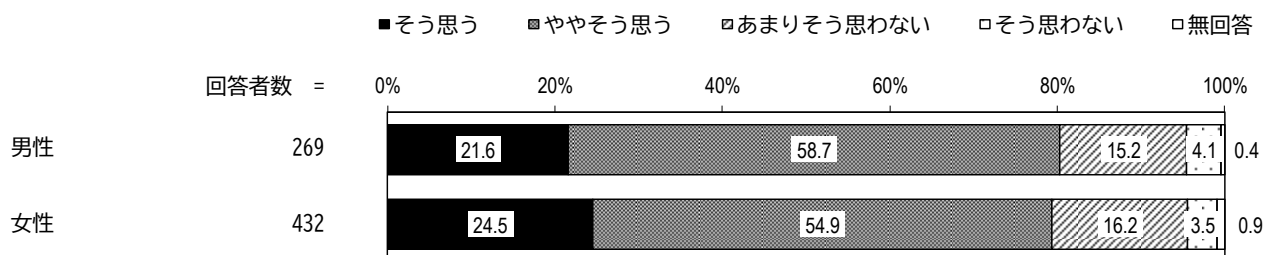
問 14 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が79.6%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が19.7%となっています。



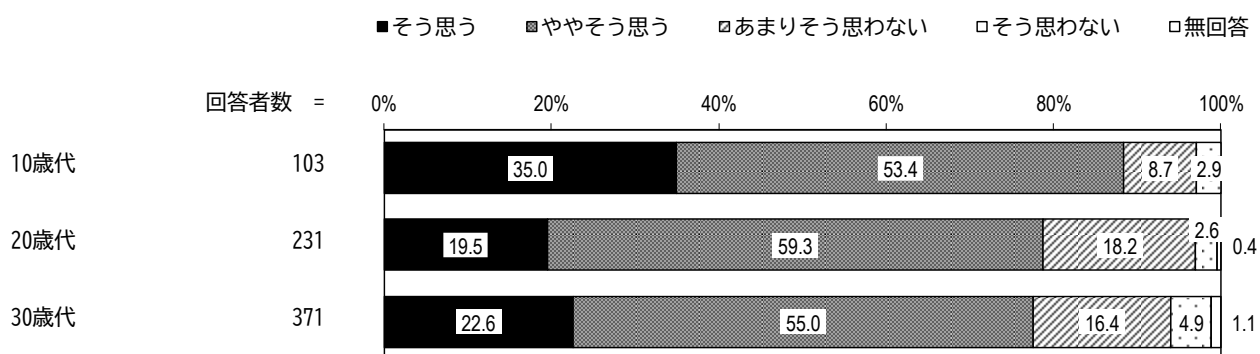
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



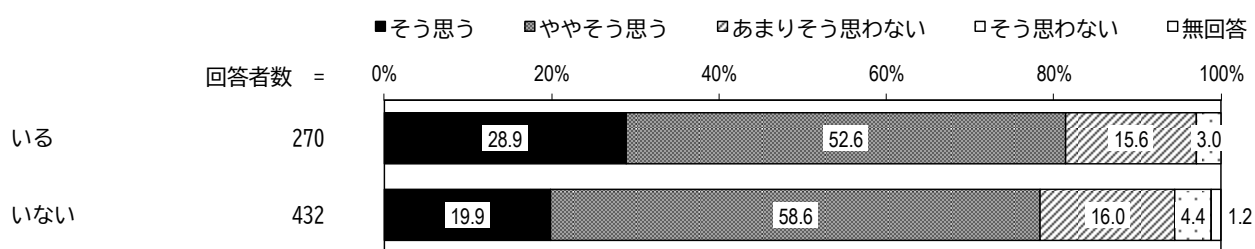
【年代別】

年代別にみると、“そう思う”の割合は10歳代で高くなっています。



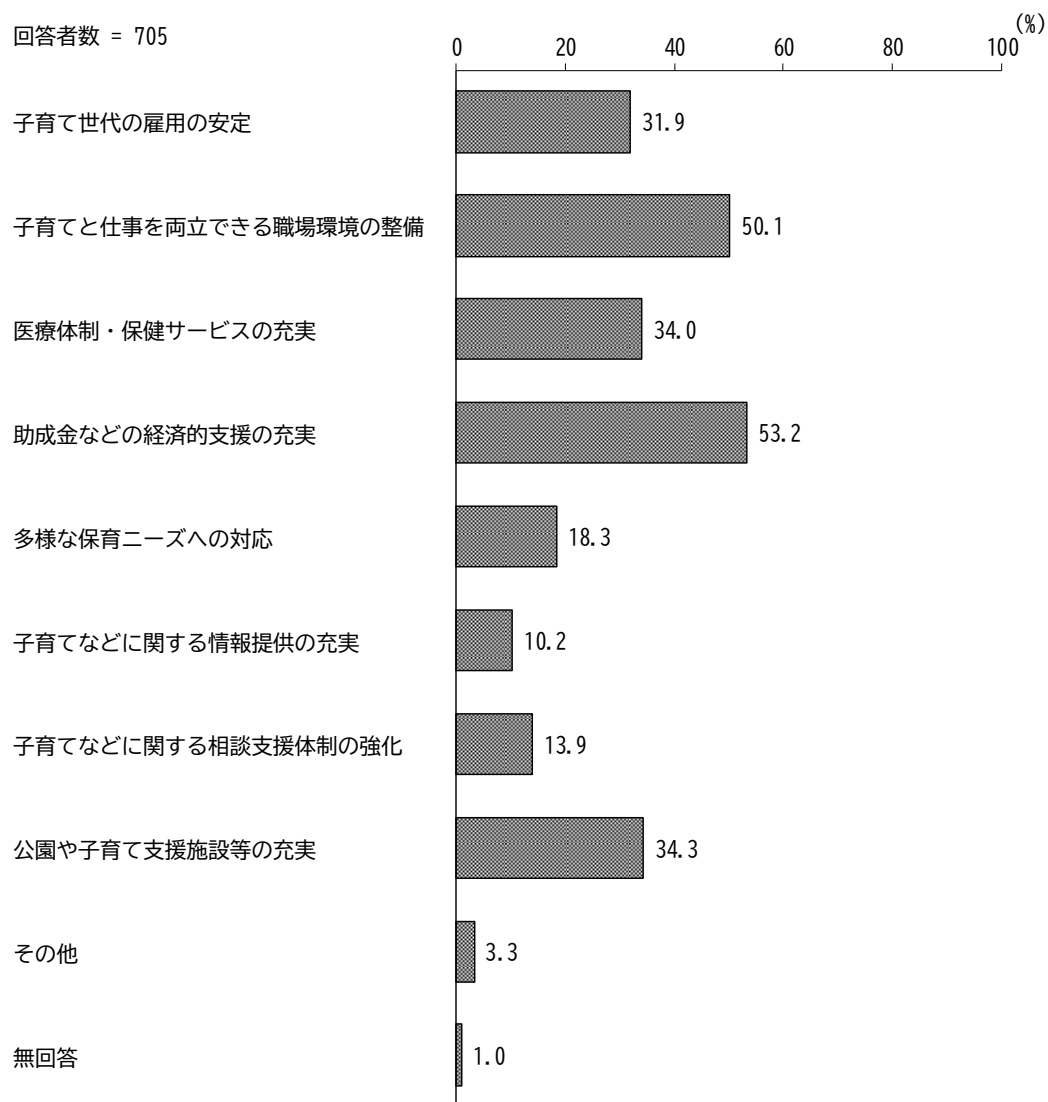
【子どもの有無別】

子どもの有無別にみると、“そう思う”の割合が子どもが「いる」で高くなっています。



問 15 子育てしやすいまちづくりのために、市はどのようなことを重視して取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「助成金などの経済的支援の充実」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」の割合が 50.1%、「公園や子育て支援施設等の充実」の割合が 34.3%となっています。



【性別】

性別にみると、「子育て世代の雇用の安定」の割合が男性で高く、「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」、「助成金などの経済的支援の充実」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子育て世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境の整備	医療体制・保健サービスの充実	助成金などの経済的支援の充実	多様な保育ニーズへの対応	子育てなどに関する情報提供の充実	子育てなどに関する相談支援体制の強化	公園や子育て支援施設等の充実	その他	無回答
全体	705	31.9	50.1	34.0	53.2	18.3	10.2	13.9	34.3	3.3	1.0
男性	269	35.7	44.6	32.7	50.6	17.8	10.0	12.3	32.7	3.7	1.5
女性	432	29.6	53.9	35.0	55.1	18.3	10.4	14.8	35.2	3.0	0.7

【年代別】

年代別にみると、「助成金などの経済的支援の充実」、「子育てと仕事を両立できる職場環境の整備」の割合が30歳代で高くなっています。

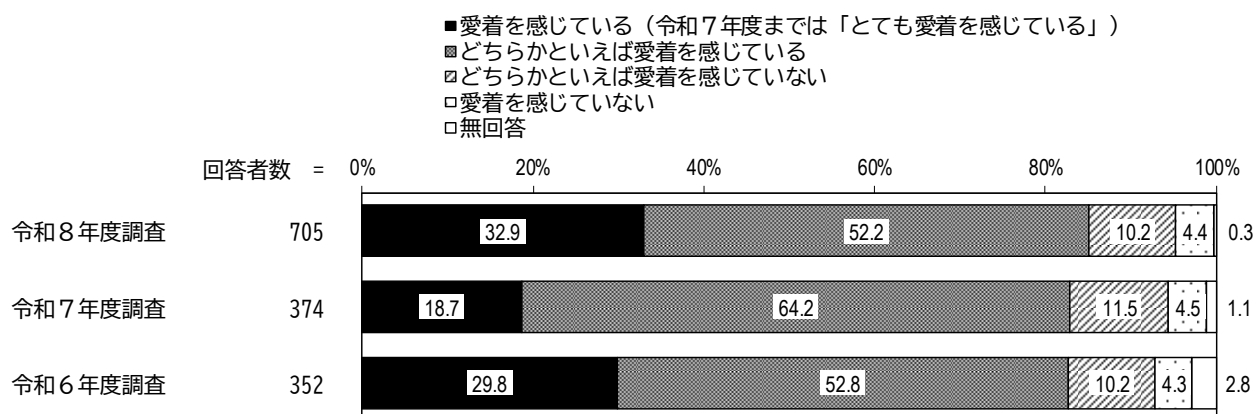
単位：％

区分	回答者数（件）	子育て世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境の整備	医療体制・保健サービスの充実	助成金などの経済的支援の充実	多様な保育ニーズへの対応	子育てなどに関する情報提供の充実	子育てなどに関する相談支援体制の強化	公園や子育て支援施設等の充実	その他	無回答
全体	705	31.9	50.1	34.0	53.2	18.3	10.2	13.9	34.3	3.3	1.0
10歳代	103	38.8	44.7	37.9	40.8	10.7	10.7	16.5	35.0	1.0	1.9
20歳代	231	32.5	45.5	34.2	51.1	19.0	9.1	12.6	28.6	2.6	2.2
30歳代	371	29.6	54.4	32.9	58.0	19.9	10.8	14.0	37.7	4.3	0.0

(5)可児市への愛着について

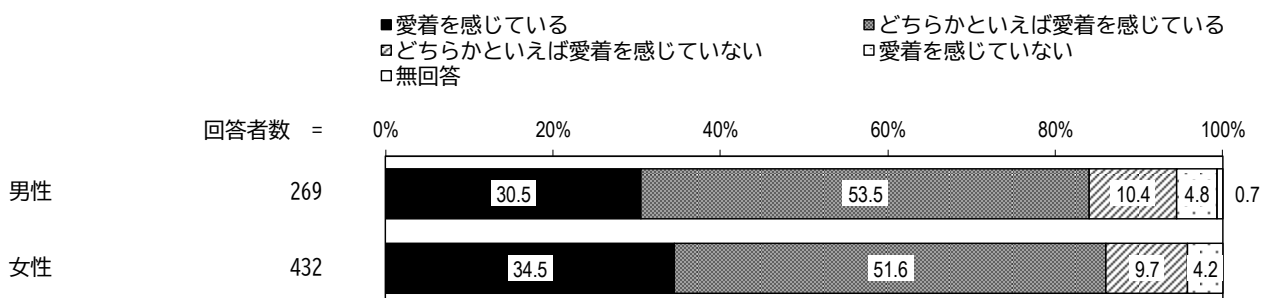
問 16 可児市に愛着を感じていますか？（○は1つだけ）

「愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた“愛着を感じている”の割合が 85.1%、「どちらかといえば愛着を感じていない」「愛着を感じていない」を合わせた“愛着を感じていない”の割合が 14.6%となっています。



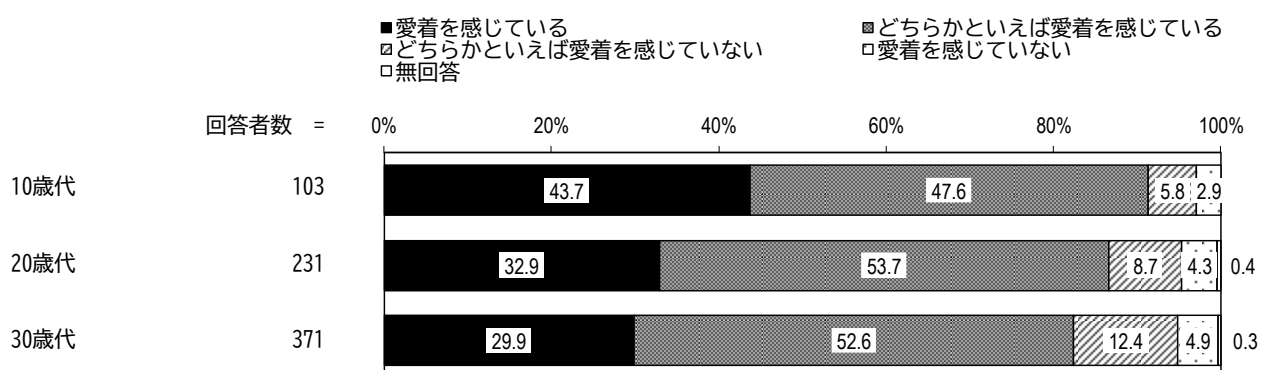
【性別】

性別による大きな差はみられません。



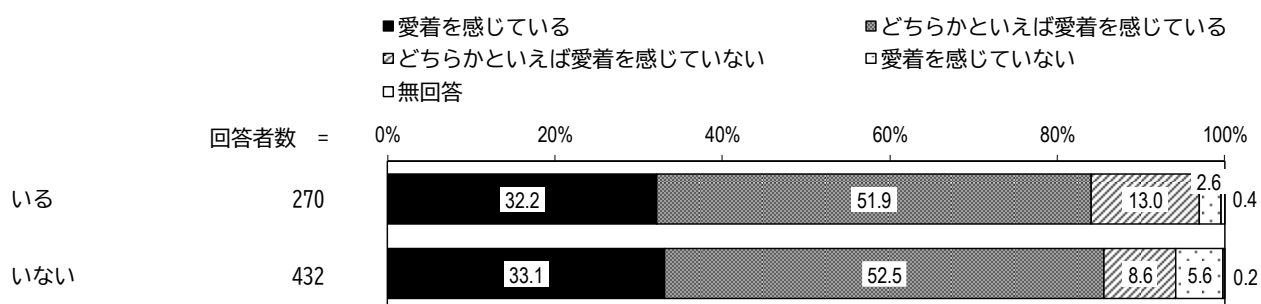
【年代別】

年代別にみると、“愛着を感じている”の割合が年代が低くなるにつれて高くなる傾向がみられます。



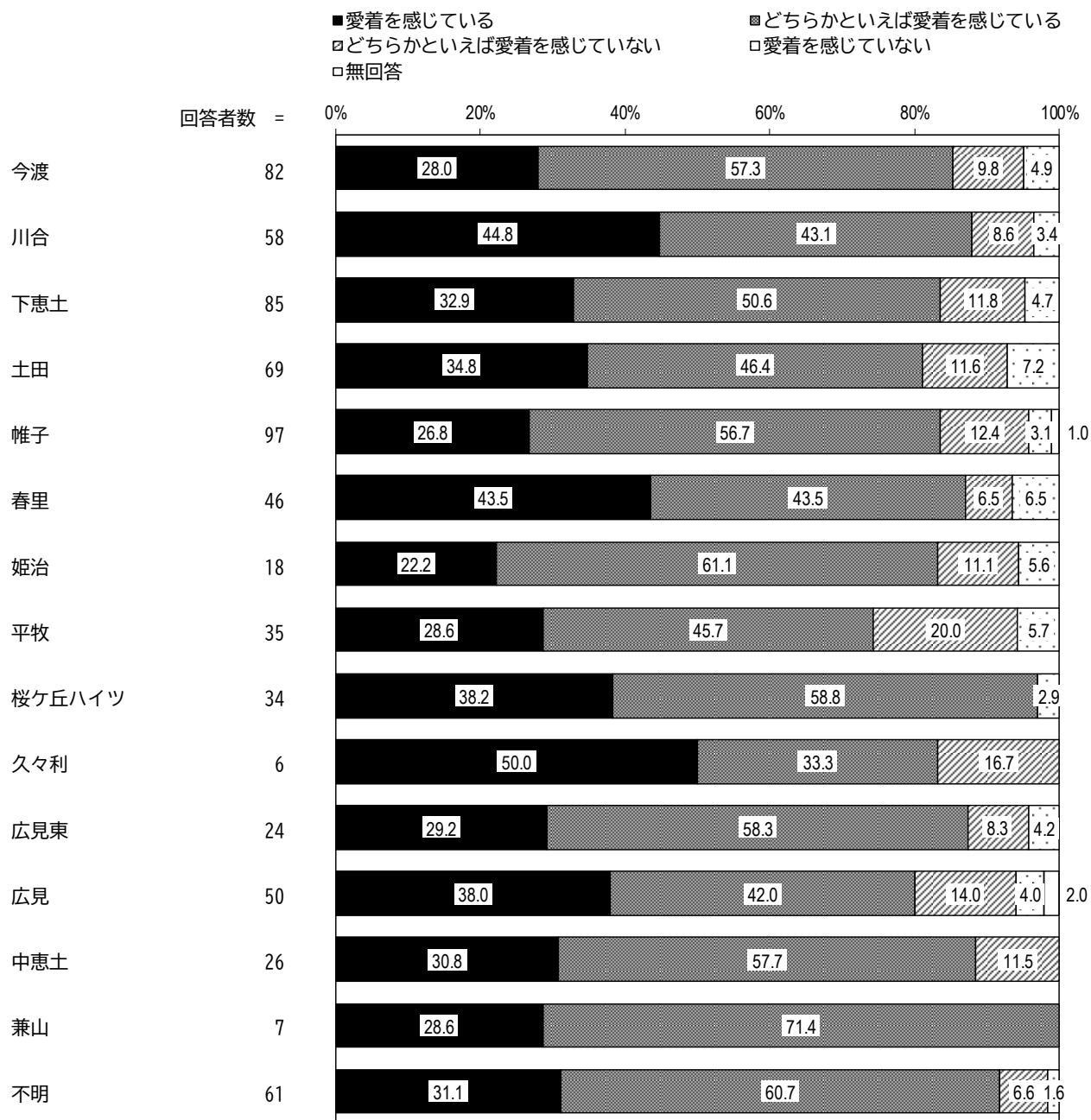
【子どもの有無別】

子どもの有無による大きな差はみられません。



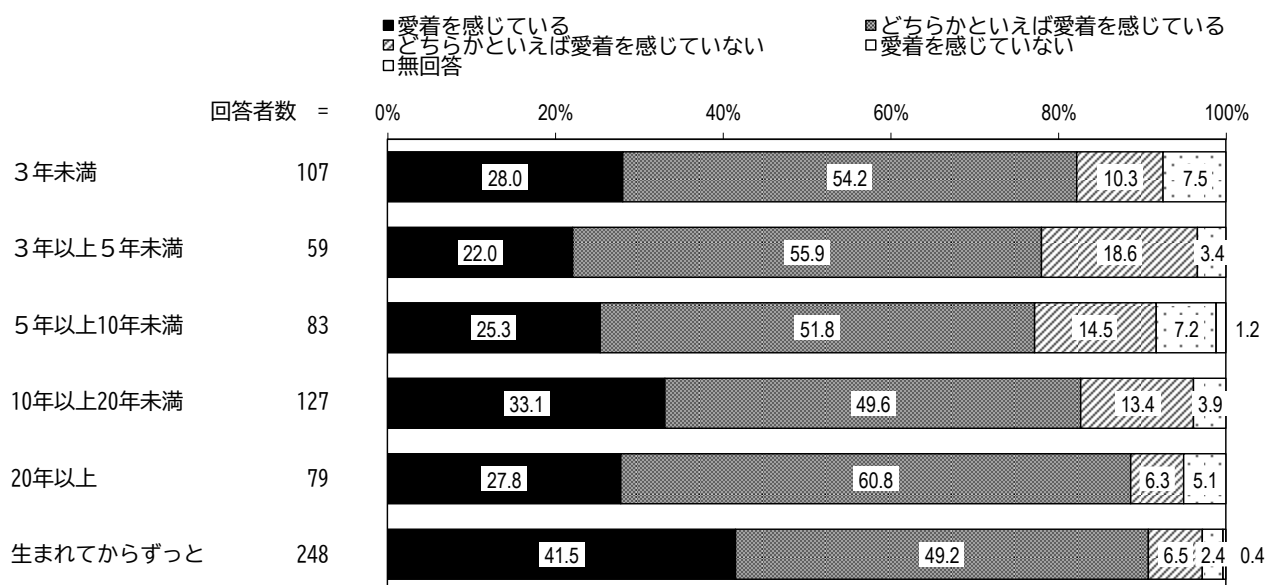
【居住地区別】

居住地区別にみると、“愛着を感じている”の割合は「桜ヶ丘ハイツ」で高くなっています。



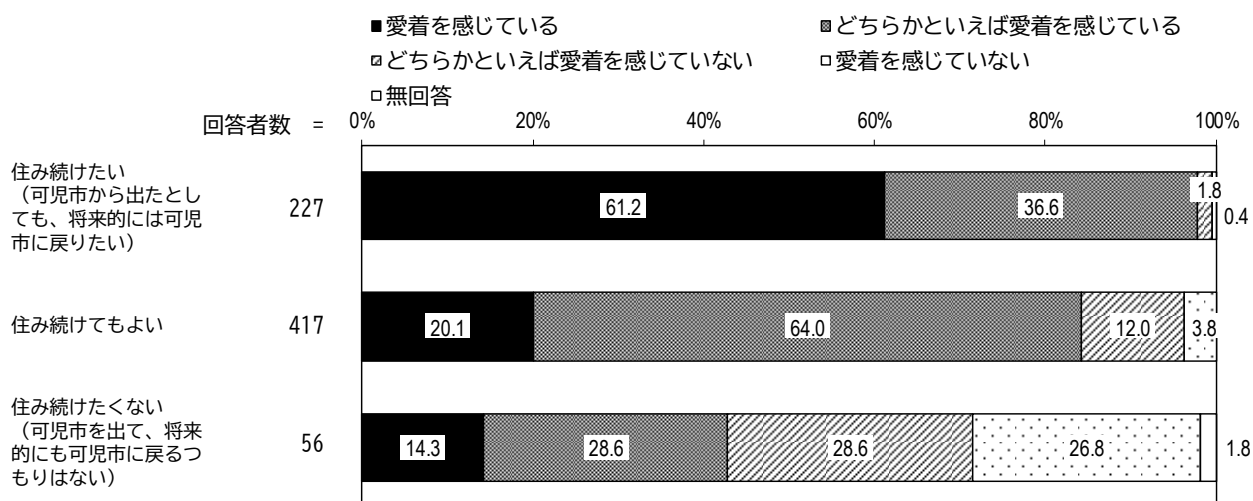
【居住年数別】

居住年数別にみると、“愛着を感じている”の割合が居住年数が長くなるにつれて高くなる傾向がみられます。



【可児市への定住意向別】

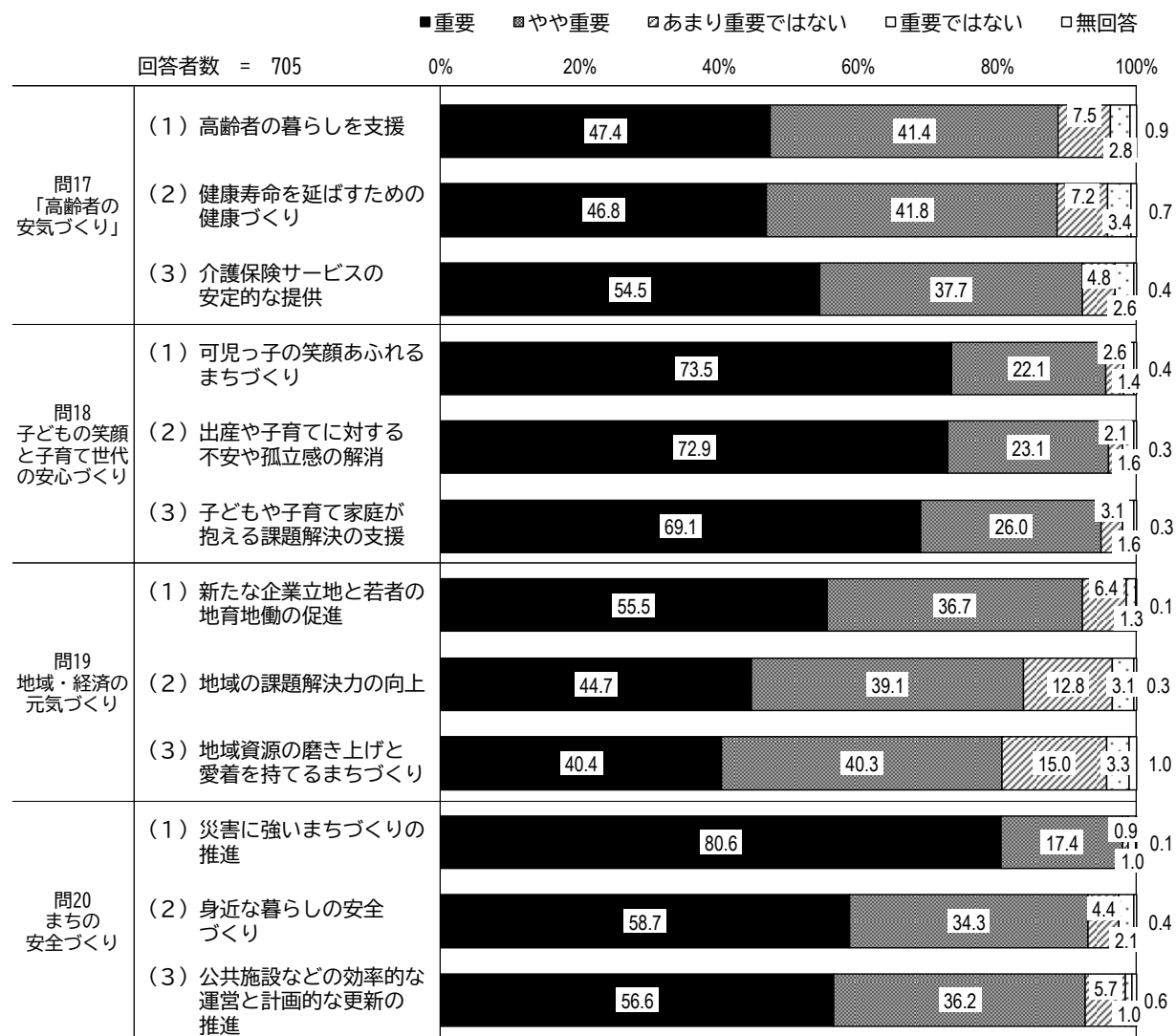
可児市への定住意向別にみると、“愛着を感じている”の割合が「住み続けたい（可児市から出ても、将来的には可児市に戻りたい）」で高くなっています。



(6)施策の重要度と満足度について

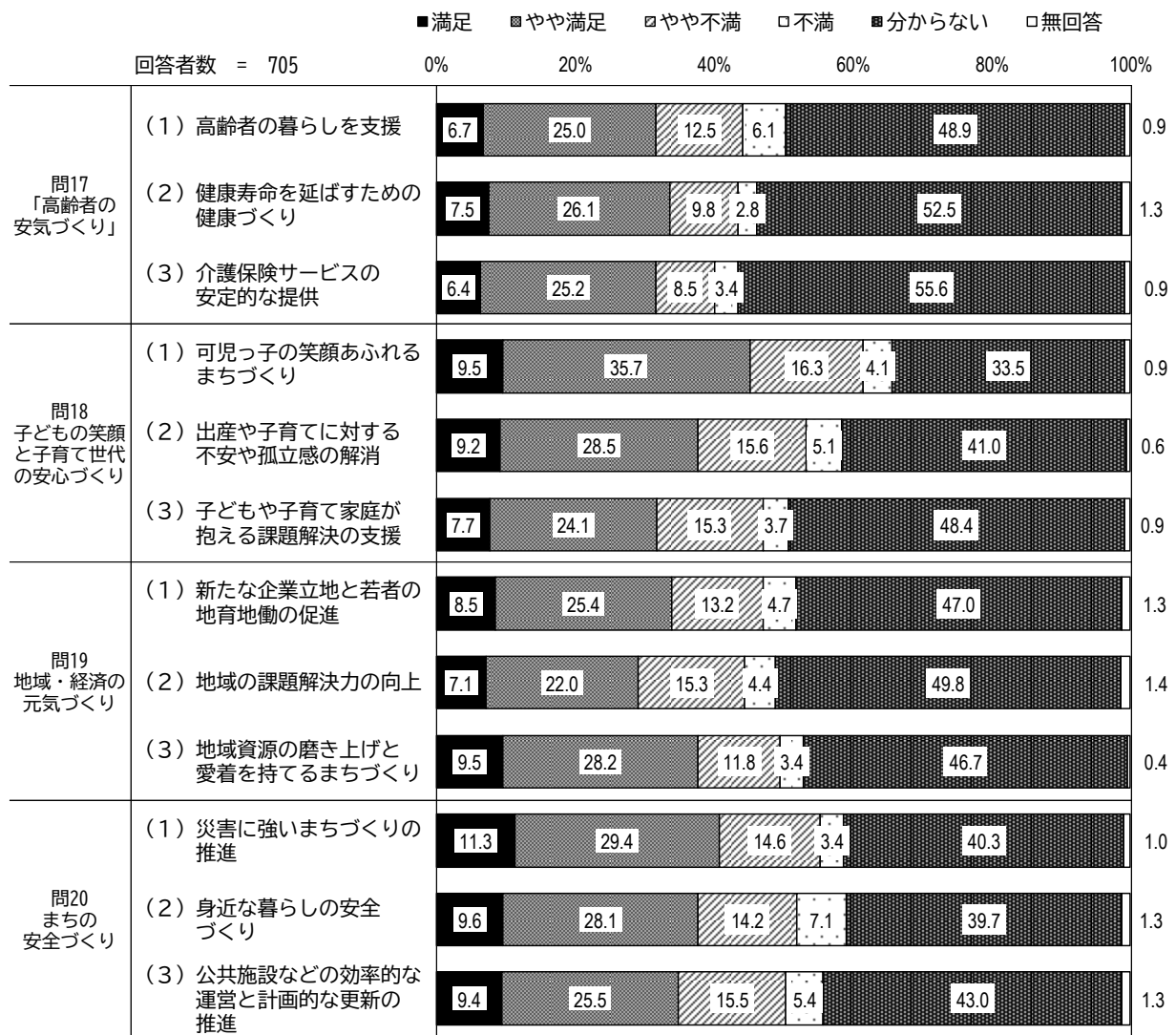
施策の重要度一覧

「災害に強いまちづくりの推進」で「重要」と「やや重要」を合わせた“重要”が98.0%と最も高く、次いで「出産や子育てに対する不安や孤立感の解消」の割合が96.0%、「可児っ子の笑顔あふれるまちづくり」の割合が95.6%となっています。一方、「地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり」、「地域の課題解決力の向上」は他の施策と比べて低くなっていますが、約8割が重要と回答しています。



施策の満足度一覧

「可児っ子の笑顔あふれるまちづくり」で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が45.2%と最も高く、次いで「災害に強いまちづくりの推進」、「出産や子育てに対する不安や孤立感の解消」で高くなっています。一方、「身近な暮らしの安全づくり」で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が21.3%と最も高く、次いで「公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進」、「出産や子育てに対する不安や孤立感の解消」で高くなっています。

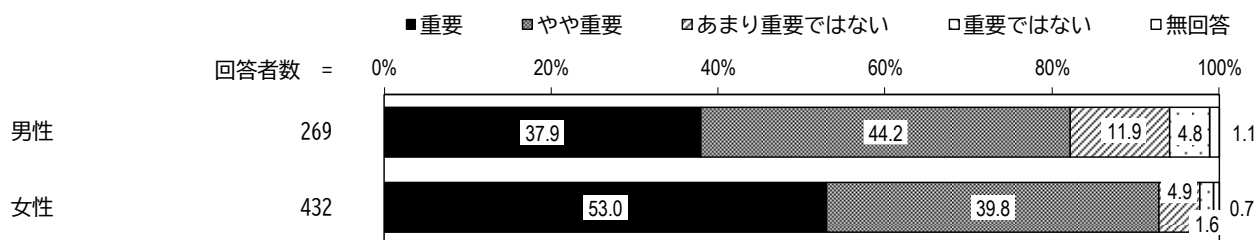


問 17 市政経営計画の重点方針「高齢者の安気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)高齢者の暮らしを支援 ①重要度

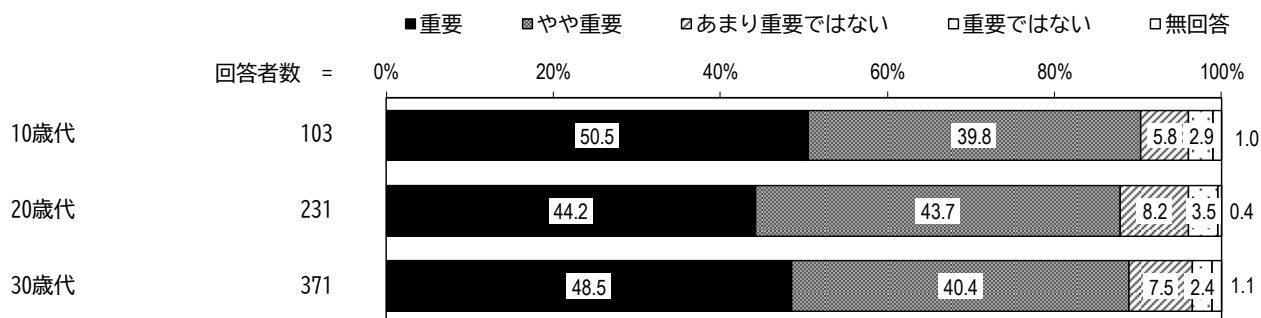
【性別】

性別にみると、“重要”の割合は女性で高くなっています。



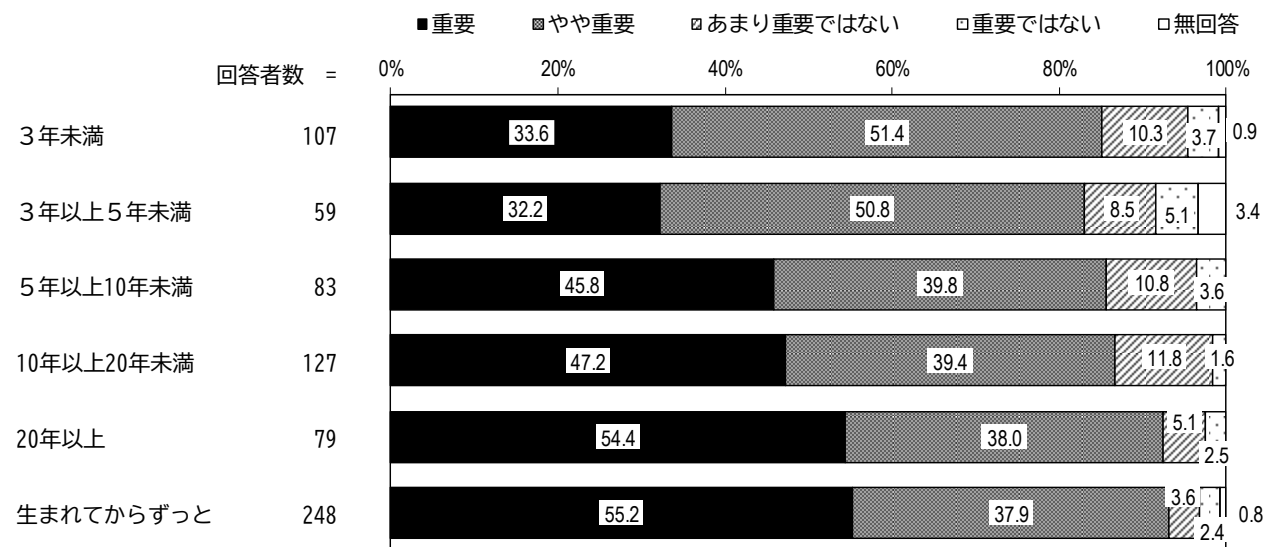
【年代別】

年代別に大きな差はみられません。



【居住年数別】

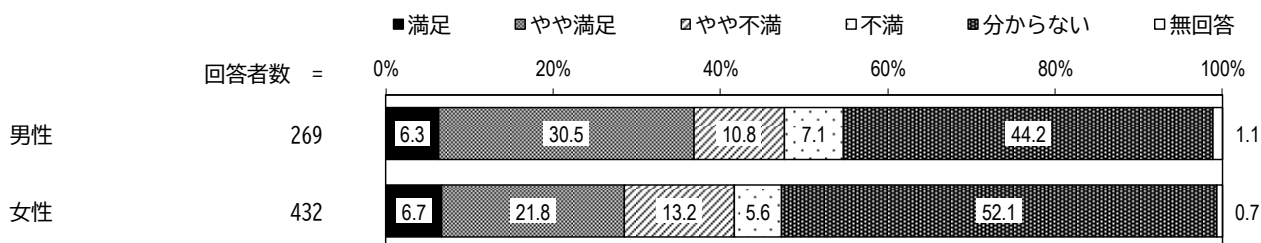
居住年数別にみると、“重要”の割合が居住年数が長くなるにつれて高くなる傾向がみられます。



(1)高齢者の暮らしを支援 ②満足度

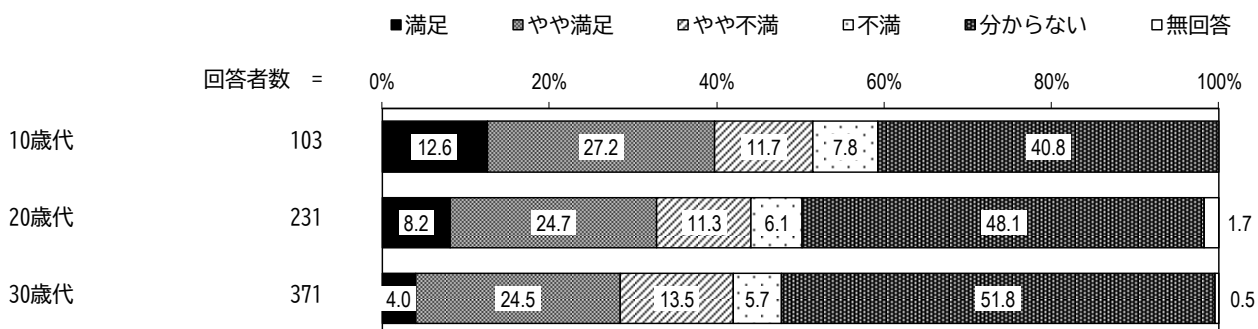
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



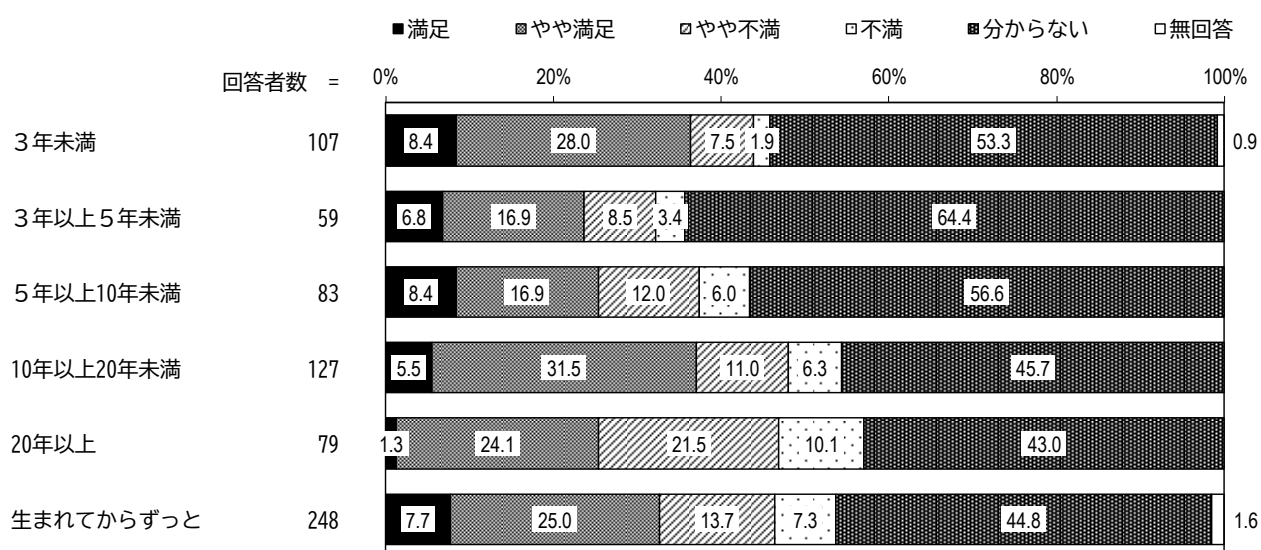
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が「20年以上」で高くなっています。

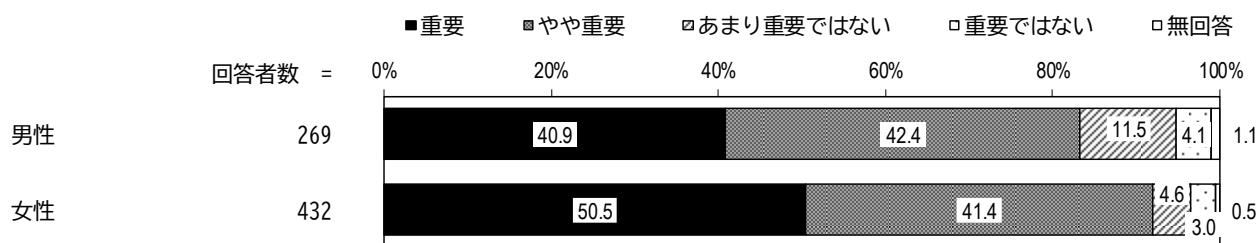


問17 「高齢者の安気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)健康寿命を延ばすための健康づくり ①重要度

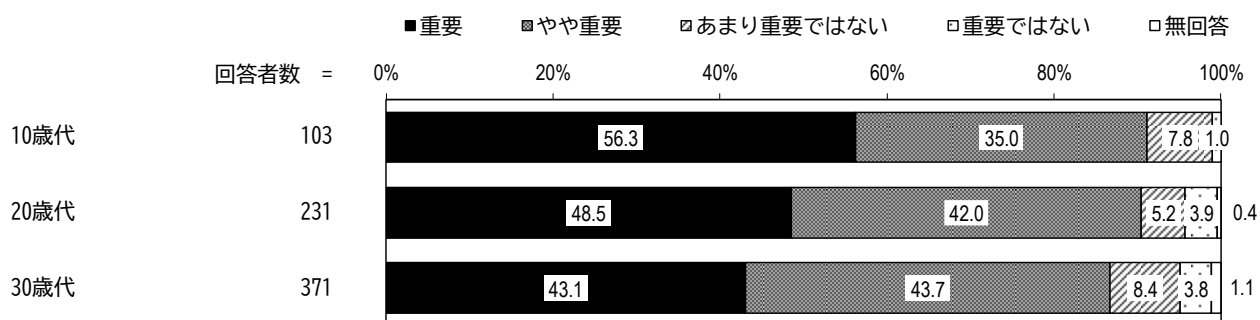
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



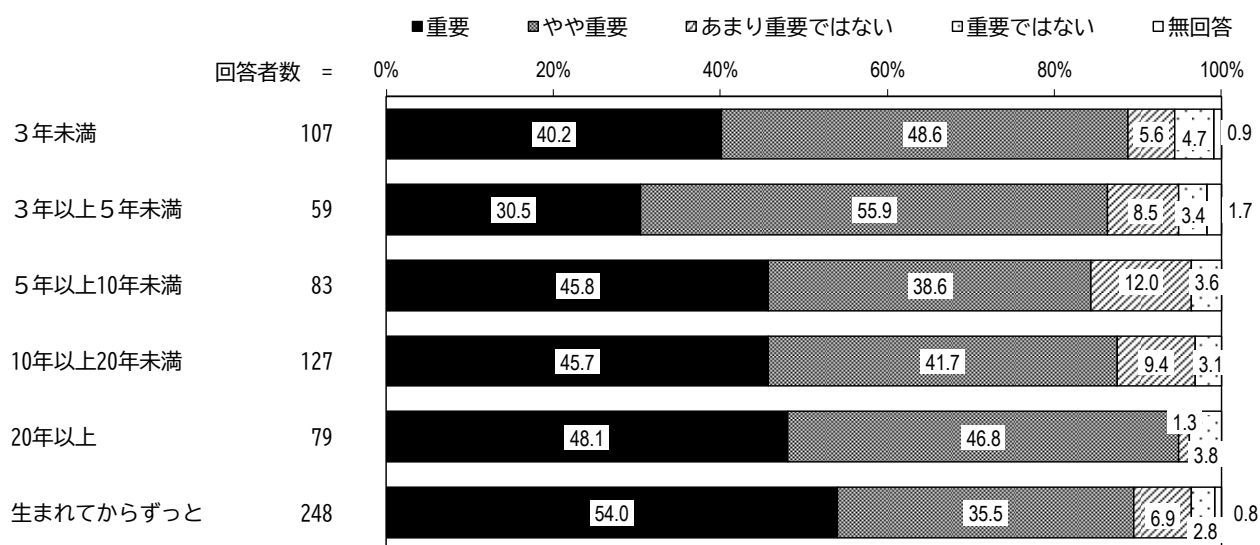
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

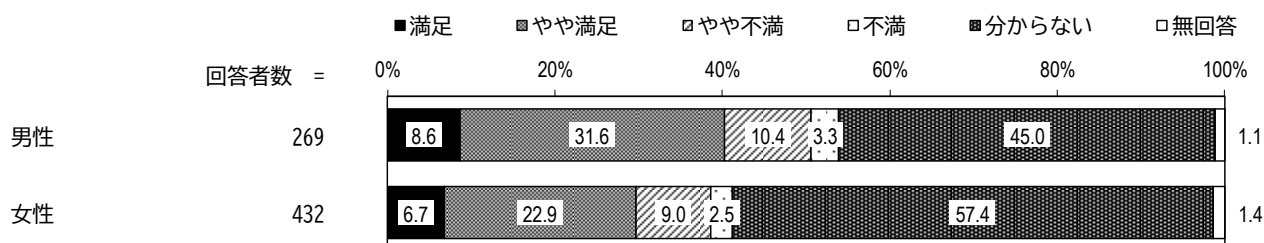
居住年数別にみると、“重要”の割合が「20年以上」で高くなっています。



(2)健康寿命を延ばすための健康づくり ②満足度

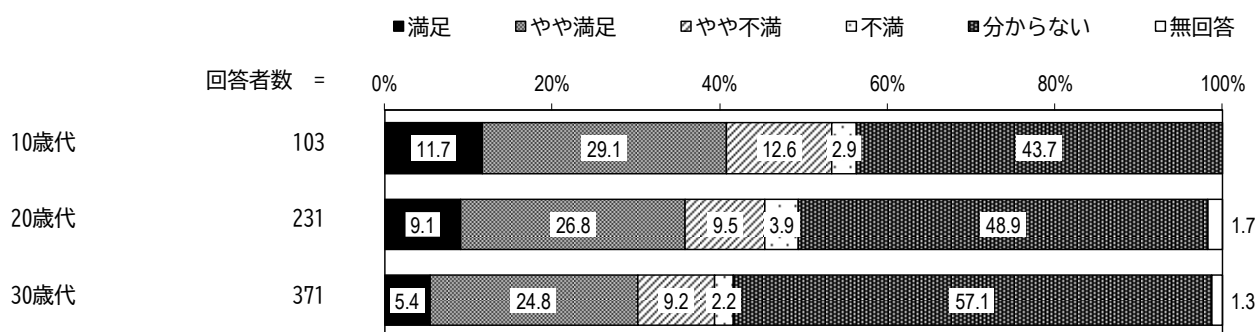
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



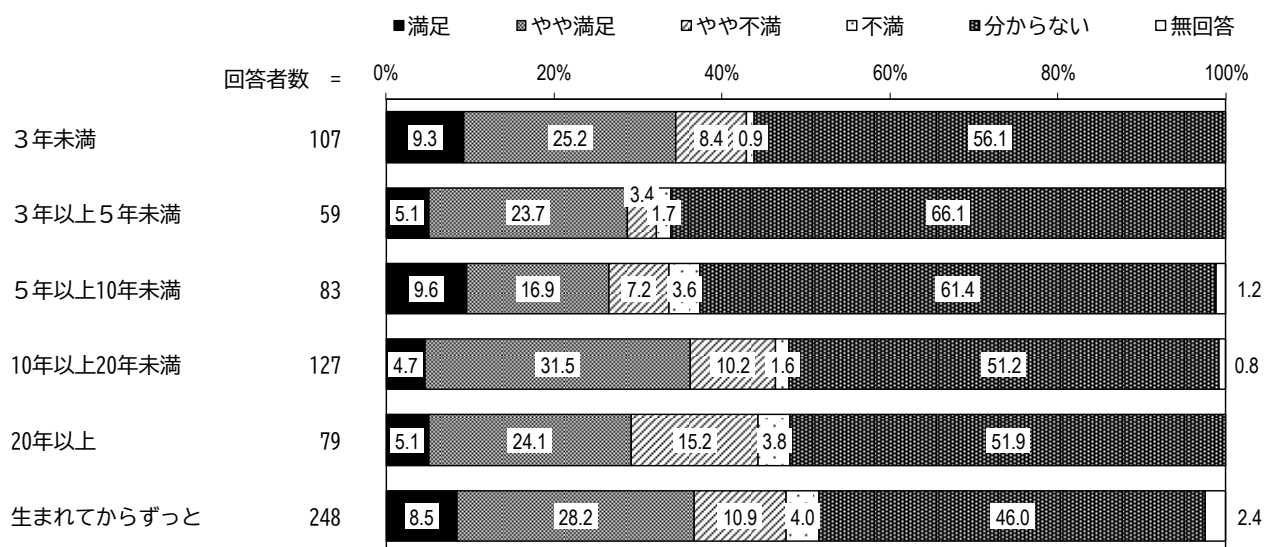
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が「20年以上」で高くなっています。

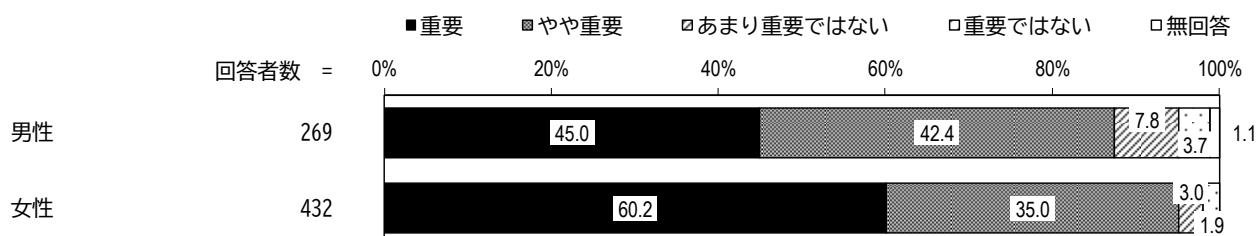


問17 「高齢者の安気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)介護保険サービスの安定的な提供 ①重要度

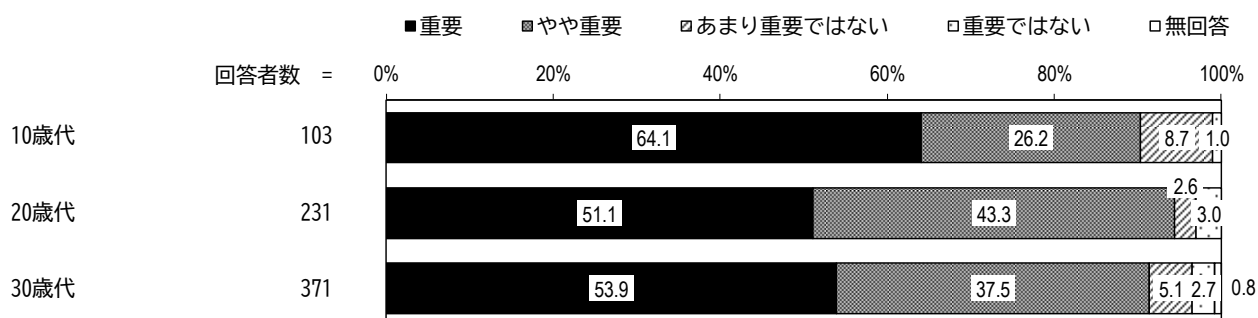
【性別】

性別にみると、“重要”の割合は女性で高くなっています。



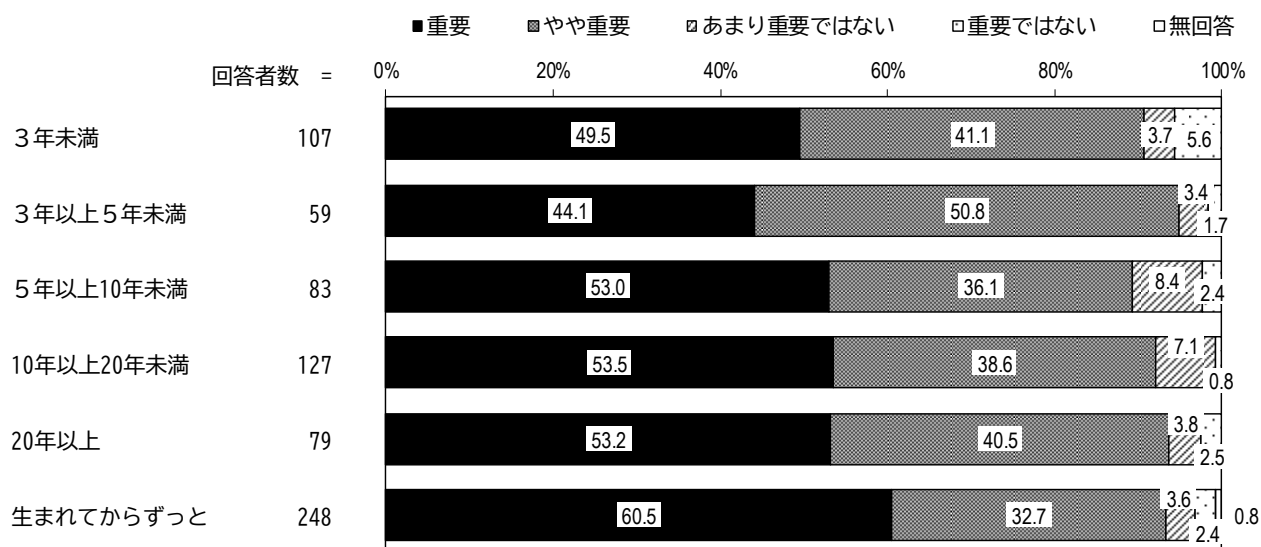
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合は10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

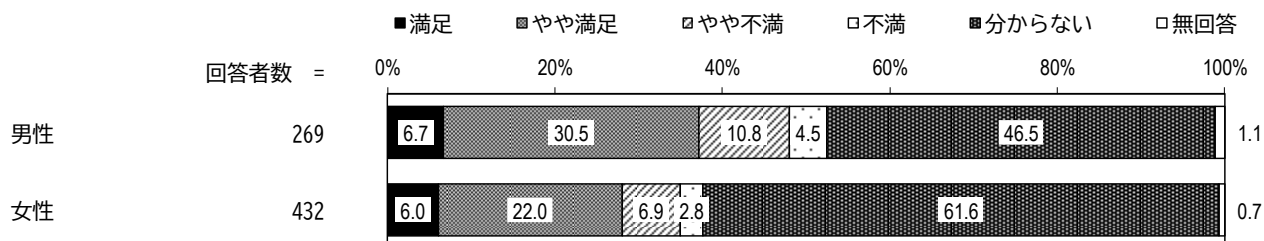
居住年数別による大きな差はみられません。



(3)介護保険サービスの安定的な提供 ②満足度

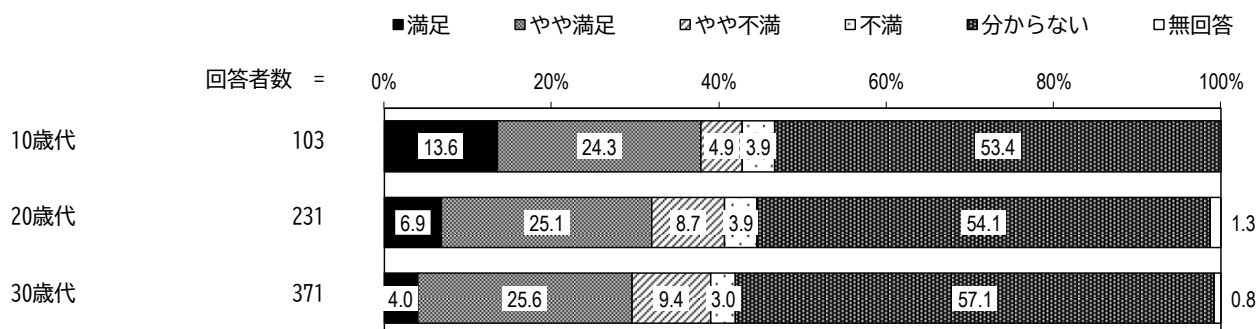
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



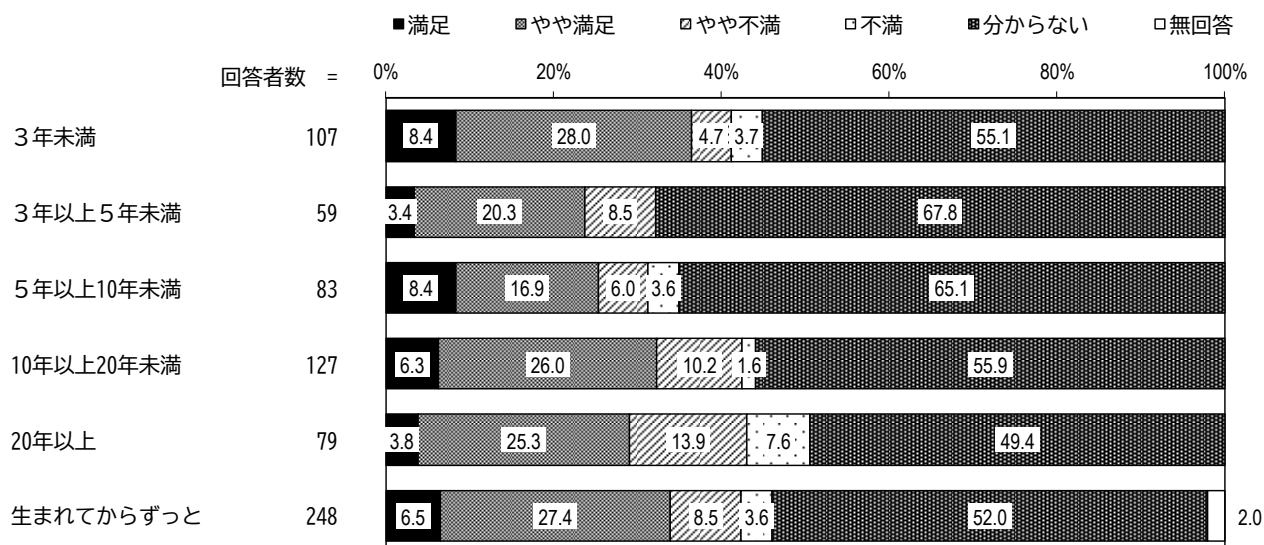
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合は「20年以上」で高くなっています。

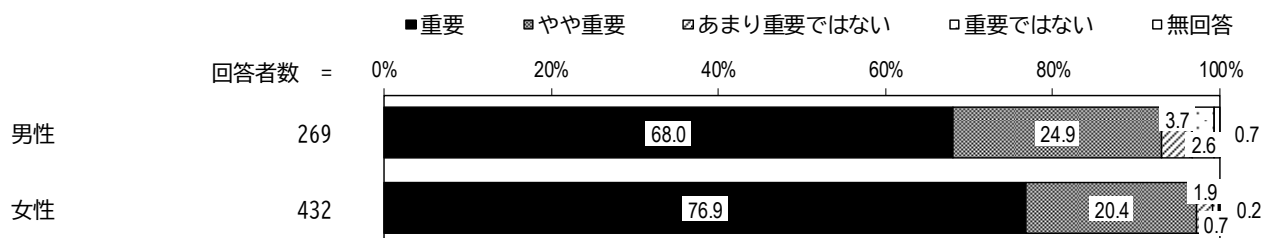


問 18 市政経営計画の重点方針「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり ①重要度

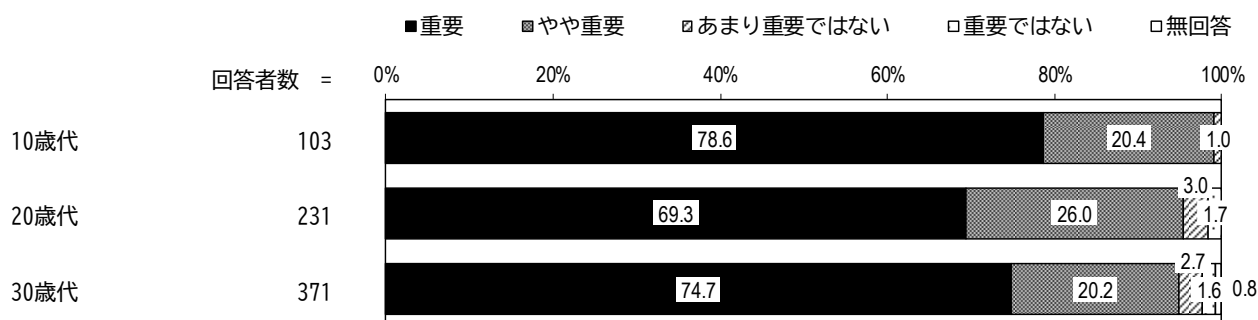
【性別】

性別にみると、“重要”の割合は女性で高くなっています。



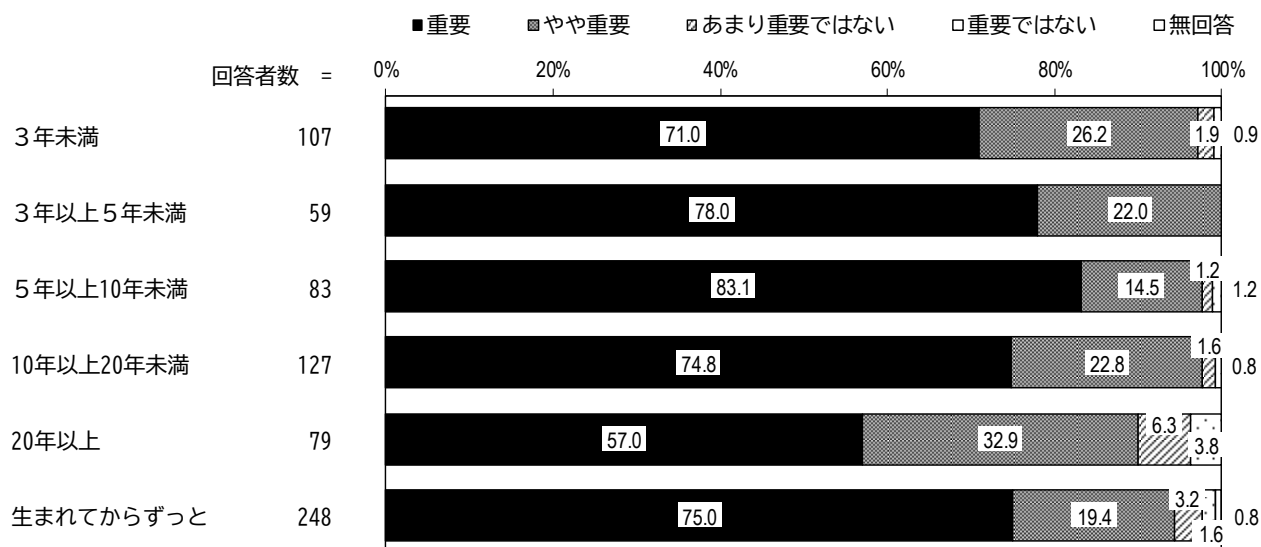
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

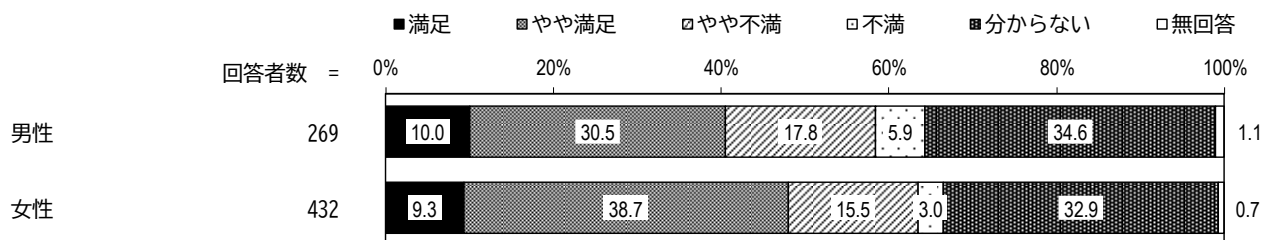
居住年数別にみると、“重要”の割合が「20年以上」で低くなっています。



(1)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり ②満足度

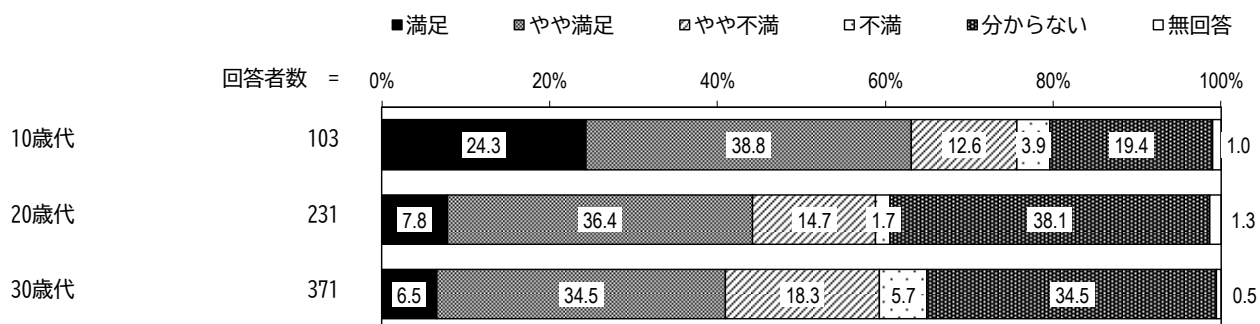
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が女性で高くなっています。



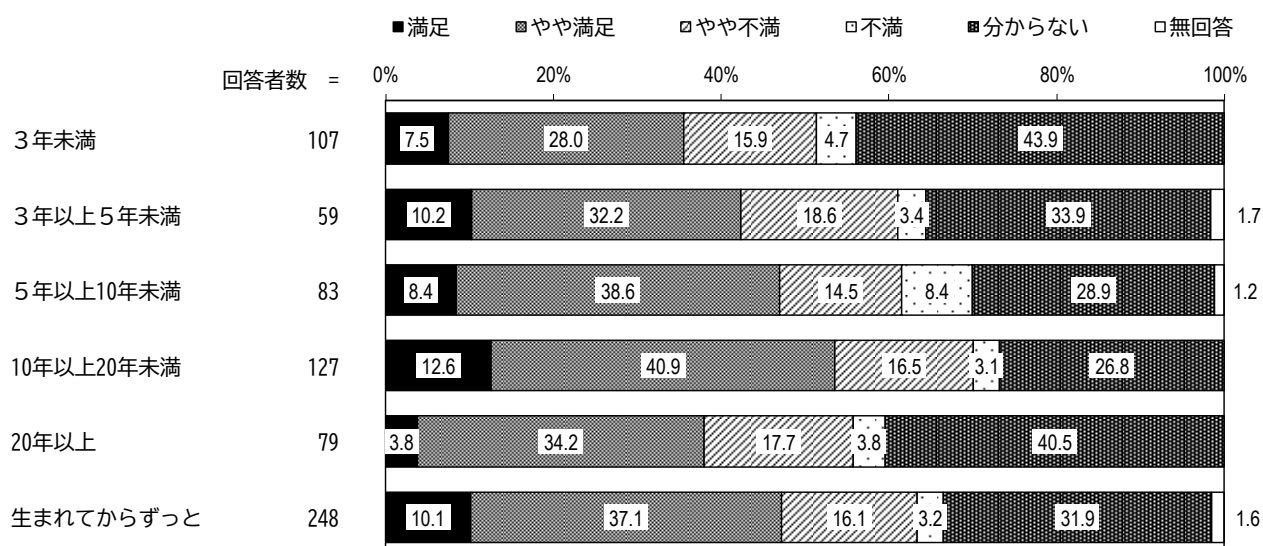
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「10年以上20年未満」で高くなっています。

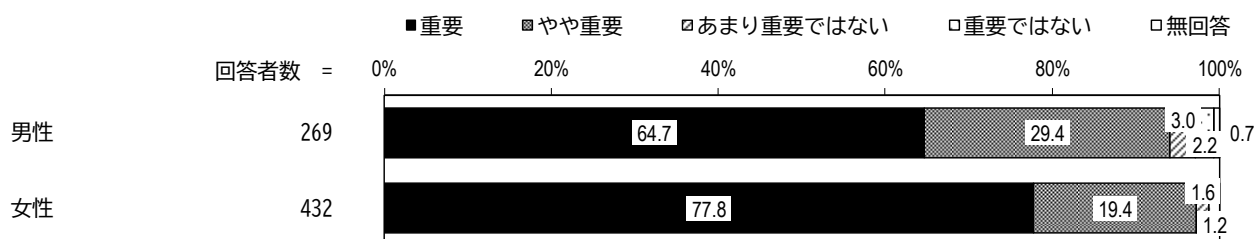


問18 「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消 ①重要度

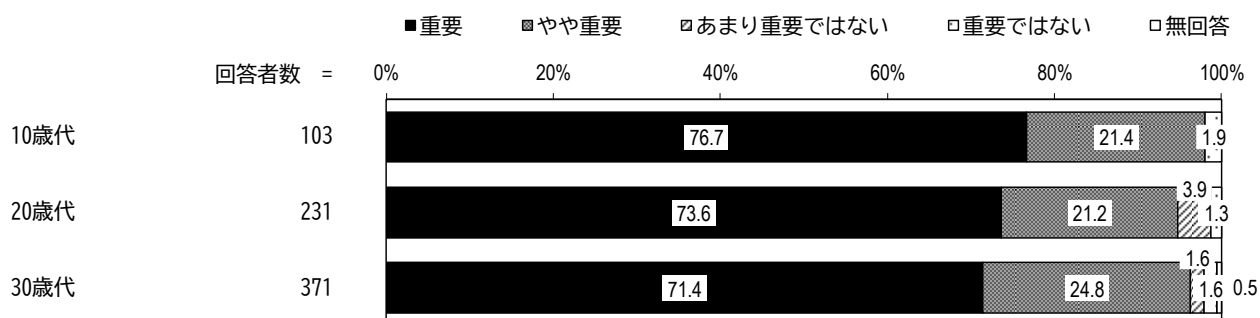
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



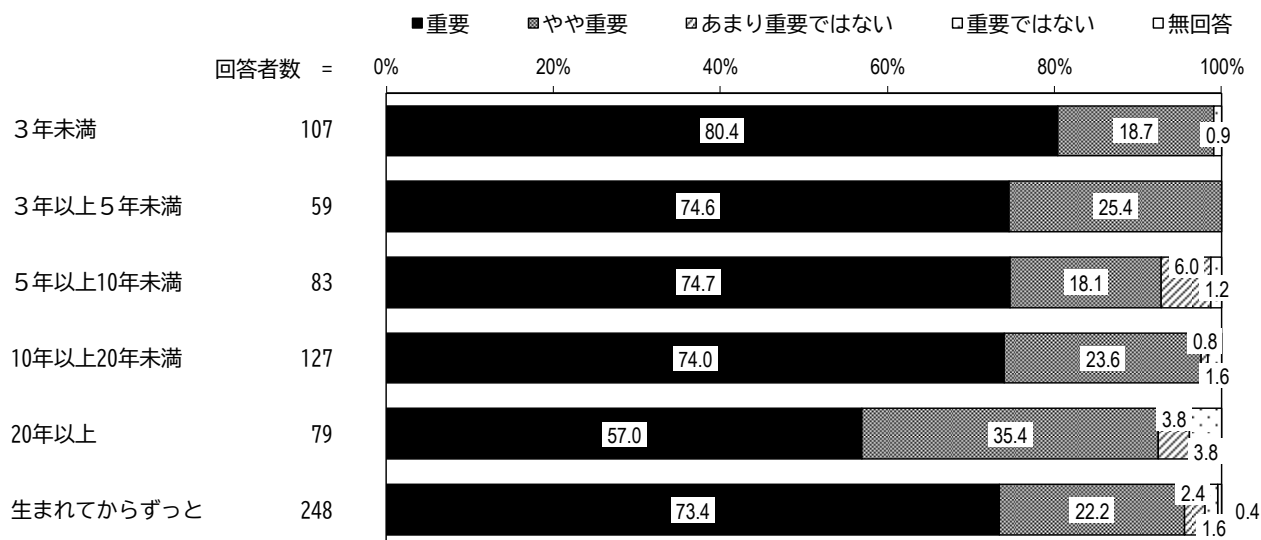
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

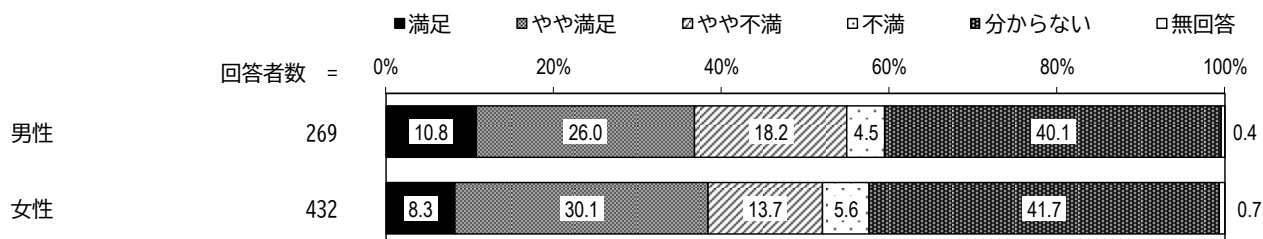
居住年数別にみると、“重要”の割合が「3年未満」、「3年以上5年未満」で高くなっています。



(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消 ②満足度

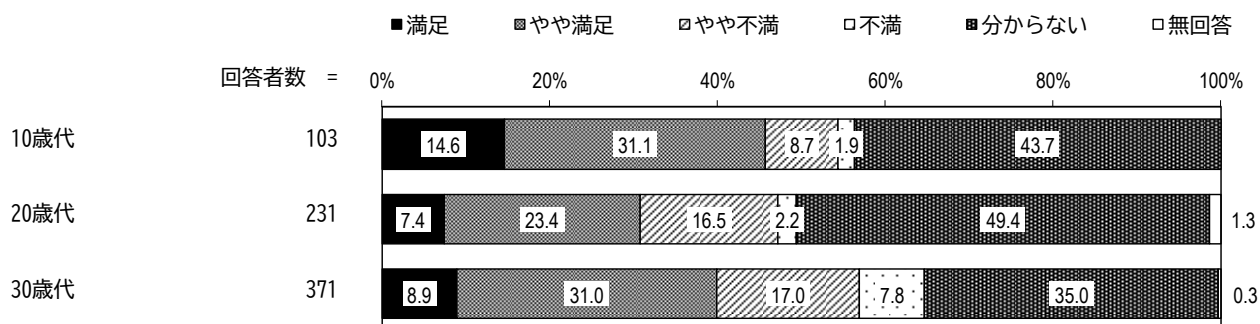
【性別】

性別にみると、“不満”の割合が男性で高くなっています。



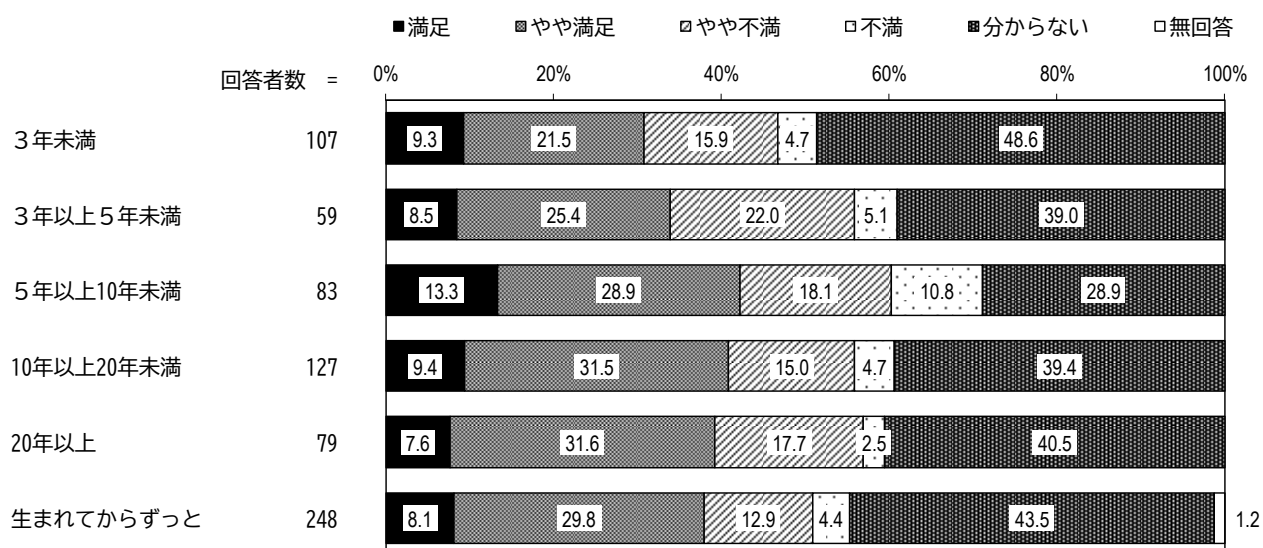
【年代別】

年代別にみると、“不満”の割合が30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合は「3年以上5年未満」、「5年以上10年未満」で高くなっています。

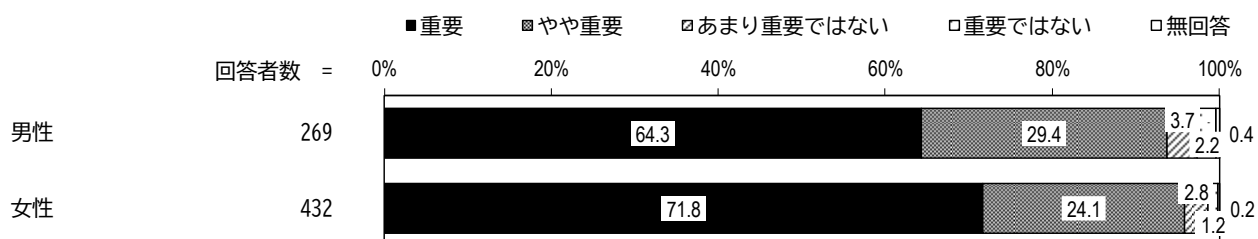


問18 「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援 ①重要度

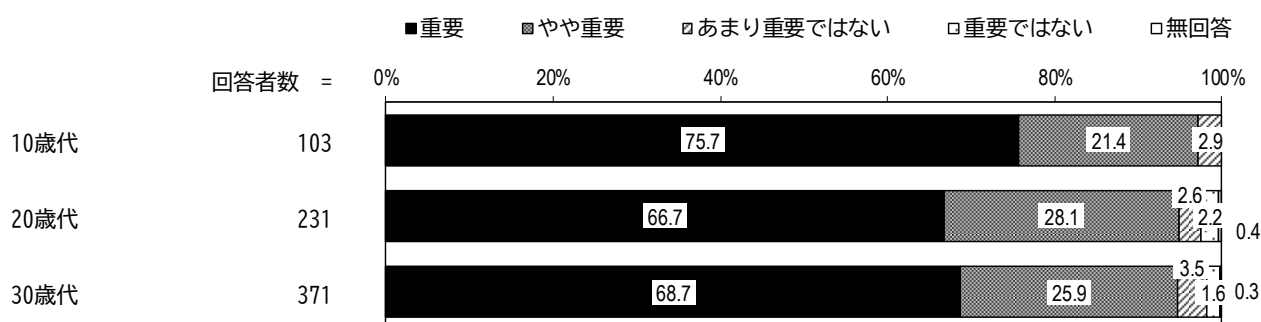
【性別】

性別にみると、「重要」の割合は女性で高くなっています。



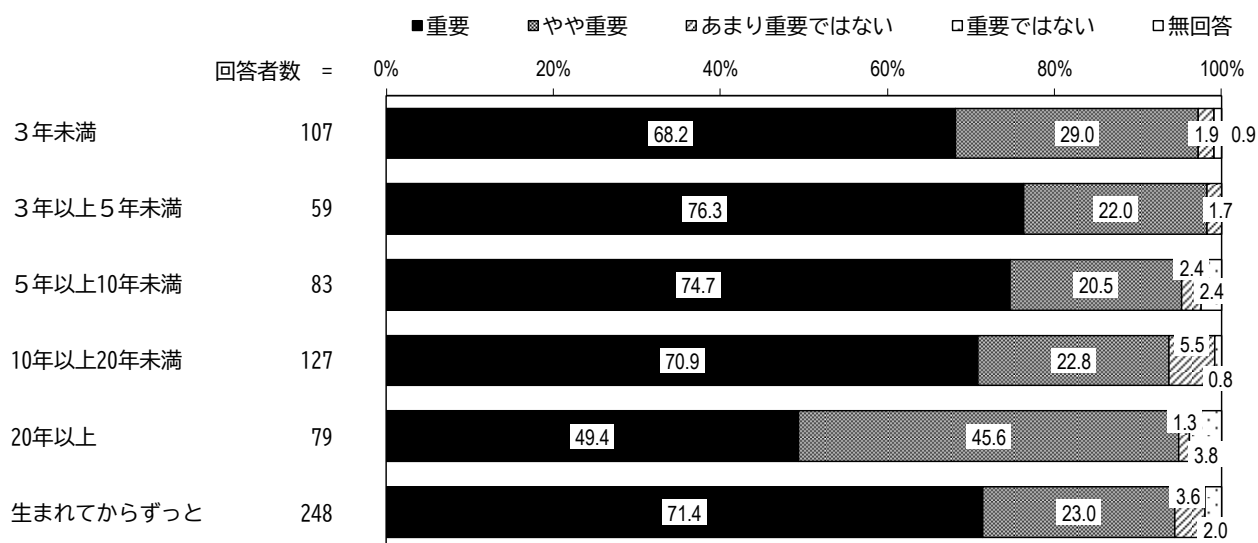
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合は10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

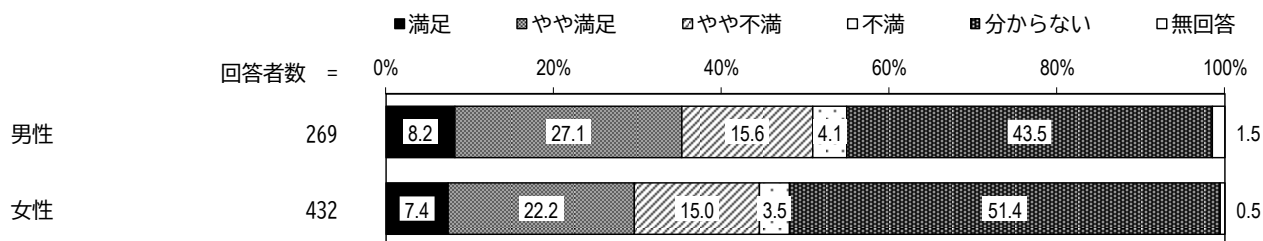
居住年数別にみると、「重要」が「20年以上」で低くなっています。



(3)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援 ②満足度

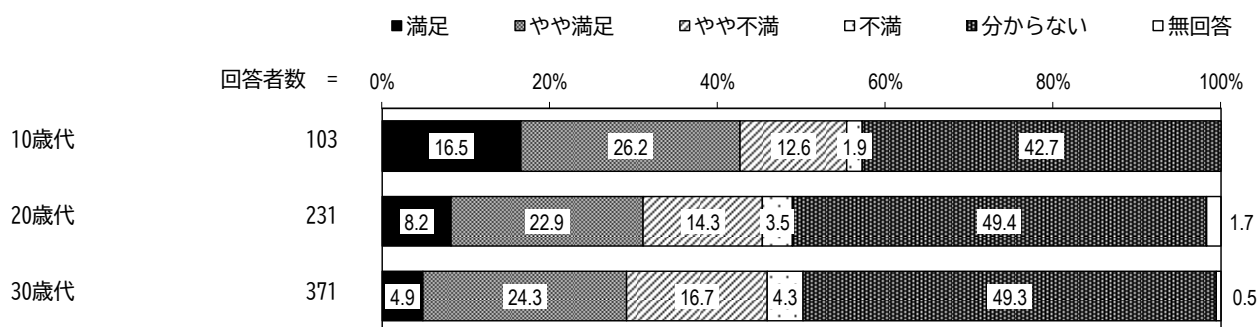
【性別】

性別にみると、“満足”の割合は男性で高くなっています。



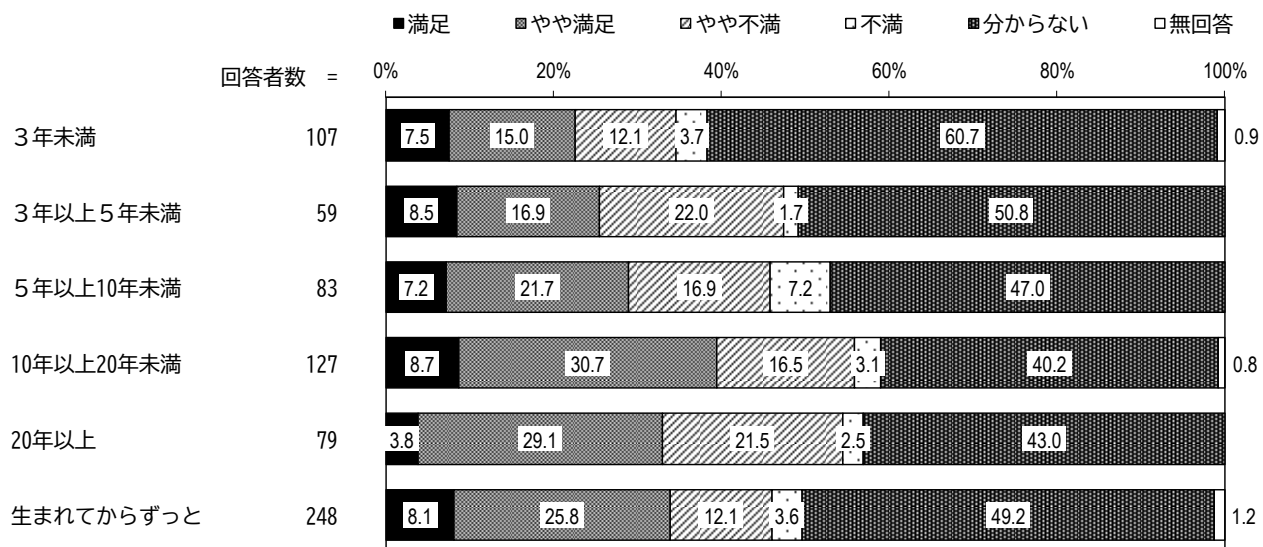
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高く、“不満”の割合が30歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「10年以上20年未満」で高くなっています。

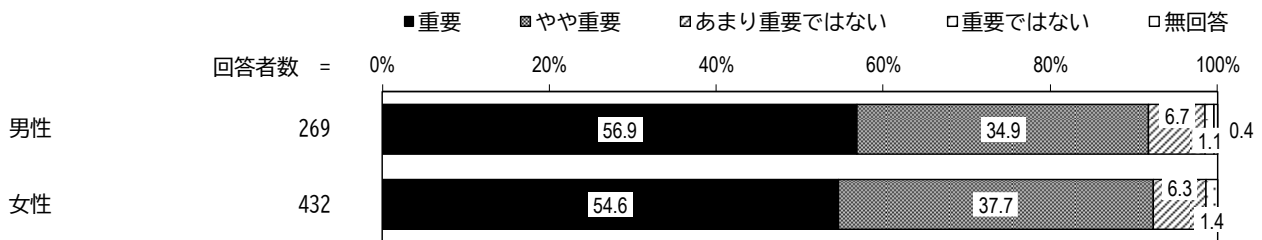


問 19 市政経営計画の重点方針「地域・経済の元気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(〇は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)新たな企業立地と若者の地育地働の促進 ①重要度

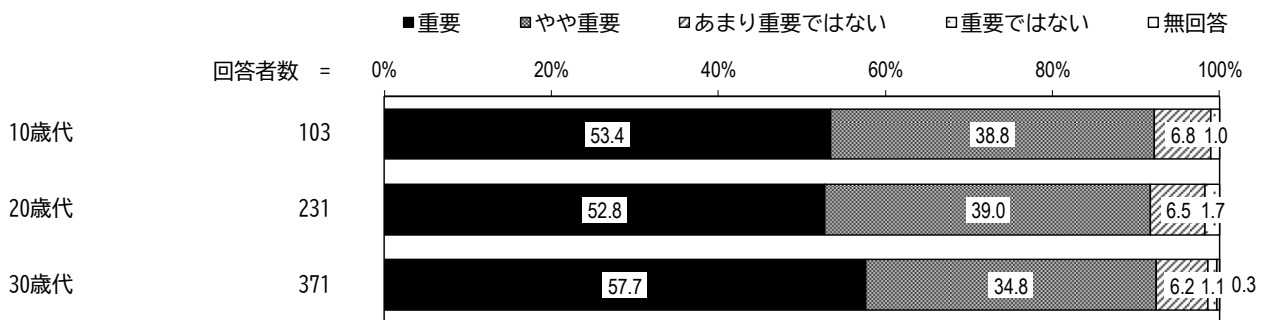
【性別】

性別による大きな差はみられません。



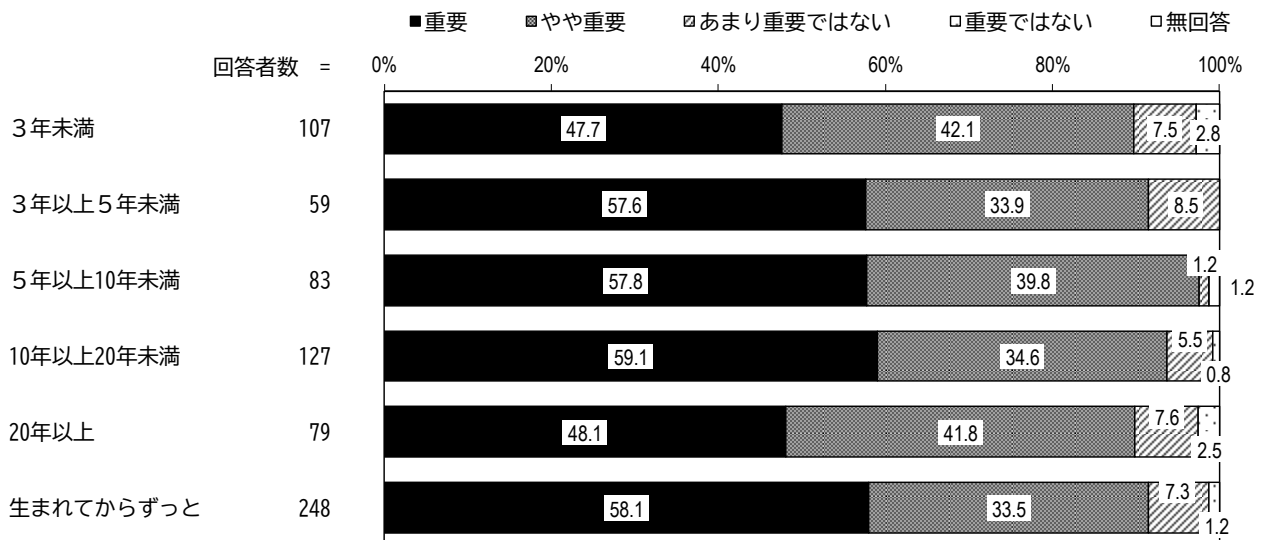
【年代別】

年代別による大きな差はみられません。



【居住年数別】

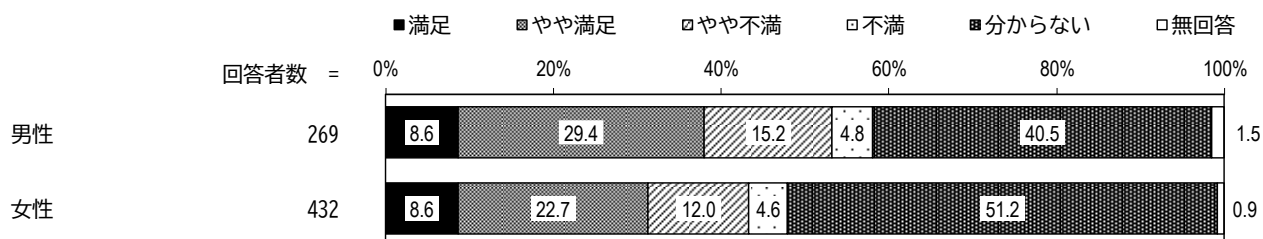
居住年数別にみると、“重要”の割合が「5年以上10年未満」で高くなっています。



(1)新たな企業立地と若者の地育地働の促進 ②満足度

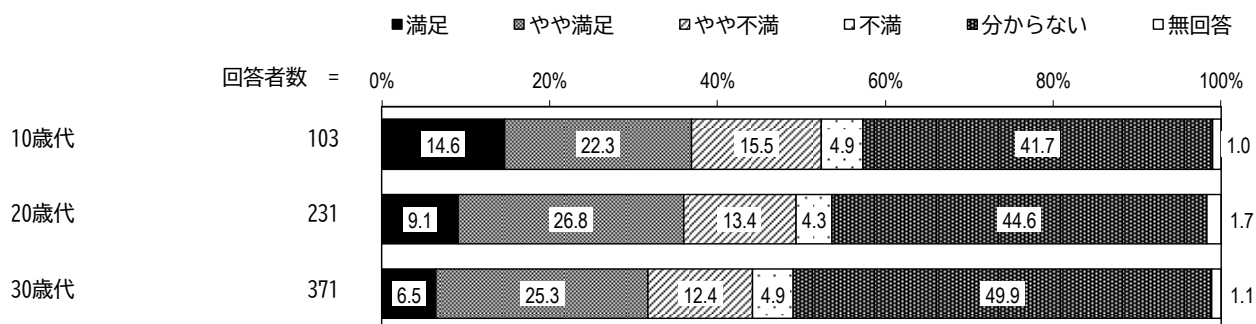
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



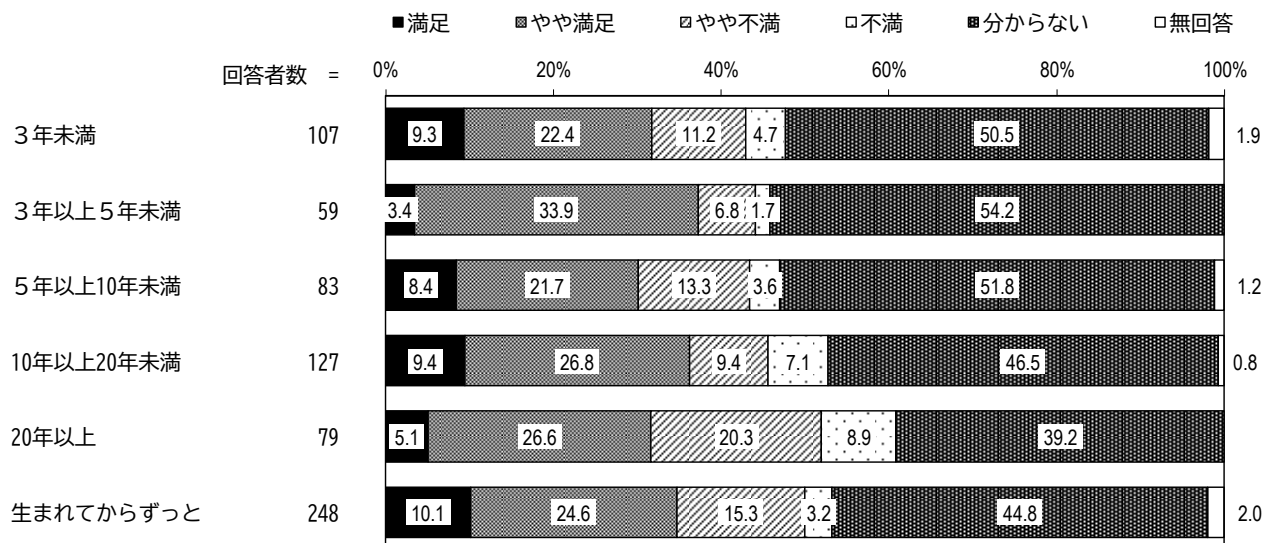
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代、20歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が「20年以上」で高くなっています。

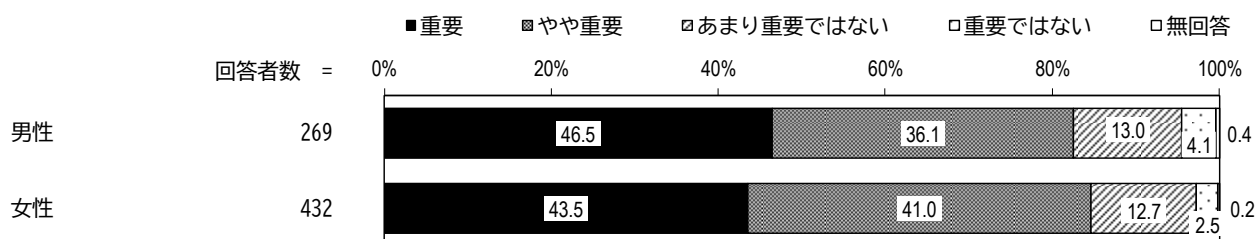


問19 「地域・経済の元気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)地域の課題解決力の向上 ①重要度

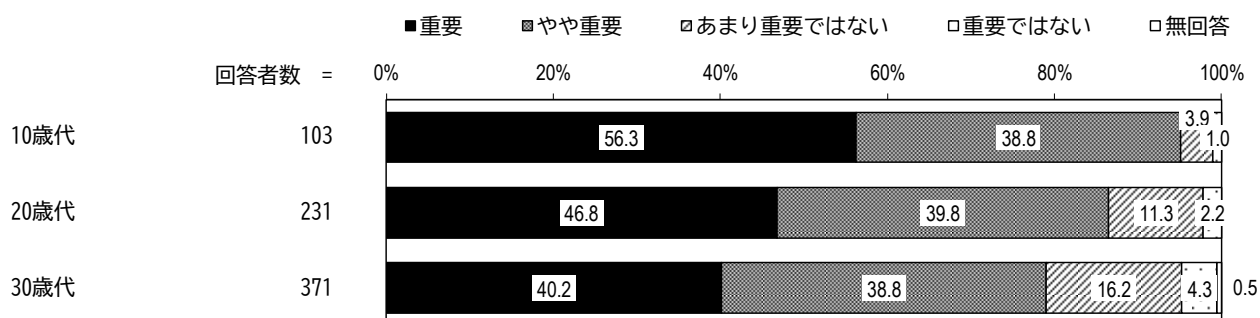
【性別】

性別による大きな差はみられません。



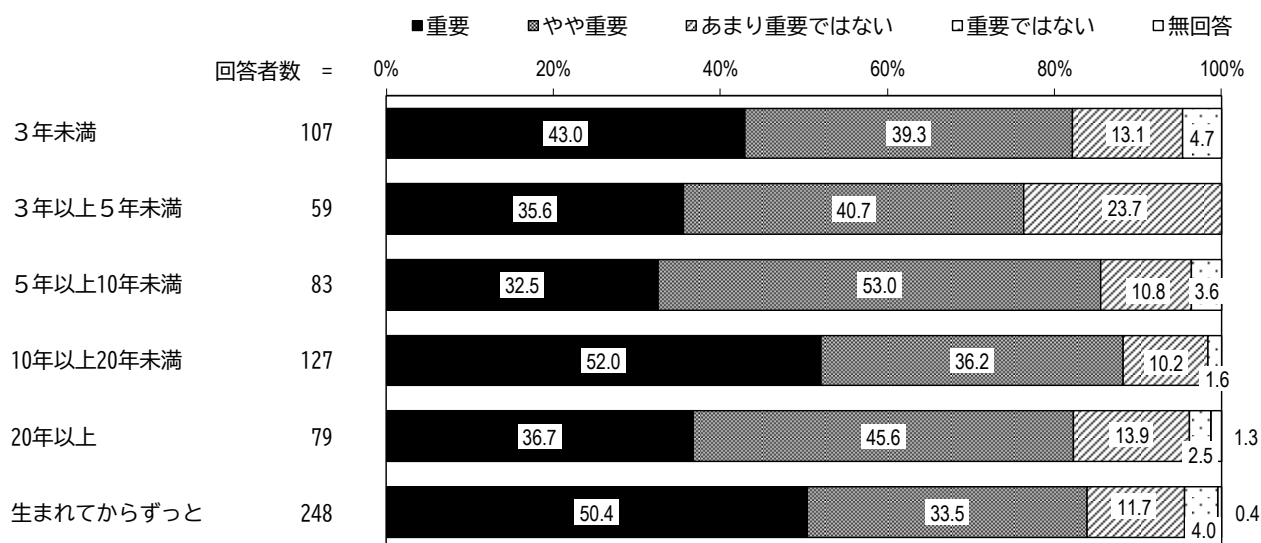
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

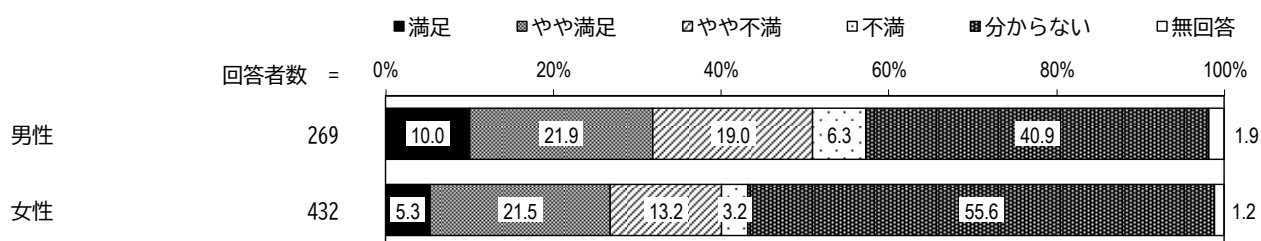
居住年数別にみると、“重要”の割合が「10年以上20年未満」で高くなっています。



(2)地域の課題解決力の向上 ②満足度

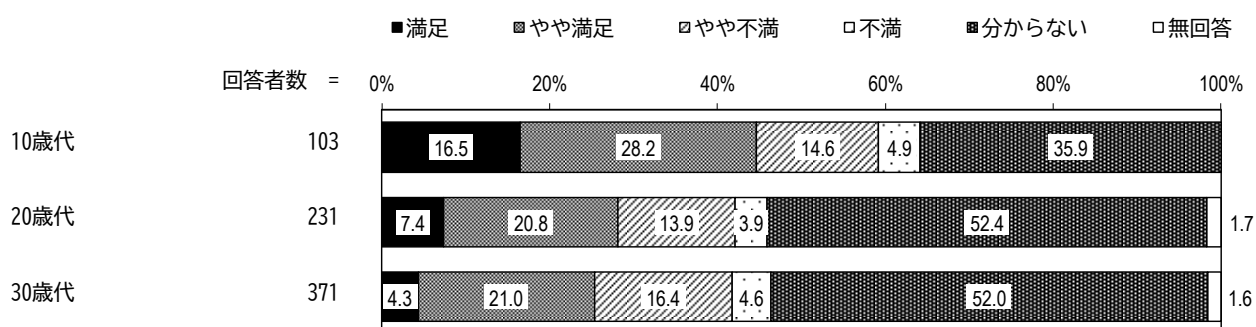
【性別】

性別にみると、“不満”の割合が男性で高くなっています。



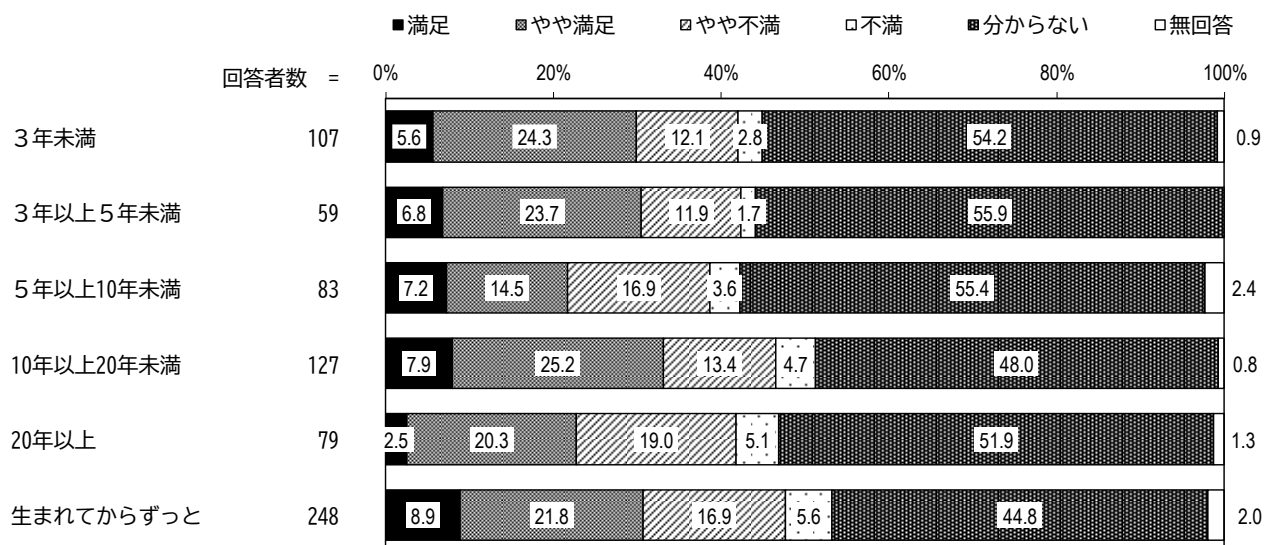
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「10年以上20年未満」で高く、“不満”の割合が「20年以上」、「生まれてからずっと」で高くなっています。

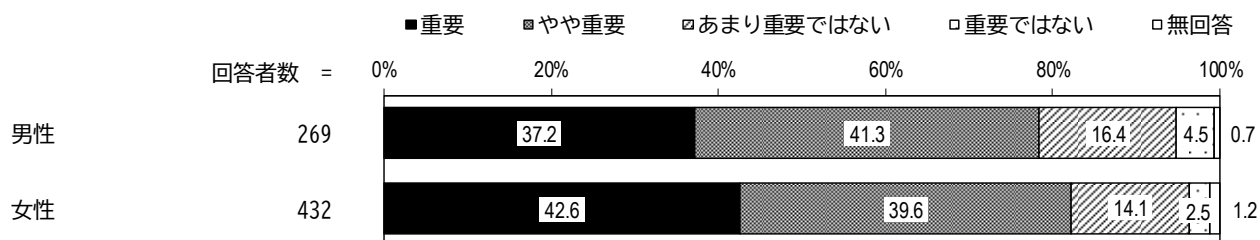


問19 「地域・経済の元気づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり ①重要度

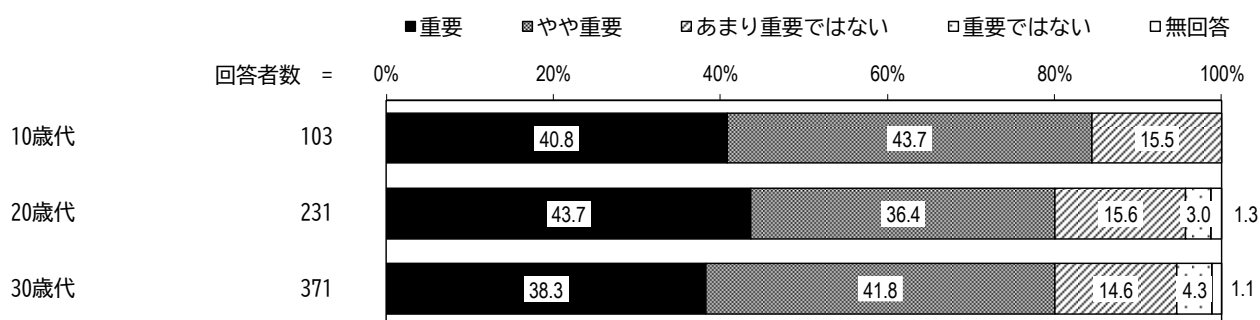
【性別】

性別にみると、“重要”の割合が女性で高くなっています。



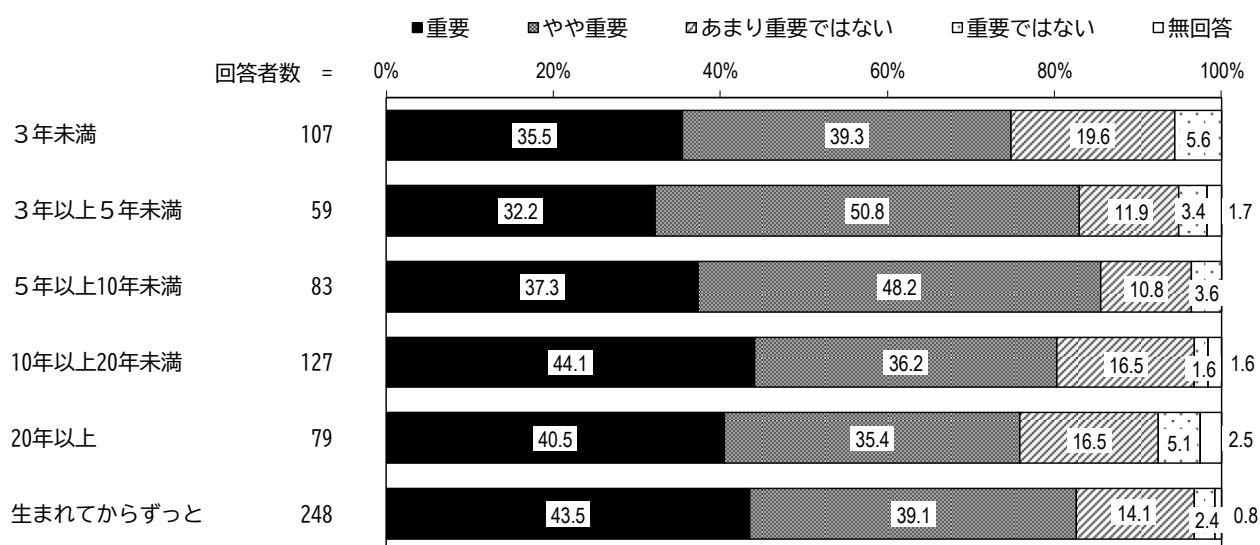
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

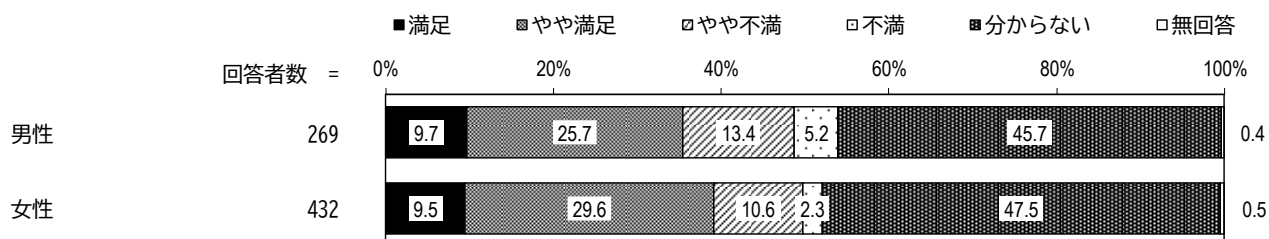
居住年数別にみると、“重要”の割合が「5年以上10年未満」で高くなっています。



(3)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり ②満足度

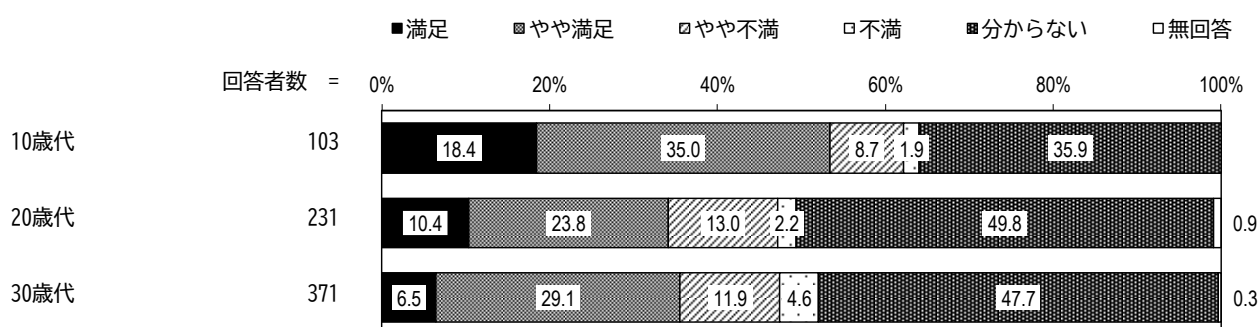
【性別】

性別にみると、“不満”の割合が男性で高くなっています。



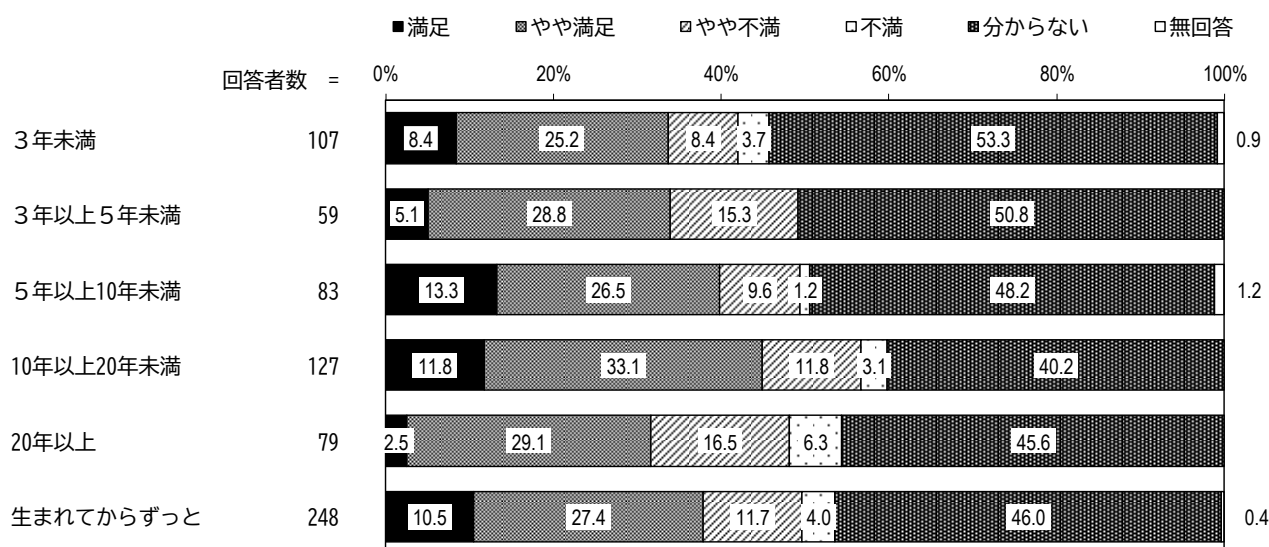
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合は10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合は「10年以上20年未満」で高く、“不満”の割合は「20年以上」で高くなっています。

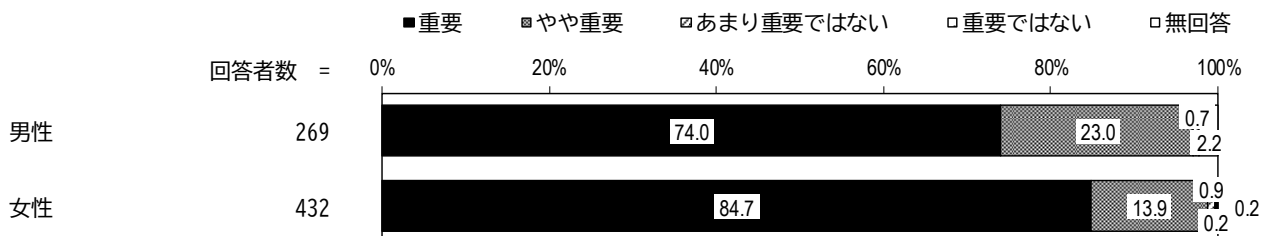


問 20 市政経営計画の重点方針「まちの安全づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。
(○は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

(1)災害に強いまちづくりの推進 ①重要度

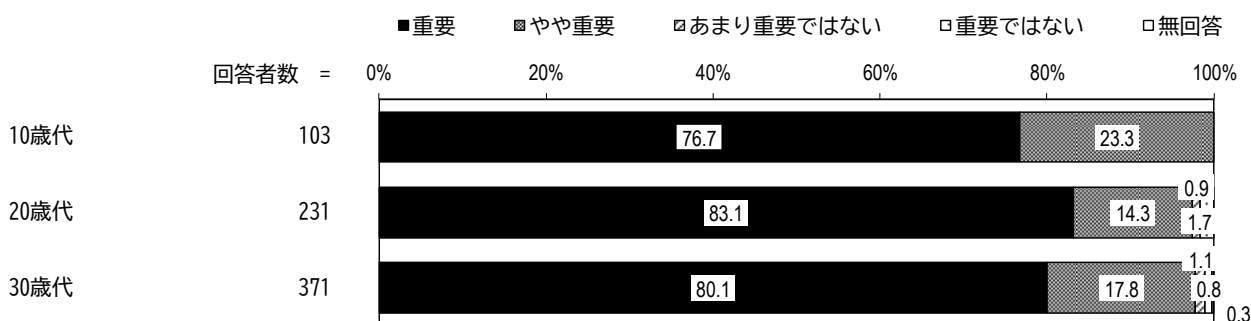
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。



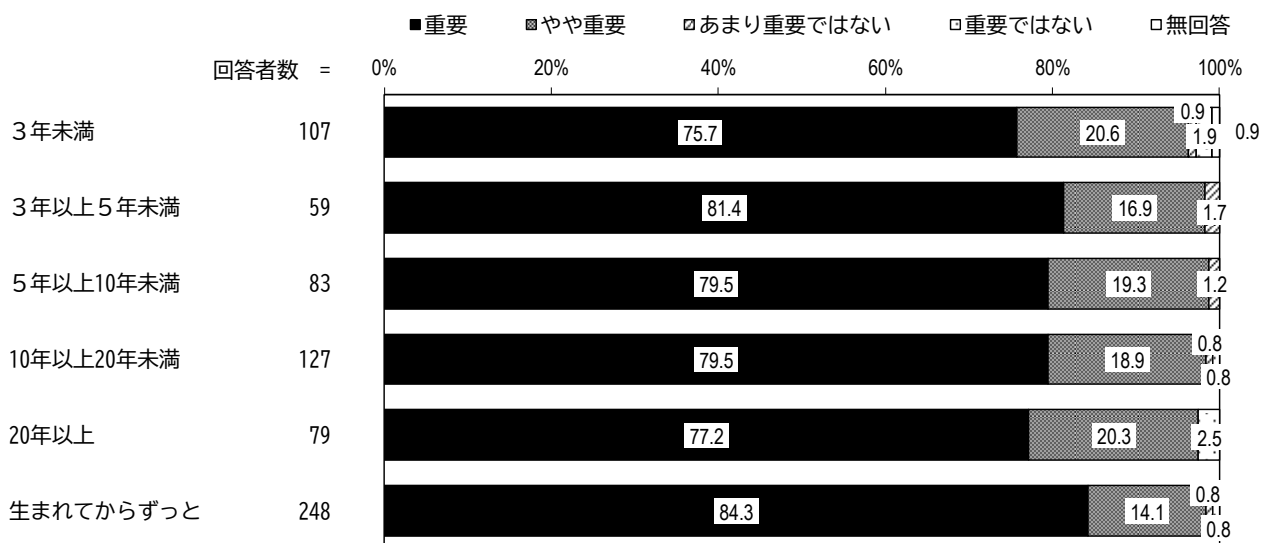
【年代別】

年代別による大きな差はみられません。



【居住年数別】

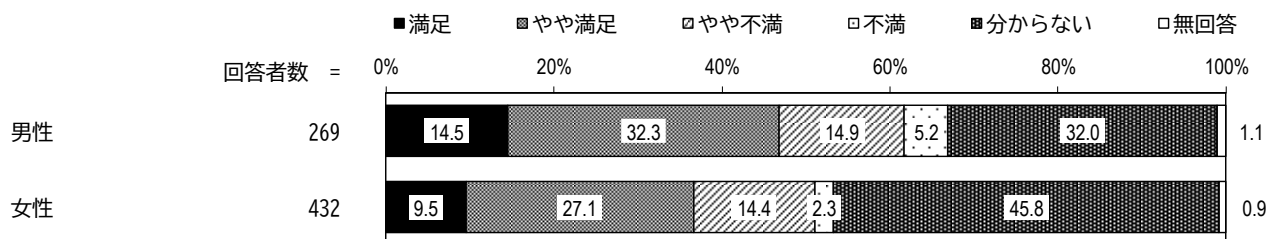
居住年数別による大きな差は見られません。



(1)災害に強いまちづくりの推進 ②満足度

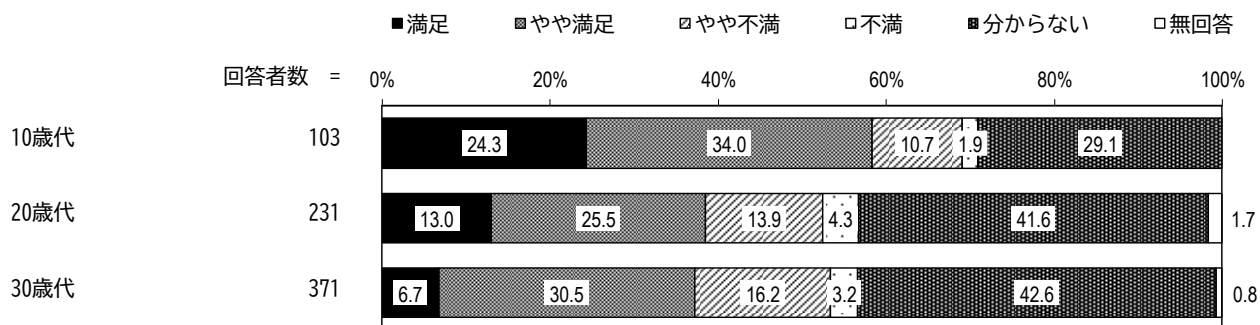
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



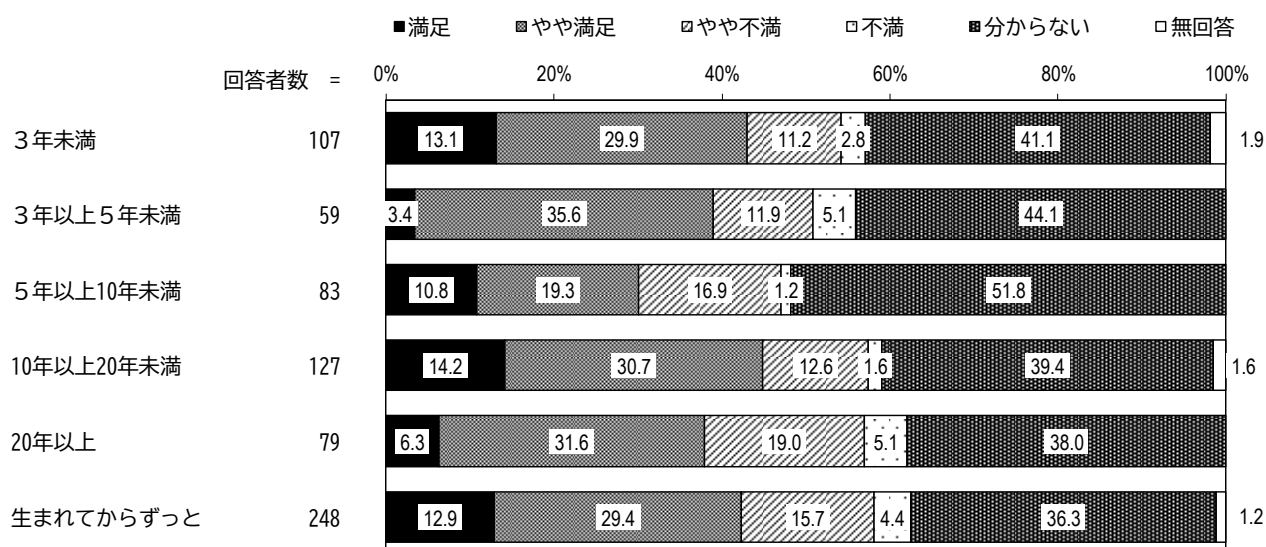
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“不満”の割合が「20年以上」で高くなっています。

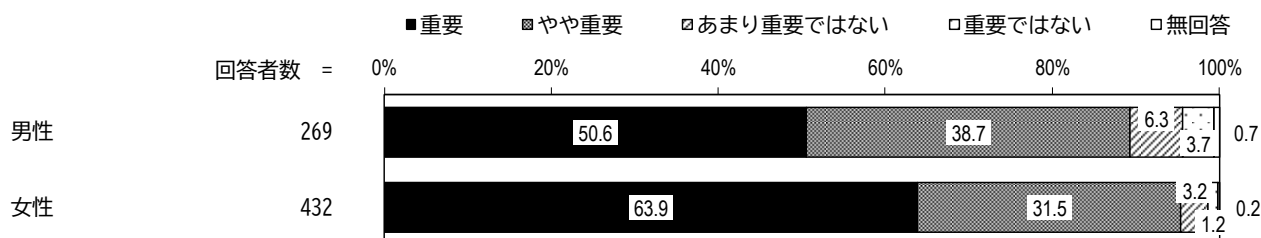


問 20 「まちの安全づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(2)身近な暮らしの安全づくり ①重要度

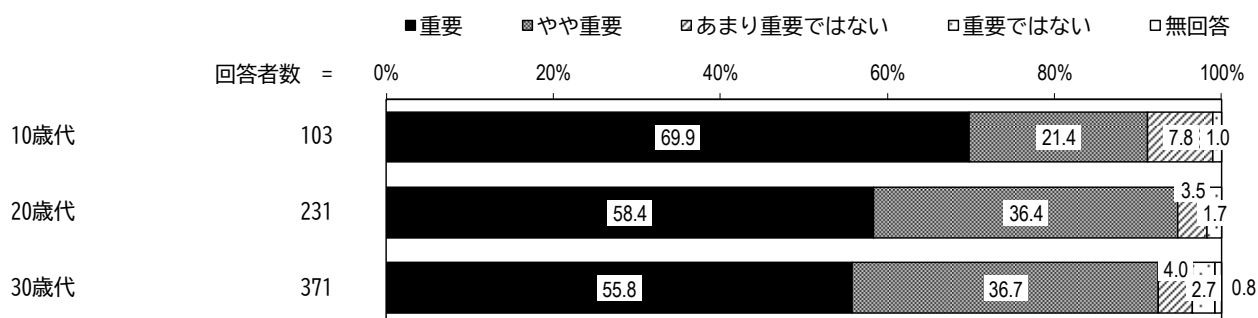
【性別】

性別にみると、「重要」の割合が女性で高くなっています。



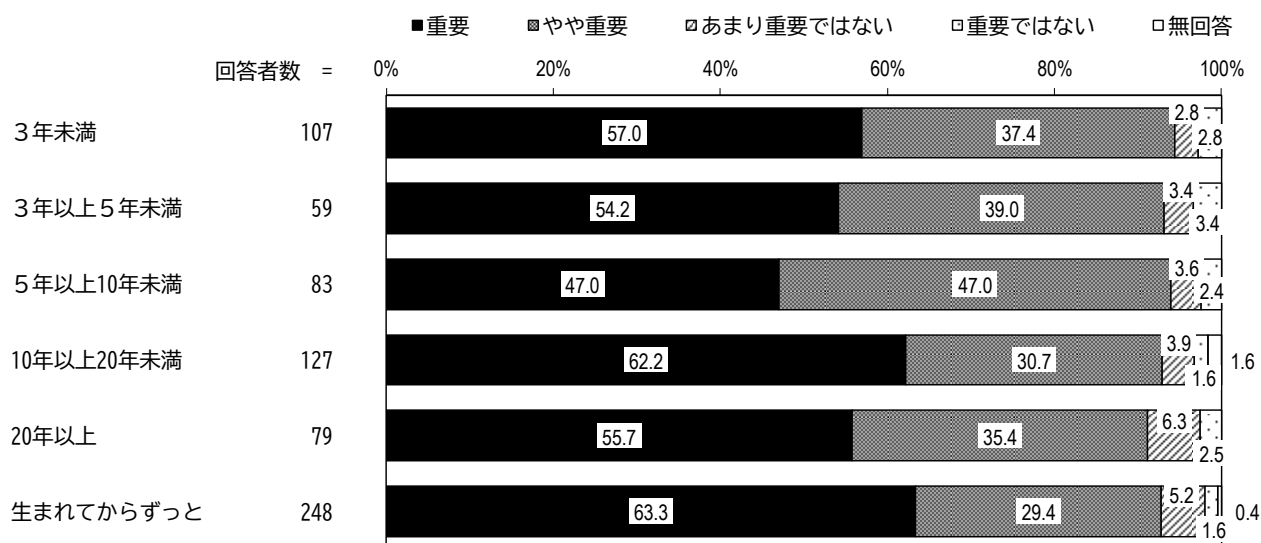
【年代別】

年代別にみると、「重要」の割合が年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

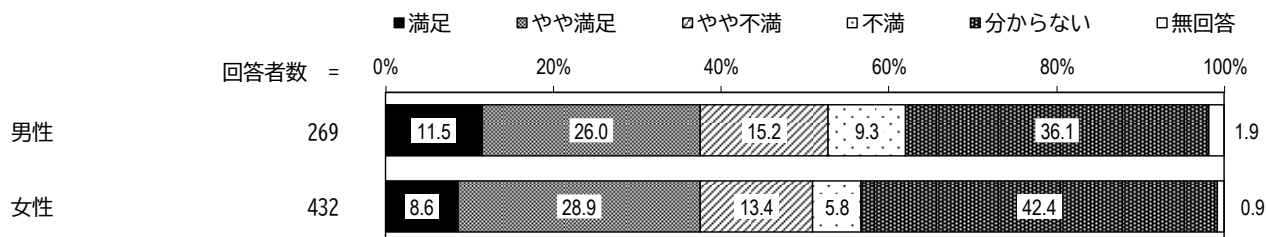
居住年数別にみると、「重要」の割合は「10年以上20年未満」、「生まれてからずっと」で高くなっています。



(2)身近な暮らしの安全づくり ②満足度

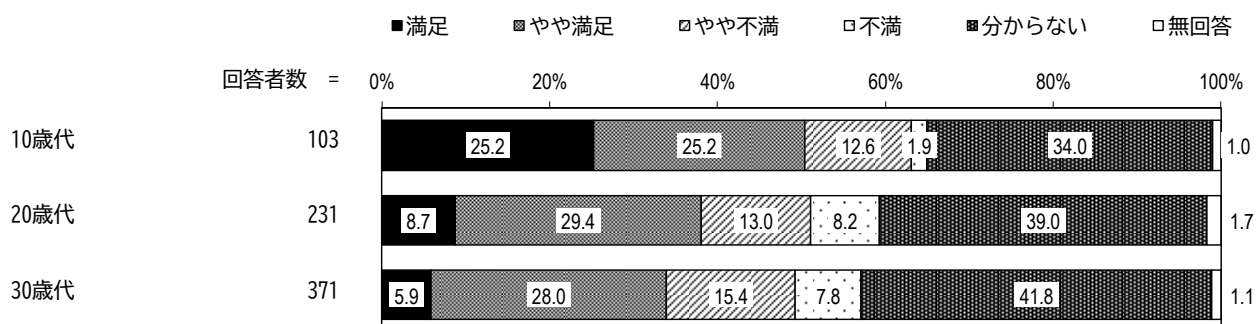
【性別】

性別にみると、“不満”の割合が男性で高くなっています。



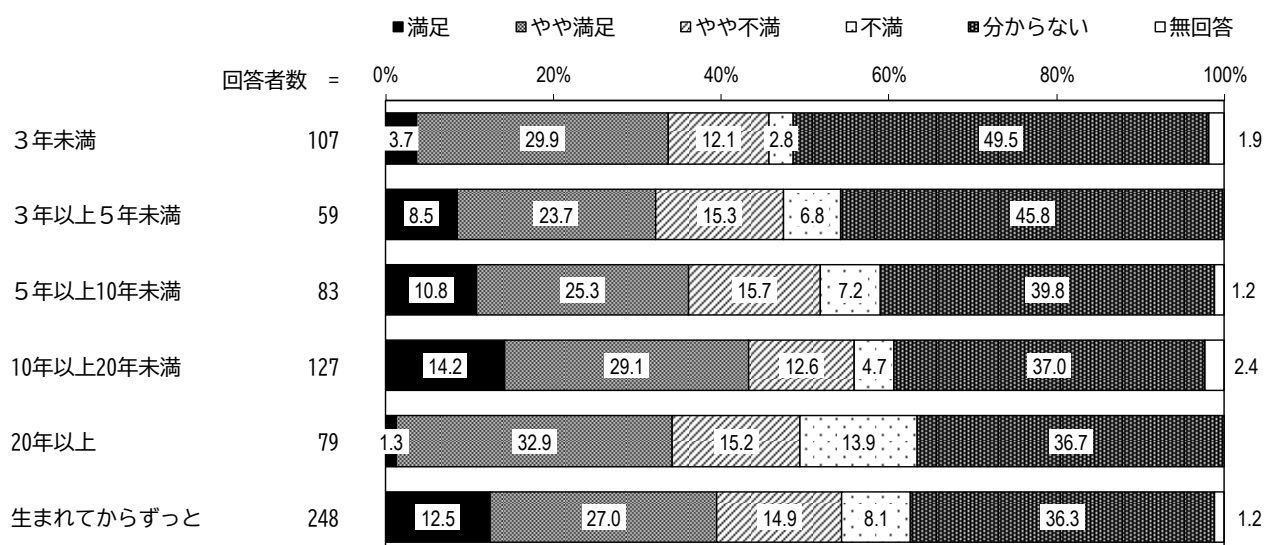
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合は「10年以上20年未満」で高く、“不満”の割合は「20年以上」で高くなっています。

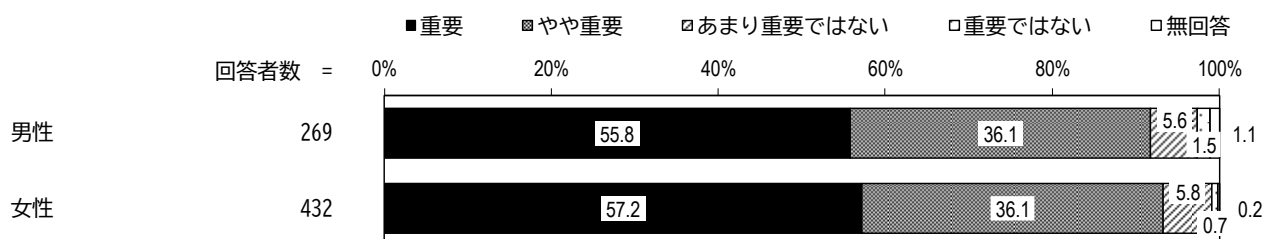


問 20 「まちの安全づくり」の重点施策についての重要度・満足度

(3) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進 ①重要度

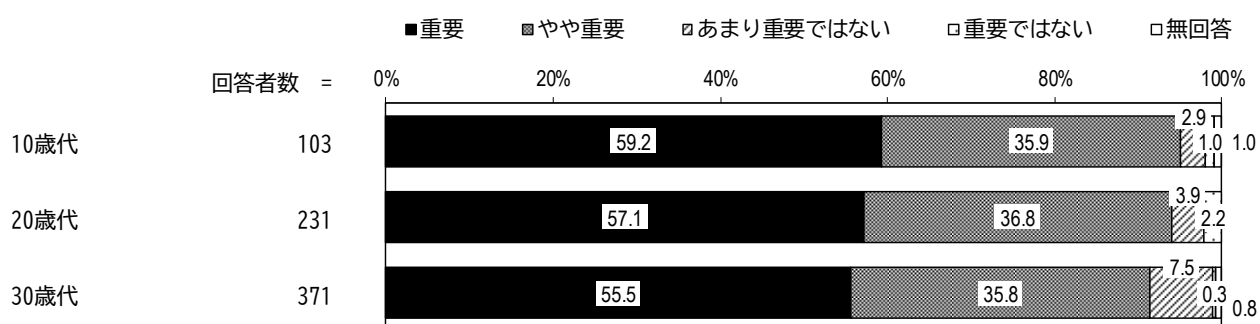
【性別】

性別による大きな差はみられません。



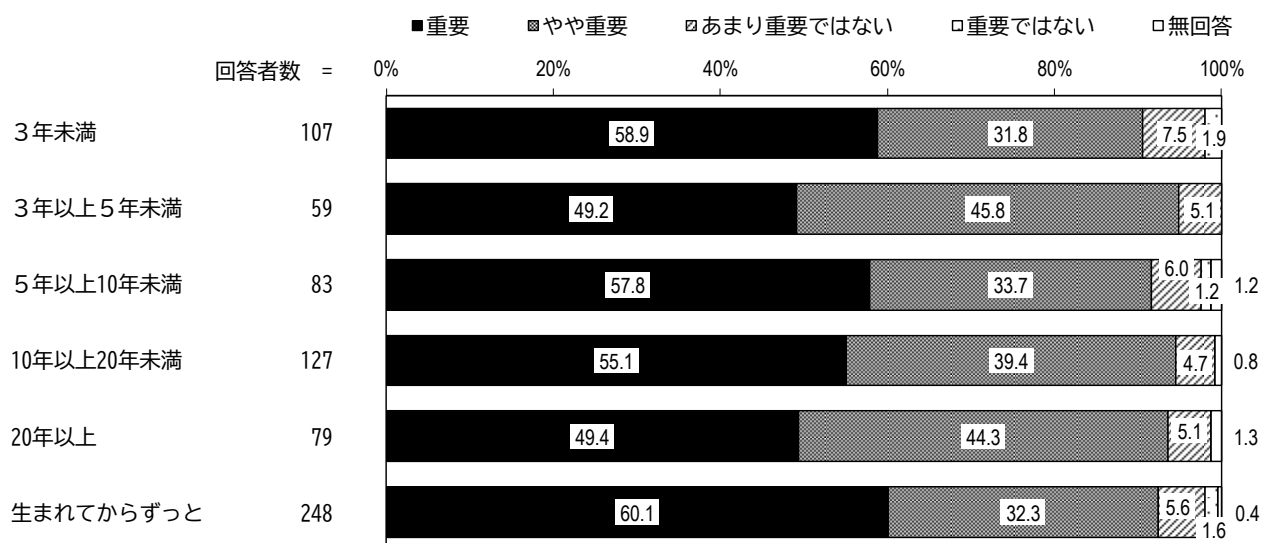
【年代別】

年代別にみると、“重要”の割合が年代が低くなるにつれて高くなっています。



【居住年数別】

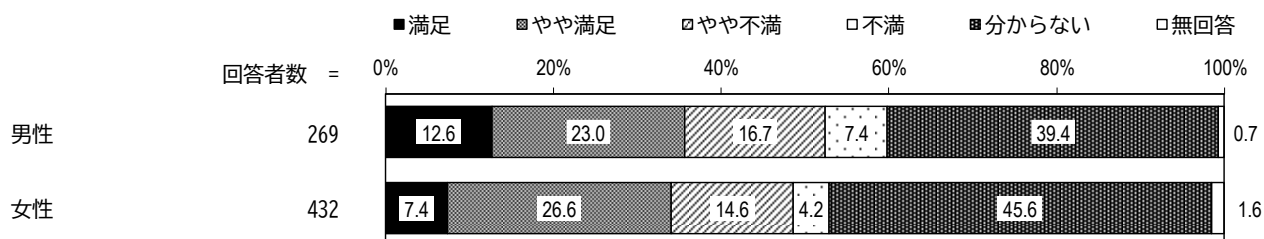
居住年数別に大きな差はみられません。



(3) 公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進 ②満足度

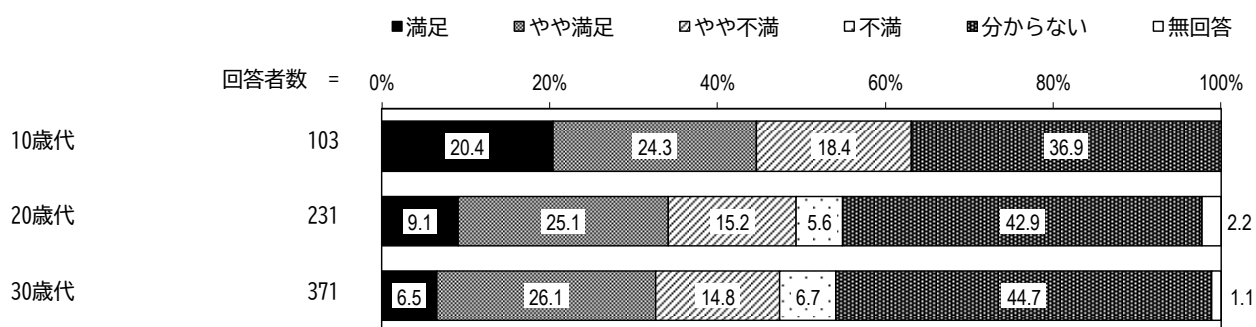
【性別】

性別にみると、“不満”の割合が男性で高くなっています。



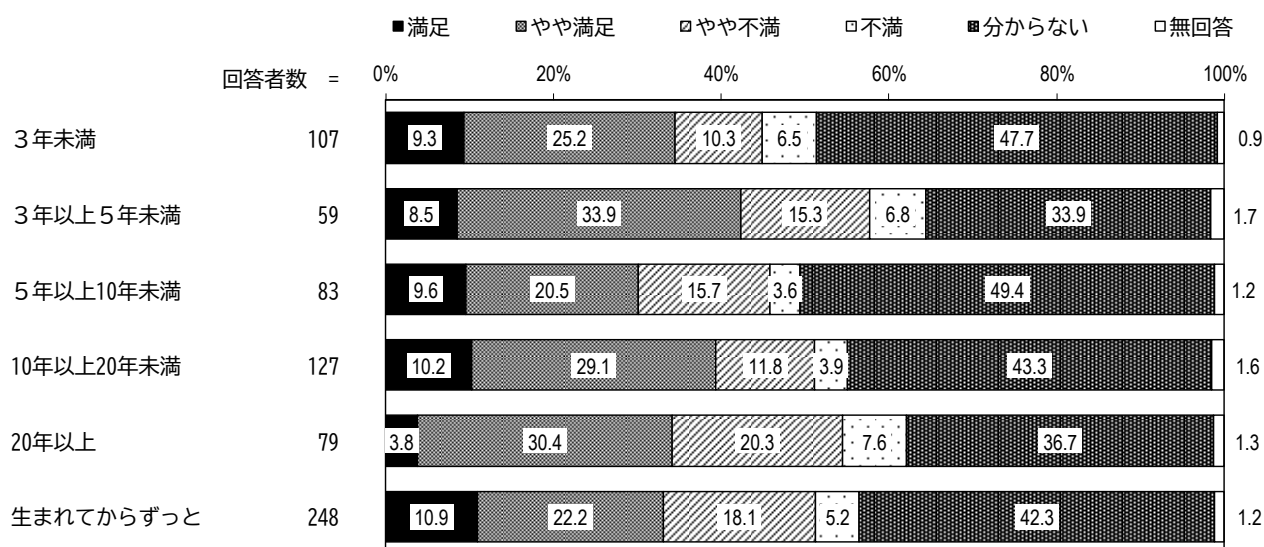
【年代別】

年代別にみると、“満足”の割合が10歳代で高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別にみると、“満足”の割合が「3年以上5年未満」で高く、“不満”の割合は「20歳代以上」で高くなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・重要度の得点化

12 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を各選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点	重要度		得点
満足	→	2 点	重要	→	2 点
やや満足	→	1 点	やや重要	→	1 点
やや不満	→	-1 点	あまり重要ではない	→	-1 点
不満	→	-2 点	重要ではない	→	-2 点
分からない	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外
無回答	→	計算対象外			

■得点の算出式■

$2 \text{ 点} \times \text{「満足（重要）」の回答数}$
 $+ 1 \text{ 点} \times \text{「やや満足（やや重要）」の回答数}$
 $- 1 \text{ 点} \times \text{「やや不満（あまり重要ではない）」の回答数}$
 $- 2 \text{ 点} \times \text{「不満（重要ではない）」の回答数} / \text{分からない・無回答を除く回答数}$

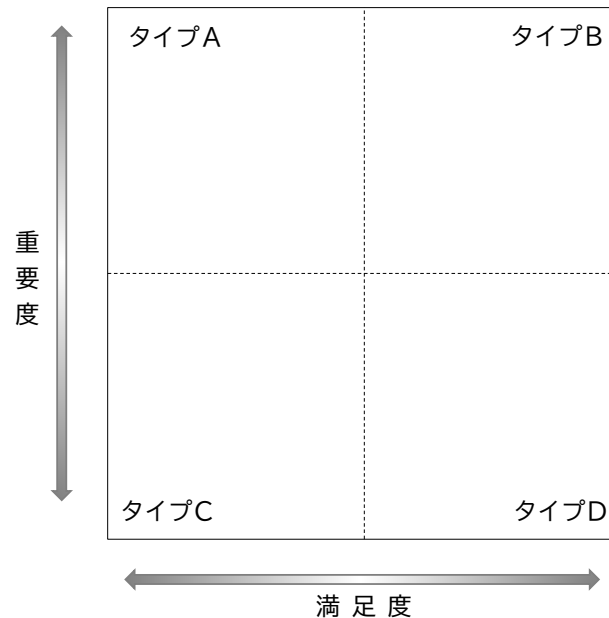
算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度 施策名	得点	順位	得点	重要度 施策名
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	0.56	第1位	1.76	(10)災害に強いまちづくりの推進
(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり	0.54	第2位	1.64	(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり
(10)災害に強いまちづくりの推進	0.52	第3位	1.64	(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消
(11)身近な暮らしの安全づくり	0.32	第10位	1.22	(2)健康寿命を延ばすための健康づくり
(1)高齢者の暮らしを支援	0.27	第11位	1.10	(8)地域の課題解決力の向上
(8)地域の課題解決力の向上	0.25	最下位	1.01	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプA 満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC 満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

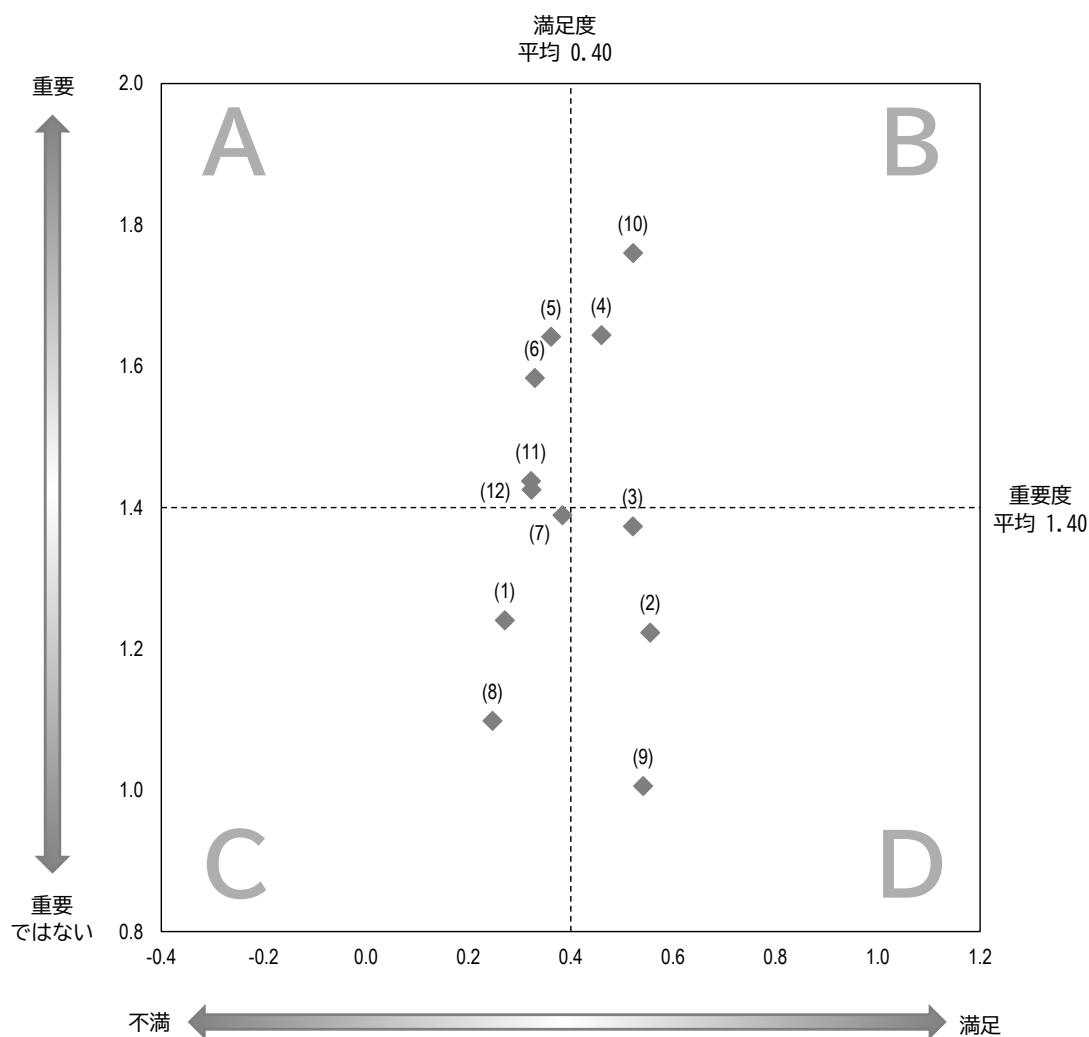
◆タイプD 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 705）

満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり』『(10)災害に強いまちづくりの推進』となっています。

満足度が低く、重要度が高い施策（タイプA）は、『(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消』『(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援』『(11)身近な暮らしの安全づくり』『(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進』となっています。



項目	
(1)高齢者の暮らしを支援	(7)新たな企業立地と若者の地育地働の促進
(2)健康寿命を延ばすための健康づくり	(8)地域の課題解決力の向上
(3)介護保険サービスの安定的な提供	(9)地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり
(4)可児っ子の笑顔あふれるまちづくり	(10)災害に強いまちづくりの推進
(5)出産や子育てに対する不安や孤立感の解消	(11)身近な暮らしの安全づくり
(6)子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援	(12)公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

問 21 可児市のこれからのまちづくりに関して、意見がありましたらお書きください。
(自由記述)

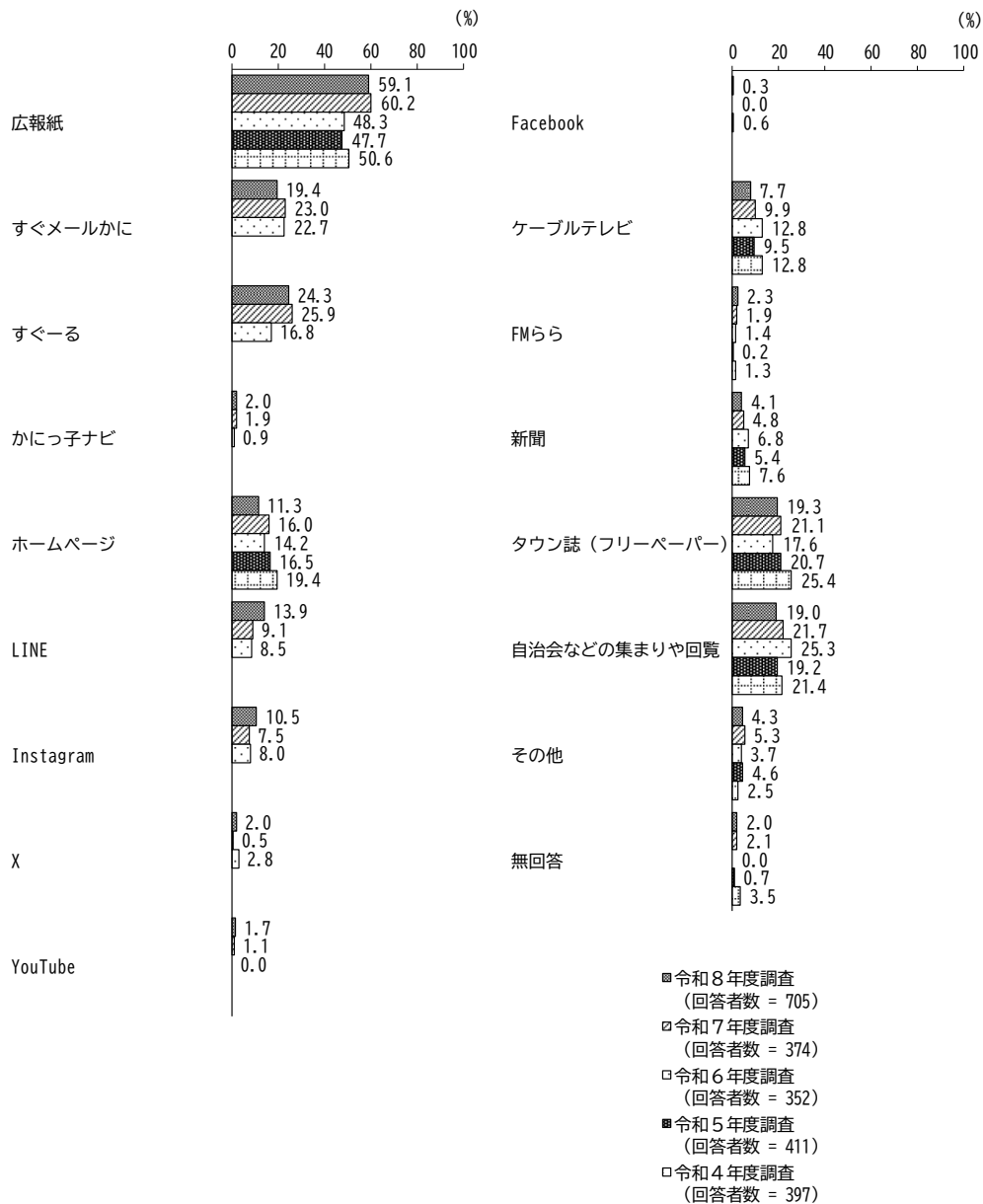
まちづくりに関して、若年層の方からは 201 件のご意見・ご要望が寄せられました。

(7)市の情報について

問 22 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が59.1%と最も高く、次いで「すぐーる」の割合が24.3%、「すぐメールかに」の割合が19.4%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「LINE」、「Instagram」の割合が増加しています。一方で、「ホームページ」、「すぐメールかに」の割合が減少しています。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。
また、「FM らら」については令和5年度調査では「コミュニティ FM」、令和6年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

性別にみると、「すぐメールかに」、「すぐーる」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐーる	かにっ子ナビ	ホームページ	L I N E	I n s t a g r a m	X	Y o u T u b e	F a c e b o o k	ケーブルテレビ	F M らら
全体	705	59.1	19.4	24.3	2.0	11.3	13.9	10.5	2.0	1.7	0.3	7.7	2.3
男性	269	57.6	13.0	14.9	2.2	12.3	12.3	7.8	3.7	3.7	0.4	9.7	3.0
女性	432	60.4	22.9	30.1	1.9	10.6	15.0	12.3	0.9	0.5	0.2	6.5	1.9

区分	新聞	タウン誌 (フリー ペーパー)	や自治会 や覧会などの 集まり	その他	無回答
全体	4.1	19.3	19.0	4.3	2.0
男性	4.8	16.0	17.1	5.2	4.1
女性	3.7	21.5	19.9	3.7	0.5

【年代別】

年代別にみると、「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が年代が高くなるにつれて高くなっています。

単位：％

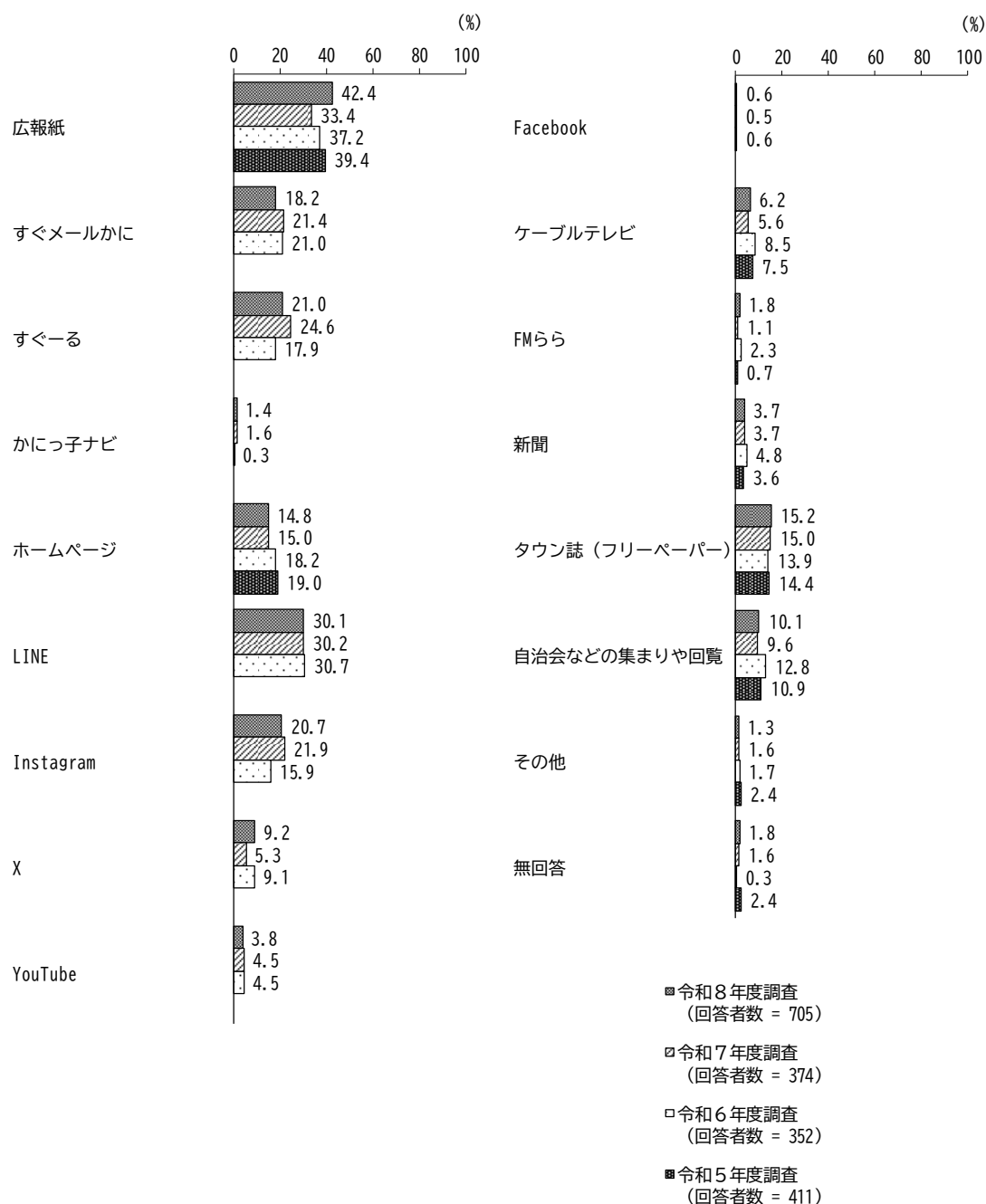
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールかに	すぐーる	かにっ子ナビ	ホームページ	L I N E	I n s t a g r a m	X	Y o u T u b e	F a c e b o o k	ケーブルテレビ	F M らら
全体	705	59.1	19.4	24.3	2.0	11.3	13.9	10.5	2.0	1.7	0.3	7.7	2.3
10歳代	103	46.6	21.4	39.8	1.9	5.8	8.7	6.8	0.0	2.9	0.0	9.7	1.0
20歳代	231	61.5	12.6	4.3	1.3	9.5	13.9	13.0	3.9	2.2	0.9	7.4	3.5
30歳代	371	61.2	23.2	32.3	2.4	14.0	15.4	10.0	1.3	1.1	0.0	7.3	1.9

区分	新聞	タウン誌 (フリー ペーパー)	や自治会 や覧会などの 集まり	その他	無回答
全体	4.1	19.3	19.0	4.3	2.0
10歳代	9.7	7.8	23.3	4.9	1.0
20歳代	4.3	12.1	15.2	5.6	2.6
30歳代	2.4	27.0	20.2	3.2	1.9

問 23 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。(複数回答可)

「広報紙」の割合が42.4%と最も高く、次いで「LINE」の割合が30.1%、「すぐーる」の割合が21.0%となっています。

令和7年度調査と比較すると、「広報紙」、「X」の割合が増加しています。一方で、「すぐーる」、「すぐメールかに」の割合が減少しています。



※令和5年度調査以前では、「すぐメールかに」、「すぐーる」、「LINE」、「かにっ子ナビ」、「Facebook」、「X(旧 YTwitter)」、「Instagram」、「YouTube」がありませんでした。
また、「FMらら」については令和5年度調査では「コミュニティ FM」、令和6年度調査では「ラジオ」になっていました。

【性別】

性別にみると、「X」、「YouTube」の割合が男性で高く、「すぐる」、「LINE」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すぐる	かにつ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	705	42.4	18.2	21.0	1.4	14.8	30.1	20.7	9.2	3.8	0.6	6.2	1.8
男性	269	45.4	13.4	12.3	1.5	17.5	25.3	18.2	16.4	7.8	0.4	8.2	3.3
女性	432	40.7	21.1	26.4	1.4	13.0	33.3	22.5	4.6	1.4	0.7	5.1	0.9

区分	新聞	タウン誌 (フリー ペーパー)	や 回覧 自治会 などの 集まり	そ の 他	無 回 答
全体	3.7	15.2	10.1	1.3	1.8
男性	5.9	14.5	9.3	1.9	1.5
女性	2.3	15.7	10.4	0.9	1.9

【年代別】

年代別にみると、「タウン誌（フリーペーパー）」、「LINE」の割合が年代が高くなるにつれて高くなっています。

単位：％

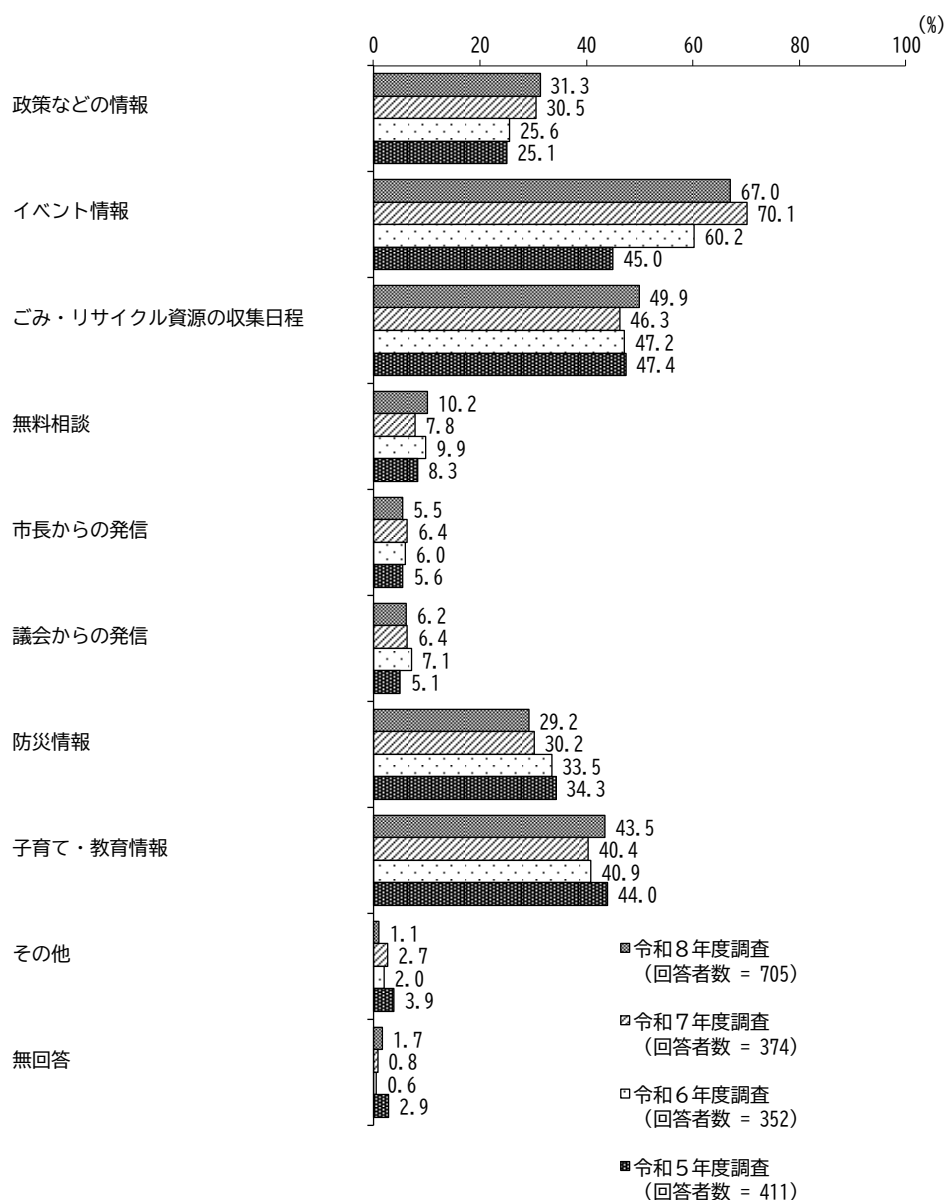
区分	回答者数 (件)	広報紙	すぐメールに	すぐる	かにつ子ナビ	ホームページ	LINE	Instagram	X	YouTube	Facebook	ケーブルテレビ	FMらら
全体	705	42.4	18.2	21.0	1.4	14.8	30.1	20.7	9.2	3.8	0.6	6.2	1.8
10歳代	103	31.1	17.5	34.0	0.0	11.7	25.2	26.2	6.8	4.9	0.0	7.8	1.0
20歳代	231	45.5	13.0	4.3	2.2	15.6	29.9	25.5	15.2	3.5	1.7	6.9	2.2
30歳代	371	43.7	21.6	27.8	1.3	15.1	31.5	16.2	6.2	3.8	0.0	5.4	1.9

区分	新聞	タウン誌 (フリー ペーパー)	や 回覧 自治会 などの 集まり	そ の 他	無 回 答
全体	3.7	15.2	10.1	1.3	1.8
10歳代	4.9	4.9	12.6	1.9	1.0
20歳代	5.6	11.7	7.8	0.4	1.3
30歳代	2.2	20.2	10.8	1.6	2.4

問 24 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

「イベント情報」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が 49.9%、「子育て・教育情報」の割合が 43.5%となっています。

令和 7 年度調査と比較すると、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」、「子育て・教育情報」の割合が増加しています。一方で、「イベント情報」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、「政策などの情報」、「議会からの発信」の割合が男性で高く、「子育て・教育情報」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	政策 などの 情報	イ ベン ト 情 報	ご み ・ リ サ イ ク ル 資 源 の 収 集 日 程	無 料 相 談	市 長 か ら の 発 信	議 会 か ら の 発 信	防 災 情 報	子 育 て ・ 教 育 情 報	そ の 他	無 回 答
全体	705	31.3	67.0	49.9	10.2	5.5	6.2	29.2	43.5	1.1	1.7
男性	269	39.8	63.2	47.2	8.2	7.1	9.7	30.1	33.5	1.5	2.2
女性	432	26.2	69.4	51.4	11.3	4.4	3.9	28.7	50.0	0.9	1.2

【年代別】

年代別にみると、「子育て・教育情報」、「ごみ・リサイクル資源の収集日程」の割合が年代が高くなるにつれて高くなっています。

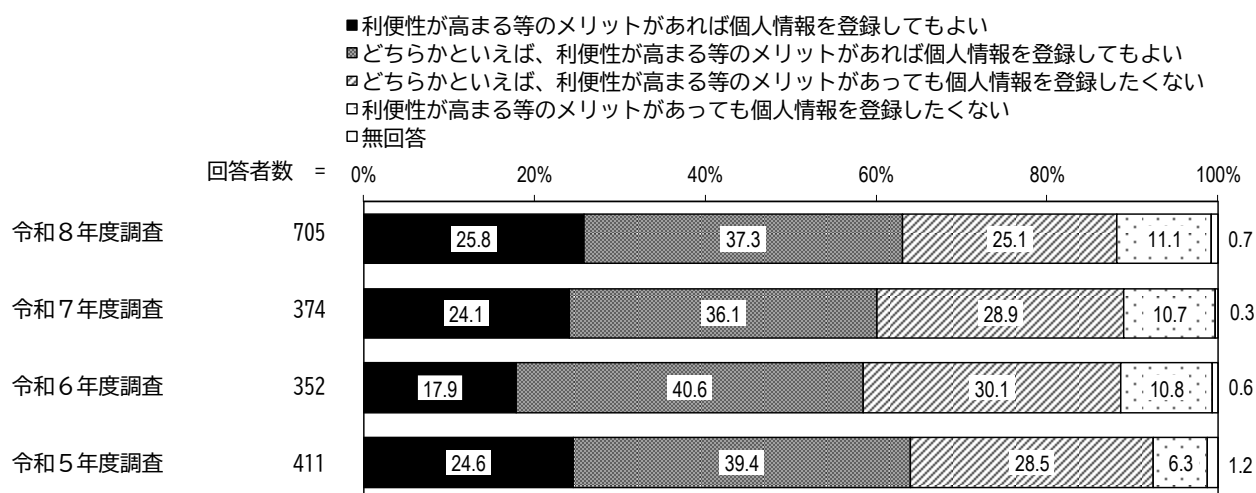
単位：％

区分	回答者数 (件)	政策 などの 情報	イ ベン ト 情 報	ご み ・ リ サ イ ク ル 資 源 の 収 集 日 程	無 料 相 談	市 長 か ら の 発 信	議 会 か ら の 発 信	防 災 情 報	子 育 て ・ 教 育 情 報	そ の 他	無 回 答
全体	705	31.3	67.0	49.9	10.2	5.5	6.2	29.2	43.5	1.1	1.7
10歳代	103	24.3	70.9	39.8	6.8	4.9	5.8	23.3	21.4	0.0	2.9
20歳代	231	31.2	61.9	48.1	11.7	6.1	7.8	26.4	37.2	1.3	0.9
30歳代	371	33.4	69.0	53.9	10.2	5.4	5.4	32.6	53.6	1.3	1.9

問 25 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。（○は1つだけ）

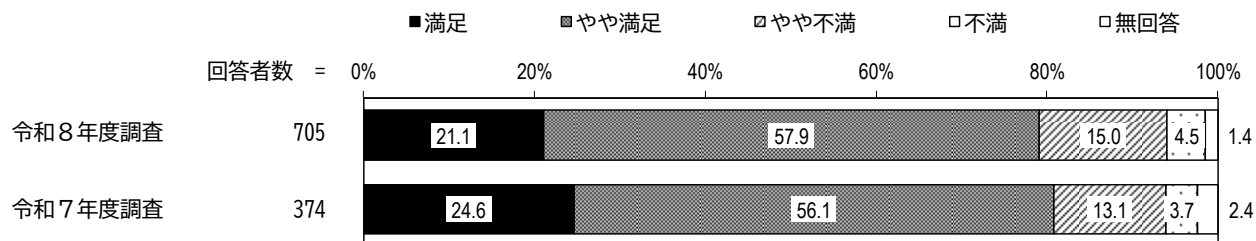
「利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」と「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい」を合わせた“登録してもよい”の割合が63.1%、「どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」と「利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない」を合わせた“登録したくない”の割合が36.2%となっています。

令和7年度調査と比較すると、“登録してもよい”の割合が増加しています。



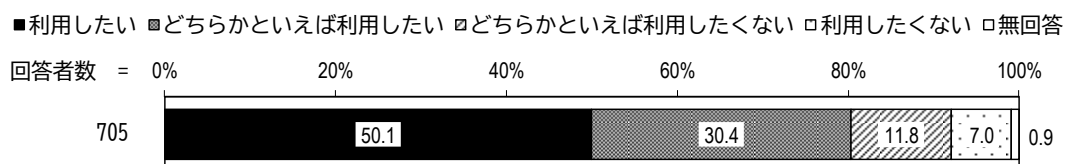
問 26 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。（○は1つだけ）

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が79.0%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が19.5%となっています。



問 27 市では、市内の協力店で利用できる地域通貨Kマネーを発行しています。今後、利便性の向上などを目的に、スマートフォン等で利用できる「デジタル版Kマネー」を導入した場合、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

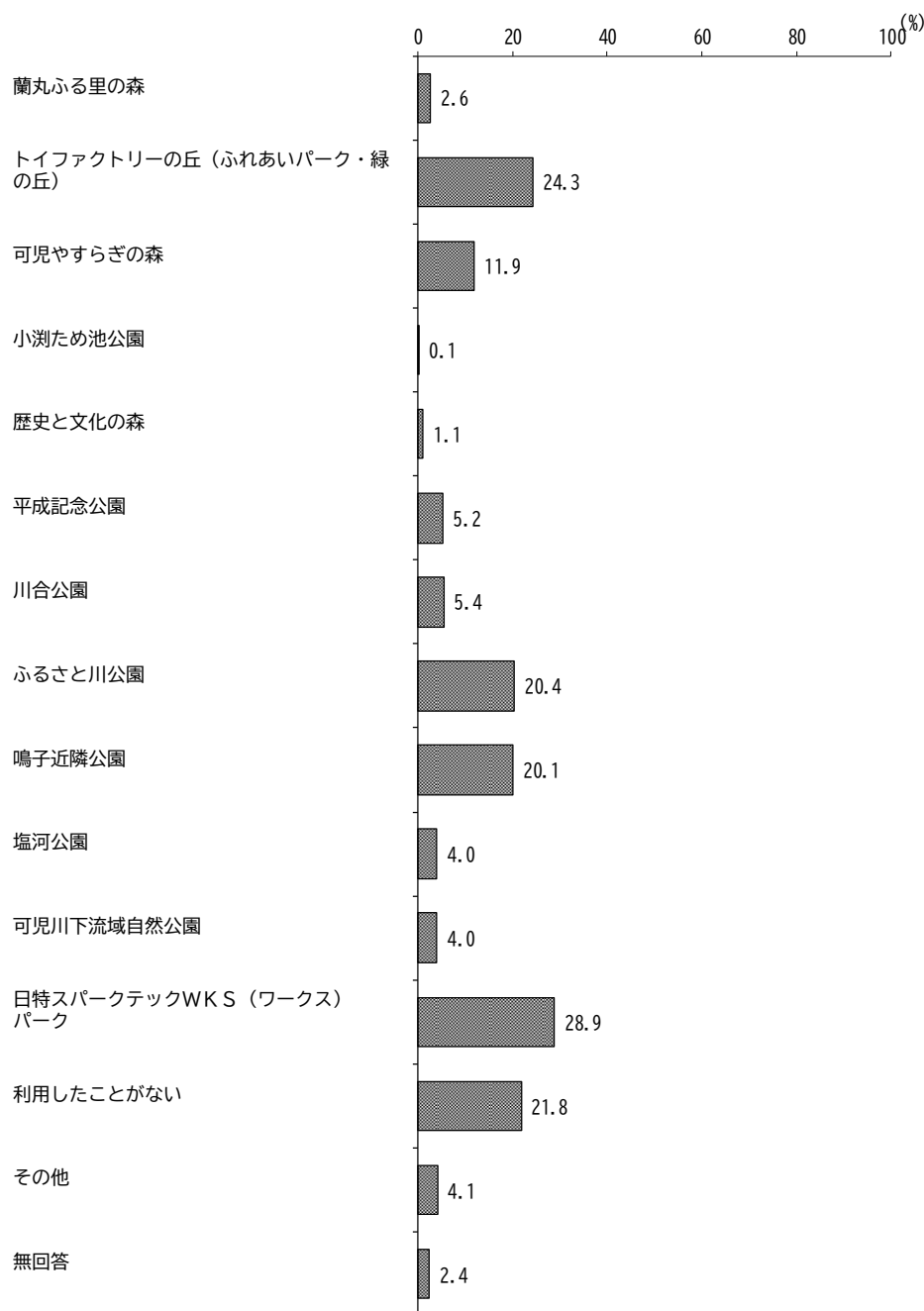
「利用したい」「どちらかといえば利用したい」を合わせた“利用したい”の割合が80.5%、「どちらかといえば利用したくない」「利用したくない」を合わせた“利用したくない”の割合が18.8%となっています。



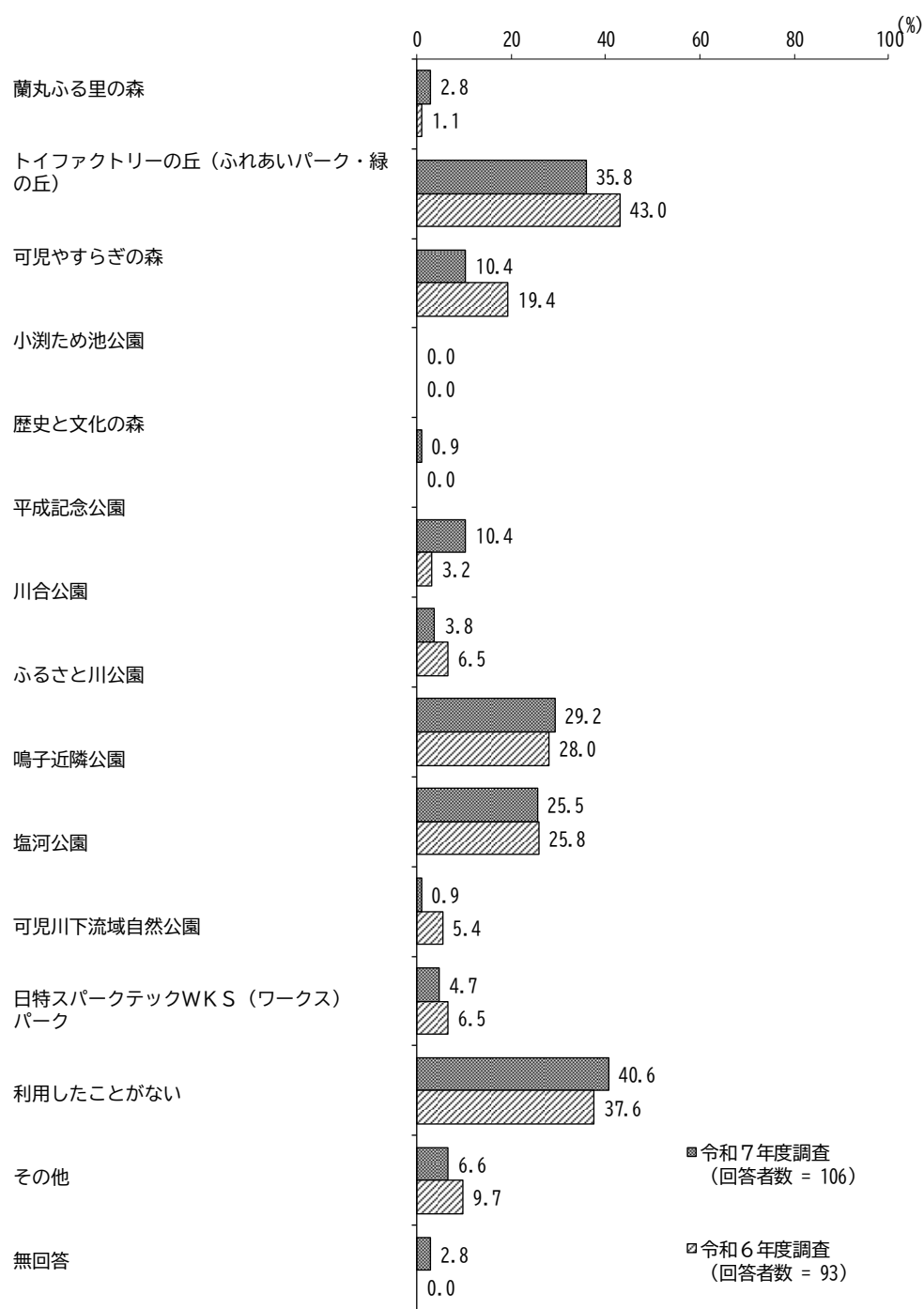
(8)公園について

問 28 よく利用する公園はどこですか。(複数回答可)

「日特スパークテックWKS（ワークス）パーク」の割合が28.9%と最も高く、次いで「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の割合が24.3%、「ふるさと川公園」の割合が20.4%となっています。一方で、「利用したことがない」の割合は21.8%となっています。



【経年比較 参考】



※「よく行くところはどこですか。(複数回答可)」の設問で「市内の公園」を選択された方が回答。

【年代別】

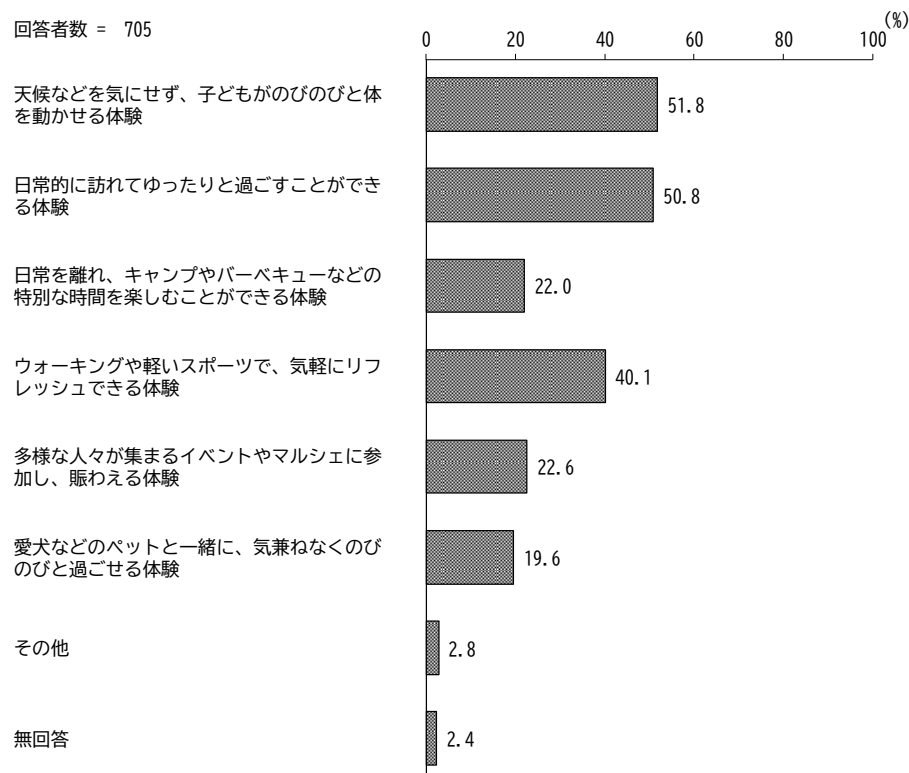
年代別にみると、「日特スパークテックWKS（ワークス）パーク」の割合が年代が高くなるにつれて高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	蘭丸ふるりの森	トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）	可児やすらぎの森	小渕ため池公園	歴史と文化の森	平成記念公園	川合公園	ふるさと川公園	鳴子近隣公園	塩河公園	可児川下流域自然公園	日特スパークテックWKS（ワークス）パーク	利用したことがない	その他	無回答
全体	705	2.6	24.3	11.9	0.1	1.1	5.2	5.4	20.4	20.1	4.0	4.0	28.9	21.8	4.1	2.4
10歳代	103	1.0	24.3	13.6	0.0	0.0	8.7	6.8	26.2	21.4	2.9	1.0	16.5	13.6	3.9	1.9
20歳代	231	3.5	19.5	10.0	0.0	0.4	4.3	5.6	13.0	16.9	4.8	5.2	19.9	27.3	4.8	3.0
30歳代	371	2.4	27.2	12.7	0.3	1.9	4.9	4.9	23.5	21.8	3.8	4.0	38.0	20.8	3.8	2.2

問 29 公園での過ごし方について、求めるものはどれですか。（複数回答可）

「天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験」の割合が 51.8％と最も高く、次いで「日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験」の割合が 50.8％、「ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験」の割合が 40.1％となっています。



【性別】

性別にみると、「天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験	日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験	日常を離れ、キャンプやバーベキューなどの特別な時間を楽しむことができる体験	ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験	多様な人々が集まるイベントやマルシェに参加し、賑わえる体験	愛犬などのペットと一緒に、気兼ねなくのびのびと過ごせる体験	その他	無回答
全体	705	51.8	50.8	22.0	40.1	22.6	19.6	2.8	2.4
男性	269	45.0	46.5	25.7	45.4	20.4	16.0	3.7	4.1
女性	432	56.0	53.2	19.7	36.8	23.8	21.8	2.3	1.4

【年代別】

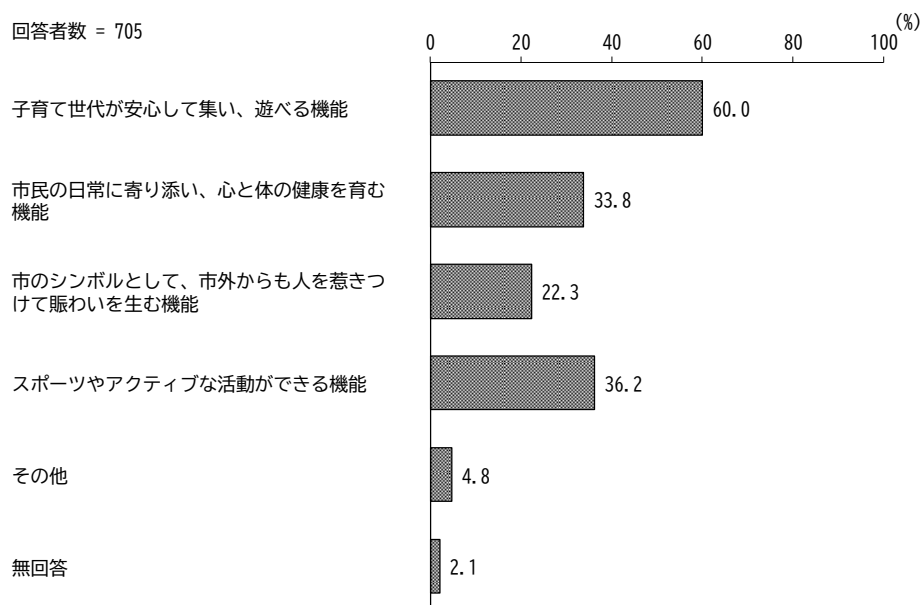
年代別にみると、「ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験」の割合が10歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験	日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験	日常を離れ、キャンプやバーベキューなどの特別な時間を楽しむことができる体験	ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験	多様な人々が集まるイベントやマルシェに参加し、賑わえる体験	愛犬などのペットと一緒に、気兼ねなくのびのびと過ごせる体験	その他	無回答
全体	705	51.8	50.8	22.0	40.1	22.6	19.6	2.8	2.4
10歳代	103	38.8	56.3	22.3	49.5	24.3	26.2	1.9	1.0
20歳代	231	45.5	48.1	22.1	43.7	19.0	24.7	3.0	1.7
30歳代	371	59.3	50.9	21.8	35.3	24.3	14.6	3.0	3.2

問 30 現在、市では「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の再整備に向けた検討を進めています。当公園に求める機能はどれですか。（複数回答可）

「子育て世代が安心して集い、遊べる機能」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「スポーツやアクティブな活動ができる機能」の割合が 36.2%、「市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能」の割合が 33.8%となっています。



【性別】

性別にみると、「子育て世代が安心して集い、遊べる機能」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子育て世代が安心して集い、遊べる機能	市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能	市のシンボルとして、市外からも人を惹きつけて賑わいを生む機能	スポーツやアクティブな活動ができる機能	その他	無回答
全体	705	60.0	33.8	22.3	36.2	4.8	2.1
男性	269	54.3	35.3	23.4	39.8	5.2	2.2
女性	432	63.7	32.9	21.3	33.8	4.6	2.1

【年代別】

年代別にみると、「スポーツやアクティブな活動ができる機能」の割合が10歳代で高くなっています。

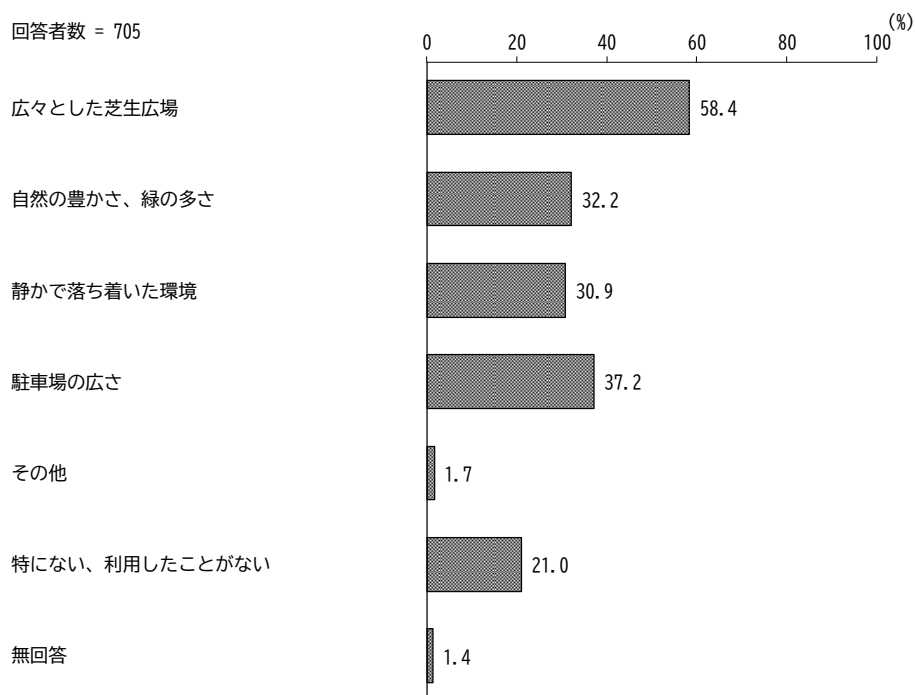
単位：％

区分	回答者数 (件)	子育て世代が安心して集い、遊べる機能	市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能	市のシンボルとして、市外からも人を惹きつけて賑わいを生む機能	スポーツやアクティブな活動ができる機能	その他	無回答
全体	705	60.0	33.8	22.3	36.2	4.8	2.1
10歳代	103	43.7	35.0	17.5	49.5	2.9	1.0
20歳代	231	54.5	35.1	23.8	34.2	6.1	1.7
30歳代	371	67.9	32.6	22.6	33.7	4.6	2.7

問 31 「トイファクトリーの丘（ふれあいパーク・緑の丘）」の再整備にあたり、現状の機能のうち、活かしてほしい点と改善してほしい点はどれですか。（複数回答可）

【活かしてほしい点】

「広々とした芝生広場」の割合が 58.4%と最も高く、次いで「駐車場の広さ」の割合が 37.2%、「自然の豊かさ、緑の多さ」の割合が 32.2%となっています。一方で、「特にない、利用したことがない」の割合は 21.0%となっています。



【性別】

性別にみると、「駐車場の広さ」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	広々とした芝生広場	自然の豊かさ、緑の多さ	静かで落ち着いた環境	駐車場の広さ	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	705	58.4	32.2	30.9	37.2	1.7	21.0	1.4
男性	269	57.6	32.7	29.7	34.2	2.2	18.2	1.9
女性	432	59.0	32.2	31.7	39.1	1.4	22.7	1.2

【年代別】

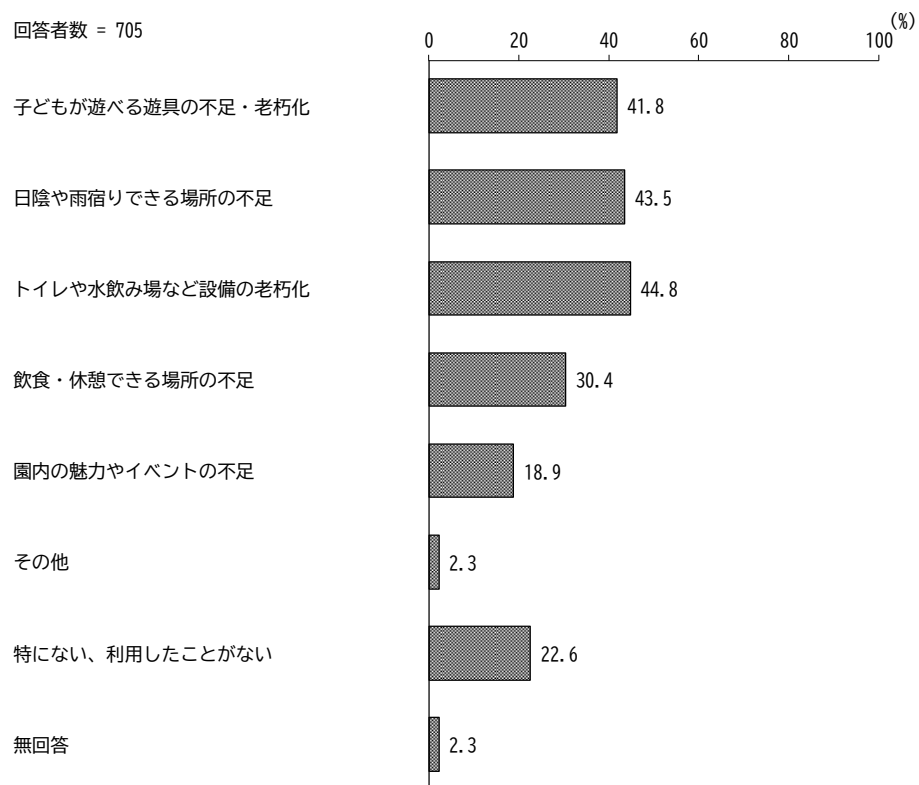
年代別にみると、「自然の豊かさ、緑の多さ」の割合が10歳代で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	広々とした芝生広場	自然の豊かさ、緑の多さ	静かで落ち着いた環境	駐車場の広さ	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	705	58.4	32.2	30.9	37.2	1.7	21.0	1.4
10歳代	103	64.1	39.8	30.1	26.2	0.0	16.5	1.9
20歳代	231	53.7	31.2	29.0	30.7	2.2	25.1	1.7
30歳代	371	59.8	30.7	32.3	44.2	1.9	19.7	1.1

【改善してほしい点】

「トイレや水飲み場など設備の老朽化」の割合が44.8%と最も高く、次いで「日陰や雨宿りできる場所の不足」の割合が43.5%、「子どもが遊べる遊具の不足・老朽化」の割合が41.8%となっています。一方で、「特にない、利用したことがない」の割合は22.6%となっています。



【性別】

性別にみると、「子どもが遊べる遊具の不足・老朽化」の割合が女性で高くなっています。

単位：％ 位：％

区分	回答者数（件）	子どもが遊べる遊具の不足・老朽化	日陰や雨宿りできる場所の不足	トイレや水飲み場など設備の老朽化	飲食・休憩できる場所の不足	園内の魅力やイベントの不足	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	705	41.8	43.5	44.8	30.4	18.9	2.3	22.6	2.3
男性	269	37.9	44.2	42.0	34.2	21.6	3.0	18.2	3.0
女性	432	44.2	43.3	46.5	28.0	17.4	1.9	25.2	1.9

【年代別】

年代別にみると、「子どもが遊べる遊具の不足・老朽化」の割合が30歳代で高くなっています。

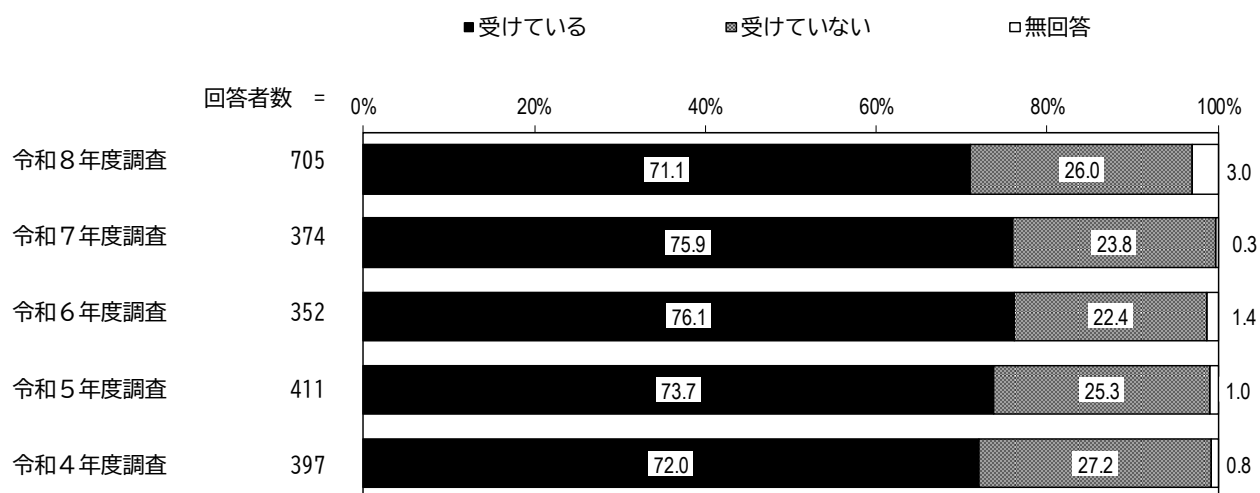
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもが遊べる遊具の不足・老朽化	日陰や雨宿りできる場所の不足	トイレや水飲み場など設備の老朽化	飲食・休憩できる場所の不足	園内の魅力やイベントの不足	その他	特にない、利用したことがない	無回答
全体	705	41.8	43.5	44.8	30.4	18.9	2.3	22.6	2.3
10歳代	103	30.1	47.6	48.5	28.2	19.4	1.9	20.4	2.9
20歳代	231	32.0	37.2	40.3	26.8	19.9	3.0	25.1	3.5
30歳代	371	51.2	46.4	46.6	33.2	18.1	1.9	21.6	1.3

(9)健康管理・運動の推進について

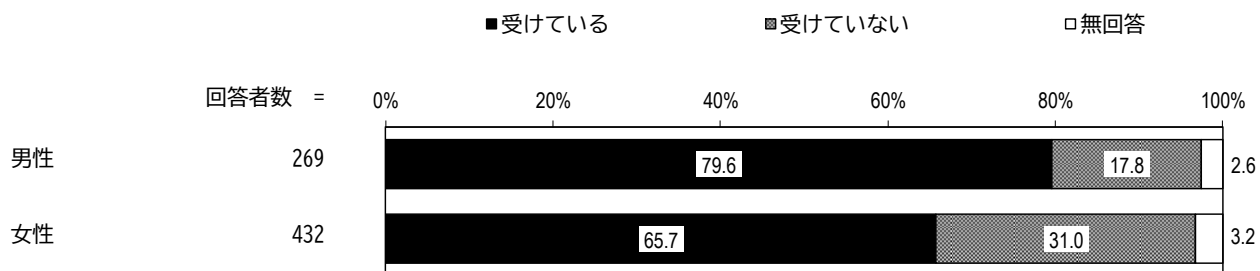
問 32 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が71.1%となっています。
経年による大きな差はみられません。



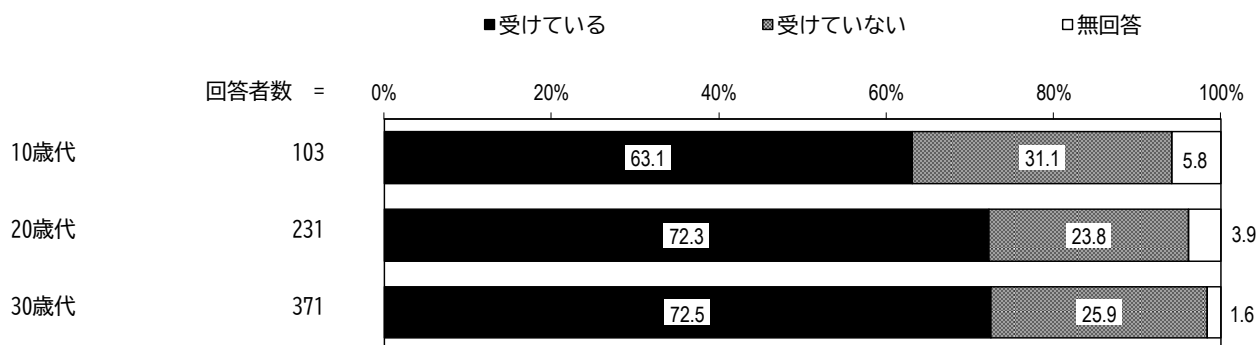
【性別】

性別にみると、「受けている」の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

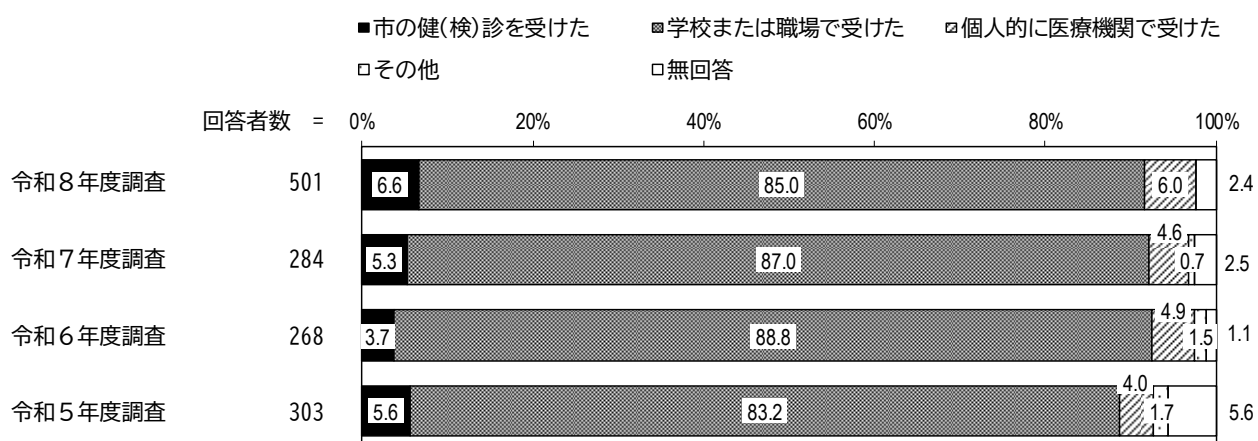
年代別にみると、「受けている」の割合が10歳代で低くなっています。



受診場所

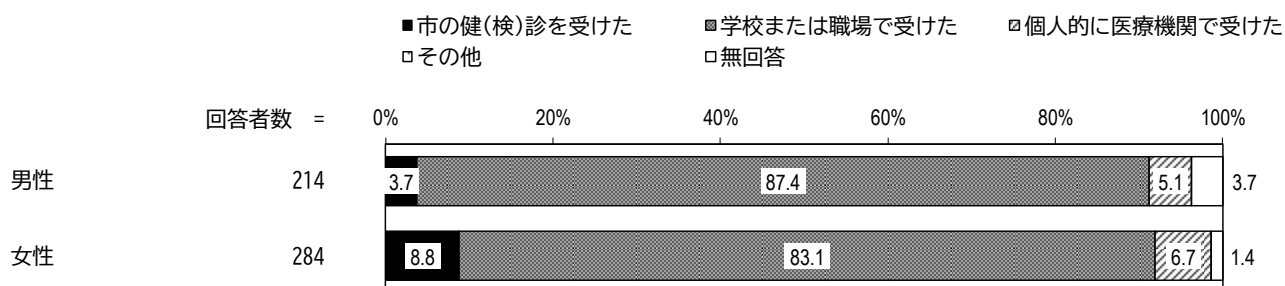
「学校または職場で受けた」の割合が85.0%と最も高く、次いで「市の健（検）診を受けた」の割合が6.6%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が6.0%となっています。

令和7年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



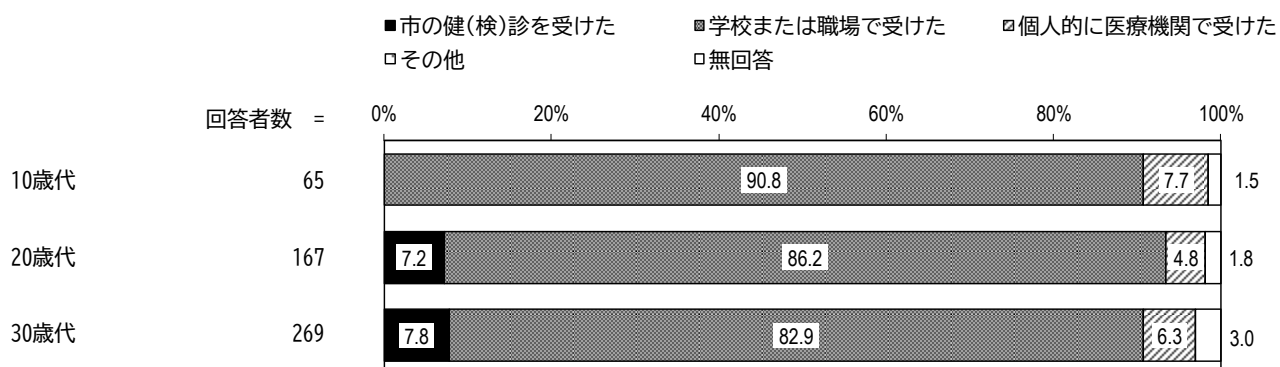
【性別】

性別にみると、「市の健（検）診を受けた」の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

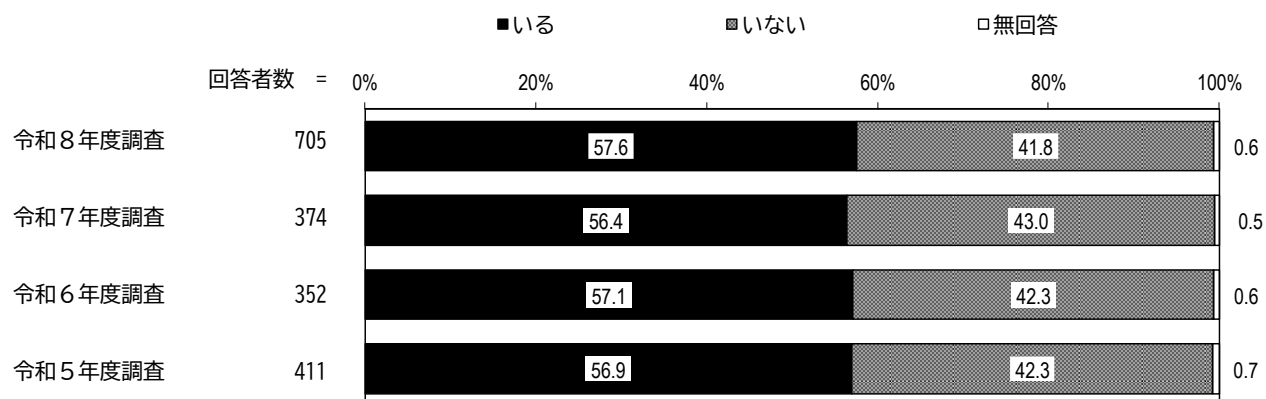
年代別にみると、「学校または職場で受けた」の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



問 33 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。(それぞれ○は1つだけ)

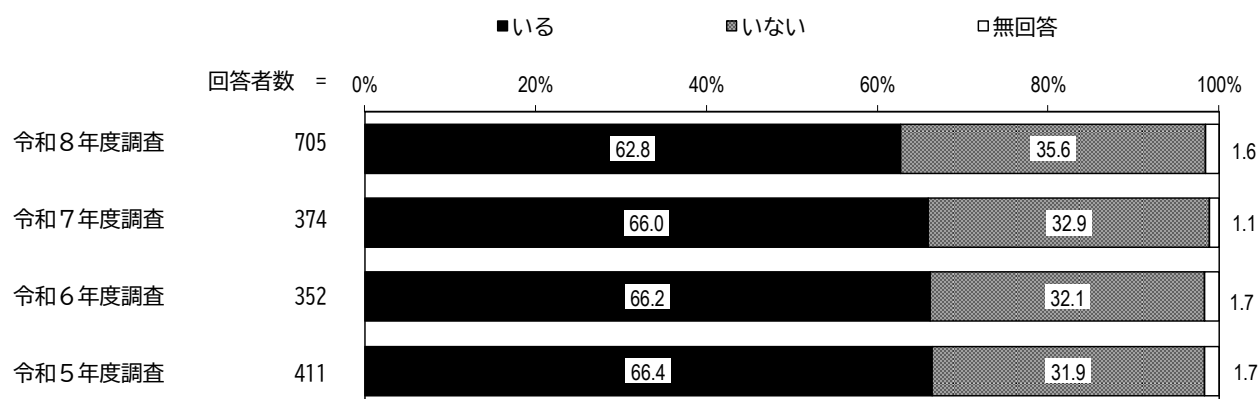
かかりつけ医

「いる」の割合が 57.6%、「いない」の割合が 41.8%となっています。



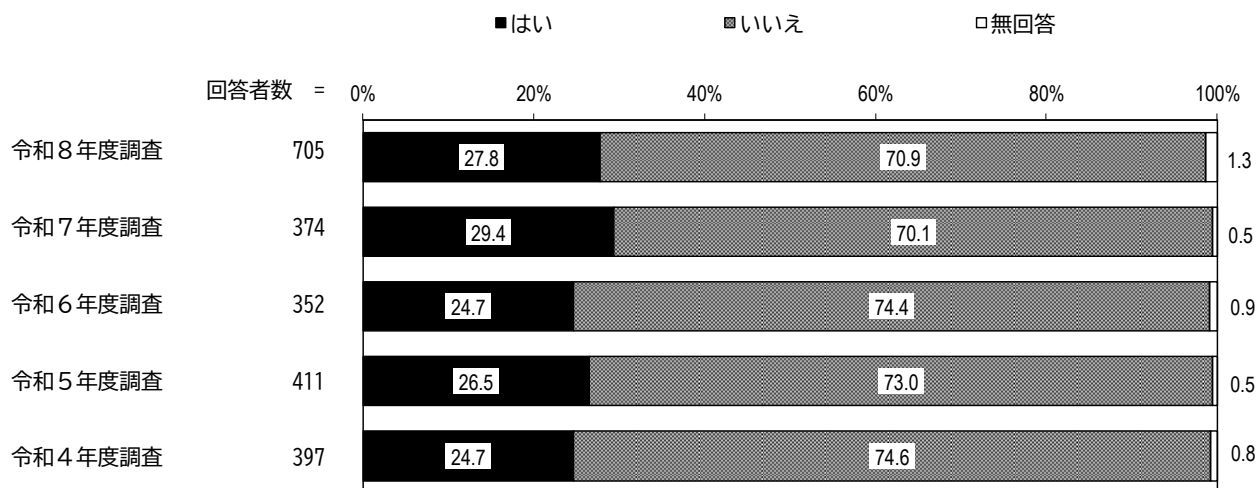
かかりつけ歯科医

「いる」の割合が 62.8%、「いない」の割合が 35.6%となっています。



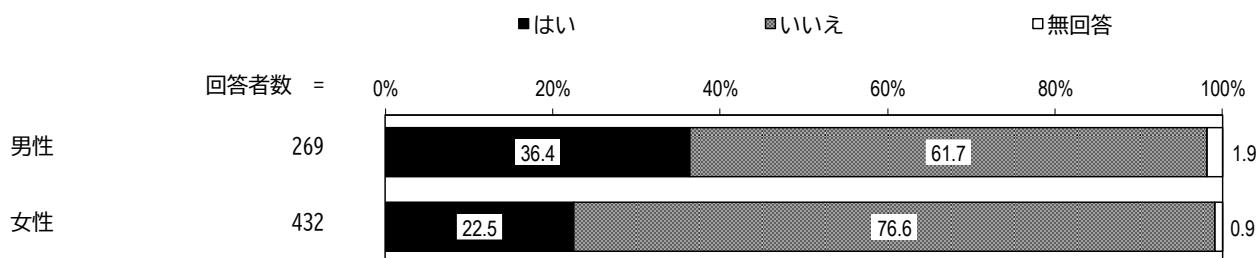
問 34 可児市では、1 回 30 分週 2 回のウォーキングを推奨する「歩こう可児 302」運動や 1 人の市民が少なくとも 1 つのスポーツに親しむ一市民一スポーツを推進しています。あなたは、1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行い、それを 1 年以上続けていますか。（○は 1 つだけ）

「はい」の割合が 27.8%、「いいえ」の割合が 70.9%となっています。
令和 7 年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



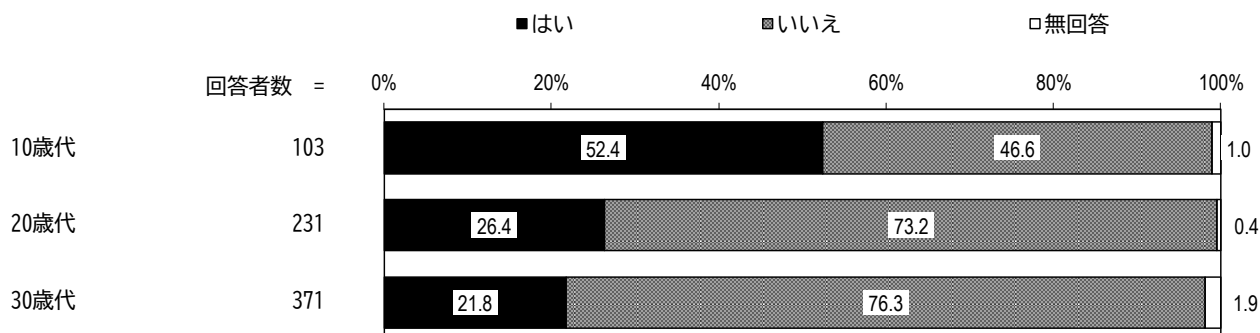
【性別】

性別にみると、「はい」の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

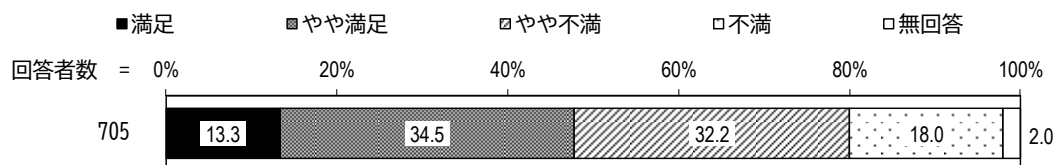
年代別にみると、「はい」の割合は年代が低くなるにつれて高くなっています。



(10)公共交通について

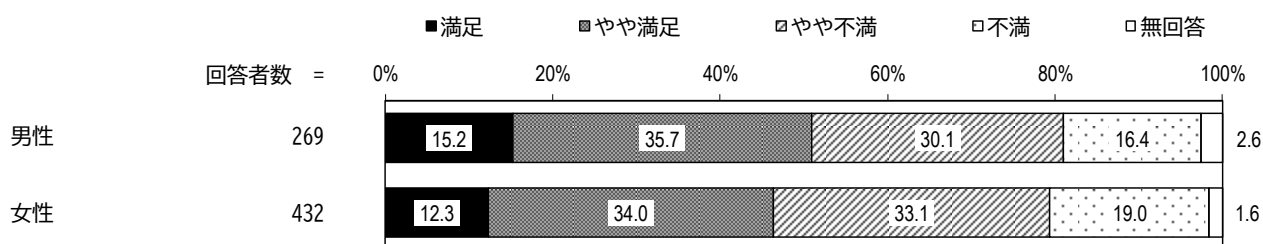
問 35 市の公共交通（鉄道やバス、タクシーなど）は、利用しやすく満足できる交通手段だと思いますか。（○は1つだけ）

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 47.8%となっています。一方で、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 50.2%となっています。



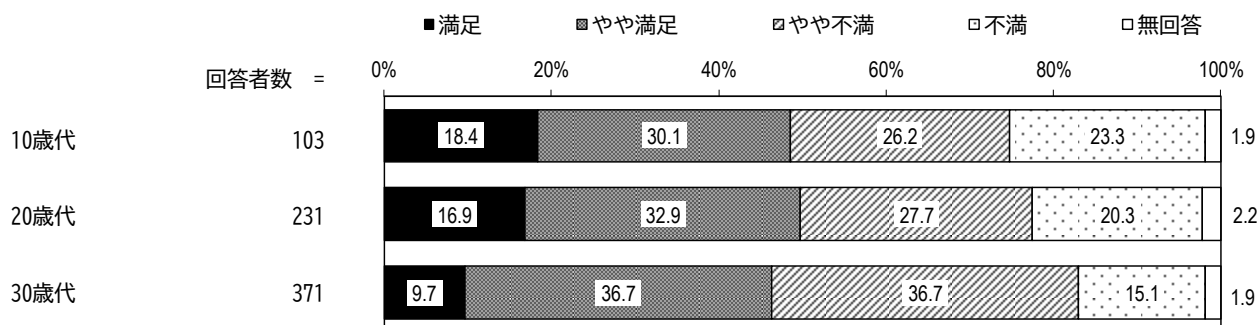
【性別】

性別にみると、“満足”の割合が男性で高くなっています。



【年代別】

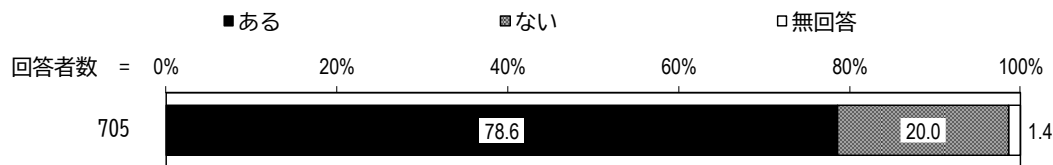
年代別による大きな差はみられません。



(11)文化創造センター アーラについて

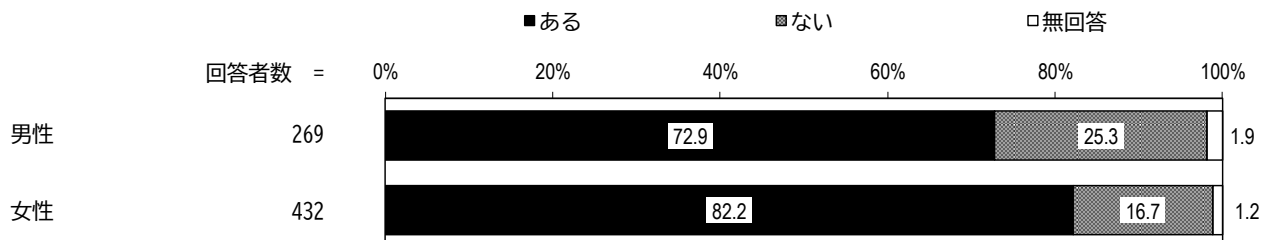
問 36 文化創造センター アーラを利用したことはありますか。(○は1 つだけ)

「ある」の割合が78.6%、「ない」の割合が20.0%となっています。



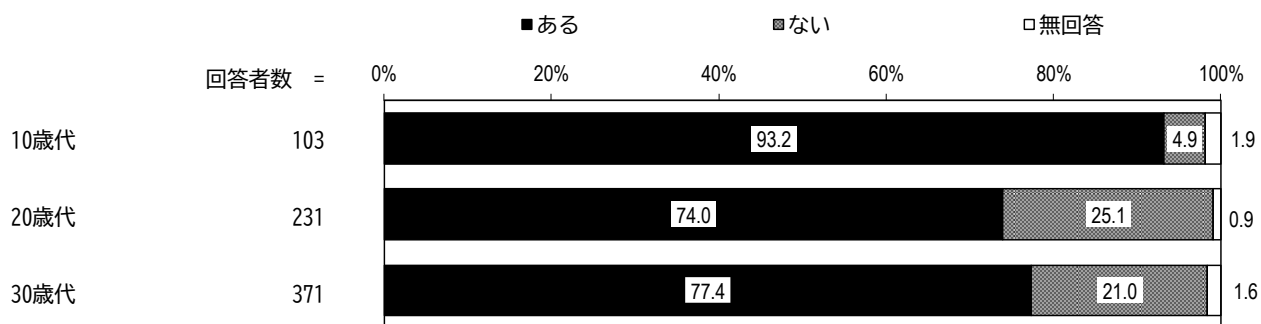
【性別】

性別にみると、「ある」の割合が女性で高くなっています。



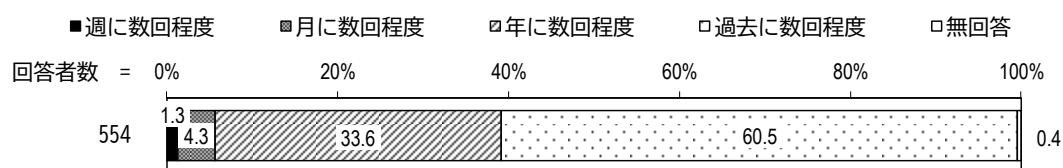
【年代別】

年代別にみると、「ある」の割合が10歳代で高くなっています。



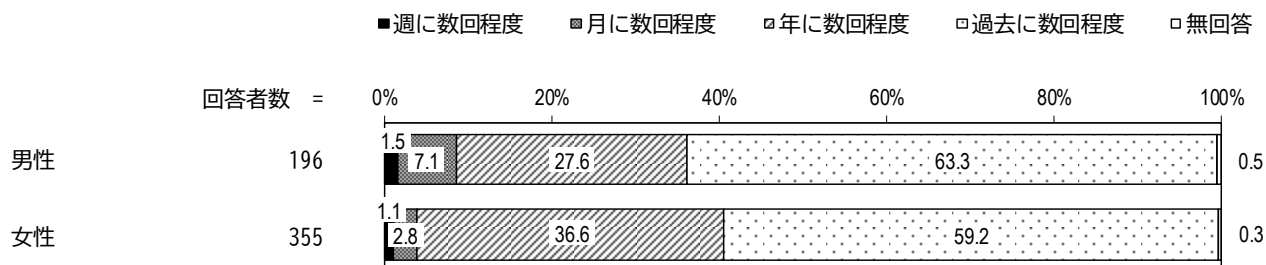
利用頻度

「過去に数回程度」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が 33.6%となっています。



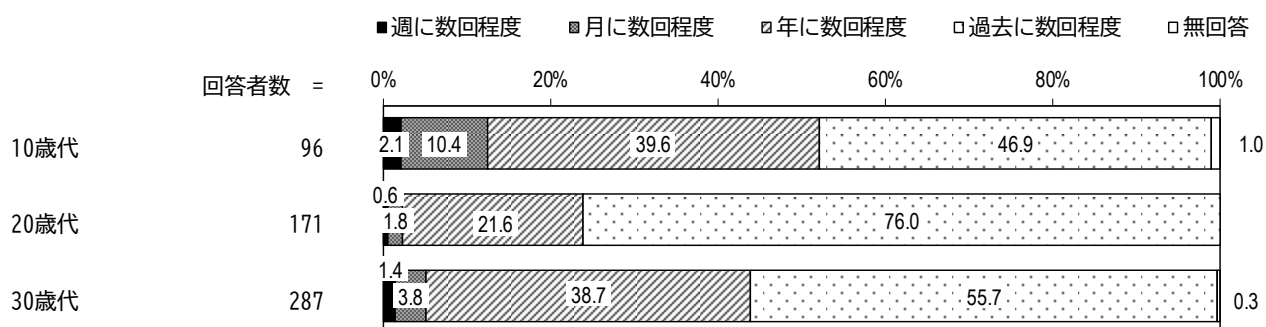
【性別】

性別にみると、「年に数回程度」の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

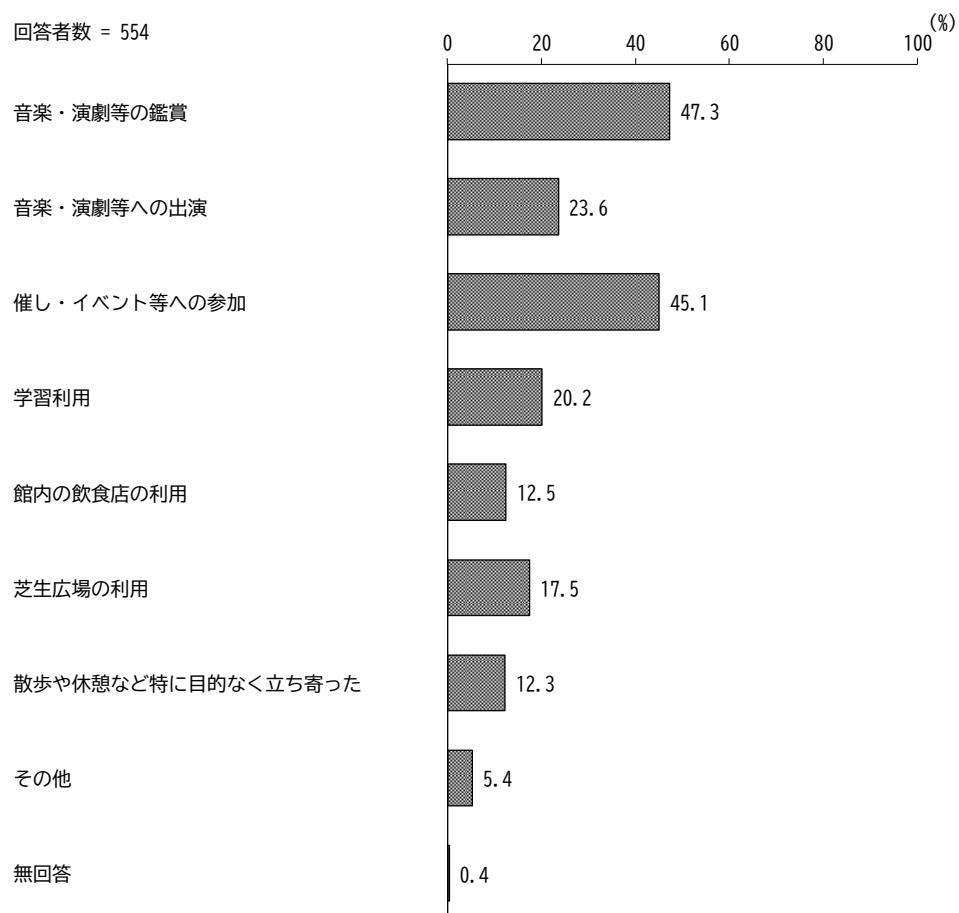
年代別にみると、「過去に数回程度」の割合が 20 歳代で高くなっています。



【問 36 で 1 (ある) を選択された方に伺います】

問 37 利用用途は、次のうちどれですか。(複数回答可)

「音楽・演劇等の鑑賞」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「催し・イベント等への参加」の割合が 45.1%、「音楽・演劇等への出演」の割合が 23.6%となっています。



【性別】

性別にみると、「音楽・演劇等の鑑賞」、「音楽・演劇等への出演」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	音楽・演劇等の鑑賞	音楽・演劇等への出演	参加し・イベント等への	学習利用	館内の飲食店の利用	芝生広場の利用	散歩や休憩など特に目的なく立ち寄った	その他	無回答
全体	554	47.3	23.6	45.1	20.2	12.5	17.5	12.3	5.4	0.4
男性	196	41.8	15.3	42.3	22.4	10.2	14.8	13.8	7.1	0.0
女性	355	49.9	28.2	46.8	19.2	13.8	19.2	11.5	4.5	0.6

【年代別】

年代別にみると、「学習利用」の割合が10歳代、20歳代で高くなっています。

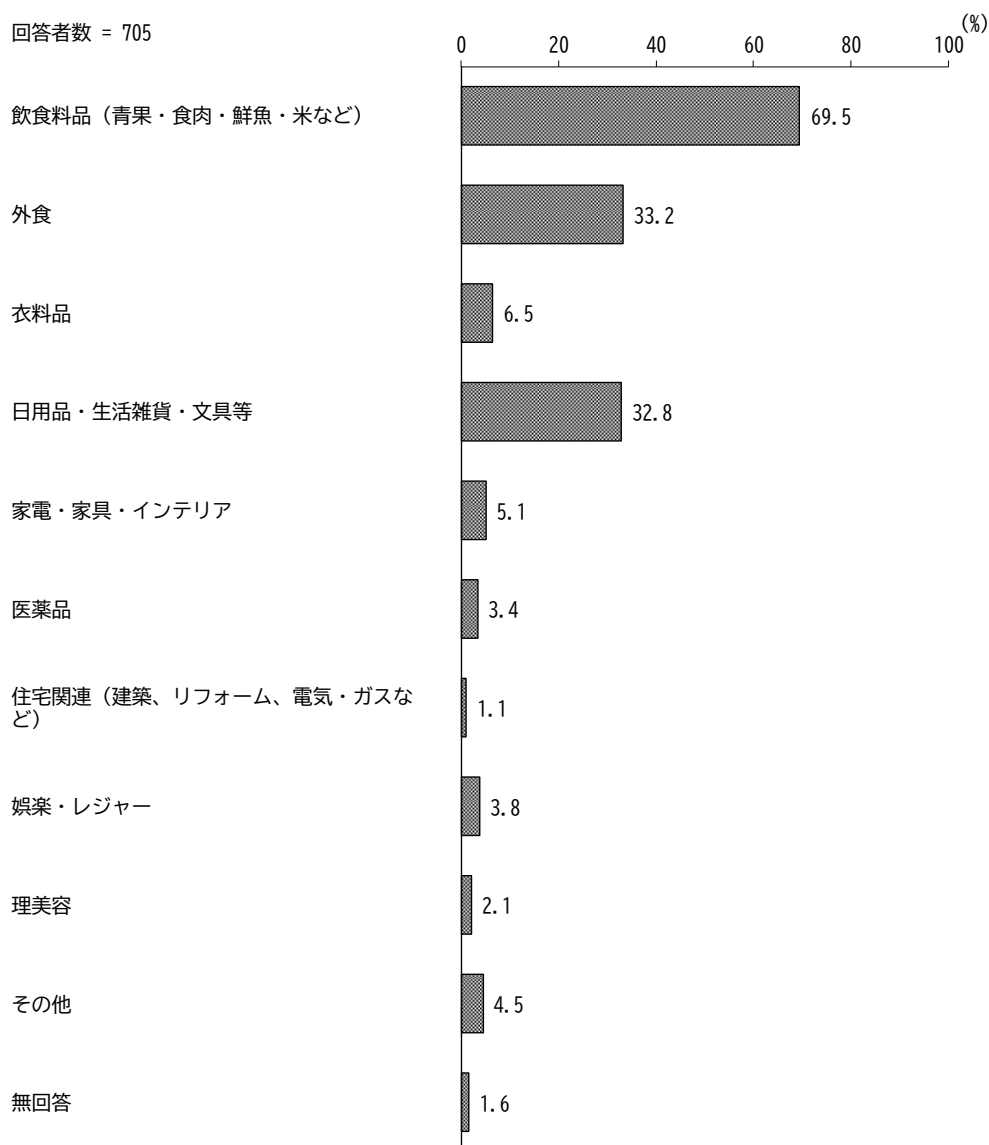
単位：％

区分	回答者数（件）	音楽・演劇等の鑑賞	音楽・演劇等への出演	参加し・イベント等への	学習利用	館内の飲食店の利用	芝生広場の利用	散歩や休憩など特に目的なく立ち寄った	その他	無回答
全体	554	47.3	23.6	45.1	20.2	12.5	17.5	12.3	5.4	0.4
10歳代	96	50.0	38.5	29.2	35.4	7.3	16.7	14.6	5.2	0.0
20歳代	171	50.3	22.2	40.9	29.8	10.5	14.0	9.4	6.4	0.0
30歳代	287	44.6	19.5	53.0	9.4	15.3	19.9	13.2	4.9	0.7

(12)K マネーについて

問 38 市では、物価高騰対策として、市民1人当たり6,000円分の地域通貨Kマネーを配布しています。このKマネーを何に利用する予定、または利用しましたか。(複数回答可)

「飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）」の割合が69.5%と最も高く、次いで「外食」の割合が33.2%、「日用品・生活雑貨・文具等」の割合が32.8%となっています。



【性別】

性別にみると、「飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）」、「日用品・生活雑貨・文具等」の割合が女性で高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）	外食	衣料品	日用品・生活雑貨・文具等	家電・家具・インテリア	医薬品	住宅関連（建築、ガスなど）	娯楽・レジャー	理美容	その他	無回答
全体	705	69.5	33.2	6.5	32.8	5.1	3.4	1.1	3.8	2.1	4.5	1.6
男性	269	65.8	36.1	7.8	25.3	5.6	4.1	2.2	5.6	1.9	4.5	2.2
女性	432	71.8	31.7	5.3	37.5	4.9	2.8	0.5	2.8	2.3	4.6	1.2

【年代別】

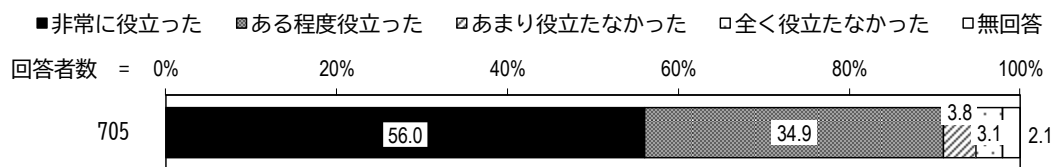
年代別にみると、「飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）」の割合が年代が高くなるにつれて高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	飲食料品（青果・食肉・鮮魚・米など）	外食	衣料品	日用品・生活雑貨・文具等	家電・家具・インテリア	医薬品	住宅関連（建築、ガスなど）	娯楽・レジャー	理美容	その他	無回答
全体	705	69.5	33.2	6.5	32.8	5.1	3.4	1.1	3.8	2.1	4.5	1.6
10歳代	103	52.4	40.8	5.8	31.1	2.9	1.0	0.0	8.7	5.8	1.0	2.9
20歳代	231	62.8	32.0	4.8	30.3	6.9	4.3	1.3	3.5	3.9	5.6	2.6
30歳代	371	78.4	31.8	7.8	34.8	4.6	3.5	1.3	2.7	0.0	4.9	0.5

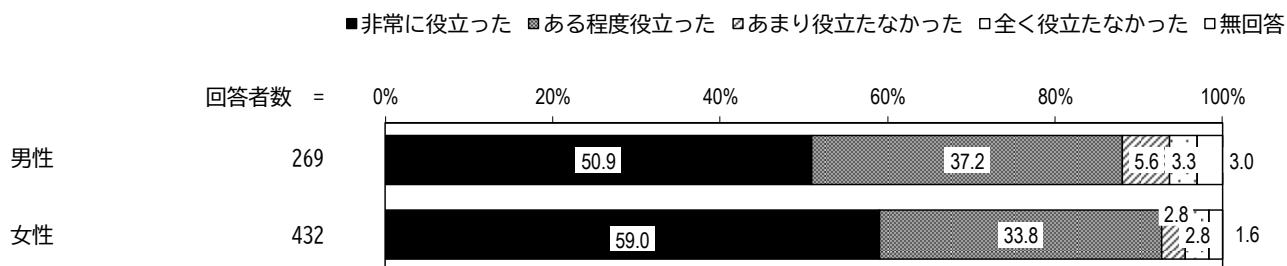
問 39 今回の地域通貨 K マネーの配布は、家計に役立ちましたか。(○は1つだけ)

「非常に役立った」と「ある程度役立った」を合わせた“役に立った”の割合が 90.9%となっています。



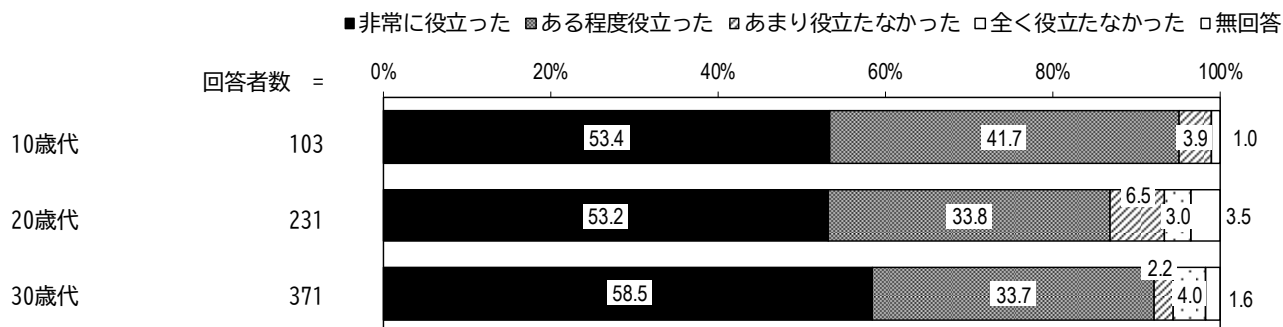
【性別】

性別にみると、“役に立った”の割合が女性で高くなっています。



【年代別】

年代別にみると、“役に立った”の割合が10歳代で高くなっています。



Ⅲ 調査票

オンライン回答案内

オンラインで回答いただいた方の中から、抽選で“可児市のオススメ”をプレゼントする企画を実施しています。スマートフォンなどから、簡単に回答いただけますのでぜひご利用ください。

オンライン回答は案内文記載のQRコードからお願いいたします。

以下の設問について、あてはまるものを選んでご回答ください。

問1 性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代以上 | |

問3 子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

- | | | | |
|----------------|--------|----------|------------|
| 1. いる(複数選択可) → | (1)未就学 | (2)小・中学生 | (3)高校生・大学生 |
| 2. いない | (4)社会人 | (5)その他 | |

問4 どちらにお住まいですか。(自治連合会単位) (○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|--------|
| 1. 今渡 | 2. 川合 | 3. 下恵土 | 4. 土田 |
| 5. 帷子 | 6. 春里 | 7. 姫治 | 8. 平牧 |
| 9. 桜ヶ丘ハイツ | 10. 久々利 | 11. 広見東 | 12. 広見 |
| 13. 中恵土 | 14. 兼山 | 15. 不明(地区名) | |

問5 お住まいの地区の自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない(その理由) |
|-----------|------------------|

問6 可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | 6. 生まれてからずっと |

【問6で1～5を選択された方に伺います】

問7 可児市を居住地に選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 地縁(出身地や親族がいるなど) | 2. 友人や知人がいた |
| 3. 通勤や通学に都合がよかった | |
| 4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に○を記入) | |
| → (1)子育てや教育環境の充実 | (2)買物等の便利さ |
| (3)医療や福祉環境の充実 | |
| (4)手頃な住宅価格や家賃 | (5)自然に恵まれた住環境 |
| (6)文化活動・施設の充実 | |
| 5. 家族の事情(親の転勤など) | 6. その他() |
| 7. 特になし | |

問8 可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 住み続けたい(可児市から出たとしても、将来的には可児市に戻りたい) |
| 2. 住み続けてもよい |
| 3. 住み続けたくない(可児市を出て、将来的にも可児市に戻るつもりはない) |

【問8で1(住み続けたい)または2(住み続けてもよい)を選択された方に伺います】

問9 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 可児市のことが好きだから(人・地域・つながり・自然・景観・歴史・文化・芸術等) | |
| 2. 生活の利便性が高いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等) | |
| 3. 生活の安全性が高いから(災害・犯罪等) | 4. 子育ての支援・環境が充実しているから |
| 5. 教育の質・環境が充実しているから | 6. 福祉の支援・環境が充実しているから |
| 7. 保健・医療体制が充実しているから | 8. 働く(働きたい)場所があるから |
| 9. 可児市が故郷だから | 10. 家族(親族)が近くにいるから |
| 11. その他() | |

【問8で3(住み続けたくない)を選択された方に伺います】

問10 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 可児市のことが好きではないから | |
| 2. 生活の利便性が低いから(通勤・通学・交通・買物・遊び等) | |
| 3. 生活の安全性が低いから(災害・犯罪等) | 4. 子育ての支援・環境が充実していないから |
| 5. 教育の質・環境が充実していないから | 6. 福祉の支援・環境が充実していないから |
| 7. 保健・医療体制が充実していないから | 8. 働く(働きたい)場所がないから |
| 9. 故郷に戻る(戻りたい)から | 10. 結婚・進学・転勤・親との同居などの事情から |
| 11. その他() | |

問11 可児市の自慢できるものはどれだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 美濃桃山陶の聖地(志野焼など) | 2. 美濃金山城をはじめとした城跡 |
| 3. 明智光秀のふるさと明智荘 | 4. 鳩吹山 |
| 5. 木曽川・可児川 | 6. ぎふワールド・ローズガーデン(バラ) |
| 7. カヤバスタジアム | 8. 文化創造センター アーラ |
| 9. 図書館 | 10. 子育て健康プラザ マーノ |
| 11. ゴルフ場 | 12. 可児そだち |
| 13. 里芋 | 14. ギター(一五一会含む) |
| 15. ガラス工芸 | 16. 特にない |
| 17. その他() | |

問12 休日に外出する場合、どこに出かけることが多いですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 市内 | 2. 県内市外 | 3. 県外 |
|-------|---------|-------|

問13 市内でよく行くところはどこですか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| 1. ぎふワールド・ローズガーデン | 2. 文化創造センター アーラ |
| 3. 子育て健康プラザ マーノ | 4. 体育施設 |
| 5. 図書館 | 6. 公園 |
| 7. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館などの博物館施設 | |
| 8. 明智城跡、美濃金山城跡などの城跡 | 9. 鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道などの自然散策 |
| 10. 温泉施設 | 11. ゴルフ場 |
| 12. その他() | |

問14 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |

問 15 子育てしやすいまちづくりのために、市はどのようなことを重視して取り組むべきだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 子育て世代の雇用の安定 | 2. 子育てと仕事を両立できる職場環境の整備 |
| 3. 医療体制・保健サービスの充実 | 4. 助成金などの経済的支援の充実 |
| 5. 多様な保育ニーズへの対応 | 6. 子育てなどに関する情報提供の充実 |
| 7. 子育てなどに関する相談支援体制の強化 | 8. 公園や子育て支援施設等の充実 |
| 9. その他 () | |

問 16 可児市に愛着を感じていますか？(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 愛着を感じている | 2. どちらかといえば愛着を感じている |
| 3. どちらかといえば愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |

問 17 市政経営計画の重点方針「高齢者の安気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。(○は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

「高齢者の安気づくり」 の重点施策 ※各重点施策の内容は、以下に記載しています。	重要度 (いずれか1つに○)				満足度 (いずれか1つに○)			
	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	満足	やや満足	やや不満	不満
(1) 高齢者の暮らしを支援								
(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり								
(3) 介護保険サービスの安定的な提供								

【各重点施策の内容（参考）】※以下を参考にご回答ください

(1) 高齢者の暮らしを支援

公共交通や地域団体が実施している移動支援を含めた高齢者の移動手段を検討し、自分で外出することに不便・困難を感じる高齢者に、使いやすく安全な移動手段が確保される取り組みを推進します。また、高齢者の孤立を防止するための取り組みの充実を図ります。

(2) 健康寿命を延ばすための健康づくり

認知症などの病気になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会を目指すため、医療や介護サービスが必要となる時期を遅らせ、健康に老いることができるように健康づくりと介護予防を一体的に進めます。

また、高齢者のニーズを捉えながら、講座やイベントなどの人と人がつながる機会を創出し、孤独感を感じることなく、明るく、生きがいを感じて暮らせるようにするとともに、地域活動の担い手として活躍してもらえるように支援します。

(3) 介護保険サービスの安定的な提供

介護が必要になっても、安定したサービス提供により地域や施設で安心して生活できるよう、事業所の介護人材確保への支援をはじめとした事業所運営支援や、介護保険サービスを向上させる取り組みを推進します。

問 18 市政経営計画の重点方針「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。(○は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

「子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり」 の重点施策 ※各重点施策の内容は、以下に記載しています。	重要度 (いずれか1つに○)				満足度 (いずれか1つに○)				
	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
(1) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり									
(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消									
(3) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援									

【各重点施策の内容（参考）】※以下を参考にご回答ください

(1) 可児っ子の笑顔あふれるまちづくり

子どもたちが安心して楽しく遊び、学ぶことができる場所や機会をつくるとともに、夢や希望を持ってすこやかに成長できるよう地域で育てる取り組みを進めます。

また、今の笑顔が未来につながることを子ども一人一人が自覚していけるようにするとともに、自分の笑顔に自信をもつことのできる子どもを育てます。

(2) 出産や子育てに対する不安や孤立感の解消

相談しやすい環境づくりを進めるとともに、親同士が交流する場を提供することで、出産や子育てに対する様々な不安や孤立感を解消します。

また、子育てをしている人が安心して働くことができるよう、多様化する保育ニーズに対応するための人材の確保と支援体制の強化を図り、保育環境の充実を推進します。あわせて、外国籍の子や医療的ケアが必要な子、発達に心配がある子など、支援を必要とする子どものために保育園などの受け入れ体制を強化します。

(3) 子どもや子育て家庭が抱える課題解決の支援

学校以外での居場所づくりや不登校児童生徒の保護者の支援を充実するとともに、いじめの未然防止と解決を図る取り組みの継続的な実施や外国籍児童生徒の学習環境の整備など、子どもたちが安心して生活し、学べる環境をつくります。

問 19 市政経営計画の重点方針「地域・経済の元気づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。(○は、「重要度」「満足度」それぞれ1つずつ)

「地域・経済の元気づくり」 の重点施策 ※各重点施策の内容は、以下に記載しています。	重要度 (いずれか1つに○)				満足度 (いずれか1つに○)				
	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
(1) 新たな企業立地と若者の地育地働の促進									
(2) 地域の課題解決力の向上									
(3) 地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり									

各重点施策の内容（参考）】※以下を参考にご回答ください

（１）新たな企業立地と若者の地育地働の促進

可児御嵩インターチェンジ工業団地において企業の誘致を積極的に進め、分譲を開始します。また、既存の市内企業の活動を支援します。これらにより安定した雇用創出、地域経済の活性化、新たな事業の創出、既存事業の成長を促進します。

さらに、小中学生や高校生、その保護者が市内企業の魅力に触れて関心を持てる機会を提供し、将来の地域産業の担い手となる人材の育成につなげることで、若者の地育地働を促進していきます。

（２）地域の課題解決力の向上

多様化する地域の課題に取り組む人材の育成やネットワークづくりを促進し、そうした課題に住民が直接関わり、地域自らが課題を発見・認識・共有し、解決していく力の向上を支援します。

（３）地域資源の磨き上げと愛着を持てるまちづくり

参加・体験型のイベント開催などを通じて、地域資源を体感できる機会を提供し、市民に市の魅力を感じてもらうとともに、地域資源の磨き上げへの市民参加を促進します。

問 20 市政経営計画の重点方針「まちの安全づくり」の各重点施策について、その「重要度」また、現在の取り組みに対する「満足度」を教えてください。（○は、「重要度」「満足度」それぞれ１つずつ）

「まちの安全づくり」 の重点施策 ※各重点施策の内容は、以下に記載しています。	重要度（いずれか１つに○）				満足度（いずれか１つに○）				
	重要	やや重要	ではないが重要	重要ではない	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない
（１）災害に強いまちづくりの推進									
（２）身近な暮らしの安全づくり									
（３）公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進									

各重点施策の内容（参考）】※以下を参考にご回答ください

（１）災害に強いまちづくりの推進

自助・共助・公助が連携して災害に対する予防、応急対策、復旧を行うことができるように備えるとともに、市民の生命、身体及び財産を災害から守り、被害を最小限に軽減します。

（２）身近な暮らしの安全づくり

障がいのある人や生活に困っている人、外国籍の人、子どもから高齢者まで、世代や属性に関わらず、すべての人が住み慣れた地域で、安全に安心して日々の暮らしを送ることができるよう支援し、ともに安心して暮らせるまちづくりを推進します。

（３）公共施設などの効率的な運営と計画的な更新の推進

人口減少・少子高齢化により、今後、財政事情は厳しさを増していきますが、市民の安全、安心で快適な生活のため、公共施設等マネジメント基本計画や各長寿命化計画などに基づき、公共施設の活性化、統廃合を含めた効率的な施設運営、計画的な更新・強靱化を進めます。

問 21 可児市のこれからのまちづくりに関して、意見がありましたらお書きください。

ここからは、市が実施する各種の事業に関することについてお尋ねします。

問 22 日頃、市の情報をどの方法により収集していますか。(複数回答可)

- | | | | |
|------------------|--------------------|--------------|-----------|
| 1. 広報紙 | 2. すぐメールかに | 3. すぐーる | 4. かにつ子ナビ |
| 5. ホームページ | 6. LINE | 7. Instagram | 8. X |
| 9. YouTube | 10. Facebook | 11. ケーブルテレビ | 12. FM らら |
| 13. 新聞 | 14. タウン誌 (フリーペーパー) | | |
| 15. 自治会などの集まりや回覧 | 16. その他 (| |) |

※すぐメールかに…市民に、災害情報や市からのお知らせをメールやアプリで配信するサービス
すぐーる…小中学校の児童・生徒の保護者に、学校からのお知らせ等をメールで配信するサービス
かにつ子ナビ…妊娠中や子育て中の方に、子育て情報等を母子手帳アプリで配信するサービス

問 23 市の情報をどの方法により受け取りたいですか。(複数回答可)

- | | | | |
|------------------|--------------------|--------------|-----------|
| 1. 広報紙 | 2. すぐメールかに | 3. すぐーる | 4. かにつ子ナビ |
| 5. ホームページ | 6. LINE | 7. Instagram | 8. X |
| 9. YouTube | 10. Facebook | 11. ケーブルテレビ | 12. FM らら |
| 13. 新聞 | 14. タウン誌 (フリーペーパー) | | |
| 15. 自治会などの集まりや回覧 | 16. その他 (| |) |

問 24 市の情報のうち、どれに興味がありますか。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------|------------|--------------------|---------|
| 1. 政策などの情報 | 2. イベント情報 | 3. ごみ・リサイクル資源の収集日程 | |
| 4. 無料相談 | 5. 市長からの発信 | 6. 議会からの発信 | 7. 防災情報 |
| 8. 子育て・教育情報 | 9. その他 (| |) |

問 25 インターネットの利便性と個人情報保護に関して、オンラインでの個人情報の登録について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい |
| 2. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあれば個人情報を登録してもよい |
| 3. どちらかといえば、利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない |
| 4. 利便性が高まる等のメリットがあっても個人情報を登録したくない |

問 26 市の行政サービスのデジタル化の取り組みについて、どのように感じていますか。
(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
| その理由 (| | | |
|) | | | |

(参考) 市で取り組んでいる事例

- ・LINE による画像を使った見やすいメッセージ配信
- ・コンビニで住民票や印鑑証明等が取得できるサービス
- ・インターネットで申請ができるサービス (例: 施設予約、図書館の本の予約等)

問 27 市では、市内の協力店で利用できる地域通貨Kマナーを発行しています。今後、利便性の向上などを目的に、スマートフォン等で利用できる「デジタル版Kマナー」を導入した場合、利用してみたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 利用したい | 2. どちらかといえば利用したい |
| 3. どちらかといえば利用したくない | 4. 利用したくない |

問 28 よく利用する公園はどこですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1. 蘭丸ふるりの森 | 2. トイファクトリーの丘 (ふれあいパーク・緑の丘) |
| 3. 可児やすらぎの森 | 4. 小淵ため池公園 |
| 5. 歴史と文化の森 | 6. 平成記念公園 |
| 7. 川合公園 | 8. ふるさと川公園 |
| 9. 鳴子近隣公園 | 10. 塩河公園 |
| 11. 可児川下流域自然公園 | 12. 日特スパークテックWKS (ワークス) パーク |
| 13. 利用したことがない | 14. その他 () |

問 29 公園での過ごし方について、求めるものはどれですか。(複数回答可)

- | |
|--|
| 1. 天候などを気にせず、子どもがのびのびと体を動かせる体験 |
| 2. 日常的に訪れてゆったりと過ごすことができる体験 |
| 3. 日常を離れ、キャンプやバーベキューなどの特別な時間を楽しむことができる体験 |
| 4. ウォーキングや軽いスポーツで、気軽にリフレッシュできる体験 |
| 5. 多様な人々が集まるイベントやマルシェに参加し、賑わえる体験 |
| 6. 愛犬などのペットと一緒に、気兼ねなくのびのびと過ごせる体験 |
| 7. その他 () |

問 30 現在、市では「トイファクトリーの丘 (ふれあいパーク・緑の丘)」の再整備に向けた検討を進めています。当公園に求める機能はどれですか。(複数回答可)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 子育て世代が安心して集い、遊べる機能 |
| 2. 市民の日常に寄り添い、心と体の健康を育む機能 |
| 3. 市のシンボルとして、市外からも人を惹きつけて賑わいを生む機能 |
| 4. スポーツやアクティブな活動ができる機能 |
| 5. その他 () |

問 31 「トイファクトリーの丘 (ふれあいパーク・緑の丘)」の再整備にあたり、現状の機能のうち、活かしてほしい点と改善してほしい点はどれですか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 【活かしてほしい点】 | |
| 1. 広々とした芝生広場 | 2. 自然の豊かさ、緑の多さ |
| 3. 静かで落ち着いた環境 | 4. 駐車場の広さ |
| 5. その他 () | 6. 特にない、利用したことがない |
| 【改善してほしい点】 | |
| 1. 子どもが遊べる遊具の不足・老朽化 | 2. 日陰や雨宿りできる場所の不足 |
| 3. トイレや水飲み場など設備の老朽化 | 4. 飲食・休憩できる場所の不足 |
| 5. 園内の魅力やイベントの不足 | 6. その他 () |
| 7. 特にない、利用したことがない | |

問 32 定期的に健康診査を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|------------------|----------------|
| 1. 受けている | → (1)市の健(検)診を受けた | (2)学校または職場で受けた |
| | (3)個人的に医療機関で受けた | (4)その他 |
| 2. 受けていない | | |

問 33 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医」はいますか。(それぞれ○は1つだけ)

- | | | |
|----------|-------|--------|
| かかりつけ医 | 1. いる | 2. いない |
| かかりつけ歯科医 | 1. いる | 2. いない |

問 34 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する「歩こう可児302」運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、1回30分以上の運動を週2回以上行い、それを1年以上続けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 35 市の公共交通(鉄道やバス、タクシーなど)は、利用しやすく満足できる交通手段だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
| その理由() | | | |

問 36 文化創造センター アーラを利用したことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--|
| 1. ある | → (1)週に数回程度 (2)月に数回程度 (3)年に数回程度 (4)過去に数回程度 |
| 2. 利用したことがない | |

【問 36 で1(ある)を選択された方に伺います】

問 37 利用用途は、次のうちどれですか。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 音楽・演劇等の鑑賞 | 2. 音楽・演劇等への出演 |
| 3. 催し・イベント等への参加 | 4. 学習利用 |
| 5. 館内の飲食店の利用 | 6. 芝生広場の利用 |
| 7. 散歩や休憩など特に目的なく立ち寄った | 8. その他() |

問 38 市では、物価高騰対策として、市民1人当たり6,000円分の地域通貨Kマネーを配布しています。このKマネーを何に利用する予定、または利用しましたか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 飲食料品(青果・食肉・鮮魚・米など) | 2. 外食 |
| 3. 衣料品 | 4. 日用品・生活雑貨・文具等 |
| 5. 家電・家具・インテリア | 6. 医薬品 |
| 7. 住宅関連(建築、リフォーム、電気・ガスなど) | 8. 娯楽・レジャー |
| 9. 理美容 | 10. その他() |

※Kマネーは、令和8年1月1日に可児市に住民登録がある方に対して、4月から順次発送しています。

問 39 今回の地域通貨Kマネーの配布は、家計に役立ちましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に役立った | 2. ある程度役立った |
| 3. あまり役立たなかった | 4. 全く役立たなかった |

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和8年5月13日(水)までにご返送をお願いします。

可児市
市民アンケート調査
【調査結果報告書】

発行年月：令和 8 年 9 月

発 行：可児市役所 秘書政策課

〒509－0292

岐阜県可児市広見一丁目 1 番地

電 話：(0574)62－1111